

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

昭和 47 年版 (1971. 1—12)

美術研究所

NATIONAL INSTITUTE OF ART RESEARCH

12—53 UENO-PARK, TAITO-KU. TOKYO

## 序

美術界の年間における動向を把握してこれを記録にとどめることはなかなか容易でない。本年鑑は発刊以来、現代美術並びに古美術にわたり、その動向を客観的に偏りなく捉えるための資料を提供することに主眼をおいてきた。しかも、わが美術界は近年すこぶる活況を呈し、諸美術団体の定期展をはじめとして、随時の展覧会もその数を増し、更に各都市の諸画廊における個展・グループ展等の開催も相次ぎ、また古美術界をみても、国宝・重要文化財の新指定と相表裏して、国・公立博物館や諸財団の美術館における特別展も頻度を増し、加うるに諸新聞社・デパート、あるいはその他の関係団体が企画した国際的な美術展覧会の増加により、新しい文化交流の時代も現出しつつある。一方、東西にわたる美術関係の研究論文や現代美術に関する評論の発表、研究書、解説書、図録類の刊行等もまた枚挙にいとまのない実情である。

本年鑑はこのような美術界の盛況を、その豊富さと多様性において反映させるよう、必要な資料を集約載録して瞭然たらしめることに意を注ぎ、記事採択の適正と内容の充実とに努力している。しかし、前述のような美術界の現状は、もはや当鑑の記録蒐集機能の限度を越すにいたり、とりわけ美術展覧会の多数化と美術関係施設、美術家の増加は著しいものがあり、その適正な採録は期しがたいと思われるので、美術展覧会はその主要展の記載にとどめ、受賞一覧その他と便覧はやむなく割愛した。なお、この間にも思わぬ過誤や不備の点がないとは限らない。利用される方々の叱正と教示とを得ることができれば幸甚である。

この年鑑の編集は従来通り当研究所美術部(美術研究所)第2研究室の諸君がこれに当り、更に資料室・第1研究室および庶務課の諸君もこれを援助するところが多かった。なお、この年鑑の編集に当っては、常に諸官庁や美術関係の公私機関をはじめ、多数の学者作家等の御援助を煩わしている。殊に文化庁、国立美術館・博物館、各地の諸新聞社、雑誌社、美術館、研究所、学校、美術団体、画廊等の御援助に待つところが少くない。ここにこれら諸機関の当事者諸賢に対して深甚の謝意を表する。

昭和47年12月

東京国立文化財研究所

美術部長 岡 畏 三 郎



## 凡 例

- 1 本年鑑は、昭和46年1月から同年12月に至る1年間の美術界の主要な出来事を掲載した。
- 1 本年鑑は、「図版『本欄』」の二部からなり、「図版」には上記期間中に発表された注目すべき作品の写真を主として掲載し、「本欄」は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。  
従来さらに巻末に「便覧」を付したが、本年はこれを省略した。
- 1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工芸、書、および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築と工芸はわれわれの注意をひく範囲にとどめ、書は古美術に限った。
- 1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京の場合にはすべてこれを略し、デパートの場合には日本橋の高島屋・三越の日本橋を省略した。
- 1 美術文献目録についてはそれぞれ項目の初めに凡例を記した。

なお「図版」に用いた写真は主に高林・村井・三友写真研究所の写真と諸雑誌よりの複写によることを記して資料提供の謝意に代えさせていただく。

## 目次

序	2	目次	4
凡例	3	図版目録	4

## 〔本欄〕

昭和46年美術界年史	1	目次	97
主要美術展覧会	5	定期刊行物所載文献	98
物語者	77	現代美術・西洋美術	98
美術文献目録	97	東洋古美術	162
凡例	97	単行図書	176

## 図版目録

## 日本画

1 仔馬と少年(1回山種美術館賞展)	下田義寛
2 翔(シ)	松尾敏男
3 清夜(シ)	近藤弘明
4 いかづちの丘(個展)	守屋多々志
5 山の音(26回春の院展)	大矢紀
6 船と魚の物語(56回院展)	月岡栄貴
7 遠い詩(シ)	下田義寛
8 舞う(シ)	小倉遊亀
9 山腹の石仏(シ)	福王寺法林
10 '72東京(シ)	常盤大空
11 二上山来迎—当麻曼陀羅縁起(シ)	森田曠平夫
12 中垂熱鬧図(シ)	平山郁夫
13 灰(シ)	今野忠一
14 夏の水(シ)	若木山
15 吾妻はや(シ)	安田靉彦
16 知盛幻生(シ)	前田青邨
17 夢と覚醒(35回新制作展)	工藤甲人
18 原罪(シ)	上野泰郎
19 R・K・K(シ)	秋野不矩
20 夏の孤情(シ)	山本丘人
21 裏千家夫人(3回日展)	濱田台児
22 池花惜日(35回新制作展)	信太金昌
23 幻映(シ)	稗田一穂
24 菖蒲郷(3回日展)	望月春江
25 窓(シ)	東山魁夷

26 絶(3回日展)	高山辰雄
27 鏡の中に(シ)	丹羽尚子
28 流離の灯(シ)	加藤栄三
29 月夜野(シ)	山口華楊
30 閑(シ)	池田遙邨
31 新秋譜(シ)	川本末雄
32 生(シ)	杉山寧
33 鳥(シ)	関主税
34 小比叡(シ)	加倉井和夫
35 浄光(シ)	大山忠作

## 洋画

36 さすらい(6回昭代会展)	麻生蓉子
37 少女(シ)	入江観
38 築地松投影(23回立軌展)	山下大五郎
39 雲(シ)	須田寿
40 混沌とした次元(シ)	黒田悠子
41 大日如来(31回美術文化展)	大西弘之
42 湖畔の春(16回新世紀展)	川島理一郎
43 木のある風景(23回三帆会展)	村山孝夫
44 千曲島鳥瞰図(16回新世紀展)	刑部人
45 夜明け「母子」II(31回美術文化展)	森川忠昭
46 市(23回三帆会展)	松本明也
47 青い空(47回白日展)	小堀進
48 作品(シ)	(故)東理次郎
49 晩秋(24回示現会展)	奥瀬英三
50 椅子のある部屋(シ)	所栄次
51 舞妓(創立30周年記念創元展)	鈴木千久馬

- 52 北辺(創立30周年記念創元展)……樋口治平  
 53 カスティーヤの丘(シ)……深谷徹  
 54 動物愛(1971年モダンアート展)……周襄吉  
 55 碑(シ)……刀根真澄  
 56 ガラスの檻(シ)……出水徹  
 57 夜の人々(シ)……村井正誠  
 58 バラの花(シ)……阪本文男  
 59 旅廻りの道化(57回光風会展)……阪倉宜暢  
 60 ベトナムの女(シ)……南政善  
 61 箱根早春(シ)……西山真一  
 62 白い大地(シ)……田村一男  
 63 動(45回国展)……宇治山哲平  
 64 作品1971(シ)……須田剋太  
 65 鶏頭のある風景(シ)……石原宏策  
 66 忍仙陀羅尼(シ)……小牧源太郎  
 67 霧の朝(48回春陽展)……中谷泰  
 68 献花(シ)……岡鹿之助  
 69 パノラマ(シ)……前田舜敏  
 70 羽根(48回春陽展)……福地敬治  
 71 虹の立つ風景(シ)……宮城音蔵  
 72 静物(シ)……加山四郎  
 73 静物(37回東光展)……江藤哲  
 74 早春長崎(シ)……石本秀雄  
 75 漁港(67回太平洋美術展)……高梨潔  
 76 Blue Ball (10回現代日本美術展)……高橋秀  
 77 鳥——牧野京子(67回太平洋美術展)……長岡忠三郎  
 78 Work-G (10回現代日本美術展)……麻田脩二  
 79 造山運動あるいは「モナリザ」の背景(シ)……中村宏  
 80 PASTORAL 1 (7回主体美術展)……吉江新二  
 81 イカサスの妻(シ)……司修  
 82 砂丘にて(シ)……森芳雄  
 83 炎の墓標(シ)……吉井忠  
 84 華(51回朱葉会展)……吉田ふじを  
 85 きいろい日(27回現展)……照丘晃子  
 86 オーロラ(43回新構造展)……本目勇市  
 87 海辺の子供E (25周年記念新樹会展)……朝井 関右衛門  
 88 阿呼(25周年記念新樹会展)……武田邦雄  
 89 あさやけのオホーツク(シ)……岡田又三郎  
 90 樹間静物(シ)……仲田好江  
 91 舞妓(シ)……島村三七雄  
 92 碑「A」(26回行動展)……深見隆  
 93 母子構図(シ)……佐藤真一  
 94 夏の日(シ)……田中稔之  
 95 六月の田園(シ)……向井潤吉  
 96 太陽の花(56回二科展)……北川民次  
 97 城(シ)……西村龍介  
 98 暗い室内(シ)……大沢昌助  
 99 緑陰の花(シ)……鷹山宇一  
 100 裸婦(シ)……中村直人  
 101 水浴(シ)……織田広喜  
 102 FAKE Blue sky——扉(17回一陽展)……森秀雄  
 103 壺(シ)……鈴木信太郎  
 104 仲度島附近—瀬戸内海(シ)……野間仁根  
 105 他人の空シリーズ「勝利者」(シ)……北山泰斗  
 106 鳥花苑(35回新制作展)……脇田和  
 107 追悼—per l'anima del figlio (35回新制作展)……伊勢正義  
 108 西洋人形(シ)……小磯良平  
 109 雲・風・人間(シ)……荻太郎  
 110 阿蘇山の草千里—初秋(35回—水会展)……田崎広助  
 111 白鷺城(シ)……小山敬三  
 112 老人—マッサージ師(シ)……中村琢二  
 113 馭者の夢(シ)……小松崎邦雄  
 114 犬吠崎燈台(39回独立展)……高嶋達四郎  
 115 少女(シ)……林武  
 116 瓶子A(シ)……鳥海青児  
 117 迷路風な(シ)……林敬二  
 118 ノルマンディー—回帰(シ)……芝田米三  
 119 シャトーと馬(シ)……野口弥太郎  
 120 広場(二紀会25周年記念展)……西村功  
 121 たまご・そして銃やランプ (39回独立展)……松樹路人  
 122 人形(二紀会25周年記念展)……田村孝之介  
 123 熱叢夢(シ)……宮本三郎  
 124 モラルの分解(35回自由美術展)……八幡健二  
 125 砂漠の黒い男(二紀会25周年記念展)……中西勝  
 126 冬(35回自由美術展)……西八郎  
 127 失題(シ)……井上長三郎  
 128 とのぐもり(3回日展)……小糸源太郎  
 129 北の漁村(シ)……葛西四雄  
 130 黒い船—エトルタ(シ)……伊原宇三郎  
 131 楠若葉(シ)……辻永  
 132 古都の祭(シ)……井手宜通  
 133 海浜の風景(シ)……国領経郎  
 134 村(シ)……塗師祥一郎  
 135 雨のお濠端—夜(シ)……楢原健三  
 136 仮面と男たち(シ)……森勇  
 137 雪の鉦山(シ)……斎藤政一

目 次

版 画

- 138 シリーズ博物詩「クマシギの永遠」(10回 現代 日本美術展) …上 矢 津  
 139 笑ってノ(シ) ……池 田 満寿夫  
 140 世俗の情熱 (39回日本版画協会展) ……天 野 邦 弘  
 141 From the Dictionary (10回 現代日本美術展) ……巖 嘔  
 142 ワンダーランド(シ) ……横 尾 忠 則  
 143 風景(39回日本版画協会展) ……吉 田 穂 高  
 144 現在位置-26 (ジャパン・アート・フェスティバル) ……木 村 光 佑  
 145 卵-7 (39回日本版画協会展) ……日 和 崎 尊 夫  
 146 月と企業(10回現代日本美術展) ……島 州 一

彫 刻

- 147 湖(6回昭和会展) ……一 色 邦 彦  
 148 試作(47回白日展) ……木 村 圭 二  
 149 如来(個展) ……押 尾 豊  
 150 船壇(31回美術文化展) ……久 富 金 之  
 151 最後の棲息地(45回国展) ……川 田 清  
 152 遺跡の時刻「2」(シ) ……堀 川 恭  
 153 靴下をはく女(1回日彫展) ……峯 田 義 郎  
 154 車(10回現代日本美術展) ……魚 田 元 生  
 155 個とグループ (2回現代国際彫刻展) ……奥 田 善 己  
 156 海辺にて(67回太平洋美術展) ……三 沢 寛  
 157 裸婦(45回国展) ……千 野 茂  
 158 過去・現在・未来 (2回現代国際彫刻展) ……横 山 善 一  
 159 超空間(4回現代日本彫刻展) ……多 田 美 波  
 160 存在-無過失「A」(20回創型会記念展) ……木 村 博 昌  
 161 高原(シ) ……福 本 晴 男  
 162 畏(25周年記念新樹会展) ……佐 藤 健 次 郎  
 163 空にかける階段(26回行動展) ……富 樫 実  
 164 マリア(25周年記念新樹会展) ……木 内 克  
 165 GO GO(26回行動展) ……建 畠 覚 造  
 166 桃浦(17回-陽展) ……山 崎 猛  
 167 北の砂浜(56回二科展) ……淀 井 敏 夫  
 168 役者の首(17回-陽展) ……植 木 力  
 169 馬(シ) ……中 村 輝  
 170 チャーちゃん(35回新制作展) ……佐 藤 忠 良  
 171 太平洋の壺-海底に沈む戦友の霊に捧ぐ(シ) ……小 坂 圭 二  
 172 O氏一試作(シ) ……菅 原 安 男  
 173 原の城(シ) ……舟 越 保 武  
 174 海を征くピエロ(シ) ……伊 東 繁

- 175 花-橋のための彫刻 (35回新制作展) ……本 郷 新  
 176 流人(二紀会25周年記念展) ……小 島 弘  
 177 人草(35回自由美術展) ……島 田 忠 恵  
 178 駸者(シ) ……峯 孝  
 179 躍動(二紀会25周年記念展) ……木 津 一 夫  
 180 陰陽神・あたたかい遠い海(シ) ……堀 義 雄  
 181 北の枢(35回自由美術展) ……米 坂 ヒデノリ  
 182 十一面観音(シ) ……田 島 義 朗  
 183 立つ(二紀会25周年記念展) ……矢 形 勇  
 184 姉妹(3回日展) ……中 村 喜 平  
 185 布をもつ(シ) ……古 川 順 三  
 186 なげくおんな(シ) ……上 野 弘 道  
 187 荒野の精(シ) ……武 部 豊  
 188 蒼河(シ) ……和 田 金 剛  
 189 隣(シ) ……安 田 周 三 郎

遺作・回顧

- 190 男の顔(海老原喜之助デッサン・水彩・版画展) ……海老原 喜之助  
 191 荒磯(平福百穂展) ……平 福 百 穂  
 192 うづくまる(鳥海青児展) ……鳥 海 青 児  
 193 酢川にかかる常盤橋(高橋由一とその時代展) ……高 橋 由 一  
 194 初冬の花(鍋木清方展) ……鍋 木 清 方  
 195 折鶴歯菜赤絵瓶(小合友之助・河合卯之助二人展) ……河 合 卯 之 助  
 196 水「三」(近代作家の回顧・山口薫展) ……山 口 薫

外 国

- 197 胸の傷(現代ドイツ美術展) ……ランベルト・マリア・ヴィンテルスベルガー  
 198 帯飾枝狩猟文(ソ連所蔵名品百選展) ……  
 199 エジプトのマリア(ドイツ表現派展) ……エミール・ノルデ  
 200 湯浴みする女(2回現代国際彫刻展) ……ジャン・イブステギ  
 201 舞台理論の授業から。人体の各部の動きを示す<非物質化>(形而上学的表現形式) ……オスカー・シュレンマー  
 202 グロテスクなa(現代の陶芸-アメリカ・カナダ・メキシコと日本-展) ……ジェイムズ・メルチャート  
 203 肖像(マグリット展) ……ルネ・マグリット



版 圖



1 仔馬と少年 (1回山種美術館賞展) 下田 義寛



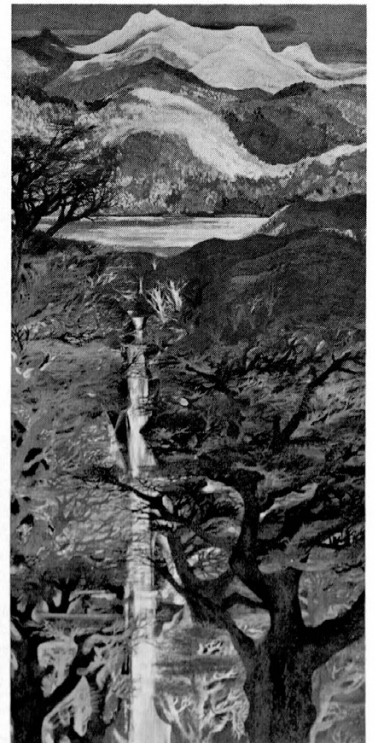
2 翔 (1回山種美術館賞展) 松尾 敏男



3 清夜 (1回山種美術館賞展) 近藤 弘明

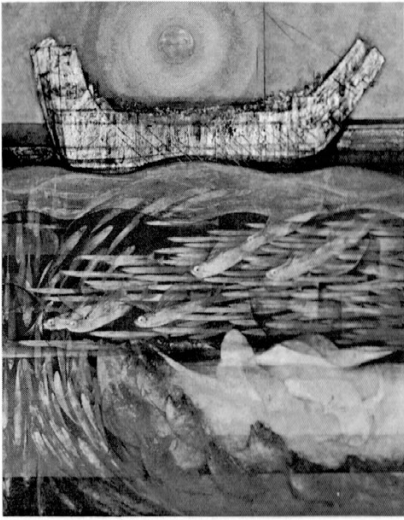


4 いかづちの丘 (個展) 守屋 多々志



5 山の音 (26回春の院展) 大矢 紀

日本画



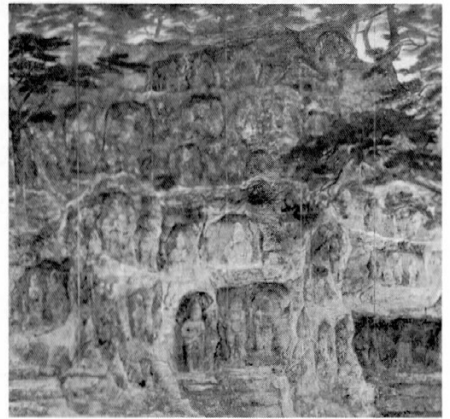
6 船と魚の物語 (56回院展) 月岡 栄貴



7 遠い詩 (56回院展) 下田 義寛



8 舞う (56回院展) 小倉 遊亀



9 山腹の石仏 (56回院展) 福王寺 法林



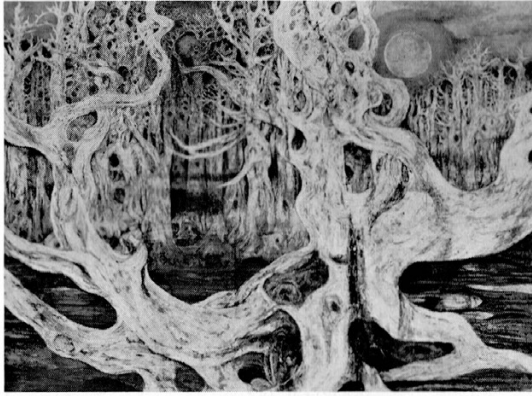
10 '72東京 (56回院展) 常盤 大空



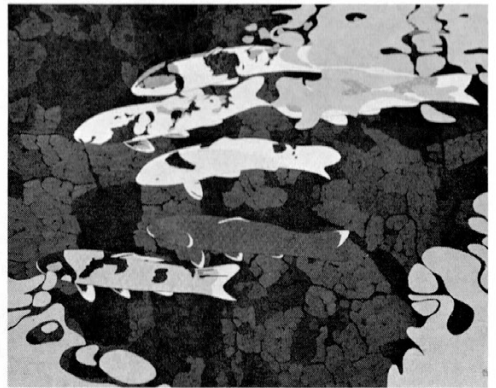
11 二上山来迎一当麻曼陀羅縁起 (56回院展) 森田 曠平



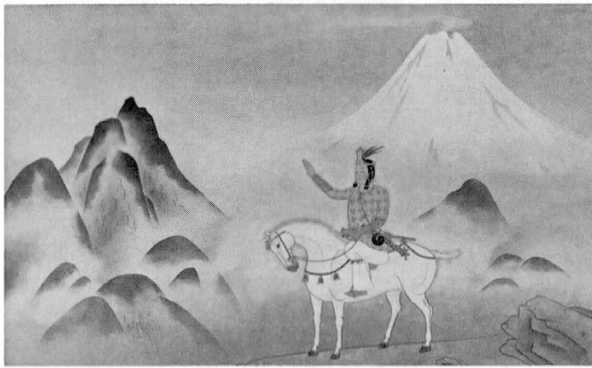
12 中垂熱鬧圖 (56回院展) 平山郁夫



13 炊 (56回院展) 今野忠一



14 夏の水 (56回院展) 若木山



15 吾妻はや (56回院展) 安田靫彦

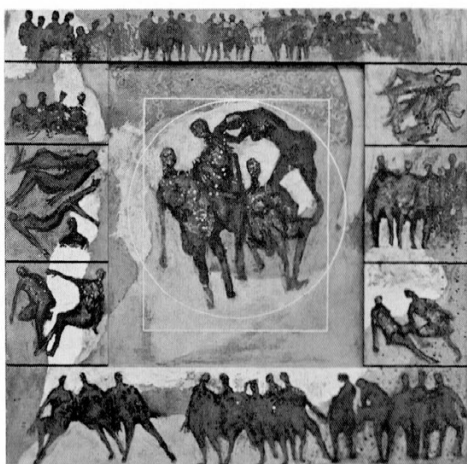


16 知盛幻生 (56回院展) 前田青邨

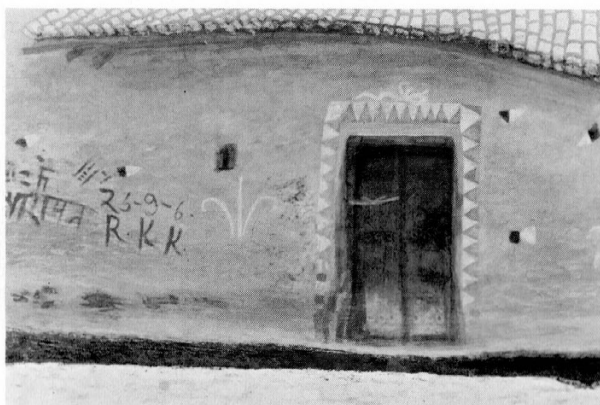


17 夢と覚醒 (35回新制作展) 工藤甲人





18 原罪 (35回新制作展) 上野 泰郎



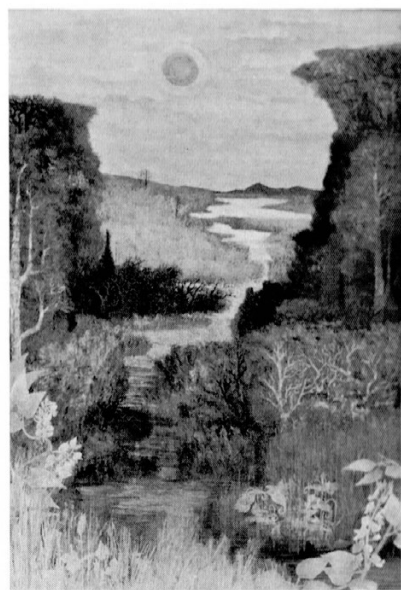
19 R・K・K (35回新制作展) 秋野 不矩



20 夏の孤情 (35回新制作展) 山本 丘人



21 裏千家夫人像 (3回日展) 濱田 台児



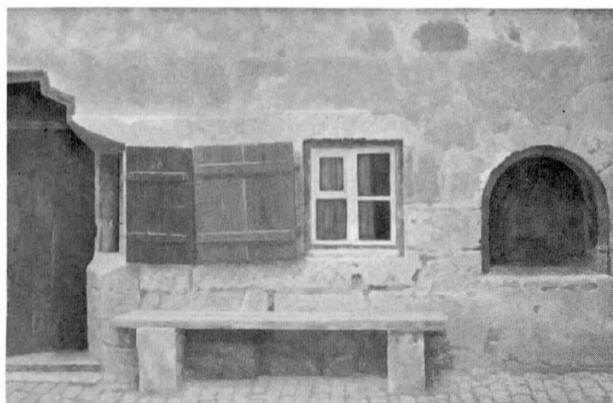
22 池花惜日 (35回新制作展) 信太 金昌



23 幻映 (35回新制作展) 稗田 一穂



24 菖蒲郷 (3回日展) 望月春江



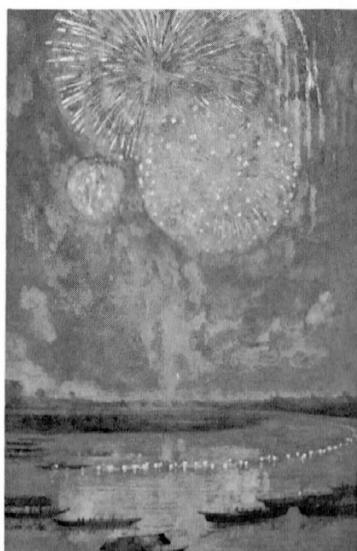
25 窓 (3回日展) 東山魁夷



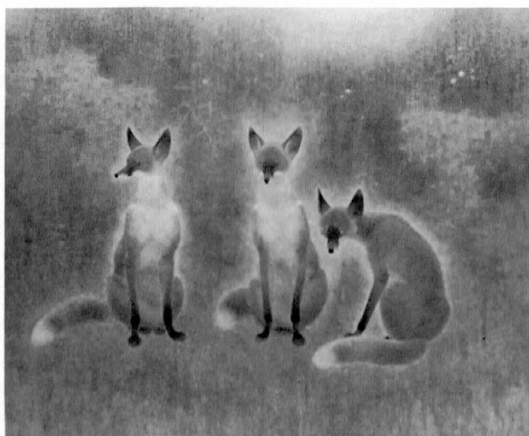
26 絶 (3回日展) 高山辰雄



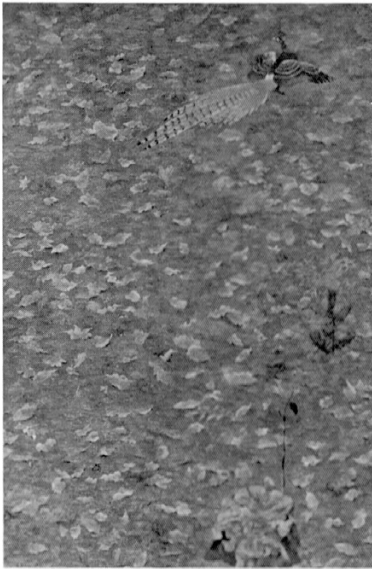
27 鏡の中に (3回日展) 丹羽尚子



28 流離の灯 (3回日展) 加藤栄三



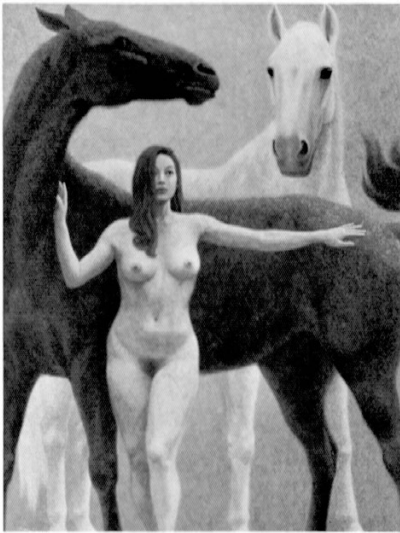
29 月夜野 (3回日展) 山口華楊



30 閑 (3回日展) 池田 遙 邨



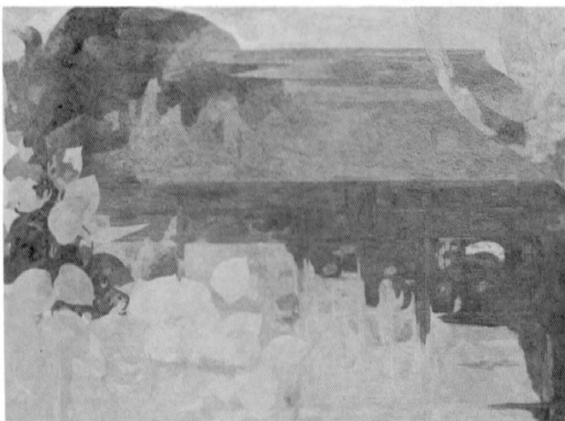
31 新秋譜 (3回日展) 川 本 末 雄



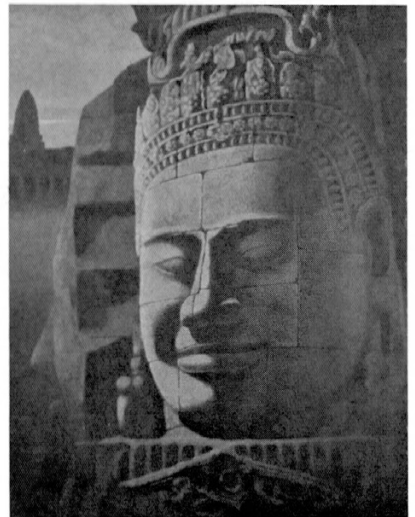
32 生 (3回日展) 杉山 寧



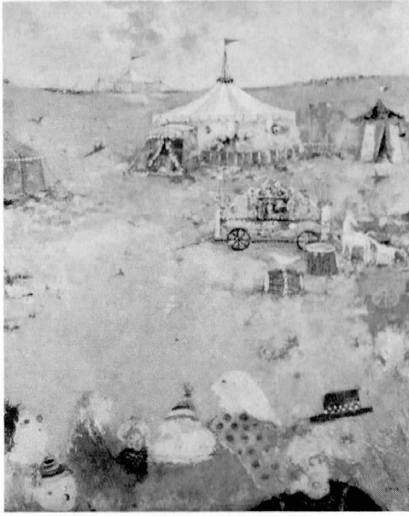
33 鳥 (3回日展) 関 主 税



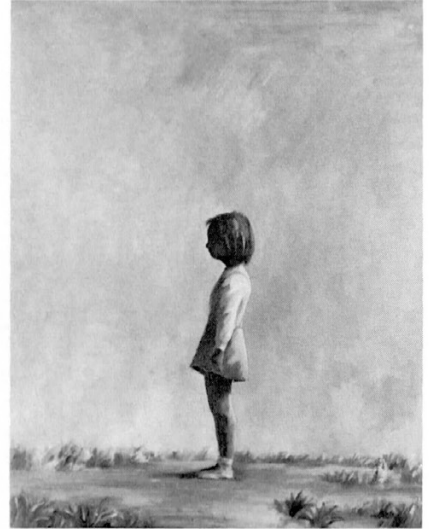
34 小比叡 (3回日展) 加倉井 和 夫



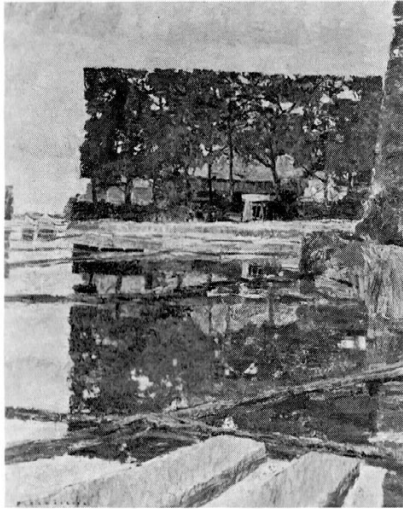
35 浄光 (3回日展) 大 山 忠 作



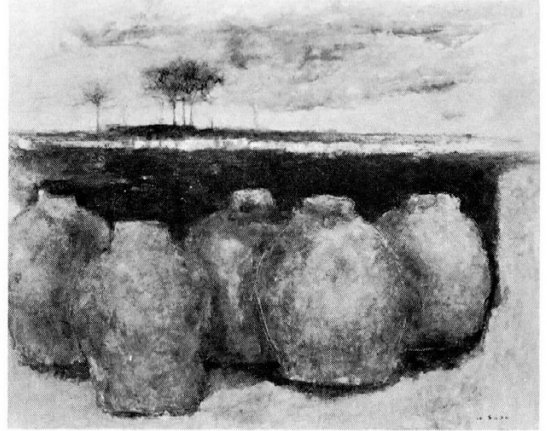
36 さすらい (6回昭和会展) 麻生 蓉子



37 少女 (6回昭和会展) 入江 観



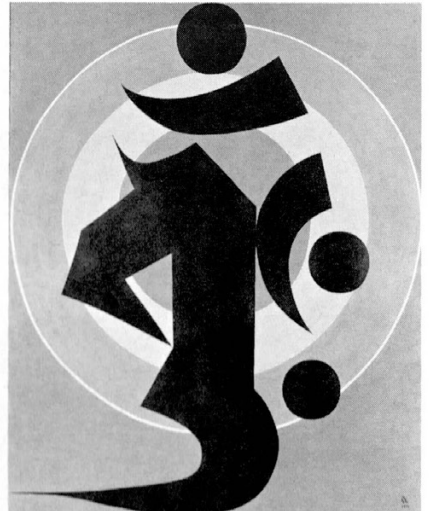
38 築地松投影 (23回立軌展) 山下 大五郎



39 雲 (23回立軌展) 須田 寿



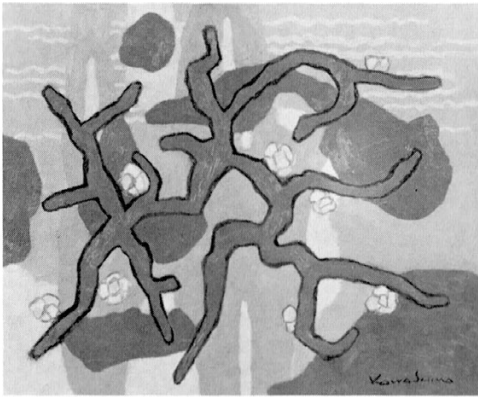
40 混沌とした次元 (23回立軌展) 黒田 悠子



41 大日如来 (31回美術文化展) 大西 弘之

洋 画





42 湖畔の春 (16回新世紀展) 川島理一郎



43 木のある風景 (23回三軌会展) 村山孝夫



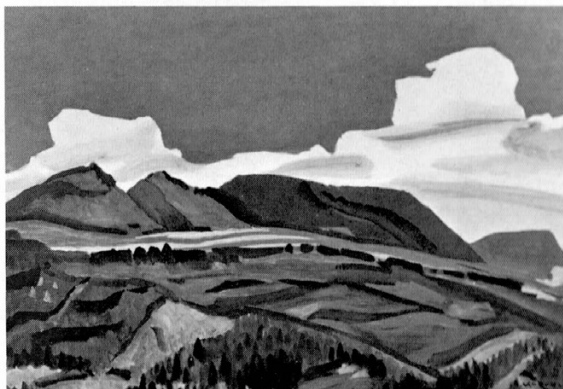
44 千曲川鳥瞰図 (16回新世紀展) 刑部人



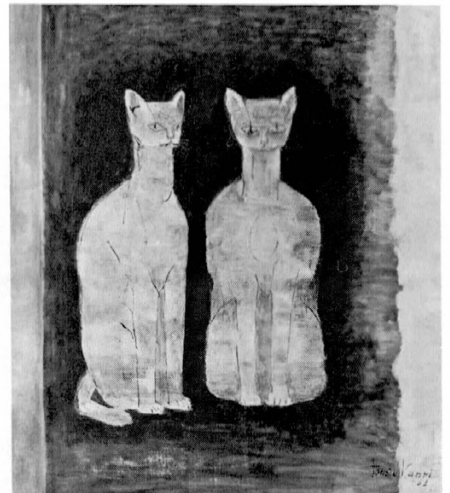
45 夜明け「母子」II (31回美術文化展)  
森川忠昭



46 市 (23回三軌会展) 松本明也



47 青い空 (47回白日展) 小堀進



48 作品 (47回白日展) 故東理次郎



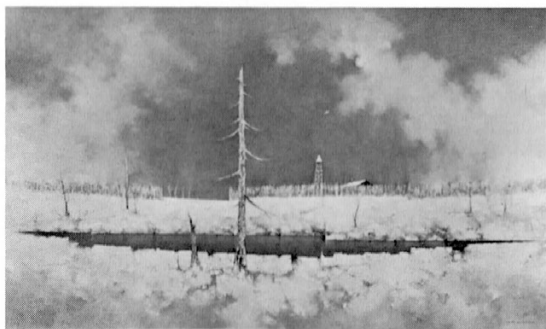
49 晩秋 (24回示現会展) 奥瀬英三



50 椅子のある部屋 (24回示現会展) 所栄次



51 舞妓 (創立30周年記念創元展) 鈴木十久馬



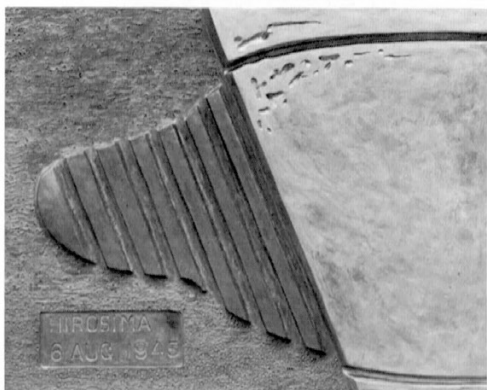
52 北辺 (創立30周年記念創元展) 樋口治平



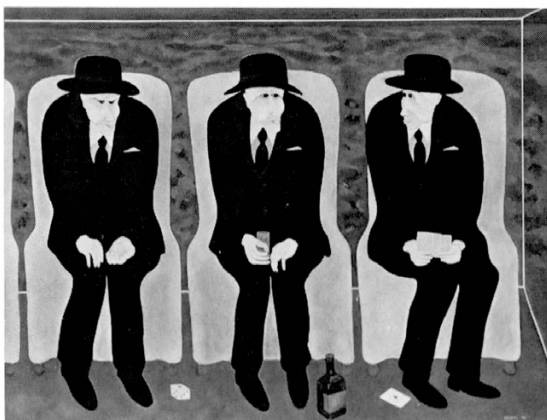
53 カステルヤの丘 (創立30周年記念創元展) 深谷徹



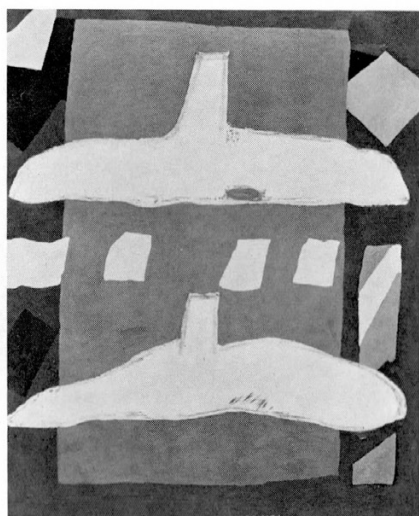
54 動物愛 (1971年モダンアート展) 周襄吉



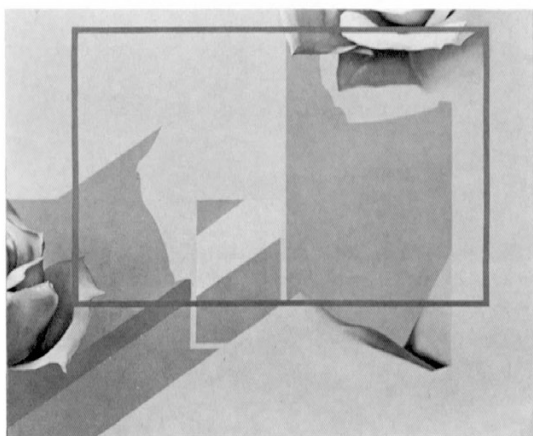
55 碑 (1971年モダンアート展) 刀根真澄



56 ガラスの檻 (1971年モダンアート展) 出水 徹



57 夜の人々 (1971年モダンアート展) 村井正誠



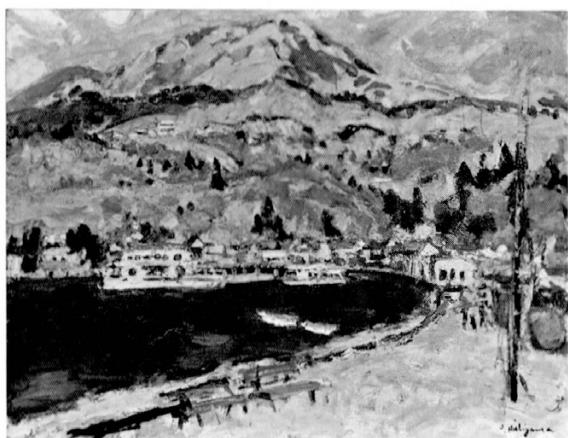
58 バラの花 (1971年モダンアート展) 阪本文男



59 旅廻りの道化 (57回光風会展) 阪倉宜暢



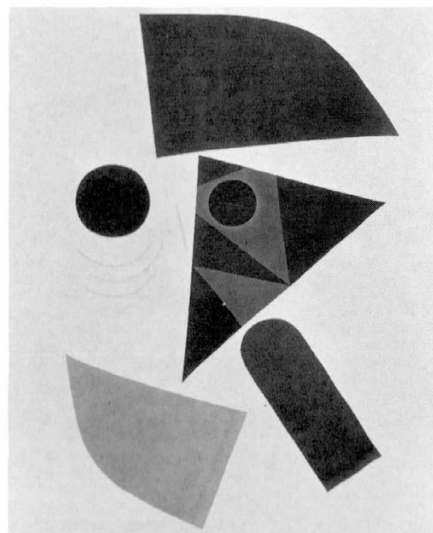
60 ベトナムの女 (57回光風会展) 南 政善



61 箱根早春 (57回光風会展) 西山真一



62 白い大地 (57回光風会展) 田村 一男



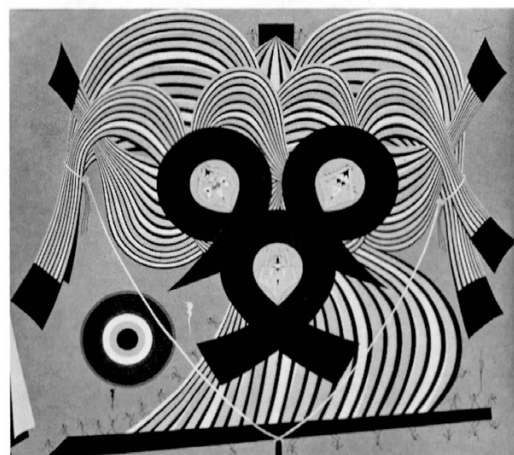
63 動 (54回国展) 宇治山 哲平



64 作品1971 (45回国展) 須田 剋太



65 鶏頭のある風景 (45回国展) 石原 宏策



66 忍仙陀羅尼 (45回国展) 小牧 源太郎

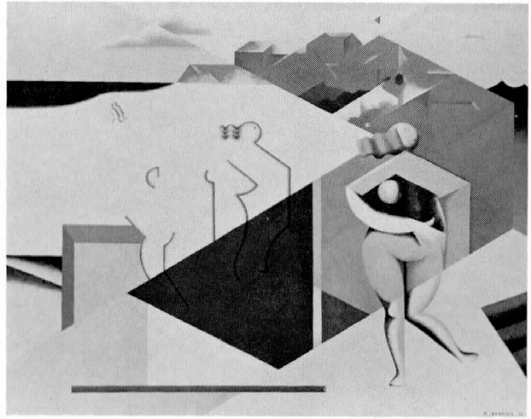


67 霧の朝 (48回春陽展) 中谷 泰

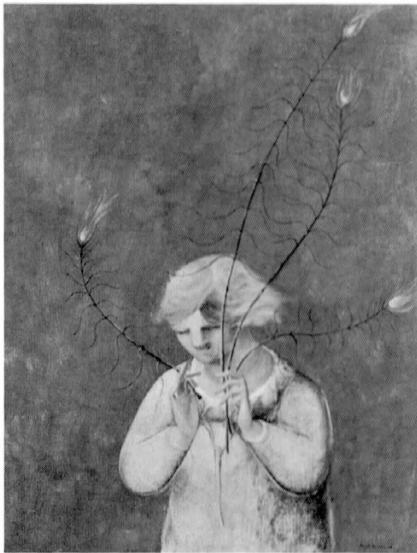




68 献花 (48回春陽展) 岡 鹿之助



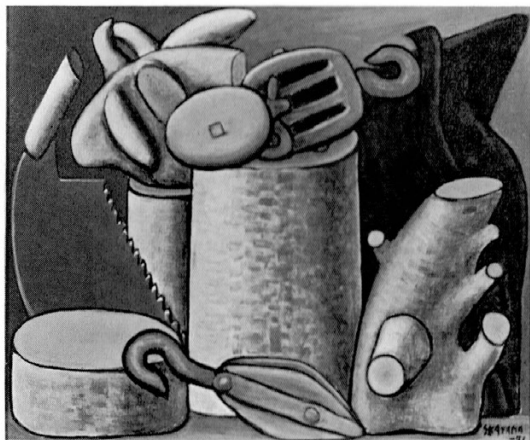
69 パノラマ (48回春陽展) 前田 舜敏



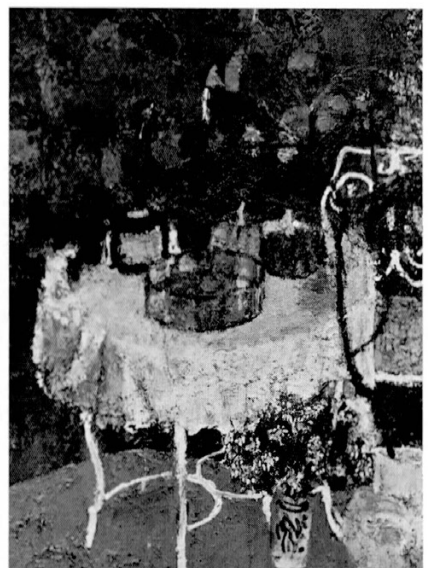
70 羽根 (48回春陽展) 福地 敬治



71 虹の立つ風景 (48回春陽展) 宮城 音蔵



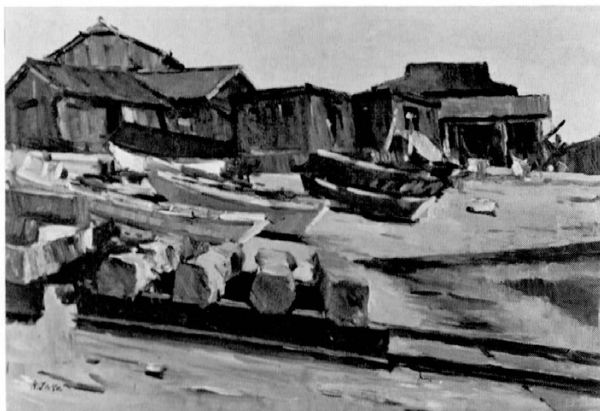
72 静物 (48回春陽展) 加山 四郎



73 静物 (37回東光展) 江藤 哲



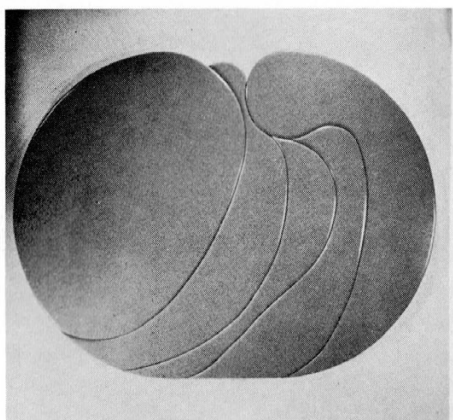
74 早春長崎 (37回東光展) 石本 秀雄



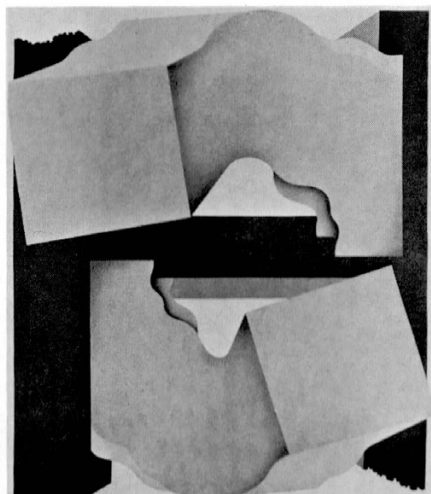
75 漁港 (67回太平洋美術展) 高梨 潔



77 鳥—牧野京子 (67回太平洋美術展) 長岡 忠三郎



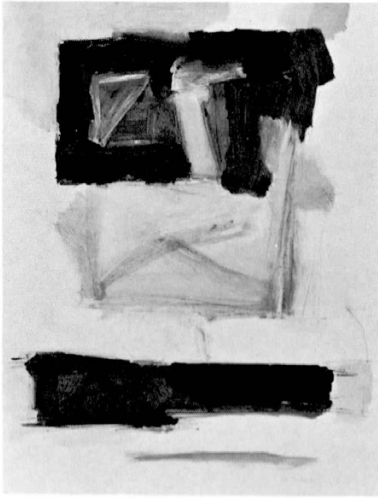
76 Blue Ball (10回現代日本美術展) 高橋 秀



78 Work—G (10回現代日本美術展) 麻田 脩二



79 造山運動あるいは「モナリザ」の背景 (10回現代日本美術展) 中村 宏



80 PASTORAL I (7回主体美術展) 吉江新二



81 イカサの妻 (7回主体美術展) 司修



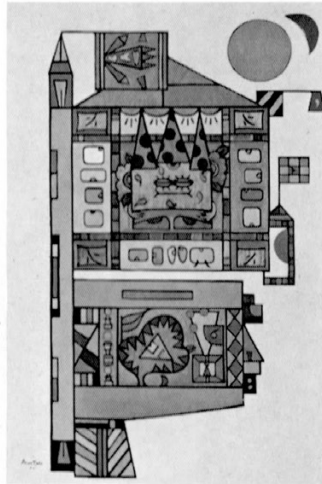
82 砂丘にて (7回主体美術展) 森芳雄



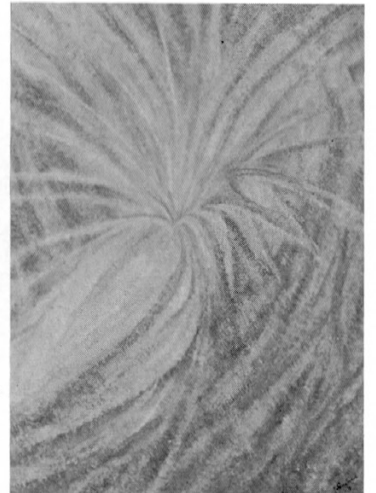
83 炎の墓標 (7回主体美術展) 吉井忠



84 華 (51回朱葉会展) 吉田ふじを



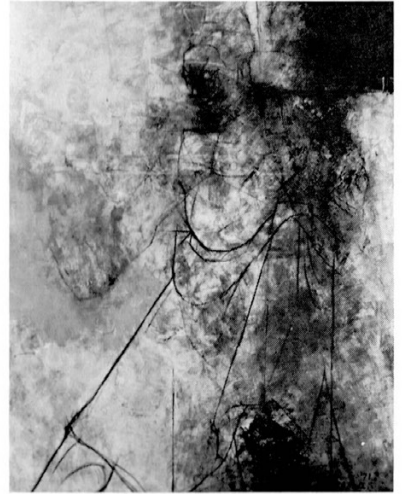
85 きいろい日 (27回現展) 照丘晃子



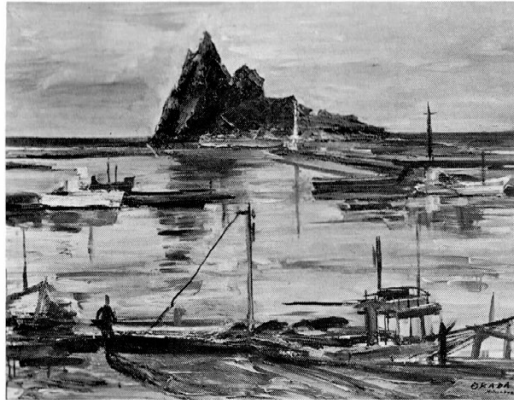
86 オーロラ (43回新構造展) 本目勇市



87 海辺の子供E (25周年記念新樹会展) 朝井 関右衛門



88 阿呼 (25周年記念新樹会展) 武田 邦雄



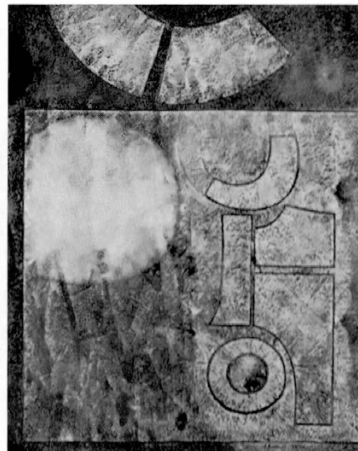
89 あさやけのオホーツク (25周年記念新樹会展) 岡田 又三郎



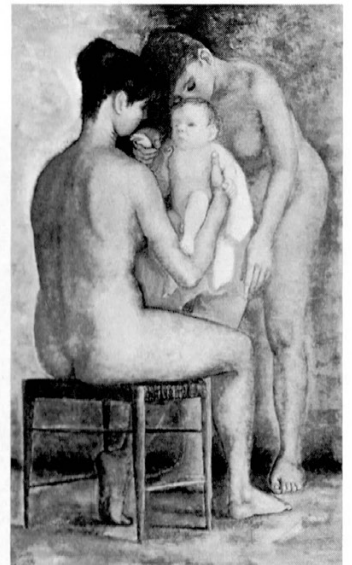
90 樹間静物 (25周年記念新樹会展) 仲田 好江



91 舞妓 (25周年記念新樹会展)  
島村 三七雄

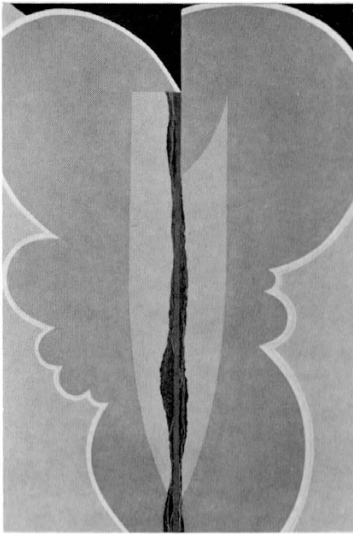


92 碑(A) (26回行動展) 深見 隆



93 母子構図 (26回行動展) 佐藤 真一





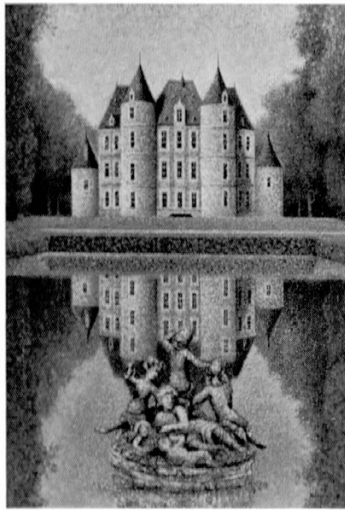
94 夏の日 (26回行動展) 田中稔之



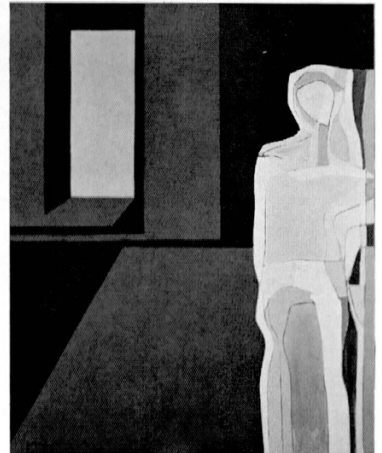
95 六月の田園 (26回行動展) 向井潤吉



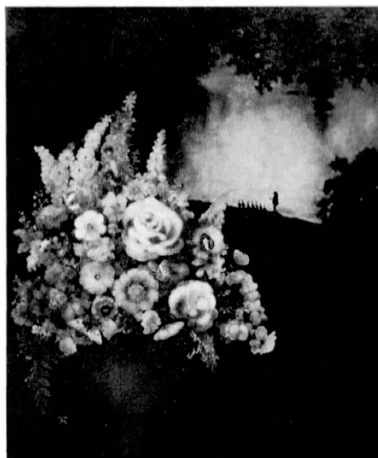
96 太陽の花 (56回二科展) 北川民次



97 城 (56回二科展) 西村龍介



98 暗い室内 (56回二科展) 大沢昌助



99 緑陰の花 (56回二科展) 鷹山宇一



100 裸婦 (56回二科展) 中村直人



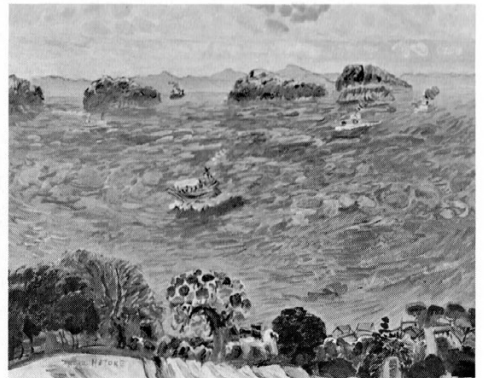
101 水浴 (56回二科展) 織田 広喜



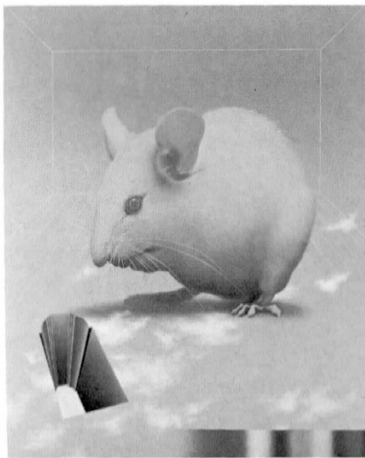
102 FAKE BLUE SKY 一扉 (17回一陽展)  
森 秀雄



103 壺 (17回一陽展) 鈴木 信太郎



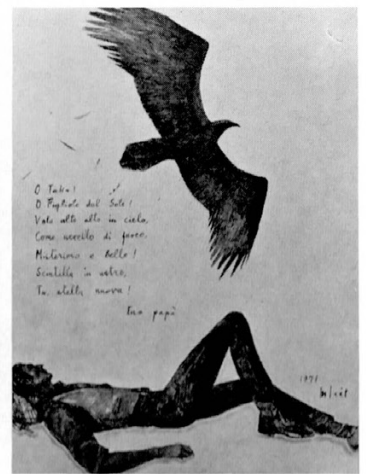
104 仲度島附近 - 瀬戸内海 (17回一陽展) 野間 仁根



105 他人の空シリーズ「勝利者」  
(17回一陽展) 北山 泰斗



106 鳥花苑 (35回新制作展) 脇田 和



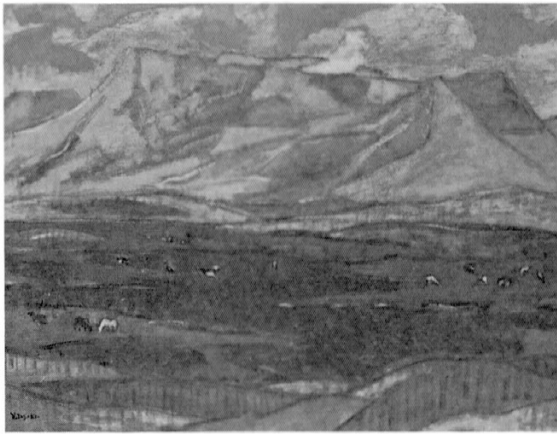
107 追悼 (Per l'anima del figlio)  
(35回新制作展) 伊勢 正義



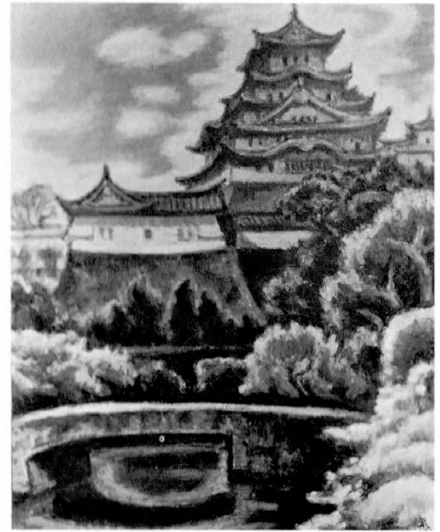
108 西洋人形 (35回新制作展) 小磯良平



109 雲・風・人間 (35回新制作展) 荻 太郎



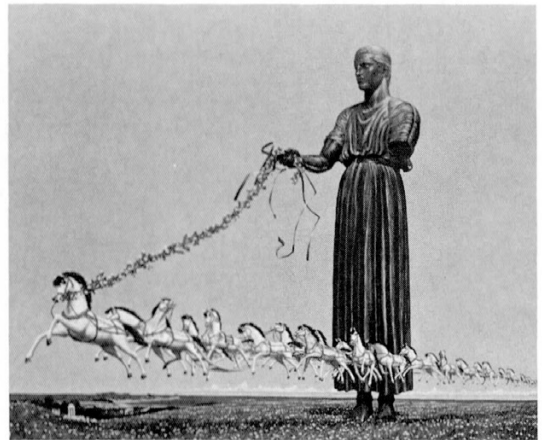
110 阿蘇山の草千里—初秋 (33回—水会展) 田 崎 広 助



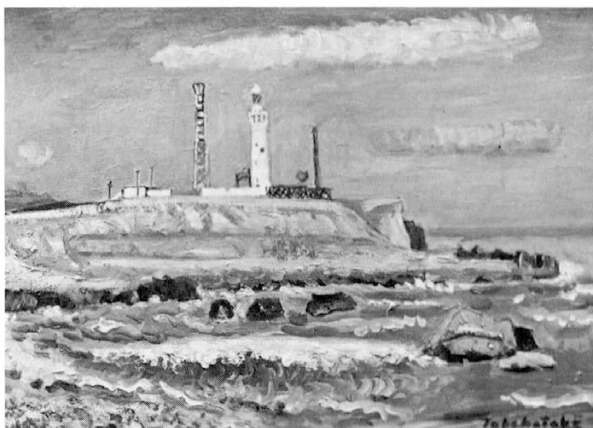
111 白鷺城 (33回—水会展) 小 山 敬 三



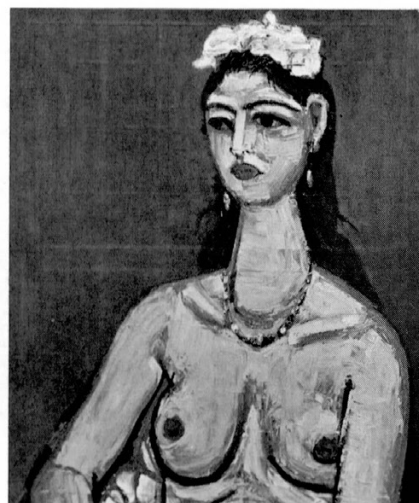
112 老人—マッサージ師 (33回—水会展) 中 村 琢 二



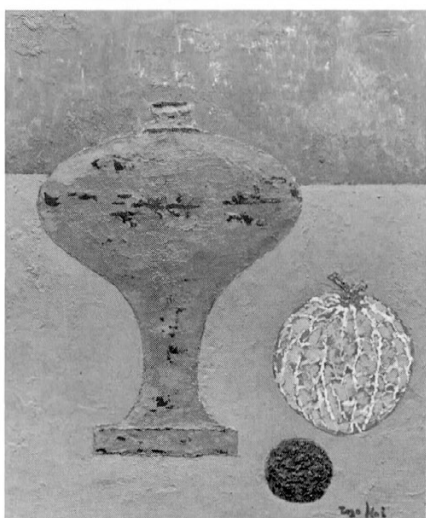
113 馭者の夢 (33回—水会展) 小松崎 邦 雄



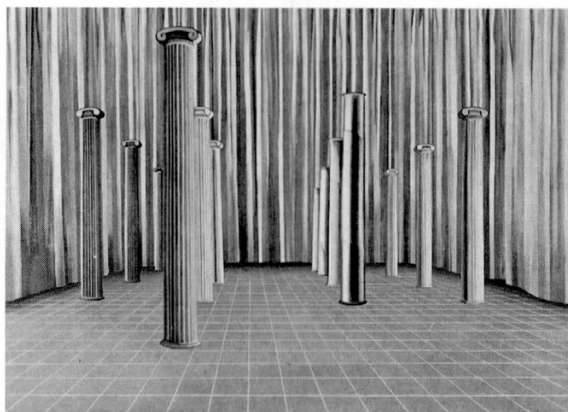
114 犬吠崎燈台 (39回独立展) 高 島 達四郎



115 少女 (39回独立展) 林 武



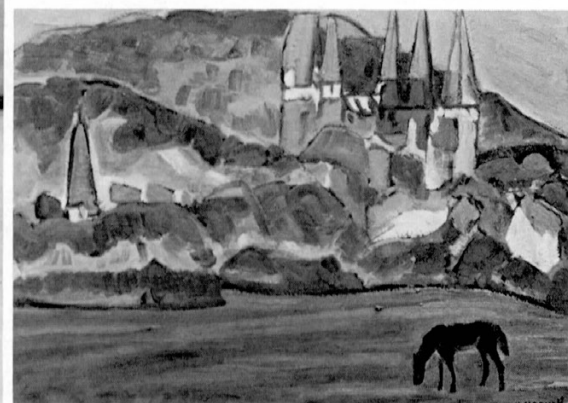
116 瓶子A (39回独立展) 鳥 海 青 児



117 迷路風な…… (39回独立展) 林 敬 二



118 ノルマンディー回帰 (39回独立展) 芝 田 米 三

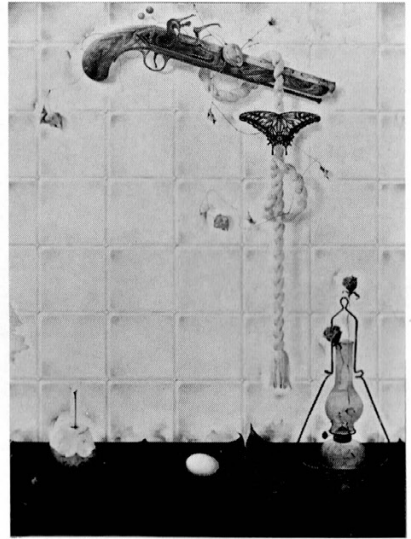


119 シヤトーと馬 (39回独立展) 野 口 弥 太郎





120 広場 (二紀会25周年記念展) 西村 功



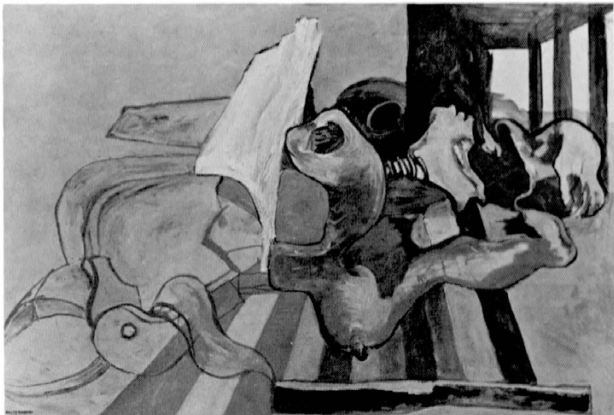
121 たまご・そして銃やランプ  
(39回独立展) 松樹 路 人



122 人形 (二紀会25周年記念展) 田村 孝之介



123 熱叢夢 (二紀会25周年記念展) 宮本 三郎



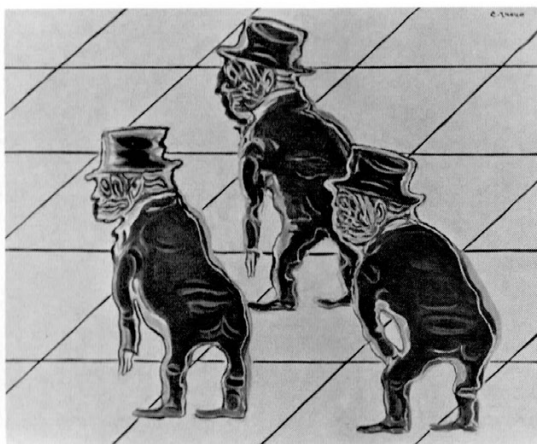
124 モラルの分解 (35回自由美術展) 八幡 健 二



125 砂漠の黒い男 (二紀会25周年記念) 中西 勝



126 冬 (35回自由美術展) 西 八 郎



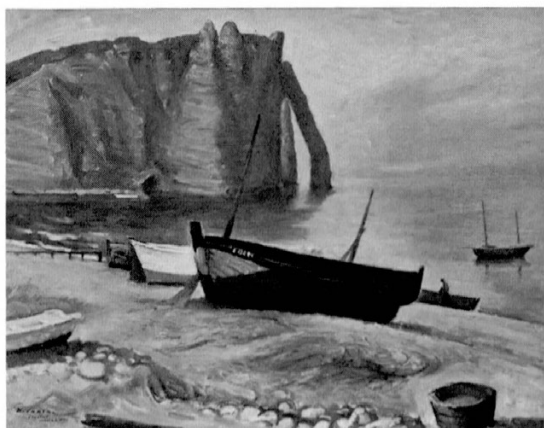
127 失題 (35回自由美術展) 井 上 長三郎



128 とのぐもり (3回日展) 小 絲 源太郎



129 北の漁村 (3回日展) 葛 西 四 雄



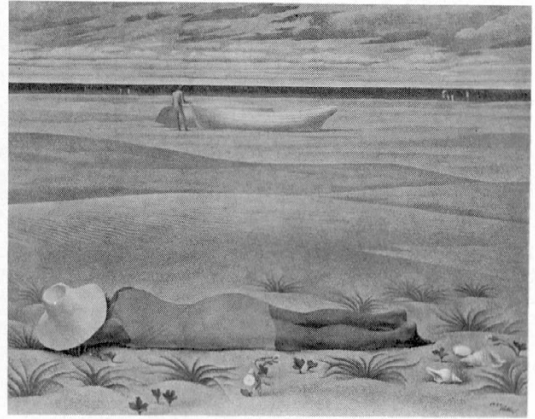
130 黒い船(エトルタ) (3回日展) 伊 原 宇三郎



131 楠若葉 (3回日展) 辻 水



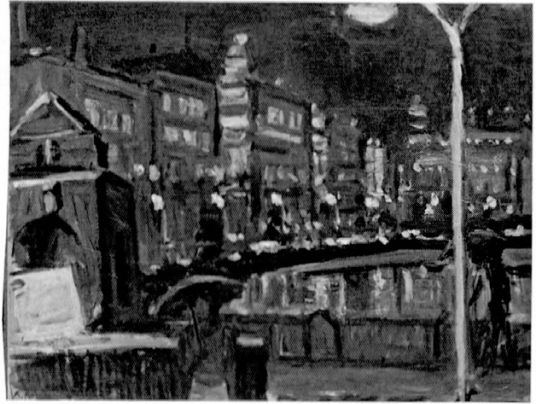
132 古都の祭 (3回日展) 井手宜通



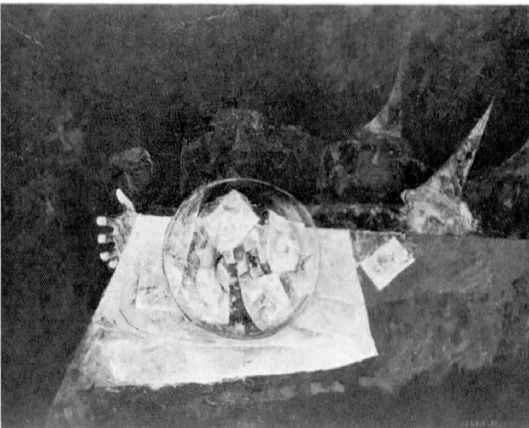
133 海浜の風景 (3回日展) 国領経郎



134 村 (3回日展) 塗師祥一郎



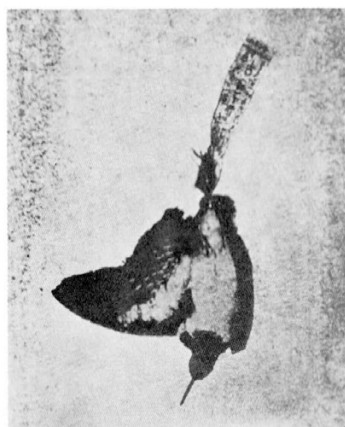
135 雨のお濠端(夜) (3回日展) 檜原健三



136 飯面と男たち (3回日展) 森 勇



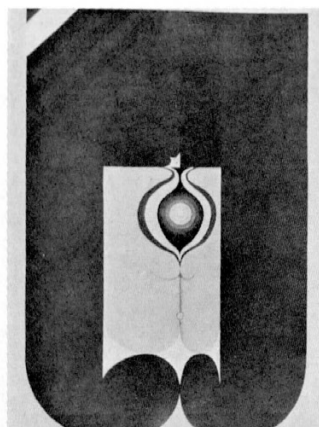
137 雪の鉦山 (3回日展) 斎藤政一



138 シリーズ“博物詩”クマシギの永遠”  
(10回現代日本美術展) 上 矢 津



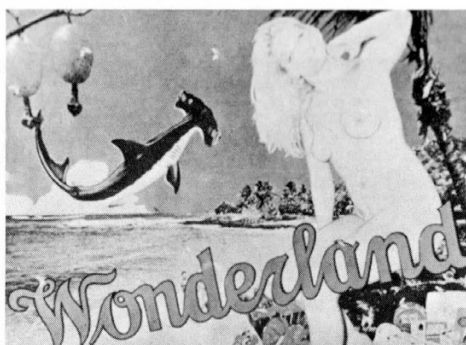
139 笑って (10回現代日本美術展)  
池 田 満寿夫



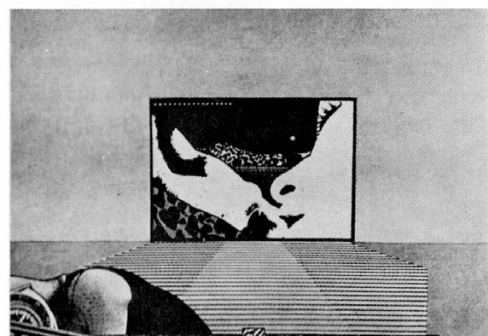
140 世俗の情熱 (39回日本版画協会展)  
天 野 邦 弘



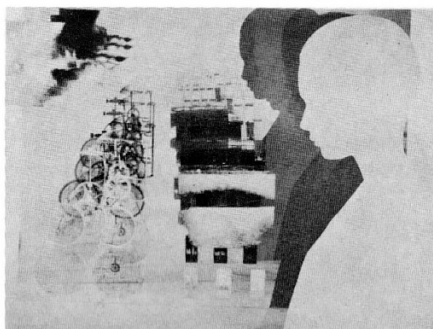
141 From The Dictionary (10回現代日本美術展)  
雲 塚 咲



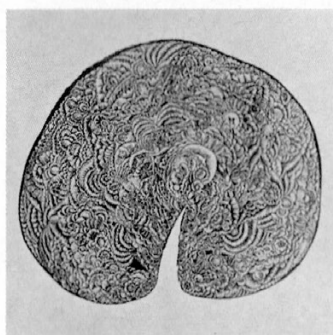
142 ワンダーランド (10回現代日本美術展) 横 尾 忠 則



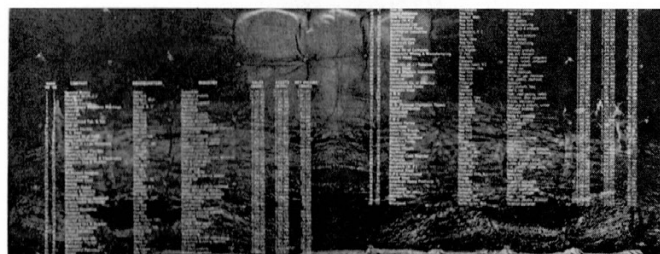
143 風景 (日版協展) 吉 田 穂 高



144 現在位置-26 (日版協展) 木 村 光 佑



145 卵-7 (日版協会展) 日 和 崎 尊 夫



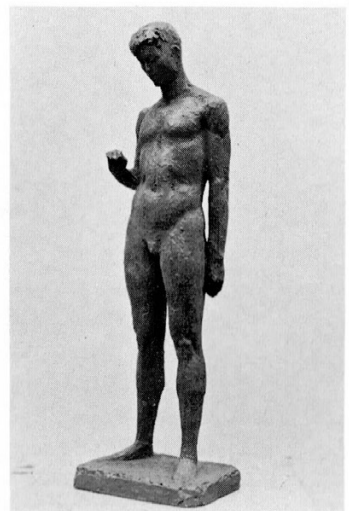
146 月と企業 (10回現代日本美術展) 島 州 一

版 画

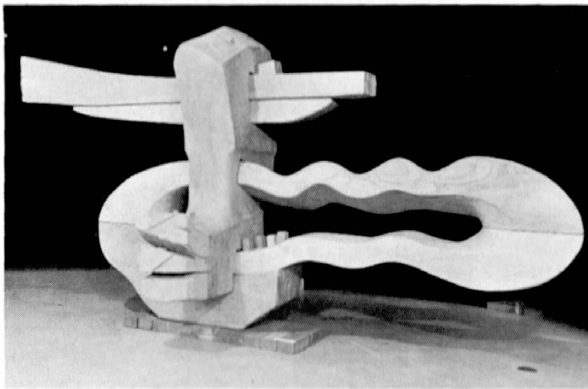




147 湖 (6回昭展会展) 一色 邦彦



148 試作 (47回白日展) 木村 圭二



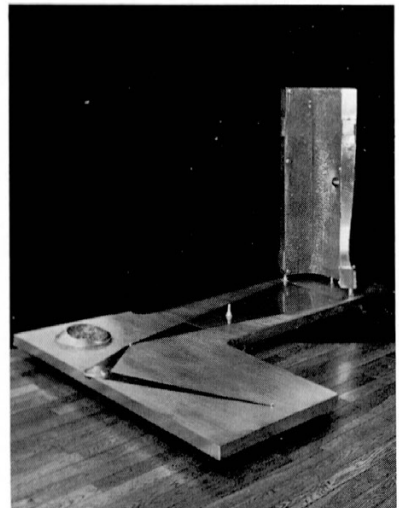
149 如来 (個展) 押尾 豊



150 船壇 (31回美術文化展) 久富 金之

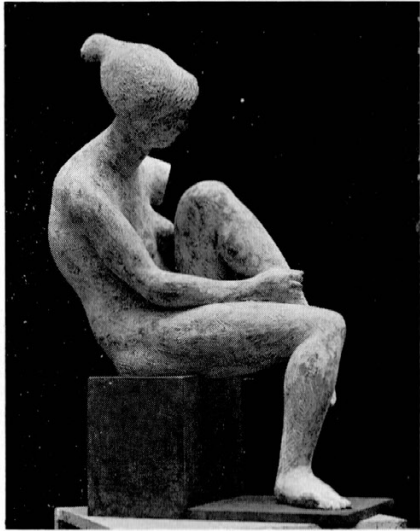


151 最後の棲息地 (45回国展) 川田 清

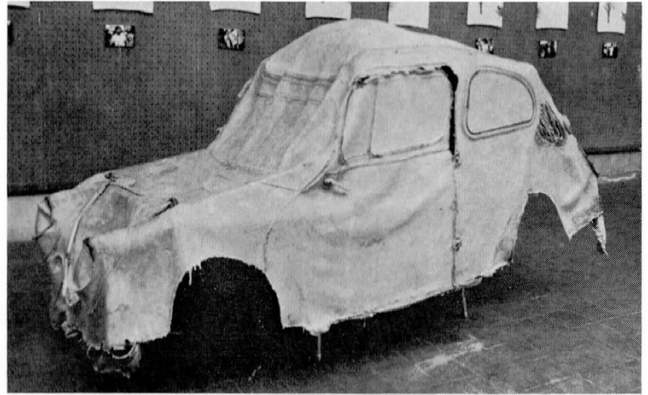


152 遺跡の時刻(2) (45回国展) 堀川 恭

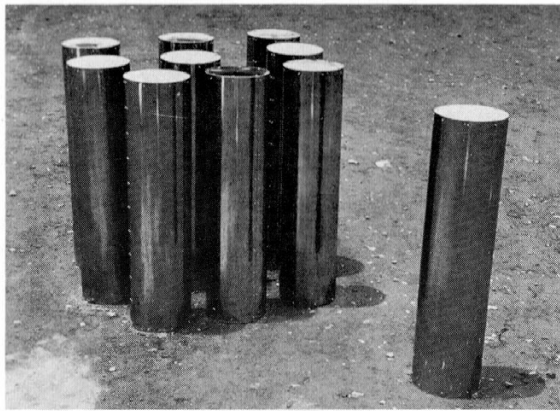
彫 刻



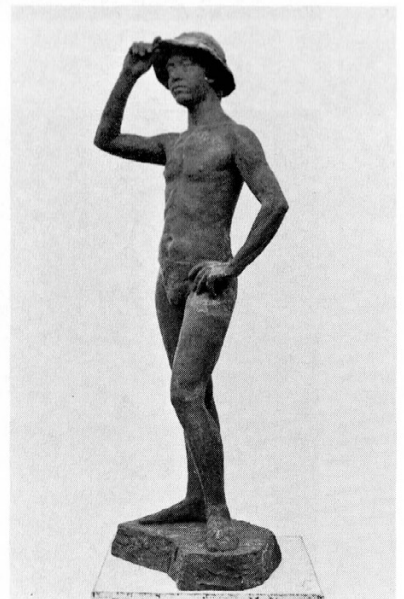
153 靴下をはく女（1回日彫展）峯田義郎



154 車（10回現代日本美術展）魚田元生



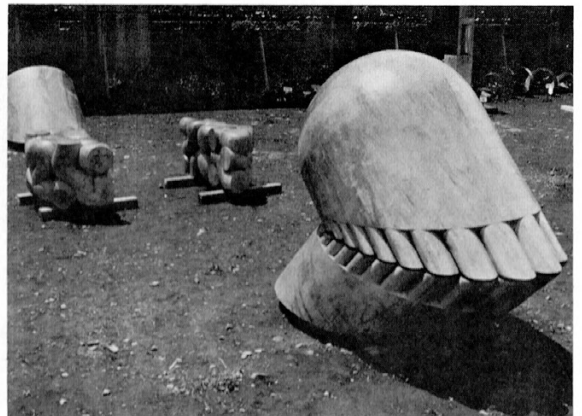
155 個とグループ（2回現代国際彫刻展）奥田善巳



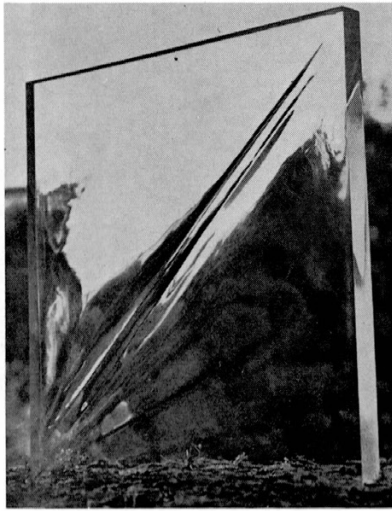
156 海辺にて（67回太平洋美術展）三沢寛



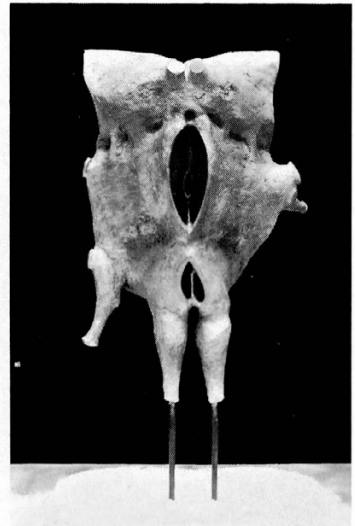
157 裸婦（45回国展）千野茂



158, 過去・現在・未来（2回現代国際彫刻展）横山善一



159 超空間 (4回現代日本美術展) 多田美波



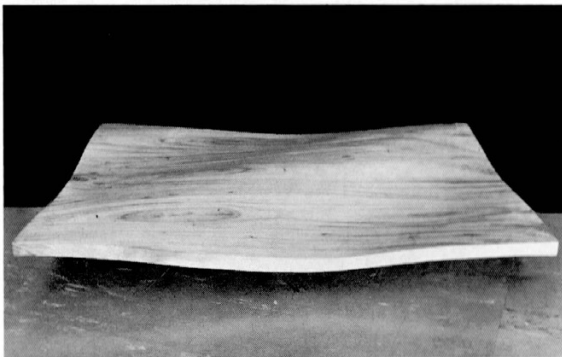
160 存在—無過失(A) (20回創型会記念展) 木村博昌



161 高原 (20回創型会記念展) 福本晴男



162 翼 (25周年記念新樹会展) 佐藤健次郎



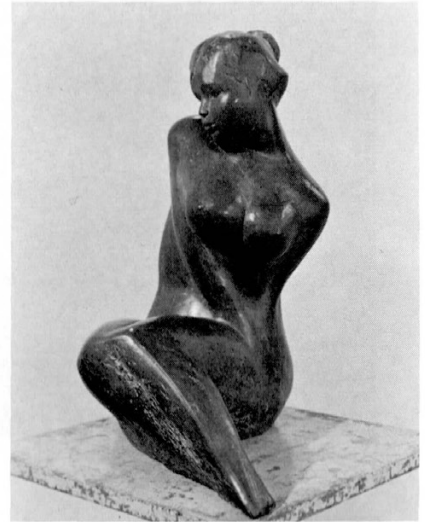
163 空にかける階段 (26回行動展) 富樫実



164 マリア (25周年記念新樹会展) 木内克



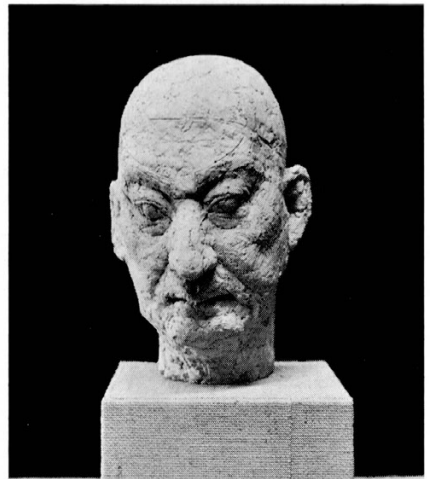
165 GOGO (26回行動展) 建 畠 寛 造



166 桃浦 (17回一陽展) 山 崎 猛



167 北の砂浜 (56回二科展) 淀 井 敏 夫



168 役者の首 (17回一陽展) 植 木 力



169 馬 (17回一陽展) 中 村 輝



170 チャーちゃん (35回新制作展) 佐 藤 忠 良





171 太平洋の壺 (35回新制作展) 小坂圭二



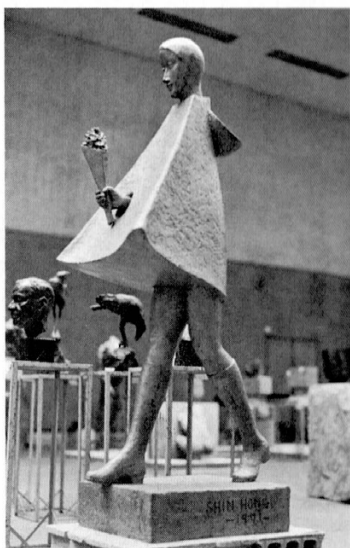
172 O氏(試作) (35回新制作展) 菅原安男



173 原の城 (35回新制作展) 舟越保武



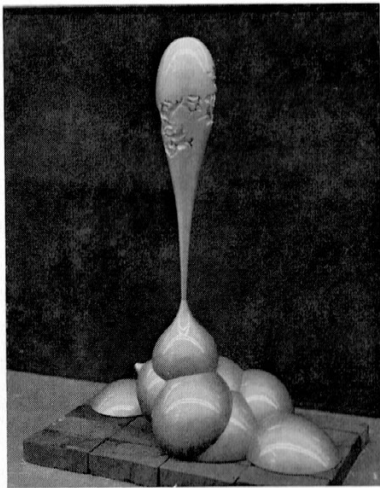
174 海を征くヒエロ (35回新制作展)  
伊東繁



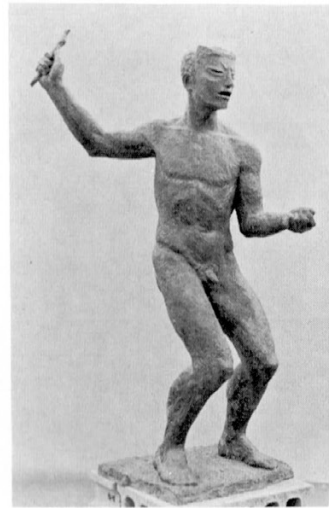
175 花束(橋のための影刻)  
(35回新制作展) 本郷新



176 流入 (二紀会25周年記念展) 小島弘



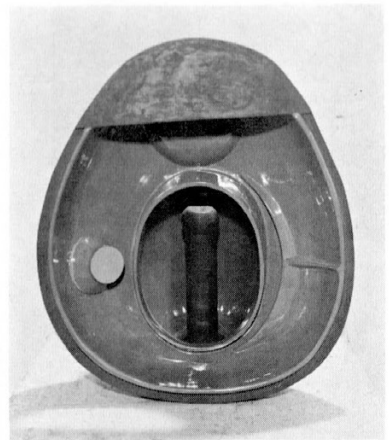
177 人茸 (35回自由美術展) 島田 忠 恵



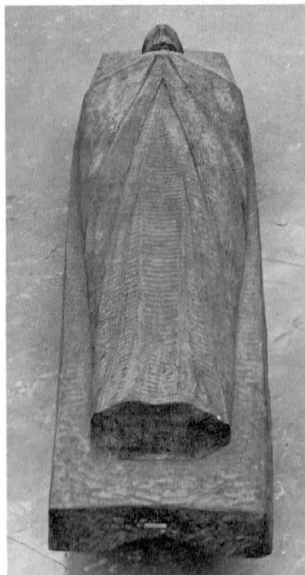
178 馭者 (35回自由美術展) 峯 孝



179 躍動 (二紀会25周年記念展) 木 津 一 夫



180 陰陽神・あたたかい遠い海 (二紀会25周年記念展) 堀 義 雄



181 北の枢 (35回自由美術展) 米坂 ヒデノリ



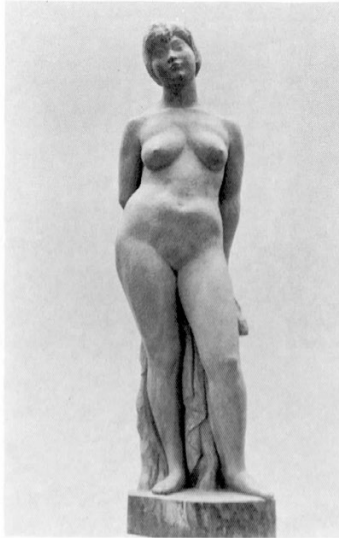
182 十一面観音 (35回自由美術展) 田 島 義 朗



183 立つ (二紀会25周年記念展) 矢 形 勇



184 姉妹 (3回日展) 中村喜平



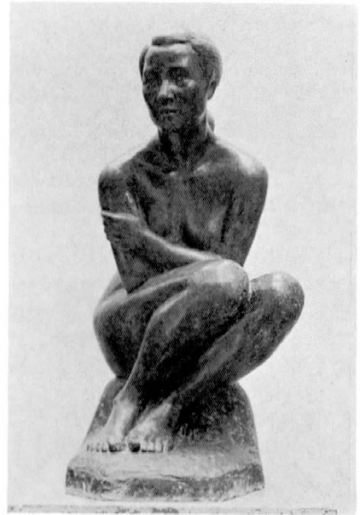
185 布をもつ (3回日展) 古川順三



186 なげくおんな (3回日展) 上野弘道



188 蒼河 (3回日展) 和田金剛



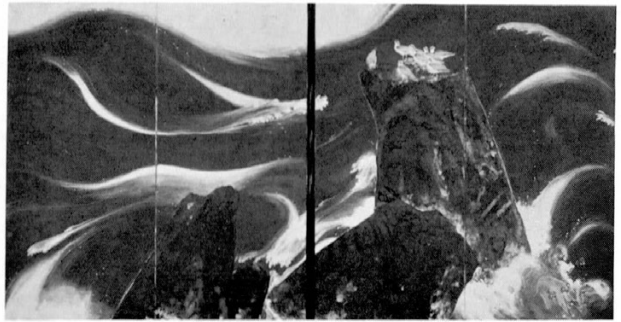
189 蹲 (3回日展) 安田周三郎



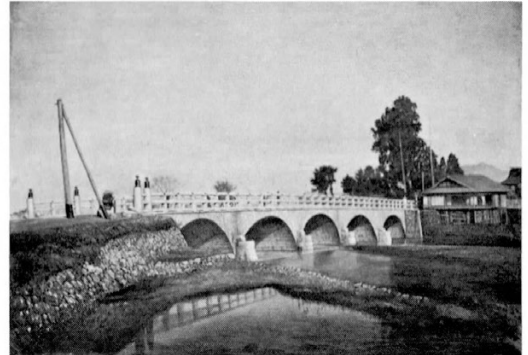
187 荒野の精 (3回日展) 武部豊



190 男の顔 (デッサン・水彩・版画展)  
海老原 喜之助



191 荒磯 (平福百穂展) 平 福 百 穂



193 酢川にかかる常盤橋 (高橋由一とその時代展) 高 橋 由 一



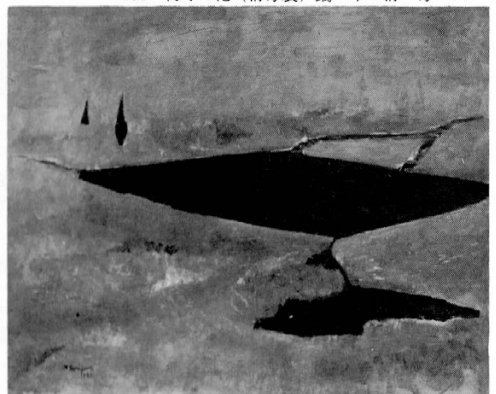
192 うづくまる (22回独立展) 鳥 海 青 児



194 初冬の花 (清方展) 鐘 木 清 方



195 折鶴幽染赤絵瓶 (小合友之助・河合卯之助二人展) 河 合 卯 之 助

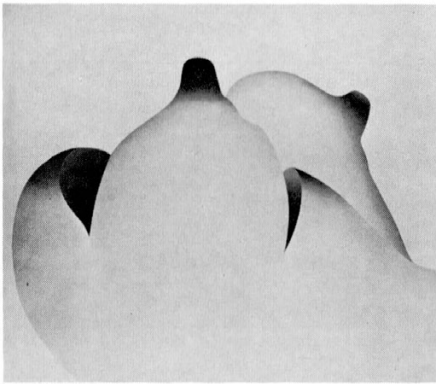


196 水 (近代作家の回顧) 山 口 薫

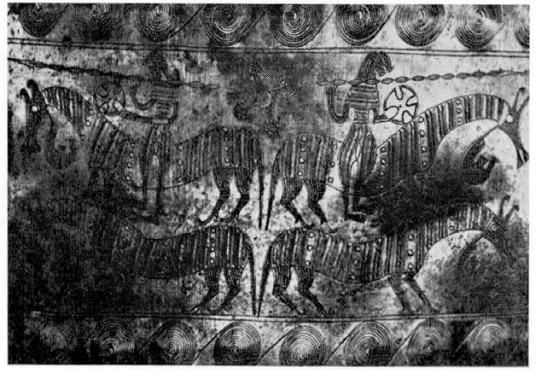
回 顧

遺 作





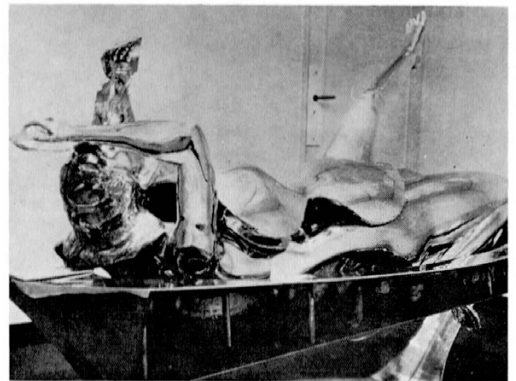
197 胸の傷 (現代ドイツ美術館)  
ランベルト・マリア・ヴァインテルスベルガー



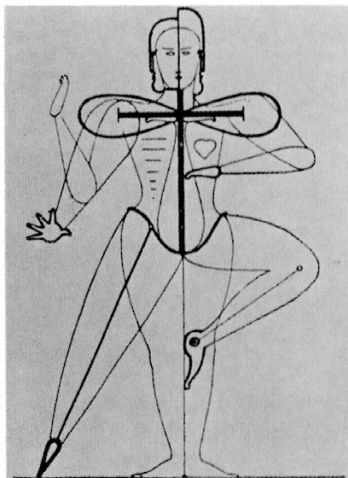
198 狩猟文 (ソ連所蔵名品百選展)



199 エジプトのマリア (ドイツ表現派展) ノルデ



200 湯浴みする女 (2回現代国際彫刻展) イプステギ・ジャン



201 非物質化 (バウハウス50年展)  
シュレンマー・オスカー



202 グロテスクな a ジェイムス・メルチャート



203 肖像 (ルネ・マグリット展)

外 国

本 欄

## 昭和46年美術界年史

## 1 月

- 毎日芸術賞 第12回毎日芸術賞の美術部門は宇治山哲平(国画会々員、国際アートクラブ会員、大分県立芸術短大教授)に与えられた。
- 東日本から七枝刀が初出土 栃木県小山市の古墳発掘現場から朝鮮製の七枝刀が26日に出土した。国内には石上神社の御神体となっている百済王から倭王に贈られたものがあるのみで、古墳にあるとは予想されていなかったものの出土に注目が集まっている。
- 文化庁購入作品 文化庁では昭和45年度に発表された作品の中から、つぎのものを購入することになった。  
日本画 佐藤太清「緑雨」(日展出品)  
洋画 糸園和三郎「ひとり」(二人展出品)、楢原健三「夜景」(日展出品)  
版画 吹田文明「雨のあと」(日本版画協会出品)  
彫刻 大須賀力「若い女」(日展出品)

## 2 月

- バウハウス展 今世紀前半の最も重要な美術教育施設であり、また総合的な美術運動でもあったバウハウスの活動を追跡する展覧会が6日から3月21日まで東京国立近代美術館で開催された。主催は同館とドイツ大使館。

## 3 月

- 大津京の発掘始まる 幻の都として所在地さえ定かでない大津京の推定地発掘調査が滋賀県教育委員会の手で1日より始まった。47年5月に完了予定の大発掘。
- 新潮芸術大賞 第3回新潮文芸振興会主催・日本芸術大賞には日本画の石本正、洋画の地主俤助が選ばれ4日発表された。
- 安井賞 第14回安井賞展選考委員会(財団法人安井曾太郎記念会、毎日新聞社主催)は4日、山本文彦「語りⅠ」を安井賞に、斎藤真一「みさを誓女の悲しみ」を佳作賞に選んだ。それらは62作家の66点の作品とともに5日から15日まで池袋西武百貨店で開催される展覧会に出品される。

- 学士院賞 本年の美術関係の学士院賞は下村寅太郎(東京教育大学名誉教授、学習院大学文学部教授)の「ルネッサンスの芸術家」(筑摩書房)に与えられることが12日発表された。フィレンツェの、とくにレオナルド・ダ・ヴィンチの芸術活動に近代の実験科学形成の源泉をみる精密な研究と考察が評価されたものである。
- 芸術選奨 45年度(第21回)芸術選奨の文部大臣賞に日本画の石本正、洋画の岡田又三郎、新人賞に彫刻の保田春彦が19日に決った。
- 狩野山楽展 桃山画壇に華やかな足跡を残した狩野山楽の、画業の全貌を紹介する展覧会が3月20日から4月11日まで京都市立美術館において開催された。展示は基準作、推定作、問題作に分けて組織的に構成され、「車争図屏風」(重要文化財)その他や新発見の人物図、十六羅漢図などを含む120余点を一堂に集めたもので山楽芸術の精華を鑑賞することが出来ると同時に、研究者にとっても非常に有意義な展覧であった。
- 沖縄で日本古美術展 本土復帰を一年後に控えた那覇市の琉球政府立博物館において「日本古美術展一くらしの中の美」が3月20日から4月18日まで開催された。これはサントリー美術館の所蔵品の中からの国宝、重文を含む約百点による展覧で、一昨年サントリー美術館が府立博物館の協力によって開催した「沖縄の染織展」の返礼として行なったものであった。
- 重要文化財(美術工芸品)と無形文化財の指定 文化財保護審議会は29日、美術工芸品関係の貴重な文化財として新たに60件を指定した。絵画は京都府宇良神社の浦島明神縁起一卷(室町時代)、京都東福寺普門院の方丈障壁画74面(江戸時代)、東京国立博物館の岸田劉生筆「麗子微笑」、唐津市鏡神社の高麗仏画の傑作、楊柳観音像など15件。彫刻は舞鶴市松尾寺の快慶作阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)、京都市真珠庵の木造一休和尚坐像(室町時代)、兵庫県小野市浄土寺の木造菩薩面25面(鎌倉時代)など11件。工芸は京都市豊国神社の蒔絵唐櫃三合など13件。書跡は京都大学保管の教王護国寺文書354巻27帖6幅(平安~桃山時代)、梅沢記念館の新撰朗詠集上下一帖(鎌倉時代)、藤田美術館蔵溪溪広沢墨蹟一幅(中国南宋時代)などの15件。考古は神戸市所蔵花鳥文銀杯6口(中国唐時代)、文化庁蔵千葉県八街町出土「山辺郡印」銅印(奈良時代)などの6件である。無形文化財は献上博多織の小川善三郎および日本刀の月山昇(本名貞一)に指定された。

○米寿記念前田青邨展 近代日本画の歴史に輝かしい足蹟を残す前田青邨の米寿を記念して新作3点を含む83点の回顧展が、朝日新聞社主催により東京日本橋高島屋で、30日から4月4日まで開かれた。同展は18日から大阪、25日から名古屋のいずれも高島屋で開催された。

## 4 月

○近代日本美術における1930年展 3日から5月16日まで東京国立近代美術館で開催された。59作家の作品や資料を陳列。明治末年から大正期にかけて輸入された主観を強調する後期印象派からフォーヴィスム、キュビズムなどの、当時としては前衛的な諸傾向のうち、しだいに成熟してきたフォーヴの傾向を中心とする1930年協会や大正のブルジョア文化を批判して一部の知識人と労働者に訴えたプロレタリア美術を軸として1930年前後における画壇の動向の切断面を示す展観であった。

○芸術院賞 第27回芸術院賞の美術関係者は日本画の吉岡堅二(受賞対象34回新制作展出品「鳥碑」、新制作会員、東京芸大教授)、洋画の高光一也(2回日展出品「緑の服」、日展評議員、公立金沢美術工芸大教授)、木彫の水船六州(2回日展出品「紡ぎ唄」、日本彫塑会会員)、陶芸の吉賀大眉(2回日展出品「連作曉雲」、日展審査員、私立山口芸術短大教授)、建築の海老原一郎(「尾崎記念館」など一連の建築作品)、書の大石隆子(日展評議員)、金田心象(日展評議員)である。

○海老原喜之助展 13日より18日まで東京日本橋高島屋で開催。1970年9月にパリで客死した海老原喜之助の生涯を回顧し、彼を讃える企画として115点の油彩を陳列した。彼は早くからパリに渡り1920年代の末からカンピリやジャコメッティたちと並んで国際的な評価をえた数少ない日本人画家の一人であり、その後も絶えず新しい試みを重ねて続けていた現代日本における最も重要な画家の一人であった。それだけに、その死は深く惜しまれて、この油絵展のあと8月21日より神奈川県立近代美術館において「海老原喜之助デッサン・水彩・版画展」も開催された。これらの両展覧会とも国内数ヶ所に巡回された。

○社寺縁起絵展 日本各地で大きな信仰を得ていた神社・寺院の縁起絵の諸相を展望した社寺縁起絵展が4月24日から1ヶ月、奈良国立博物館において開催された。鎌倉～室町時代の作品を中心に主要作品を殆んど網羅し、絵画史のみならず風俗史、文化史の研究にも貴重な資料を提供した展観であった。

## 5 月

○ルネ・マグリット展 ベルギーの生んだシュルレアリスムの代表的画家の一人ルネ・マグリットの大規模な展覧会がベルギー文化省、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、毎日新聞社の主催で(東京22日―7月11日、京都7月20日―9月5日)開催された。油彩66点、グワッシュ、素描40点で、イメージの世界の驚きと豊かさを改めて人々に訴えた。

## 6 月

○ユーゴスラビアの国際版画ビエンナーレで木村光佑に大賞 ユーゴのリュブリアナで6月5日から8月31日まで開かれた第9回国際版画ビエンナーレで木村光佑がグランプリ(国際大賞)を受賞した。第4回展では浜口陽三が同じ国際大賞を得ている。

○シュル美術賞 第15回シュル美術賞は「日本画の伝統を新しく開発する」というテーマで行なわれた。一等・青山亘幹、二等・西真、三等・相笠昌義、石黒直子、山岸俊治。入賞作品展は8月26日から30日まで東京霞が関ビル1階プラザホールで開かれ、ついで京都市立美術館、愛知県文化会館にも巡回された。

○近世異端の芸術展 曾我蕭白・長沢芦雪を中心に伊藤若冲を加えて江戸の異端の画家の展覧会が6月下旬から2週間にわたり東京新宿の小田急百貨店において開催され、何ものにもとらわれない大胆で鮮烈な個性的表現が多くの人々の眼をとらえ多大の反響を呼んだ。

## 7 月

○現代国際彫刻展 人間像というのは彫刻にとってはいつも古くて新しいテーマであるが、「現代世界の人間像」のテーマの下に箱根の彫刻の森美術館が主催する第2回国際彫刻展は7月1日から11月30日まで開かれた。

○高橋由一とその時代展 開館20周年を記念して鎌倉の神奈川県立近代美術館は17日から8月15日まで日本洋画黎明期を飾る高橋由一を中心として、同時代の作家の作品を含む約200点を陳列した。司馬江漢、川上冬崖、ワグマン、フォンタネージら先輩や師に当る人々や五姓田芳柳、義松、下岡蓮杖、浅井忠など同時代者の作品と併せて日本近代化の美術における西欧との対応を再検討する優れた企画であった。



## 8 月

- 「文化財建造物保存技術協会」発足 神社や寺院その他文化財建造物の修理保存のための技術者を確保、養成するため文化庁が設立を急いでいた財団法人「文化財建造物保存技術協会」は4月13日に発起人総会を開き、6月21日付で設立が許可され、8月1日より事業を開始した。理事長には有光次郎東京家政大学々長が選ばれた。
- 円空学会設立 円空上人の人と作品を研究する円空学会の設立総会が8月8日に開かれた。発起人は飯沢匡、河北倫明、谷川徹三などの諸氏。
- 御物を中心とする日本美術展 両陛下の訪欧を記念して正式訪問国であるイギリス・ベルギー・西ドイツで公開される御物、国宝、重文等20余点の国内展示が18日から22日まで東京国立博物館において行なわれた。

## 9 月

- 若冲展 鶏や花鳥魚介等を、鋭い観察眼から大胆なフォルムと構成にまとめ、装飾的画風に托して強烈な個性を主張した江戸時代の異色画家伊藤若冲の展覧会が9月15日から10月10日まで、東京国立博物館において開催された。出陳作品の中には御物「動植絵」30幅を始め米國からJ・ブライス所蔵のものなど、鑑賞の機会があまりない貴重な作品も含まれ、近世異端の画家が再評価されつつある気運の中に貴重な一石を投じたものとして注目を集めた。
- 国立西洋美術館購入の三点の作品の処置に結論 西洋美術館が昭和39年から40年にかけて購入したモジリアニのデッサン「女の顔」、ドランの油彩「ロンドンの橋」、デュフィの油彩「アンジュ湾」の3点は国際的な偽作販売者の手から購入していることが明らかで、作品の真偽の確実な決定は困難であるが今後館内での展示を行わないということで一応の結論をえたことが18日に文化庁より発表された。この間この購入問題はジャーナリズムによって好んで取上げられたが、これを一つの機会として、従来、乏しい購入予算と調査費でまかなわれていた購入方法等に多少の改善が行なわれたことは注目してよい。
- 大覚寺の障壁画の模写始まる 京都大覚寺の障壁画の代表作を模写する作業が27日から始まった。総括責任者に土居次義京都工織大名誉教授が当り日展の松元道夫等三人で復元も兼ねた折衷模写を行ない、十ヶ年計画で代表作を写し原作は収蔵庫に納めることとなった。

## 10 月

- 国宝・重文の行方不明・所有者変更など 世界の三大聖旗の一と言われる天草四郎時貞の「陣中旗」(重文)が昭和39年頃から行方不明になっていることが判り既に海外に渡っている恐れもあると憂慮されている。また京都の教王護国寺は昭和34年頃から国宝・重文を含む50件の寺宝を文化庁(国宝十二天像)、天理図書館(国宝類聚名義抄など)、世界救世教(重文童子経曼荼羅など)、その他に経済的理由から売却していたことが明らかになった。更に図録「在外秘宝」(学習研究社)に東寺の秘本「九曜秘曆」(未指定)がニューヨーク市立図書館所蔵として紹介されて初めて売却されていたことが判り、未指定文化財の海外流出の危機が改めて強く叫ばれた。此等の文化財の売却はその量と質の高さと、連絡を受けなかった京都府教育委員会の東寺・文化庁に対する不満が伝えられて注目を集めたが、所有者の経済的内部事情と国民的視野からの文化財保護の立場との交錯による事態と、これを解決出来ない文化財購入予算の不足という現状を浮彫りにした。
- 東京セントラル美術館開館 5日に東京・銀座2丁目に東京セントラル美術館が鳥海青児展(画業50年記念毎日新聞社主催)とともに開館した。美術画廊彩壺堂の経営になるもので、数年前にマツダビル9階にあった同名の美術館とは別である。
- 鍋木清方展 明治・大正・昭和の三代にわたって浮世絵の伝統に基く美人画で親しまれてきた鍋木清方の自選大回顧展が8日から20日まで銀座・松屋で開かれた。毎日新聞社が明治2年以来その創刊百年記念を兼ねて主催するものであり、代表作77点が陳列された。
- 平安時代の彫刻展 日本彫刻史の中で最も変化に富む平安時代の彫刻の仏像・神像・仮面併わせて約140点を一堂に展覧した大展覽会が東京国立博物館において10月13日より開催された。出品は近畿地方はもとより東北、九州、佐渡などの諸地方から従来東京では未公開の作品が多数一堂に展示され、力強い表現が多くの人々を魅了し盛況のうちに11月28日に終了した。
- 文化勲章 本年度の美術関係の文化勲章受賞者は志野および瀬戸黒の重要無形文化財技術保持者である陶芸家荒川豊蔵に決定し、27日発表された。
- 重要文化財(建造物)の指定 文化財保護審議会は29日、民家を中心に25件の建造物を重要文化財に指定した。その中には岐阜県白川村の合掌造り民家「旧遠山家住宅」、重文の建造物としては日本最北端になる北海道留萌郡小平町のにしん漁の番屋「花田屋番屋」など民家21件、岐阜県吉城郡神岡町の瑞岸寺薬師堂、奈

良法隆寺境内にある旧富貴寺羅漢堂、福岡市の福岡城南丸多聞櫓などが含まれている。

## 11 月

○**重文の経筒など盗難** 福岡県粕屋郡の宇美八幡宮で筑前国四王寺跡経塚群出土品として一括して重文に指定された19件のうち、経筒など14点が盗まれていることが20日発見された。此等は戦前に太宰府の四王寺跡から出土し、昭和15年に国宝(旧)に指定されていた。

○**芸術員新会員** 27日昭和46年度の欠員補充投票の結果第一部(美術)は日本画家橋本明治、山口華揚(いずれも日展所屬)に決定した。書は松本芳翠(日展)であった。なお第三部(演能)の新会員に決った萩江露友は前田青邨夫人である。

○**ゴヤ展と外国美術展** 16日より1月23日まで東京国立西洋美術館で、1月29日から3月15日まで京都市美術館で、毎日新聞創刊百年記念事業の一環として、同社、スペイン政府、国立西洋美術館、京都市の共催でスペイン近代の画家ゴヤの展覧会が開かれた。油彩39点、版画56点、素描55点と、特別陳列として晩年の自邸「驛の家」に描いた「黒い絵」のシリーズ14点が原寸大写真に復原して出品された。「裸のマハ」、「着衣のマハ」が注目の的であったが、極めて珍らしい初期の小品なども出品された例の少ない興味深い展覧会であった。なお外国美術の紹介は近年ますます旺ん

になり、1月のジュネーヴのプティ・パレ美術館展(日本橋・高島屋)、4月のソ連所蔵名品百選展(東博、京博)、5、6月のニューヨーク近代美術館所蔵水彩素描展(国立西洋美術館)、7月のルネ・マグリット展、9月のペルシャ美術展(日本橋・東急)、マリー・ローランサン展(新宿・伊勢丹)、10月の現代ドイツ美術展(東京国立近代美術館)、ローマ・バロック展(国立西洋美術館)、ルノワール展(池袋・西武)、デヴォンシャ公爵家の所蔵する「巨匠デッサン展」と近世英国興隆展(日本橋・三越)、ルオー展(吉井画廊、京都市美術館)、モロー展、ブールデル展(セントラル美術館、大阪・フジカワ画廊等)、11月のボルドー美術館展(神奈川県立近代美術館)などがその主なものであり、百貨店や画廊の主催する現代作家展は他にも数多く開かれた。

## 12 月

○**美術品のオークション会社誕生** 美術品の大衆化ともなつてわが国にも外国並みに一般の美術愛好家を対象としたオークション形式による作品売買の制度の設立が期待されていたが、日本美術品競売株式会社が銀座の著名な七画廊の共同経営によって発足し、5日銀座の日本洋画商ホールで水彩、素描、版画を対象とした第1回オークションが催された。セザンヌ、ゴーガン、浅井忠、梅原竜三郎から池田満寿夫まで136点がセリにだされ、うち78点4,779万余円が取引された。

# 主要美術展覧会

## 〔現代美術〕

### 1 月

今日の日本画 (第1回山種美術館賞展) 4—3月28日 山種美術館

#### 出品目録

鉢 東 雁 受 風 舞 灯 捨 四 霽 取 孤 清 天 涅 眩 仔 訶 風 菩 幻 多 雉 ひ 広 裂 街 此 翔 明 6と2/7 KI オ 犬 木 八 女 急	中 海 刑 の 刻 景 醫 て た 場 所 記 行 く 平 原 穂 影 夜 一 槩 少 年 母 神 の 不 在 子 野 り 野 角 落 鳥 は MODO ホ ツ ク の 太 郎 義 謙 展 樹 会 展 流 画 家 合 同 展 日 動 画 廊	天 月 月 刻 景 醫 場 所 記 平 原 穂 影 夜 一 槩 少 年 母 神 の 不 在 子 野 り 野 角 落 鳥 は MODO ホ ツ ク の 太 郎 義 謙 展 樹 会 展 流 画 家 合 同 展 日 動 画 廊	穂 上 大 大 大 小 川 幸 後 近 佐 多 見 下 篋 月 東 中 那 西 根 福 堀 松 水 山 岸 渡 純 以 男 嵩 夫 定 一 彦 治 男 明 久 郎 朗 寛 人 貴 顯 波 哉 昭 二 郎 喜 美 恵 兒 人 子 二 男 子 邦 純 学	明 響 淳 以 男 嵩 夫 定 一 彦 治 男 明 久 郎 朗 寛 人 貴 顯 波 哉 昭 二 郎 喜 美 恵 兒 人 子 二 男 子 邦 純 学
---	--	---	---	---

鉄齋の名作展 6—2月11日 大阪市立美術館  
 最上寿之彫刻展 7—16 ときわ画廊  
 吉田克朗展 8—16 シロタ画廊  
 松谷武判個展 8—17 大阪・立体ギャラリー-射手座  
 李禹煥展 9—23 ビナール画廊  
 宇治山哲平アンコール展 9—16 壱番館画廊  
 知求会春季展 11—16 地球堂ギャラリー  
 谷角日沙春回顧展 11—16 丸善画廊  
 小清水漸個展 11—24 田村画廊  
 彫塑五人展 12—17 三越(古賀忠雄・桜井祐一・佐藤忠良・舟越保武・本郷新)  
 寺門晃個展 12—2月2日 第七画廊  
 富嶽展 15—20 大丸  
 八木一夫展 15—24 伊勢丹  
 ブルデル展 16—30 現代彫刻センター  
 ドイツ表現派展 17—3月14日 国立西洋美術館  
 脇田和版画展 18—30 南天子画廊  
 堀口泰造テラコッタ彫刻展 20—30 日本橋画廊  
 ムンク展 20—2月14日 京都国立近代美術館  
 白士会展(6回) 22—28 美術協会会館  
 川合玉堂展 22—2月3日 渋谷・西武  
 現代インド絵画展 24—2月14日 京都市美術館  
 長浜光輝朝書展 25—30 柳屋画廊  
 木村光佑個展 26—2月4日 紀伊国屋画廊  
 古沢岩美代表作展 30—2月24日 東急日動画廊

### 2 月

能仲ヤツヲ個展 1—7 夢土画廊

森義利回顧展 2—7 伊勢丹  
 宮田三郎木版画展 2—7 銀座・三越  
 昭和会展(6回) 4—17 日動サロン  
 菅井汲新作版画展 5—11 京王パウハウス展 6—3月21日 東京国立近代美術館  
 黒田重太郎遺作展 7—3月7日 京都市美術館  
 中央公論新人展 8—13 中央公論画廊  
 桂川寛個展 8—13 日本画廊  
 原精一滯欧小品展 8—20 吉井画廊  
 秀島由己男個展 8—20 南天子画廊  
 神奈川県美術展 13—18 神奈川県立近代美術館  
 立軌展(23回) 16—21 銀座・三越  
 18回日府展 18—27 都美術館  
 24回アンデパンダン展(日本美術会) 18—3月2日 都美術館  
 押尾豊個展 19—25 壱番館画廊  
 15回新槐樹社展 19—3月2日 都美術館  
 7回東京国際版画ビエンナーレ展 20—3月21日 京都国立近代美術館  
 フランス近代絵画展(ルノワールからローランサンまで) 23—28 三越  
 河口龍夫個展 23—28 京都・木屋町画廊  
 10周年記念大調和展 25—3月3日 都美術館  
 中西勝個展 26—3月2日 日生会館国際ホール  
 斎藤真成展 26—3月2日 日生会館国際ホール  
 奥瀬英三展 27—3月10日 東急日動画廊

### 3 月

日本南画院展 1—6 都美術館

美術展覧会(3月)

林重義回顧展 1-10 大阪・梅田  
画廊三番街店  
小清水漸展 1-13 ピナール画廊  
向井久万作品展 1-13 彩壺堂サ  
ロン  
荻須高德新作小作品展 1-13 ギャ  
ルリー・ためなが  
建皇覚造個展 1-20 第七画廊  
森田茂油絵展(10回) 2-7 三越  
鈴木満個展 2-7 高島屋  
浅井忠・黒田清輝(100万人の展覧会・  
第9回名作展) 2-14 岡山県総  
合文化センター  
1971年京都アンデパンタン展 3-  
16 京都市美術館  
館蔵近代日本画展 3-28 岡山美  
術館  
21回一線美術展 4-16 都美術館  
31回美術文化展 4-16 都美術館  
会員出品目録  
受胎(B) 武政 忠  
受胎(A) 〃  
人間曼陀羅(2) 露木 康雄  
人間曼陀羅(1) 〃  
F L - 29 植田 峻弘  
F L - 30 〃  
形象>密教<1 島田 雄二  
形象>密教<2 〃  
緑とピーマン  
(2) 後藤 啓八郎  
緑とピーマン  
(1) 〃  
於能基呂山之命  
脈 藤田 龍児  
トルソーとヤン  
グリングス 坂東 青樹  
NYMPH 〃  
生の樹 〃  
大日如来 大西 弘之  
愛染明王 〃  
ルイ 長野 弥生彦  
まるの範囲 V 森 幸彦  
まるの範囲 VI 〃  
まるの範囲 VII 〃  
双不動 犬塚 政己  
萌え出づる春  
連作(1) 市川 重治  
安見見得たり  
連作(2) 〃  
餓鬼の後  
北山につらなる  
雲 〃

樹 (A) やましたせいぜ  
ん  
樹 (B) 〃  
失いし時を求め  
て II 村岡 和雄  
失いし時を求め  
て I 〃  
軍事基地 中村 博  
原爆渦 〃  
よみがえれ…B 今村 市久  
よみがえれ…A 〃  
詩象 B 森中 喬章  
詩象 A 〃  
作品黒 2 栗田 フジオ  
作品黒 3 〃  
作品黒 1 〃  
幻想的な南の島  
々 入来 天  
傍観者 阿久津 寿之  
兆 〃  
埋葬 〃  
枯木 川元 願山  
弁天体としての  
鳳凰堂私観 〃  
石像 〃  
木喰仏(阿弥陀) 猪飼 重明  
聖天 〃  
木喰仏(十一面  
観音) 〃  
白夢 A 岡田 徹  
白夢 B 〃  
はなのうた 松代 中  
はなのうた 〃  
花のうた 〃  
作品70「Part-  
from-VII」 吉岡 治美  
作品71「Huma-  
n-part-II」 〃  
作品 71 山崎 貴英子  
阿修羅 戸川 金雄  
スフィンクス 〃  
異生物の園 〃  
怨火 山川 誠嗣  
野仏 水野 孝通  
陥穿 ① 小 〃  
陥穿 ② 〃  
源氏物語現代シ  
リーズ、ほ(紋  
章と女) 筒井 年男  
源氏物語現代シ  
リーズ、へ(紋  
章と女) 〃  
人間症 71-1 横山 敏明  
修羅曼荼羅 加藤 純雄

GENKEI 伊藤 孝子  
300-1 〃  
GENKEI 〃  
200-3 〃  
GENKEI 〃  
200-2 〃  
集 会 八島 正明  
自画像 〃  
作品 71-B 千葉 一雄  
作品 71-A 〃  
東洋人(2) 松本 義信  
東洋人(1) 〃  
私の生物画(1) 小島 喜八郎  
私の生物画(2) 〃  
イベリア・内陸  
物語 吉田 彰  
イベリアの女 〃  
イベリアの水売  
り女 〃  
晴れた日 小林 猛雄  
汀 〃  
フィナーレ 〃  
白(月)正面向っ  
て左 森田 奨  
黒一地球 〃  
船壇(彫)久富 金之  
ちじこまつた断  
片 I 見崎 泰中  
ちじこまつた断  
片 II 〃  
IZUMO - A 入来 兵衛  
IZUMO - B 〃  
億と積木 島木 律  
カラスと機関車 〃  
日誌 I 川元 御祐己  
日誌 II 〃  
日誌 III 〃  
存在 No. 202 青山 清輝  
存在 No. 201 〃  
業 (B) 岩田 哲夫  
業 (A) 〃  
作品 A 南 正猛  
作品 B 〃  
原野(飛翔) 大宮 健嗣  
原野(耳) 〃  
原野(朝) 〃  
作品 1 真野 鉄也  
作品 2 〃  
作品 3 〃  
新しい流れ(銅  
山) 森 久根  
古い流れ(農兵) 〃



ヨーロッパとこ  
ろどころ 藤田 一 一  
カプセリング  
No.1 東 俊 一  
カプセリング  
No.2 シ  
カプセリング  
No.3 シ  
カプセリング  
No.4 シ  
カプセリング  
No.5 シ  
構成 506(構)伊 東 一 信  
構成 507 シ  
アジア博にもう  
一つの試み 河 本 大 洋  
立体交差No.1 はつとり せき  
立体交差No.2 シ  
立体交差No.3 シ  
月賦で自我を買  
いそこねた男 戸 口 ツトム  
ステロタイプを  
批判しながらス  
テロタイプ化し  
た人間 シ  
作品(5) 山 内 誠 美  
作品(JOKER) シ  
虹の変容 高 橋 敏 行  
グラディエー  
ション シ  
E M P T Y 前 谷 治 朗  
ALL OF Y-  
OU OR I AM  
IN THE W-  
RONG シ  
ステンレス  
No.2 中 島 尚  
ステンレス  
No.1 シ  
巨頭会談(造)富 田 宏 代  
翳り(かげり) 児 島 邦 三  
珊瑚礁の島(I) 池 上 政 子  
珊瑚礁の島(II) シ  
作品 1 久 米 寿 夫  
作品 2 シ  
陰 り 1 寺 田 伊 勢 男  
陰 り 2 シ  
アンダンテ・カ  
ンタービレ(海  
がめの胃袋の主  
題による) 須 部 佐 知 子  
16回新世紀美術展 5—16 都美術  
館  
14回安井賞展 5—15 池袋・西武  
出品目録  
語 り I 山 本 文 彦

みさお替女の悲  
しみ(越後替女  
日記より) 二 人  
網打たれた風景  
雪の静物  
女のいる風景I  
観覧車  
コンビナートをつ  
つくる(足場の  
あるタンク)  
モロッコ—土—  
壁(ベニス) B  
影  
トロンプ・ルイ  
ユ  
カ フ ェ  
道化師たち  
夜明け  
北の漁村  
レットルがない  
の(2)  
白い室内  
有明賦 No. 5  
黒い雲  
水辺の春  
街・ミュンヘン  
祈の空  
キュージュエー  
ル  
赤倉替女の死  
(越後替女日記  
より)  
残雪の鉾山(松  
尾)  
鳥と漁夫  
行商紅雲郷  
骨のある部屋  
露  
野 牛  
K氏と夫人  
夜の窓  
スカンジナビア  
の沼 B  
樹  
イスラムと私  
時計  
滞 船  
CARNAVAL  
<お祭り広場>  
女  
狐の嫁入  
船灯のある壁

斎 藤 真 一  
青 木 美 弥 子  
麻 田 浩 子  
芦 田 芳 浩  
石 阪 男 生  
出 水 徹  
磯 村 敏 之  
市 川 正 三  
伊 藤 岳 正  
伊 牟 田 経 正  
岩 田 栄 吉  
大 石 可 久 也  
大 大 克 衛  
奥 谷 博  
葛 西 四 雄  
加 藤 三 男  
岸 葉 子  
北 原 悌 二 郎  
鞍 掛 德 磨  
桑 原 四 郎  
後 藤 志 子  
小 松 崎 邦 雄  
近 馬 治  
斎 藤 真 一  
斎 藤 政 一  
斎 藤 博 昭  
坂 本 博 昭  
桜 井 寛 平  
佐々木 信 平  
佐 藤 照 雄  
清 水 勝 勝  
下 高 原 千 歳  
白 根 光 夫  
進 藤 蕃  
鈴 木 延 雄  
鈴 木 マ サ ハ ル  
高 島 常 雄  
高 橋 規 矩 治 郎  
竹 岡 羊 子  
血 矢 昌 之  
辻 司  
豊 島 輝 彦

インディオの母  
子 中 西 勝  
愁 怨 並 木 光 昭  
杭の続く海辺 成 田 禎 介  
静物II(パネル) 野 田 弘 志  
ユーカラ A 長 谷 川 忠 男  
船 樋 口 治 平  
冥海の鯉 平 野 杏 子  
像 平 野 遼 司  
飛驒の祭 1 古 川 泰 司  
室内(黒) 星 俊 六  
ジュリアーノ吉  
助の話 牧 野 邦 夫  
旗 手 シ  
タイルの前 松 樹 路 人  
タイルの部屋 シ  
薔薇の中のレダ  
「昼」 松 本 宏  
人・変貌 A 三 尾 公 三  
少年と木馬 三 宅 悦 隆  
偽りの空 B 森 秀 雄  
Window 708 守 谷 史 男  
哀 泣 1 山 田 文 子  
ランドスケープ  
T 山 本 貞  
語 り II 山 本 文 彦  
小さな骨董屋の  
窓 ユ タ カ 順 子  
14回新協美術会展 7—16 都美術  
館  
阪倉宜暢個展 7—18 フジテレ  
ビ・ギャラリー  
中央公論新人展(日本画)(14回) 8  
—13 中央公論画廊  
香月泰男版画展 8—13 フォルム  
画廊、みゆき画廊  
山口薫展 12—17 池袋・西武  
宮崎進個展 12—25 日本橋画廊  
佐藤一郎個展 15—20 みゆき画廊  
平原孝明個展 15—20 老番館画廊  
サン・シュマン展(油絵)(18回) 16  
—21 高島屋  
高山登展 16—27 ウォーカー画廊  
24回示現会展 18—31 都美術館  
23回三軌会展 18—31 都美術館  
30回水彩連盟展 18—31 都美術館  
47回白日会展 18—31 都美術館  
西村龍介油絵展 19—24 銀座・松  
屋  
富樫一・正田壤二人展 20—26 日  
動サロン

美術展覧会(3・4月)

「言葉とイメージ」展 20—4月3  
ビナール画廊  
上原二郎個展 22—4月3 日本画  
廊  
高井貞二個展 23—28 高島屋  
渡辺学個展 23—4月3 ギャラ  
リー・おかべ  
リチャード・リンドナー展 23—4  
月4 伊勢丹  
穹展(6回) 27—4月2 日動サロ  
ン  
和氣史郎近作展 29—4月3 フジ  
カワ画廊東京店、柳屋画廊  
5回東方美術協会展 29—4月4  
日本美術協会会館  
26回日本美術院春季展 30—4月4  
三越  
前田青邨米寿記念展 30—4月4  
高島屋  
作品目録  
竹 取 明治44年  
神 興 振 大正1年  
竹 取 物 語 大正3年  
湯治場(3部作のうち  
2点) 〃  
朝 鮮 之 卷 大正4年  
京入題(うち五幅) 大正5年  
切利支丹と仏徒 大正6年  
維盛高野の卷 大正7年  
燕 山 之 卷 大正8年  
伝教大師絵伝 大正9年  
花 売 大正13年  
イタリー3題(うち2  
点) 大正14年  
漢 水 の 夕 大正15年  
漢 江 の 朝 霧 〃  
西 遊 記 昭和2年  
羅 馬 使 節 〃  
洞窟の頼朝(屏風) 昭和4年  
罌 粟(屏風) 昭和5年  
鶉 飼 昭和8年  
御物唐獅子(屏風) 昭和10年  
鷺 〃  
唐 獅 子(衝立) 昭和11年  
蘭 陵 王 〃  
視 画 〃  
大 同 石 仏 昭和13年  
鴨 〃  
朝鮮5題(うち2点) 昭和14年  
阿 修 羅 昭和15年  
関ヶ原の家康 〃

奎 堂 先 生 昭和17年  
清 正 〃  
激 流 昭和19年  
お ぼ こ 〃  
魚 紋 昭和21年  
二 日 月 〃  
大 楠 公 〃  
郷 里 の 先 覚 昭和22年  
豊 太 閣 〃  
風 神 雷 神 昭和24年  
猫(黄色いカーペット) 〃  
鯉 三 題 昭和25年  
Y 氏 像 昭和26年  
白 い 犬 〃  
湯 治 場 昭和27年  
耳 庵 像 昭和28年  
伊 勢 遷 宮 図 〃  
出を待つ(屏風) 昭和30年  
愛 茶 〃  
浴 女 群 像 昭和31年  
ラ・プランセス 昭和32年  
動物の舞踏会 昭和33年  
お 水 取 昭和34年  
中国三部作 赤い壁 昭和35年  
黄色い屋根  
南の街 〃  
貝 洋 大 昭和36年  
白 牡 丹 〃  
石 棺 昭和37年  
午 前 四 時 〃  
鯉 絵 昭和38年  
赤 ベルジャの鉢 〃  
K 氏 像 昭和39年  
椿 〃  
山 靈 感 応 昭和40年  
転 生 昭和41年  
三 浦 大 介 〃  
ベ ン ギ ン 〃  
蓮 台 寺 の 松 陰 昭和42年  
胡 猫 〃  
大 物 浦 昭和43年  
異 装 行 列 の 信 長 昭和44年  
須 磨 〃  
熊 野 詣 〃  
徒 然 草 〃  
腑 分 昭和45年

連 雀 昭和45年  
梅 日 和 〃  
応 永 の 武 者 昭和46年  
宋 磁 壺 紅 白 梅 〃  
晩 秋 〃  
ピカソ展(巨匠90歳記念) 30—4月  
4 高島屋  
春季白土会展(6回) 31—4月7  
愛知県美術館

4 月

現代仏像彫刻展 1—6 京都・京  
都府ギャラリー  
庄司達個展 1—10 名古屋・桜画  
廊  
奥谷博展 1—10 日動画廊  
佐々木四郎個展 1—24 第七画廊  
松原龍夫版画展 1—30 美術出版  
社ロビー  
伊坂芳太良遺作展 2—7 渋谷・  
西武  
安原喜武個展 2—11 紀伊国屋画  
廊  
21回モダンアート展 2—19 都美  
術館

会員出品目録  
絵 画

The オオミダイゾー  
抗原 No. 110 立 花 みどり  
新 聞(表) 石 橋 行 雄  
〃(逆) 〃  
崩壊する権力B 栗 原 勇  
崩壊する権力 〃  
作 品 嶋 本 昭 三  
碑 (ISHIBUMI) 刀 根 真 澄  
〃( 〃 ) 〃  
作 品 芝 章 一  
か た ち 1 永 井 肇  
〃 2 〃  
Contrast 小 林 孔  
旅 〃  
周 高 塚 篤  
〃 〃  
Libido 58 木 村 一 生  
〃 59 〃  
座 る 二 人 村 井 正 誠  
夜 の 人 々 〃  
双 朝 妻 治 郎



美術展覧会(4月)

鳥	B	高橋克芳	夕日の草原	吹田文明	作品 1025	鈴木幹二
デザイン・生活美術			「卵」-3	日和崎尊夫	排列A arrangement A	吉野順夫
M 712		馬場雄二	「卵」-7	シ	橋 (ベニス)	加藤八洲
シ 711		シ	Poem 71-20, 21, 22	巻白	御堂	シ
アルハンブラより(-)		鉾之原捷夫	Poem 71-15	シ	宮殿	西沢静男
シ (-)		シ	空の魔虚	吉田遠志	思惟	シ
シ (三)		シ	幸福	シ	春まだ遠き漁村	福島一郎
シ (四)		シ	北から東に	高橋力雄	冬の富崎	シ
Design by			Fで北に	シ	湖山<羽華>	金守世士夫
Photography		朝倉直巳	ひびき I	上野長雄	湖山<羽2> B	シ
11-12		シ	ひびき II	シ	京の坂	関野準一郎
シ 13-14		シ	人間の愛着 18	天野邦弘	あだし野	シ
RELATION		本野東一	人間の愛着 16	シ	凍る河	北岡文雄
39回日本版画協会展		2-19 都美	WORK・M 22	船坂芳助	残雪のみくりが池	シ
術館			WORK・F 28	シ	射的シリーズ	馬場禱男
会員出品目録			-1971	シ	遊園地	シ
作品-71-1		橋木順子	風景-55	小畑勉	射的シリーズ	シ
(ゲームへ)		シ	風景-34	シ	コンバット	田村文雄
作品-71-2		シ	MAGNET	森野真弓	夢想記-不安な	シ
(ゲームへ)		シ	SPACE II	シ	呼びかけ II	シ
青い鳥		若山八十氏	MAGNET	シ	夢想記-不安な	シ
白い鳥		シ	SPACE I	深沢幸雄	呼びかけ I	堀井英男
古代の鳥 B		利根山光人	赤く続く線	シ	仮面の人 No. 1	シ
古代の鳥 A		シ	指の間の記憶	シ	仮面の人 No. 3	シ
生きてる壁 E		田島宏行	(C)	山野辺義雄	連作「白い部屋」	中林忠良
記憶の壁		シ	4人のgame-	シ	より IV	シ
空を旅する雲		白井昭子	maker	シ	連作「白い部屋」	シ
思い出の美しい		シ	game and set	松本曼	より III	駒井哲郎
季節		シ	富嶽十二景	シ	星座	シ
独りで(赤)		河原英雄	富嶽十二景	吉田千鶴子	岩礁にて	橋本深
独りで(黒)		シ	白い層へ	シ	劇場	シ
黒い子供		城所祥	ほしくず	黒崎彰	劇場11港の情景	稲垣知雄
黄色い子供		シ	終りの部屋 1	シ	四匹の猫	大内マコト
地平(A)		星裏一	終りの部屋 2	吉田穂高	檄	シ
地平(B)		シ	LANDSCAPES, A	シ	憂	坂東壮一
Into space		内間安理子	LANDSCAPES, B	萩原英雄	仮面	古野由男
作品 '71の B		シ	影法師 No. 1	シ	日輪 THE SUN	波谷栄一
作品 '71の B		高橋信一	影法師 No. 3	木下富雄	虫たちの踊り	シ
史 36		シ	顔(地上は黒に)	島州一	カーニバル B	高橋淳子
史 35		由木礼	顔(明日は)	シ	春の「VILA-VELHA」	栗山茂
けものたちはみな去ってゆく(A)		シ	タイムライフ	細田政義	作品 1971 No.2	上野誠
けものたちはみな去ってゆく(B)		中山正實	作品 No.47	シ	或る話	伊藤真人
夢		シ	作品 No.48	佐藤宏	彫刻家ルザンナ B	シ
発		山口源	作品 1	シ	帆掛け島	武井武雄
層		吹田文明	作品 2	宮下登喜雄	昼の海	川西祐三郎
開			ロンサム嬢	シ	鳥の連作 No. 10	シ
			黄色い瞳	鈴木幹二	浸蝕奇景 B	前田藤四郎
			作品 1101		浸蝕奇景 A	
					鏡	
					岳	



わらべ歌 針山の歌 奈良・四月堂 平林寺	前河前 塚山招 小作	藤原政 本田信 田田瑞 小作青	四郎二雄 哲一娟 史	大女女 静青 鶏坐 漁	地物 立鳴 像村 丘	岡金子 宮寺福 清寺山 角芦篠 輪藤	又三郎 衛進雄 男一人 卓男夫 和三 勇	田子崎 坂井原 島田田 崎遠原	森小菅 房橋田 島生松 里見井 浅井名 桃出領 井島原 中馬田 井井 名渡山 元松 清鍋 三郎 永繁 一子 吉平 平采 郎八	マンションの見 える庭の龍舌蘭 冬早モシマルトル 黒い卓の静物 山麓湖の春朝山 冬漁高婦人 オランダ屋敷 赤いガラス瓶の 頸飾りの裸婦 残雪の松 カタルニヤの聖 多摩華の衣裳 海辺の川岳新 画谷総の春像 座白黒いショール 瀬戸風景 ポッピーのある ショーモンのパ ラード 箱根早春 つゆあ MESSENGER 早春賦 ベトナムの女 白大地服 赤い早春婦庭 裸春卓島閑サ 古木の風景 山陰の外房	黒田久美子 牧野原田 小黒田井木 高辻山鶴橋岩 金天野 兼行 長吉高矢西 山溝辻幸竹 武蔵原 金子 西村 西藤小大南 田高渡村飲 土佐 杉益 桜日 笹	田司郎 重以知 忠 頼綱 春太郎 朗彦 雄躬 三 桂子 丈作 利 武四郎 功慶 雄洋 一平 二郎 五郎 雄基 二 仁三郎 定 一良 史 藏善 男也 夫藏 生夫 一 惇 吾 治 晃 彪
バランス運動を する人々 老実業家M氏の 像(文明嫌悪症 連作より) 日常生活・夜(文 明嫌悪症連作よ り) ニューポート ビーチ南カル フォルニア ダナポイント南 カリフォルニア 71-A 71-B-3 女と洋灯 塩ふり人形 a 塩ふり人形 b 北国の樹 2 北国の樹 1 Day Dream 12 Day Dream 13 水の譜 D 水の譜 C 森生物 V II 風海峽者 30回創元会展 2-19 所蔵品展(絵画・工芸) 3-18 都国立近代美術館 57回光風会展 3-19 都美術館 会員出品目録 絵画 漁港 十字架のみえる 港 仮装舞踏会 黒の湿地 あひる エジプト フルティスト 旅廻りの道化	平塚運一 戸徳子 上澄生 佐藤暢男 高木志朗 柳沢紀子 岩見禮花 岩田覚太郎 玉井忠一行 松岡貞雄 黒木都美術館 高橋規治郎 日野耕之祐 河内文夫 岡崎勇次 佐川忠金 時田幸彦 庄司栄吉 阪倉宜暢	渡相川 拾六番館生 春家族 アラスカ ゴルゴダの丘 奇術の箱など ポンチョの女 雪の街かど 作品 A 港蟹店さき 雪の日 白いスター 新緑の卓 五月の海 馬具屋(パリ) 琉球舞踊柳 紅型のある静物 雨上りの日の出 佳日後 雪松黒いフー 朱森の秋像 T子小豆島 早春の薄梅	川館生 族 丘 箱など 女 かど A き 日 卓 海 柳 静物 日の出 後 秋像 小豆島 薄梅	章健 治豊 雄子 操明 正男 恒寛 子郎 博子 坦一 枝清 悦順 子一 鍋三郎 永繁 一子 吉平 平采 郎八	川家 雪春 像馬 景景 ある のバ 早春 賦 大地 服 早春 婦庭 春 春 ス 風景 外房	功慶 雄洋 一平 二郎 五郎 雄基 二 仁三郎 定 一良 史 藏善 男也 夫藏 生夫 一 惇 吾 治 晃 彪						



ボストンの画商  
坂のある街  
高原晩秋  
高岩礁  
少と女  
花と池  
内海の雪  
ヒンドゥース  
ターンの神々  
室内  
松雪  
春雪  
砂丘(日向灘)  
工芸  
枋  
和紙漉込「樹華」  
苞  
「春」  
海月  
花文扁壺  
鉄彩鉢  
古き渡舟  
塔か丘  
砂染彩  
バランス  
辰夜の詩  
星(染)黒い  
懐響狭き門  
華象蝶  
連(七宝パネル)  
映標  
童魚  
白磁花器  
彩光石「抱」花器  
「蒼」扁壺  
刻流影器  
白い花器  
壺  
「邑」壺  
合

石野安親  
田中祐一  
万羽田章  
池津田功  
森田田克  
大村健  
上田祐  
遠山友  
青山兵  
音羽禿  
末原晴  
古畑省  
小川喜  
小森十  
小原清  
西村純  
飯田美  
福原達  
加藤舜  
山形駒  
中鶴飼英  
堀川董  
皆久保友  
大松風三  
帖佐若美  
般城秀  
高辻光  
寺本美  
遠藤兆  
太田博  
山内一  
佐野谷  
針濱達  
河本五  
鈴木青  
伊東慶  
米沢久  
小川欣  
加藤二  
亀井鈔  
藤本勝  
佐久間章

鉄・花器  
弧積雲  
花地文  
戦災碑  
火かざり  
坐漣早壺  
澁  
蠟鑄青銅「影」  
群連作「華の譜」  
粧沫  
アスワンの雲  
花器「連珠」  
夕街と鳥と  
天井飾  
[城]  
碧息吹舞  
「鳥紋」壺  
人形「森のロマン」  
乾筒容鳥  
花器「蒼流」  
近代日本美術における1930年展  
3-5月16 東京国立近代美術館  
出品目録  
<フォーヴ的傾向>  
<フォーヴ的傾向>  
裸体前田寛治 1928  
海景色佐伯祐三 1930  
モランの寺里見勝蔵 1927  
静物里見勝蔵 1926  
顔女里見勝蔵 1930  
ヴァイオリンを弾く男小島善太郎 1932  
裸婦ナックレ木下孝則 1930  
女の顔林武 1927

横たわれる女  
婦人像  
夜のテラス  
ベルクール広場  
フレンチカンカン  
トランプをする  
アルルカン  
広告のある風景  
赤い酒  
少年道化  
代々木の庭  
独立美術首途  
無衣の女  
岸田国士像  
鉄工場の裏  
洋傘に倚る少女  
自画像  
レンガ工場  
森の道(上高地)  
笛吹き  
大根と小娘  
パ  
リマチの労働者  
赤色衣を着けた  
る婦人  
薬を売る男  
プチジャン  
裸婦立像  
農人の女  
蔬  
法観寺塔婆  
アマルフィ風景  
人形をもつ娘  
二人の女  
ゲレンデ  
かれはなばたけ  
<前衛的傾向>  
素朴な月夜  
海と射光  
ウソ発見器  
科学美を盲目に  
する  
他人の恋  
よき料理人  
雪景  
夜四題(4点)  
挿作  
林武 1928  
野口弥太郎 1930  
1931  
1932  
林重義 1929  
1930  
三岸好太郎 1929  
児島善三郎 1930  
1931  
1932  
長谷川利行 1930  
1931  
巖光 1930  
大野五郎 1929  
1931  
宮坂勝 1928  
中山巍 1930  
1933  
伊藤廉 1927  
1930  
中野和高 1927  
清水登之 1928  
高島達四郎 1930  
鈴木亜夫 1926  
鈴木保徳 1931  
田中佐一郎 1930  
須田国太郎 c.1931  
1932  
小林和作 1928  
1930  
海老原喜之助 1927  
1930  
會宮一念 1932  
古賀春江 1929  
1930  
三岸好太郎 1934  
福沢一郎 1930  
1930  
1930  
1930  
飯田操朗 1933  
谷中安規 c.1932  
1930

美術展覧会(4月)

美しきエスプリ	前田藤四郎	1931
時計	計	1932
草の	平川 清蔵	1935
作	井上長三郎	1935
二人像	山口 長男	c.1930
作	山口 長男	1934
図説	吉原 治良	1934
作品 3	1934	~35
作品 A	1935	
スード	恩地孝四郎	1925
人体考察(4点)	1927	
ご	藤牧 義夫	1932
版画4点(雑誌「形成画報」掲載)	岡田 竜夫	1928
静物	山口 進	1926
かたち(鉄)	小野 忠重	1933
赤の中の小さな	瑛 九	1935
白	1935	
デッサン	1935	
作	水谷 武彦	c.1925
作	1935	
＜社会派的傾向＞		
コムソモルカ	寺島 貞志	1930
ポスター第5回プロレタリア美術大展覧会	1932	
プラウダを持つ蔵原惟人	永田 一脩	1928
告	大月 源二	1929
小林多喜二死面	岡本 唐貴	1933
労働者	須山 計一	1930
メーデー	勝木 貞夫	1930
同志山忠の思い出	望月 晴郎	1931
無産者新聞ポスターほか	柳瀬 正夢	c.1930
工芸(漆)ソヴェート同盟を守れ	奥村 信吉	1931
腕	石垣榮太郎	1929
リンチ	1931	
棟梁の家族	前田 寛治	1928
ブルジョワ議会と民衆の生活(下絵)	津田 青楓	1931
赤帽平山氏	佐藤 哲三	1929
老船員	新海 覚雄	1932
農夫の家族	川上 律江	1933
土工部屋	菊地善二郎	1933
サーカス	1933	
連作「三代の死」のうち4点	小野 忠重	1931

工場の煙	蓬田兵衛門	1933
松山文雄(ほか原画執筆雑誌、その他の資料)		
(編集上の手違いにより、本展の記載は日本美術年鑑昭和四十六年版と重複致しました。)		
戦後美術のクロニクル展	3-5月	
16 神奈川県立近代美術館		
出品目録		
洋画		
堀割り	岡 鹿之助	昭和2年(1927)
溺死	福沢 一郎	昭和5年(1930)
闘牛	鳥海 青児	昭和7年(1932)
門	野口弥太郎	1932
曲馬	海老原 喜之助	昭和10年(1935)
立てる裸婦	林 武	1935
傷ましき腕	岡本 太郎	昭和11年(1936)
作	吉原 治郎	1936
サーカス	野田 英夫	昭和12年(1937)
メキシコ静物	北川 民次	昭和13年(1938)
蝶の軌跡	長谷川三郎	1938
蝸壺など	山口 薫	昭和14年(1939)
東風	児島善三郎	1939
鳥	巖 光	昭和15年(1940)
静物(魚の頭)	1940	
黒い花	松本 竣介	1940
立てる像	1942	
並木道(聖橋通)	1943	
二人	森 芳雄	昭和25年(1950)
花に来る天使	脇田 和	1950
天使とトビア	村井 正誠	1950
森の掟	岡本 太郎	1950
荒野の歌	鷹山 宇一	1950
暮色	高島達四郎	昭和26年(1951)
アイロンのある静物	金山 康喜	昭和27年(1952)
母子	麻生 三郎	昭和28年(1953)
海芋とキリン草	児島善三郎	昭和29年(1954)

黒人兵	河原 温	昭和30年(1955)
靴屋	海老原 喜之助	1955
千手像(黒夫人)	山口 薫	昭和32年(1957)
赤衣の婦人	林 武	1957
湖	瑛 九	1957
鬼	斎藤 義重	1957
作品 B	川端 実	昭和33年(1958)
大理石をかつくイタリア人	鳥海 青児	1958
平面	山口 長男	1958
三つの黒	オノサト トシノブ	1958
詩人三好達治像	朝井 閑右衛門	昭和34年(1959)
人	麻生 三郎	昭和35年(1960)
聞く	岡田 謙三	昭和36年(1961)
地察星・青眼竜	白髪 一雄	1961
黒人聖歌	福沢 一郎	昭和37年(1962)
蝕(青)	今井 俊満	1962
作	元永 定正	昭和38年(1963)
赤と黒	菅井 汲	昭和39年(1964)
水辺の人々	村井 正誠	1964
両界マンダラより・人間・空間・円	前田 常作	1964
Solution de continuité No. 5	堂本 尚郎	1964
青いカーテン	鶴岡 政男	昭和40年(1965)
標的	井上長三郎	昭和42年(1967)
復員(タラップ)	香月 泰男	1967
世界の壁	高松 次郎	1967
葬列	山下 菊二	1967
水辺の城	岡 鹿之助	昭和43年(1968)
JOINT	宇佐美圭司	1968
黄色い水	糸園和三郎	1968
作品一窓辺で	荒川 修作	1968
FRUIT EXOTIQUE	荻須 高德	昭和44年(1969)
白い円	吉原 治良	昭和45年(1970)



宙	宇治山哲平	昭和45年 (1970)
作品	阿部 展也	昭和46年 (1971)
美しき変貌 B.C.	三尾 公三	シ
日本画		
漣	福田平八郎	昭和7年 (1932)
秋田のマリ ア	福田豊四郎	昭和23年 (1948)
道	東山 魁夷	昭和25年 (1950)
良 夜	小倉 遊亀	昭和32年 (1957)
笏	徳岡 神泉	昭和33年 (1958)
枯 葉	工藤 甲人	昭和38年 (1963)
夜	高山 辰雄	シ
受胎靈雲図	平山 郁夫	シ
雪 原	横山 操	シ
樹 窟	平川 敏夫	昭和39年 (1964)
白 夜 光	東山 魁夷	昭和40年 (1965)
火山(浅間 山)	片岡 球子	シ
女 優	橋本 明治	昭和42年 (1967)
あり 衡のある風景	渡辺 学	シ
玄 鶴	上村 松篁	昭和43年 (1968)
風船と影法師	池田 幹雄	シ
秋 湖	稗田 一穂	シ
原爆図(灯籠 流し)	丸木 位里	シ
浄 夜	近藤 弘明	昭和44年 (1969)
行 人	高山 辰雄	シ
大 和 路	奥村 土牛	昭和45年 (1970)
憂北の人 (松浦武四郎)	岩橋 英遠	シ
二人舞妓 (裸体)	石本 正	シ
千 羽 鶴	加山 又造	シ
狭 霧 野	山本 丘人	シ
緋 桃	上村 松篁	シ
版 画		
孤独な鳥	駒井 哲郎	昭和23年 (1948)
ジブシー	浜口 陽三	昭和29年 (1954)
さくらんぼ	シ	昭和31年 (1956)

冬 南 桂子	昭和35年 (1960)
オベッカ	浜田 知明
噂	シ
花嫁の領地	池田満寿夫
湧然の柵	棟方 志功
同向へ進む 仏者たち	シ
たえ子の朝 食	池田満寿夫
器とぶどう	浜口 陽三
霊歌一太郎	秀島由己男
第6回東京 国際版画ビ エンナーレ 展ポスター	横尾 忠則
プラネット ・プレイII	加納 光於
レインボー 北斎・ポジ ジョンB	齋 嘔
山本文彦個展	5—15 大阪フォー ム画廊東京店
現代彫刻20人展	5—15 マスヤマ ギャラリー
岩船修三個展	5—15 フジテレ ビ・ギャラリー
池田満寿夫新作版画展	5—17 南 天子画廊
11回伝統工芸新作展	6—11 三越
長谷川昂彫刻展	6—11 三越
小磯良平展	6—11 高島屋
クラタ・クラフト・グラス工芸逸品 展	6—11 三越
放庵展	6—5月30 出光美術館
田淵安一展	9—14 渋谷・西武
杉山寧展	9—21 渋谷・東急本店
キュービズム版画展	10—20 麻布 画廊
ソ連所蔵名品百選展	10—5月30 東京国立博物館
木村光佑個展	12—17 老番館画廊
ジャクソン・ポロック版画展	12— 22 東京画廊
国吉康雄展	12—26 ポール・ギャ ラリー
日本表現派展	13—18 日本美術協 会会館

海老原喜之助展	13—18 高島屋
出品目録	
松	1921
自 画 像	1922
裸 婦 物	シ
静	1923
姉妹ねむる	1927
窓(カンス)	シ
港	シ
セーヌ河	1927頃
臥 婦	1928
森(群狼)	1929
漂 流	シ
三人の樵夫	シ
ゲレンデ	1930
スキーヤー	シ
幸せな雪の村	シ
雪山と獵人と樵人たち	シ
雪 景	シ
雪中行軍	シ
雪 林	シ
雪山と鹿	シ
欧州アルプス	シ
雪山と樵	シ
雪山と樵	シ
湖水と群鳥	シ
雪の岩山(熊)	1930頃
雪	シ
雪 景	1931
群 鳥	シ
群 鳥(枯木)	シ
滞 船	1932
雪 山	シ
雪山群鳥	シ
劇場にて	1934
アトリエ	1935
群がる雀	1935頃
曲馬(少年繩飛び)	シ
曲 馬	1935
ポアソニエール	シ
蹄 芸	1936
風 人	シ
人と馬	シ
雪 景	1936頃
愛 馬	シ
馬と少年	1936
説 婦	シ
裸 婦 坐 像	シ
市	1937

美術展覧会(4月)

金魚鉢	1937	花ぬす人	1965	きゃべつとうど	三浦景生
市魚場	シ	男の顔	シ	彫金色紙	大須賀月喬
花浴笠	シ	南の国	1967	染彩飛瀑	皆川安蘇
生花	シ	馬市像	1967頃	くちの細い花挿	三井脇洋二
乳洗馬	1938	聖花	1968	滴	山山鹿室
裸婦(浴後)	シ	蝶と騎士	1969	手織綿極楽魚	山山鹿室
既魚売	シ	二人の聖像	シ	梅花瓶	故井楠上
魚おや	シ	サン・トロペ(海)	シ	曲水花瓶	山崎水部
扇遊	シ	使者	1969頃	飛秋花瓶	山崎水部
雪遊	シ	ブルターニュの寺院	1969	太陽の佇	清帖蓮井
雪投	シ	サン・ジョルジュ	シ	朱銅佇	田上野原
青鶏舎	シ	エッフェル塔	シ	流あらいそ	佐野原若
踊鉄	1942	献花	シ	焰器花挿	安般新岸
ポートル	1947	白い木馬	1970頃	朝玉と流れと	河合永井
スタートへ	1948	水より上る	シ	鳥と流れと	河合永井
殉教者(サン・セバスチャン)	1951	調教師の家族	1970	円	高宮辻
友よさらば	シ	サーカス	シ	オーガニック	西木口本
雲の切れ間	シ	11回新作家集団展	15-21	ンポーズ	飯塚賀智
ボンサマルタン	1952	美術館	京都市	海翠	野河今山
ボンサマルタン	1953	木村忠太展	15-24	人間連作の12	飯塚賀智
新らしき出発	シ	日動画廊	青	同床異夢	野河今山
夏の雲	1954	ソンネンシュタール展	15-28	繁海への郷愁	野河今山
本を焼く人	シ	木画廊	青	海への郷愁	野河今山
かかを造る人	シ	開館15周年記念・坂本繁二郎その人と作品展	17-5月16	彩光石	野河今山
靴を造る人	シ	久留米・石橋美術館	大阪・梅田画廊本店	独備掌花	野河今山
傷身	1955	高島屋	19-29	支曙実作	野河今山
天使墮ちる	シ	会員出品目録	大阪・梅田画廊本店	作春湖着	野河今山
伊豆富人先生之像	1956	青い細い壺	伊東慶	作のい章	野河今山
燃え	シ	お化粧するフラ	伊藤広利	品の「碑」	野河今山
聖者の楽日	シ	囉	伊藤武司	の棹空	野河今山
大道の物売り	1958	双映	浮田武裕	のい章	野河今山
人形使い	1958頃	又陽	伊藤藤武	のい章	野河今山
群馬出動	1959	琅玕錐	遠藤武重	のい章	野河今山
馬を運ぶ	1961	黒子	岸中角	のい章	野河今山
海浜の蝶	シ	作品「2/8」	原宮崎	のい章	野河今山
走馬灯	シ	囲刻	川原川	のい章	野河今山
走馬灯	シ	71-II<対>	川原川	のい章	野河今山
鷹狩り	シ	志野	山本	のい章	野河今山
出る日	シ	朝風	青木	のい章	野河今山
雨の日日	シ	浮氷	浅見	のい章	野河今山
考える人	1963頃	出来ごころ	来野	のい章	野河今山
夏の夕べ	1964	無花果壺	宮之原	のい章	野河今山

珠の木の器心態  
 冬蠟型銅花のの袋映点板  
 蠟求青礮蝕映花流一交啓連青遙爽水映蠟刻蝶潮陶穴開双白舞新霧に彩イ紋草砂月流断閃臺凍  
 十二展(13回) 22-30 日動サロン  
 (浮田克躬、尾崎正章、田中春弥、中谷龍一、広瀬功、大津鎮雄、北村巖、藤島奨、三橋文雄、本山唯雄、渡辺祐一郎、故上田哲豊)

37回東光会展 22-5月8 都美術館  
 48回春陽会展 22-5月8 都美術館  
 会員出品目録  
 絵画  
 作品713-K虚像と実像  
 黄色い部屋に吹く風  
 青いねむり閉ざされた静のつ鶴義  
 卓二真妙アラブの花祭  
 ひめゆりの沖春香帝海辺の午後オートルート雨にぬれた漁静重遠夜の丘厨赤い砂虹吹海山春流の樹  
 今竹七郎池内登田安川上伊市大嶺広細小松五味加中山出遠星上宮越笠原田加  
 利虎尉善見敏生男茂基夫郎爾実太六二藏二実平治郎秀夫

広場の男加藤秀夫  
 大島差木地志村一男  
 差木地の海南大路一  
 中洲の雪朝中谷村三  
 霧の朝朝中村徳三郎  
 雪の朝朝中村徳三郎  
 裸婦の朝朝中村徳三郎  
 天使の朝朝中村徳三郎  
 雪の朝朝中村徳三郎  
 一白海海窓寺造景伊豆タスク秋景(スロベックラド)水がれ月雪ポン黄色の裸夕暮砂立マカオマカオ開早朝夕家風コンポジションパノラマ塔崎アトリエアトリエあるあるミーニシ黄昏の  
 隅物ⅠⅡの花院風港道坂の花光夏花の花川辺の燈窓の地街暮族影塔A B 空間の頃陶房  
 藤栗成小柳木田倉水岡三鬼塚小今田岩徳秋田入前田三井横加藤玉那覇  
 井原川柳本田谷雲塚川関田田口畔江田井山藤那覇  
 令太郎正一秀太郎晴謙三郎之助祥之助金マリ人壽太郎信保波司観舜永一了助正吾

美術展覧会(4月)

布羽根	福地敬治	荘八先生	角南松生	コンポジション (自画像)	佐藤昌胤
赤と黄色のス ベース	吉江麗子	くらしき庭	宮脇晴	能登の千枚田	宗久恭子
態絡	大庭勝郎	孫が描く	上野春香	箱根もすい こ	森遊蝶花
八角のコンボジ ション	松村禎夫	アンナプルナヒ マール	小栗哲郎	いこ	相模台風景
人人	保坂良平	早春みかん山	大嶺	森遊蝶花	三原山
アマゾン	関頼武	八重山風景(1)	柳沢健	樹	奥相模
パテシバ	田中康夫	窓のある風景	井上重生	紅いばら	紅いばら
出発	加賀孝一郎	夏の山船	西尾節子	オリブ樹の村	吉野上市にて
雨の日	大沢鉦一郎	花束 A B	高木勇次	入江の海	入江の海
聖像	横尾丈夫	シャルトルの寺	小川緑	版画	版画
処女像	津谷鹿市	吾が家の一族	三根孝子	暗い夕陽	暗い夕陽
少女とあじさい	横堀角次郎	海豚の曲芸	平田峻三	イソギンチャク	イソギンチャク
つないである舟	足立源一郎	サポテン	川隅路之助	笑っている植物	笑っている植物
日向丘	伊方れい	せきかきりん	豊泉恵三	旅の準備	Rifle Range...
卓上静物	土屋義郎	雑木林(2)	林俊行	GI ジョー	Rifle Range...
マハタの邸宅	高田力蔵	桃の静物	石田正典	島	法然院の庭
マウリヤとピッ チュー	川島昇太郎	アトリエ(花と 子供)	関四郎五郎	法然院の庭	法然院の庭
五浦風景	村川端弥之助	たかばめ(高浜)	藤野龍	地天泰港	地天泰港
晩秋	佐藤篤郎	みかん	田川勤二	まぼろしの	まぼろしの
初夏の穂	原宮武彦	赤い夕日	吉田達磨	春碧	春碧
富士の梅林	本荘光胤	工場の峠と	山本朝子	レントより遅く	レントより遅く
春の海草	伊藤慶之助	ウランと海	岩崎又二郎	ある春の朝に	ある春の朝に
休耕田	石川武彦	丘と太陽	佐藤昌胤	砂丘より	砂丘より
カサブランカの メジナ	野村千春	朝の太陽		ビーダマ	ビーダマ
回転扉		伊豆今井		花	花
リラ、プラン		杉岬		籠と木の実	籠と木の実
樹の間		テルトル広場		岬への道	岬への道
三月の大出(信 州白馬村ニテ)		フィレンツェ		風景	風景
堤の道		石窟寺		それは沈みゆく	それは沈みゆく
トレドの夕映		エローラの石		血のように赤い	血のように赤い
萎れた花		樹(霧ヶ峰)		満月の輝きであ	満月の輝きであ
草の小屋		雪の秋川		った(エドガ・ポ	った(エドガ・ポ
山門緑趣		遺の花園		ー、アッシュャー	ー、アッシュャー
庭園立夏		窓辺の花		家の崩壊より)	家の崩壊より)
荘園イル		静濃の雪		闇夜の大鴉の羽	闇夜の大鴉の羽
船の見える静		冬の工事場		根よりも黒い髪	根よりも黒い髪
流原の湖		芍薬のばら		のり見える(エド	のり見える(エド
高原の湖		雪中のばら		ガ・ポー)	ガ・ポー)
エニシダ		魔よしやま		風芽	風芽



春流花蝶よそゆきの二人の信者女  
 45回国画会展 22—5月8日 都美術館  
 会員出品目録  
 絵画  
 作品—(声)  
 作品 1971  
 動 緑と赤を挟む白合 M・1 作品71—J.N. 一A  
 開 . K. ヴァサリ論の崩壊  
 昼の窓 作品 日月招提サーカスの馬青白い月(Pall moon)  
 野桃天のうた 桃犬のまち尉  
 悪闘 WILL—33  
 貝の詩 ドン・キ・ホーテシリーズ  
 白いスペース ある日の風影くちなし二つのれもん冬日(方丈の石仏)  
 ハーバス、フェリーの塔(アメリカ西ヴァージニア州)  
 北国の街その二棘岩夜ベアトリス

秘ト秋風女残足柄の湖けし(雨後の湖)窓  
 タイコネリ(漁村祭ヨリ)彩  
 楽しかった万博の思い出  
 作品71—No. 8  
 光と海 作品 71  
 忍仙陀羅尼増幅する(11) 鶏頭のある風景 翻案図(松島)  
 CROSS-ROAD SPACE 71-24  
 花と蝶 ライン落陽草原の牛市西坂(長崎) アクロポリスの丘  
 白樺樹林村苑秋色石春辺  
 海磯の幻想71—1  
 白鶴林寺の秋美鶴(みづ)館  
 まほろばを憶う 出会い塔  
 鉄能「蟬丸」より  
 野からたち スル

日本史話によるイメーヅ No.21 足利尊氏  
 荒れる室内園雪 オランダ坂(長崎)  
 走る風景 “この完全なる時代”より  
 海辺の女 薄暮リゴ園 飛鳥—李朝狼火台  
 古寺(フレンツェ) モデルと画家 裸婦(パリにて) 奥入瀬淡流のU 氏 蔦  
 ラ・リュース 馬雪室 鮫赤雪櫻 飯氷連作 桶晚月室 母子と母花の芯 ハトおじさん 青の風 分野原にて トロイの眺め スペインの彼女 版  
 鈴木正二 遠藤上関山 山本川泉金子原森石木 青二 故松 故河村千代 辻三清水宇川岩国橋佐野吉田 蛇斎島宮 佐々木和田高藤島羽 黒崎  
 満悟馬司志司藏三助臣弥利満 子雄子助章樹登彦子志信悦輝子薫豊彦夫子三哉出 彰

美術展覧会(4月)

闇のモニュメント(赤) 黒崎 彰  
 作品 4 佐藤 宏  
 作品 3  
 大地 熊谷 吾良  
 金華山水道 下澤 木鉢郎  
 ノアのはこぶね 渡辺 禎雄  
 愛染明王 笹島 喜平  
 秋 (A) 斎藤 清  
 秋 (B) 橋本 興家  
 松と桜と楓 関野 準一郎  
 二十七のクロス 前田 政雄  
 駒ヶ岳湖畔 福地 知雄  
 猫と夕月 塚 平 一  
 鏡 No.1  
 バサデナのシティホール南カリフォルニア 中尾 義隆  
 男たち 佐藤 暢男  
 はと車 佐藤 暢男  
 箱に入れた貝がら 佐藤 暢男  
 作品1971-No. 5 「公害対談」 栗山 茂一  
 史 39 高橋 信一  
 史 38 伊藤 勉二  
 版画<庄> 伊藤 幹二  
 作品 1102 伊藤 幹二  
 作品 1103 伊藤 幹二  
 地平 (D) 星 裏一  
 地平 (C) 星 裏一  
 赤い眼帯 はりかえしよおじ  
 赤いリボン 天野 邦弘  
 人間の愛着6 山口 源生  
 人間の愛着7 川上 澄生  
 領分(春信) 川上 澄生  
 泰西人物 川上 澄生  
 ネガとポジ 川上 澄生  
 交錯する色面 (F) 川上 澄生  
 湖山<花蝶月> 金守 世士夫  
 街一序曲— “Overture” 大橋 弘明  
 街 Suite 大橋 弘明  
 工芸 大橋 弘明  
 藍地桜模様着物 古沢 万千子  
 地掛柳描注瓶 藤井 幸子  
 蓋物(灰落A) 藤井 幸子  
 蓋物(灰落B) 藤井 幸子  
 蓋物(砂糖入) 藤井 幸子  
 黄釉注瓶 藤井 幸子  
 異域 原田 麻那

緋ベッドカバー 原山 雅子  
 緋布 小島 真次郎  
 紬地重ね型カード 片野 元彦  
 下文様 河井 武一郎  
 広幅藍染紋布(2) 丸山 太郎  
 広幅藍染紋布(1) 三代沢 本寿郎  
 押紋餡釉寸壺 丸山 太郎  
 菱文螺鈿朱箱 丸山 太郎  
 四曲洋風屏風 丸山 太郎  
 螺鈿筆入 丸山 太郎  
 壁掛三角 長沼 孝一  
 壁掛小波 中村 操  
 壁掛布 中村 操  
 壁掛(赤) 中村 操  
 つむぎ着尺 A 太田 仔至子  
 桌 岡村 吉左衛門  
 ショール 及川 全三  
 部屋着 大島 郁  
 ベッドカバー 大島 郁  
 緋 大島 郁  
 座ベッドカバー 大島 郁  
 座ベッドカバー 大島 郁  
 赤 大島 郁  
 打紋大皿 佐久間 藤太郎  
 角鉢小紋 佐久間 藤太郎  
 藍染着尺 立花 長子  
 白磁鍋手瓶子 滝田 項一  
 白磁刻文瓶子 滝田 項一  
 白磁面取瓶子 寺林 祐子  
 間仕切り用緋麻布 寺林 祐子  
 敷物 寺林 祐子  
 壁掛2 柚木 沙弥郎  
 壁掛1 柚木 沙弥郎  
 紺市松のしめ 柳 悦博  
 カーテン地(赤) 四本 悦資  
 カーテン地 柳 悦幸  
 緋布塔 柳 悦幸  
 彫刻 古島 実  
 虚のかたち 大成 浩  
 風 No. 3 大堀 恭誠  
 遺跡の時刻(II) 阿部 清市  
 1971-No. 3 阿部 清市  
 最後の棲息地 山本 豊  
 摘 関谷 充茂  
 心象北壁 千野 茂  
 裸婦 福士 勝男  
 蟹 福士 勝男  
 人形とヒップ 紫田 善二  
 渚にて 小川 清彦  
 動物と男 (C) 高橋 洋  
 おんな 71-1 高橋 洋

作品'71・沈(ちん) 佐藤 健次郎  
 作品'71・浮(ふ) 佐藤 健次郎  
 揺駕の詩 荒川 明照  
 静止した時 四田 昌二  
 顔を代える人 鈴木 実志  
 狂言的な監督者 神戸 武志  
 座女(ポリエステル) 染谷 英五  
 髪(ポリエステル) 染谷 英五  
 作品 71 B 塚田 喜司郎  
 作品 71 A 塚田 喜司郎  
 髪 — '71 秋山 進夫  
 夜 茨木 敏夫  
 海も空も二人の 峯田 敏郎  
 女も 峯田 敏郎  
 豊秋半次日本画展 27—5月2 三越  
 福田豊四郎遺作展 27—5月29 秋田市立美術館  
 出品目録  
 山湖遊行 巻装 佐藤 栄一蔵  
 福田薬局図 額装 福田 豊四郎蔵  
 夏郷 軸装 佐藤 栄一蔵  
 樹氷 屏風6 曲平双 〃  
 踊る娘たち 屏風4 曲平双 明間ボーリング蔵  
 沼 額装 福田 文子蔵  
 月夜 屏風4 曲平双 武埜林太郎蔵  
 滝 〃 土肥味右衛門蔵  
 歯 額装 〃  
 大同石仏 軸装 佐藤 達人蔵  
 渡し船 額装 土肥味右衛門蔵  
 大沢の池 〃 〃  
 雪国 屏風4 曲平双 成田 光雄蔵  
 流映 額装 太田 桃介蔵  
 太陽に告ぐる 〃 福田 文子蔵  
 池心坐主、暮蓮坐主 〃 木村 慎之助蔵  
 (絶筆) 〃  
 自画像 巻装 武埜林太郎蔵  
 南方スケッチ 〃  
 大同石仏スケッチ 〃  
 スケッチ(絶筆を含む) 福田 文子蔵  
 遺品(筆、硯、池、切、画道具等) 〃

写 真 額 装 福田 文子蔵  
佐 渡 額 装 横山スマ子蔵  
(福田豊四郎遺作展目録に拠る。)

小合友之助・河合卯之助二人展  
27—5月30 京都国立近代美術館  
小合友之助作品目録

山 海 屏風	1934 (昭和9)
雙 馬 図 額	1935 (昭和10)
洛北山川図 屏風	1936 (昭和11)
綵 工 額	1937 (昭和12)
鯉 〃	c.1942 (昭和17頃)
楠 屏風	1944 (昭和19)
扇面ちらし 〃	1948 (昭和23)
秋 萩 〃	1949 (昭和24)
猫 額	c.1951 (昭和26頃)
鷺 〃	1952 (昭和27)
裸 婦 〃	c.1952 (昭和27頃)
雨 屏風	1953 (昭和28)
山 水 〃	〃 ( 〃 )
庭 〃	c.1953 (昭和28頃)
青 空 〃	1954 (昭和29)
弥勒菩薩 額	1955 (昭和30)
くま公 屏風	〃 ( 〃 )
江州虎姫 〃	〃 ( 〃 )
風 景 額	c.1955 (昭和30頃)
臥 竜 松 屏風	1956 (昭和31)
風 景 額	c.1956 (昭和31頃)
風 景 〃	〃 ( 〃 )
初子と太郎 屏風	1957 (昭和32)
梅 〃	〃 ( 〃 )
山 〃	1958 (昭和33)
山 屏風	1958 (昭和33)

風 景 額	c.1958 (昭和33頃)
バ ス 〃	〃 ( 〃 )
層 山 屏風	1959 (昭和34)
滝 額	〃 ( 〃 )
山の図 〃	〃 ( 〃 )
樹 屏風	1960 (昭和35)
鯉 額	〃 ( 〃 )
月 明 屏風	〃 ( 〃 )
りすの図 額	〃 ( 〃 )
富 士 〃	〃 ( 〃 )
岸辺の月 〃	c.1960 (昭和35頃)
晴 屏風	1961 (昭和36)
風 景 額	〃 ( 〃 )
風 景 〃	〃 ( 〃 )
風 景 〃	c.1961 (昭和36頃)
原 屏風	1962 (昭和37)
安 達 原 額	〃 ( 〃 )
上 雲 屏風	1963 (昭和38)
風 景 額	〃 ( 〃 )
風 景 〃	〃 ( 〃 )
大 王 崎 〃	c.1963 (昭和38頃)
十 津 川 〃	1964 (昭和39)
富 士 〃	〃 ( 〃 )
桔 梗 額	〃 ( 〃 )
鷹ヶ峰 〃	〃 ( 〃 )
山 湖 屏風	c.1964 (昭和39頃)
風 景 額	〃 ( 〃 )
習 作 〃	〃 ( 〃 )
朝 屏風	1965 (昭和40)

今朝風流 屏風	1965 (昭和40)
伊 吹 山 額	〃 ( 〃 )
山 雪 〃	〃 ( 〃 )
海 〃	〃 ( 〃 )
富 士 〃	〃 ( 〃 )
峠 〃	c.1965 (昭和40頃)
五竜巡鮮 画帖	1941 (昭和16)
草花帖 〃	1941-42 (昭和16-17)
花 曆 画冊	1943-44 (昭和18-19)
阿蘇久住 画帖	1961 (昭和36)
北海道遊記 〃	1963 (昭和38)
下 絵・ス ケッチ類	
河合卯之助作品目録	
金鳳花模様青磁花 瓶	c.1912-13 (大正1-2頃)
新樹模様花器	c.1913-4 (大正2-3頃)
紫蒲公英二蝶花器	〃 ( 〃 )
陶彫老人像	1914 (大正3)
紫爪草模様珈琲器	1916 (大正5)
柳模様徳利	〃 ( 〃 )
紅蘇模様花瓶	c.1916 (大正5頃)
彫三島菓子鉢	〃 ( 〃 )
おもちゃ赤絵湯呑	〃 ( 〃 )
柳画磁花瓶	c.1917 (大正6頃)
猪之葉模様付小皿	〃 ( 〃 )
トルコ青黒絵小壺	c.1919-20 (大正8-9頃)
詩 歌 小 壺	c.1921 (大正10頃)
むらさきにがな彩 画菓子鉢	〃 ( 〃 )
鸞草紋緑茶器	〃 ( 〃 )
斑杖浮彫青瓷盃	〃 ( 〃 )
朝顔の実紋様茶器	c.1922-23 (大正11-12頃)

美術展覧会(4月)

狐 菊 鉢	c.1923-24 (大正12-13頃)	双魚之絵水盥	c.1932-33 (昭和7-8頃)	秋海棠群虫赤絵花 瓶	c.1938-39 (昭和13-14頃)
延齡草彫刷毛目花 瓶	c.1924-25 (大正13-14頃)	もくげ葉黄釉皿	( 〃 〃 )	三白文様花瓶	( 〃 〃 )
小鳥赤絵瓶	( 〃 〃 )	葡萄管呉須画灰被 花瓶	c.1933-34 (昭和8-9頃)	手付瑠璃細花瓶	( 〃 〃 )
水鳥色絵緑壺	( 〃 〃 )	たまかやつり草花 瓶	( 〃 〃 )	青磁双耳花瓶	( 〃 〃 )
草花画変象眼碟	( 〃 〃 )	虎斑麗花瓶	( 〃 〃 )	浜木綿浮彫白瓷 花瓶	( 〃 〃 )
野芥子画陶額	( 〃 〃 )	赤絵徳利	( 〃 〃 )	青瓷鼓胴花瓶	( 〃 〃 )
柘榴紋様赤絵向付	( 〃 〃 )	あかえ画瓶	c.1934-35 (昭和9-10頃)	浜木綿染付八角皿	( 〃 〃 )
玉簪花赤絵吸物碗	( 〃 〃 )	早春花瓶	( 〃 〃 )	一葉色絵小皿	( 〃 〃 )
唐手香合	( 〃 〃 )	草花図花瓶	( 〃 〃 )	天目茶碗	( 〃 〃 )
藤袴赤絵盃	( 〃 〃 )	萱草発芽鉄画花器	( 〃 〃 )	葛画吸物碗	( 〃 〃 )
はりつけ紋様花瓶	c.1925-26 (大正14-15頃)	あまご額皿	( 〃 〃 )	牡丹に蝶文色絵飾 壺	( 〃 〃 )
線文様花瓶	c.1927-28 (昭和2-3頃)	露の台香合	( 〃 〃 )	京都府立総合資料館蔵	
色絵花瓶	c.1928-29 (昭和3-4頃)	呉須画花入	c.1935-36 (昭和10-11頃)	壺型臨池泥硯	c.1938-39 (昭和13-14頃)
網赤絵花瓶	c.1929-30 (昭和4-5頃)	笹化粧彫花瓶	( 〃 〃 )	京都府立総合資料館蔵	
栗鼠三嶋平皿	( 〃 〃 )	金鳳花白瓷花瓶	c.1936-37 (昭和11-12頃)	宝鐸草香炉	c.1938-39 (昭和13-14頃)
野芥子櫛彫花瓶	c.1930-31 (昭和5-6頃)	化粧縞八角瓶	( 〃 〃 )	木の芽香合	( 〃 〃 )
鷄頭押葉花瓶	( 〃 〃 )	笹画青磁瓶	( 〃 〃 )	牡丹蓋赤絵肉池	( 〃 〃 )
赤絵ぶどう紋様花 瓶	( 〃 〃 )	野葡萄紋様花瓶	( 〃 〃 )	赤絵印匂壺	( 〃 〃 )
櫛目文筒花瓶	( 〃 〃 )	阿亀笹図花瓶	( 〃 〃 )	赤絵盃及び台、箸 置	( 〃 〃 )
黒化粧粟彫花瓶	( 〃 〃 )	赤絵尊花瓶	c.1937-38 (昭和12-13頃)	孔雀繭染付瓶	c.1939-40 (昭和14-15頃)
芋麻押葉花瓶	( 〃 〃 )	黒釉蕪赤絵花瓶	( 〃 〃 )	白文字色絵花瓶	( 〃 〃 )
京都府総合資料館蔵		櫛目花瓶	c.1937-38 (昭和12-13頃)	伊羅保広口花瓶	( 〃 〃 )
若草染付額皿	c.1930-31 (昭和5-6頃)	青梅画花瓶	( 〃 〃 )	あけび赤絵瓶	( 〃 〃 )
蘭額皿	( 〃 〃 )	松虫草染付壺	( 〃 〃 )	梨花色絵花瓶	( 〃 〃 )
篋描文黄釉花瓶	c.1931-32 (昭和6-7頃)	京都府立総合資料館蔵		化粧花器	( 〃 〃 )
草実画花瓶	c.1932-33 (昭和7-8頃)	金鳳花肉彫白磁 花瓶	c.1937-38 (昭和12-13頃)	蓼画醬油注	( 〃 〃 )
瑠璃釉櫛目花瓶	( 〃 〃 )	京都府総合資料館蔵		六角コーヒ-碗	( 〃 〃 )
茄皮瑠璃花瓶	( 〃 〃 )	珠砂流文手鉢	c.1937-38 (昭和12-13頃)	色絵磁盆	( 〃 〃 )
柚刻画壺	( 〃 〃 )	石榴染付火入	( 〃 〃 )	木爪画陶硯	( 〃 〃 )
虎杖鉢	( 〃 〃 )	笹画醬油皿	( 〃 〃 )	齊赤絵香炉	( 〃 〃 )
				蘭赤絵香炉	( 〃 〃 )



辻堂香合	c.1939-40 (昭和14-15頃)	柿釉水瓶	c.1941-42 (昭和16-17頃)	伊羅保刷毛目茶碗	c.1942-43 (昭和17-18頃)
赤絵布巾筒	( / / )	花立	( / / )	定家葛赤絵平棗	( / / )
黄梅合子	( / / )	梅画土瓶	( / / )	赤絵棗	( / / )
蓼画醬油注	( / / )	大手毬押葉六角盛器	( / / )	青瓷香合	( / / )
醬油つぎ	( / / )	栗鼠画額皿	( / / )	長岡宮城瓦当澄泥硯	( / / )
化粧垂花瓶	c.1940-41 (昭和15-16頃)	木葉文様六角銘々皿	( / / )	倣正倉猴膝硯	( / / )
菊文花瓶	( / / )	梅子色絵銘々皿	( / / )	赤絵硯滴	( / / )
若萩色絵鉢	( / / )	紫蘭染付水指	( / / )	赤絵宝珠硯滴	( / / )
山帰来画銘々皿	( / / )	綱文水指	( / / )	蔓艸赤絵珈琲器	( / / )
草花赤絵振出し	( / / )	草花画蓋茶碗	( / / )	菊赤絵酒器揃	( / / )
呉須振出し	( / / )	結文染付香炉	( / / )	茄子画小蓋物	c.1947-48 (昭和22-23頃)
草花色絵振出し	( / / )	雀鈕青磁香炉	( / / )	いちはつ赤絵額皿	( / / )
向日窯澄泥硯	( / / )	虻香合	( / / )	京都市立芸術大学蔵	
木賊画水指	( / / )	紫蘇硯滴	( / / )	獅子頭文瓶	c.1948-49 (昭和23-24頃)
椿画香合	( / / )	菊染付硯滴	( / / )	胡蝶蘭画鉢	( / / )
木の葉天目茶碗	( / / )	吐明珠硯滴	( / / )	いちはつ彩画額皿	( / / )
京都府立綜合資料館蔵		筆帽	( / / )	鶏頭赤絵額皿	( / / )
齊赤絵御飯茶碗	c.1940-41 (昭和15-16頃)	蜂の画コーヒー器	( / / )	刷毛目茶碗	( / / )
菊画御飯茶碗	( / / )	藤袴画徳利	( / / )	木の葉天目六盃	( / / )
三白筆赤絵茶注	( / / )	赤絵盃	( / / )	黒釉文一輪生	c.1949-50 (昭和24-25頃)
蓼絵徳利	( / / )	椿彩画盒子	( / / )	臘梅若葉釉描瓶	( / / )
葉色絵筆帽	( / / )	山吹押葉吸物碗	( / / )	山薬花赤絵花瓶	( / / )
筆帽	( / / )	力草画手焙	( / / )	細辛彩画瓶	( / / )
押葉苺セット	( / / )	ぼたんづる花瓶	c.1942-43 (昭和17-18頃)	孔雀菌朶花瓶	( / / )
蕨画猪口	( / / )	福寿草画水瓶	( / / )	秋海棠赤絵洋瓶	( / / )
赤絵杵立	( / / )	春禽花瓶	( / / )	紫恵画鉢	( / / )
やぶれがさ粉引花瓶	c.1941-42 (昭和16-17頃)	蔓人參彫文青瓷花瓶	( / / )	草花画折敷皿	( / / )
桑印葉黄瓶	( / / )	京都国立近代美術館蔵		艸花絵変染付をしき皿	( / / )
菊画水瓶	( / / )	玻璃水瓶彩画額皿	c.1942-43 (昭和17-18頃)	もくれん陶額	( / / )
蕨赤絵茶心壺	( / / )	石榴浮彫飾皿	( / / )	チュールリップ芽皿	( / / )
		白磁茶碗	( / / )		

美術展覧会(4月)

蒨葎草文皿	c.1949-50 (昭和24-25頃)	秋海棠赤絵花瓶	c.1952-53 (昭和27-28頃)	孔雀幽染赤絵盛鉢	c.1956-57 (昭和31-32頃)
はにわ猿額皿	( 〃 )	折鶴幽染画瓶	( 〃 )	しげり彫紋タンポ 白磁瓶	c.1957-58 (昭和32-33頃)
押葉六角皿	( 〃 )	山桑真葉瓶	( 〃 )	ときはした赤絵瓶	( 〃 )
半夏生染付皿	( 〃 )	京都市立芸術大学蔵		篋 画 瓶	( 〃 )
螢袋色絵花瓶	( 〃 )	幾何文赤絵蓋物	c.1952-53 (昭和27-28頃)	埴輪画額皿	( 〃 )
八重椿赤絵額皿	( 〃 )	京都府立総合資料館蔵		桃 額 皿	( 〃 )
牡丹色絵額皿	( 〃 )	草花画文鉢	c.1952-53 (昭和27-28頃)	蕨赤絵深皿	( 〃 )
絵変向付	( 〃 )	押葉皿	( 〃 )	蕨画茶碗	( 〃 )
千代結赤絵茗碗	( 〃 )	胡桃若葉額皿	( 〃 )	赤楊柳葉刷毛目碗	( 〃 )
結文香合(協作)	( 〃 )	石南花彩画飾皿	( 〃 )	山萬莖画蓋物	( 〃 )
呉須赤絵茗碗	( 〃 )	あじさい葉文額皿	( 〃 )	色絵葉文花瓶	c.1958-59 (昭和33-34頃)
蔓荔枝画蓋茶碗	( 〃 )	白瓷香炉	( 〃 )	桂籬画額皿	( 〃 )
赤絵杓立	( 〃 )	寿中次	( 〃 )	椿赤絵燭立	( 〃 )
律画珈琲器	( 〃 )	鶴金彩棗	( 〃 )	塔二彩香合	( 〃 )
桑葉画黄釉瓶	c.1950-51 (昭和25-26頃)	蕨赤絵棗	( 〃 )	折鶴幽染赤絵花瓶	( 〃 )
肥後菊蓉文瓶	( 〃 )	ほたるぶくろ赤絵 蓋物	( 〃 )	京都国立近代美術館蔵	
萱草刻画皿	( 〃 )	金彩文花瓶	c.1953-54 (昭和28-29頃)	幽染彫花瓶	c.1958-59 (昭和33-34頃)
呉須一文字皿	( 〃 )	薊呉須画花瓶	( 〃 )	露の台赤絵瓶	( 〃 )
土筆画振出	( 〃 )	金錯中次	( 〃 )	礎草金彩瓶	( 〃 )
ほたるぶくろ画蓋 物	( 〃 )	瑠璃八角花器	c.1955 (昭和30頃)	上賀茂幽染染付瓢 瓶	( 〃 )
蜻蛉赤絵高杯	( 〃 )	色絵花文花瓶	( 〃 )	木の実画花瓶	( 〃 )
庭常真葉瓶	c.1951-52 (昭和26-27頃)	孔雀幽染金彩花瓶	( 〃 )	金彩文瓶	( 〃 )
あまどころ花絵花 瓶	( 〃 )	薊銀彩瑠璃瓶	( 〃 )	くわい色絵瓶	( 〃 )
溪に残る五月雪額 皿	( 〃 )	うねり文様花瓶	( 〃 )	鷗字赤絵盃	( 〃 )
房幽染染付碟	( 〃 )	金彩瓶	( 〃 )	山歸来画銘々皿	( 〃 )
芙蓉押葉中皿	( 〃 )	天台鳥葉彫画瓶	( 〃 )	春雪彩画飾皿	( 〃 )
吾妻根子と四阿岳 額皿	( 〃 )	羊幽染赤絵花瓶	( 〃 )	いちはつ平皿	( 〃 )
草花色絵蓋茶碗	( 〃 )	紅葉画染付鉢	( 〃 )	ぜんまい画蓋物	( 〃 )
海の年輪彫描瓶	c.1952-53 (昭和27-28頃)	能面増女額皿	( 〃 )	金彩松垣茶碗	( 〃 )
三葉赤絵花瓶	( 〃 )	灑釉水指	( 〃 )	蔓草文様瓶	c.1960-61 (昭和35-36頃)
		縞文様盛鉢	c.1956-57 (昭和31-32頃)		

早春譜金彩瓶 c.1960-61 (昭和35-36頃)  
 色絵カトレア図飾皿 ( )  
 鉄釉赤絵水指 ( )  
 おどりこ草押葉茶盤 ( )  
 赤絵茶碗 ( )  
 宝結び茶碗 ( )  
 椿赤絵文黒絵茶碗 ( )  
 金彩花文合子 ( )  
 芍茶発芽赤絵瓶 c.1961-62 (昭和36-38頃)  
 赤絵花瓶 ( )  
 罈口赤絵花瓶 ( )  
 京都市立芸術大学蔵  
 赤絵花瓶 c.1962-63 (昭和37-38頃)  
 赤絵花器 ( )  
 折鶴蘭朶赤絵瓶 ( )  
 削手花瓶 ( )  
 瓢赤絵瓶 ( )  
 蘭朶赤絵瓶 ( )  
 牡丹文赤絵花瓶 ( )  
 京都府立総合資料館蔵  
 金彩廻線花瓶 c.1962-63 (昭和37-38頃)  
 風露草彫面額皿 ( )  
 黒釉赤絵花瓶 c.1963-64 (昭和38-39頃)  
 炭画茶碗 ( )  
 赤絵福寿花瓶 ( )  
 漆器  
 百合花彫文香合 c.1935 (昭和10頃)  
 汀節吸物椀 c.1938-39 (昭和13-14頃)  
 絵画  
 越後土樽之雪景 1926 (大正15)  
 寛示雛  
 蓬菜蛙図

延齡草  
 さつき  
 スケッチ各種  
 東京画廊展1971 28—5月11 東京画廊(第一会場)・ピナール画廊(第二会場) 28—5月4 彩壺堂(第三会場)  
 白色セメントによる春の野外彫刻展 28—5月30 北の丸公園  
 森芳雄個展 29—5月8 ポール・ギャラリー  
 23回京展 30—5月14 京都市美術館  
 5 月  
 「おんな」横山泰三展 1—12 日動サロン  
 平福百穂展 1—14 本間美術館  
 出品目録  
 桑摘み 紙本着色 軸仕立 1幅 大1  
 ライオン 絹本裏金墨画 六曲屏風 1双 大4  
 豫讓 絹本裏金着色 六曲屏風 1双 大6  
 白馬献上 絹本着色 軸仕立 双幅 大6  
 牛 絹本裏金淡彩 六曲屏風 1双 大7  
 日本武尊 右 相模の海  
 左 白鳥陵 紙本淡彩 軸仕立 3幅対 大7  
 松林帰牧 紙本着色 軸仕立 1幅 大8  
 小松山 紙本淡彩 軸仕立 1幅  
 老幹抽條 紙本淡彩 軸仕立 1幅 大9  
 荒磯 絹本着色 二曲屏風 1双 大15  
 若竹に鶴 六曲屏風 1双  
 又松 紙本着色 軸仕立 1幅

老梅 軸仕立 1幅  
 溪山霜秋 絹本着色 軸仕立 1幅  
 堅田の一体 紙本墨画 軸仕立 1幅 昭3  
 刈草 紙本着色 軸仕立 1幅 昭6  
 秋苑 絹本着色 軸仕立 1幅 昭6  
 柏栗鼠 軸仕立 1幅  
 短歌  
 ここにして岩鷲山の東の岩手の国は傾きて見ゆ  
 短冊 1枚  
 短歌  
 細密に描きたる絵は真白なる甕に笹のかけをおとせる  
 短冊 1枚  
 久保晃個展 1—22 第七画廊  
 ヨーロッパ巨匠水彩素描展 1—6 月20 国立西洋美術館  
 エドワード・ムンク版画展 3—9 三越  
 彫刻集団五月会(4回) 3—15 日本画廊  
 群炎展 4—11 日本美術協会会館  
 芹沢銈介収集品展 4—30 日本民芸館  
 香月泰男油絵展 6—15 フォルム画廊  
 香月泰男油絵小品展 6—15 みゆき画廊  
 木内克雄型彫刻展 7—12 銀座・松屋  
 文化勲章受章記念・棟方志功展 7—16 日本橋・東急  
 ジャン・デュビュッフ版画展 10—20 麻布画廊  
 オスカー・ココシユカ展 10—22 ギャラリー・ユニバース  
 松島正幸個展 10—20 フジテレ ビ・ギャラリー  
 40回朔日会展 10—22 都美術館  
 31回日本画廊展 10—31 都美術館  
 10回現代日本美術展 10—30 都美術館  
 出品目録  
 風景—イメージとしての自然

美術展覧会(5月)

環 嘯		シリーズ博物詩 “擬卵”	版 画	地 表 油
From the Dictionary	紙	北 山 泰 斗		中 村 宏
荒 川 修 作		他人の空シリーズ 〈私有性への願い〉	キャンバス	造山運動あるいは 「モナリザ」の背景
Shape	紙	他人の空シリーズ 〈空の皮膚〉	シ	野 田 哲 也
Paintings	シ	他人の空シリーズ 〈相〉	シ	日記;1970年4月 22日ニューヨーク で(c)
Landscape	シ	木 村 光 佑		日記;1970年4月 22日ニューヨーク で(d)
池 田 満 寿 夫	リトグラフ	現在位置—存在 24	紙・アクリ ル	野 中 ユ リ
朝 の 出 発	シ	現在位置—存在 25	シ	作 品 I
笑 っ て	シ	現在位置—存在 26	シ	作 品 II
マーガレットの庭		木 村 利 三 郎		野 間 佳 子
糸 園 和 三 郎		私のニューウー ク地図	紙	海 辺 (その1)
いちじゅく	油	工 藤 甲 人		海 辺 (その2)
いちじゅく	シ	森 の 裁 き	シ	海 辺 (その3)
稲 垣 三 郎		黒 崎 彰		野 見 山 暁 治
浮き華は縞柄をよ そおって	ベニヤ板パ ネル	萬 華 鏡 (A)	木 版	風 景 1
今 中 クミ子		萬 華 鏡 (B)	シ	風 景 2
植 物 4	写真パネル	駒 井 哲 郎		藤 田 吉 香
植 物 5	シ	星 座 (A)	版 画	日 月 麗 天
植 物 6	シ	星 座 (B)	シ	元 永 定 正
宇佐美 圭 司		星 座 (C)	シ	Nyu Nyu Nyu
交 換	板・石 膏	近 藤 竜 男		Nobi Nobi
大 沢 昌 助		Five Diagonal Stripes	キャンバス	Z Z Z Z Z
なまけものたち	油	Three Diagonal Stripes	シ	吉 原 英 雄
転 落	シ	白 藤 朱 根		ワンショット I
大 島 哲 以		連 禱	ベニヤ張り パネル	ワンショット II
華 燭	キャンバ ス・顔料	菅 井 汲		ワンショット III
岡 本 信 治 郎		標 識	写 真	若 江 漢 字
落日考 A・B・C	キャンバ ス・リキ テックス	関 川 都		様 態
落日考(真夜中の ポバイ)	紙	作 品	パネルに紙 ばり	若 尾 和 呂
小 野 具 定		田 淵 安 一		無 題
北 辺	木材と紙	雲のうえの方の風 景 I	油	無 題
柏原 えつとむ		雲のうえの方の風 景 II	シ	
For the Sky	キャンバ ス・水性ペ イント	雲のうえの方の風 景 III	シ	
For the white on the white	シ	司 修		
香 月 泰 男		ファッション1971 ①	キャンバス	
-35°	油	ファッション1971 ②	シ	
バイカル	シ	ファッション1971 ③	シ	
勝 本 富 士 雄		鶴 岡 政 男		
ライジング・サン	キャンバス			
ライジング・サン	シ			
上 矢 津				
シリーズ博物詩 “命無きもの”	版 画			
シリーズ博物詩 “クマシギの永遠”	シ			
				阿 部 展 也
				R 3(習作)1971
				Mixed medium
				R 29(習作)1970
				シ
				白 い 影
				シ
				飯 田 善 国
				条 件
				鉄 板
				稲 葉 治 夫
				水平位置の関係 (Eのために)
				木 枠・布・ アクリル系 塗料
				シ
				ボ ジ シ ョ ン
				大 石 も も 子
				DISCOVER
				REAL AME- RICA
				紙



小野 教 治  
 斜 面 木・ガラス  
 オノサト・トシノブ  
 32コの丸  
 瓦 林 陸 生  
 無 題 ステンレス・スチール・木  
 佐藤 垂 土  
 MOON RIVER I キャンバス  
 MOON RIVER II シ  
 MOON RIVER III シ  
 高崎 元 尚  
 密 着 鉛  
 高橋 秀  
 BLUE BALL 布 地・Smalto Nitro  
 土谷 武  
 壁 と 柱 発泡スチロール・鉄  
 中里 斉  
 由 用 綿布・木  
 永井 一 正  
 0-3 紙  
 0-4 シ  
 0-5 シ  
 名坂千吉郎  
 SERVE LINE 11  
 堀内 正 和  
 これはひとつのリングゴである ブロンズ  
 松谷 武 判  
 オブジェーA 版 画  
 オブジェーB シ  
 オブジェーC シ  
 宮脇 愛 子  
 作品1971 MEGU-030 ガラス・鉄  
 最上 寿 之  
 ヒ ャ ラ ラ 合 板  
 保田 春 彦  
 作 品 3-71 真鍮クローム・ホワイ トメッキ  
 山口 長 男  
 黒 油  
 黄 シ  
 赤 シ

吉原 治 良  
 作 品 A  
 作 品 B  
 作 品 C  
 湯原 和 夫  
 無 題 鏡面アルミニウム・人工毛皮  
 状況—物質と行為との対話  
 飯田 昭 二  
 国家 安 康 紙・人体  
 五辻 茂 転 化 木 材  
 狗巻 賢 二  
 無 題 キャンバス  
 今井 祝 雄  
 EXISTENCE 白色セメント・モルタル  
 榎倉 康 二  
 質 セメント・砂  
 大黒 利 幸  
 奥田 善 巳  
 1個のレンガと 90個のレンガ レンガ  
 小池 一 誠  
 け は い  
 小清水 漸  
 表面から表面へ 木 材  
 菅 木 志 雄  
 中間 状 況 鉄・石  
 鈴木 慶 則  
 Twin endless-ring ロ ー プ  
 関根 伸 夫  
 <<空相>>による プロジェクト 紙  
 高松 次 郎  
 題 名 鉄板・ビニール・塗料  
 高山 登  
 地下動物園 木・鉄・マット  
 地下動物園 木  
 武里 惣  
 No.22 木材・ニス・bolt  
 田中 信太郎  
 無 題 ウレタン・アルミ粉末  
 無 題 ウレタン・カーボン粉末

無 題 ウレタン・銅粉末  
 寺田 武 弘  
 樹 典 人 木材・鋸  
 原口 典 之  
 提案II「物性領域」 鉄  
 福岡 道 雄  
 Pink Air 空 気  
 Epilogue シ  
 本田 真 吾  
 No.49 板・木材  
 前田 守 一  
 栽 培 馬鈴薯・煉瓦・じゅうたん  
 梁島 晃 一  
 無 題 ゴム・塗料  
 吉田 克 郎  
 布・糸・色・壁 布・糸  
 李 禹 煥  
 SITUATION キャンバス・石  
 SITUATION シ  
 SITUATION シ  
 情報—新しいことばとしての 自然  
 荒木 経 雄  
 カラー写真 1 写 真  
 飯村 隆 彦  
 男 と 女 ヴィデオ・コーダー・ヴィデオ・モニター  
 石黒 健 治  
 緋牡丹儀式 写 真  
 磯 辺 行 久  
 VIDEO DOCUMENTATION "PHOENIX HOUSE SUMMER HAPPENING" ヴィデオ・コーダー・ヴィデオ・モニター  
 海老原 咲  
 ベ・ペ・ペ・ペ・ペストル 紙  
 逃げるが勝ちノ 紙  
 警察は優秀なのだ 紙  
 大西 清 自  
 音 況  
 小川 隆 之  
 Thing 1 金 属  
 Thing 2 シ  
 Thing 3 シ

美術展覧会(5月)

河口 龍夫		吉野 辰海		Re..... 4 Angle	油	絵
石と光	石・螢光燈	案内板	鉄・紙・アクリル	Re.....23.5Angle	シ	
木村 恒久		吉村 益信		岡 君子	油	絵
国旗	写 真			作品 A I	油	絵
入管法	シ	豚・Pig lib	豚・はくせい・いい・プラス・チック・ワックス	香川 龍介	油	絵
工藤 哲己				青い帯と白い帯	油	絵
電子回路の中に於ける放射能による養殖	キャンパス	ザ・ブレイ		片山 昭弘		
小島 信明		BENCH	木 材	工作者の影	水性・油性併用	
CROSBY ST. N. Y.	ダンボール・木	トウ・ハンシ		角 俊範		
高梨 豊		記 録	紙	1971、1月31日		
Fly me to the Moon	写 真	記 録	シ	多摩川中流(3)		
Fly me to the Moon	シ	記 録	シ	鎌田 方晴		
Fly me to the Moon	シ	記 録		夜	日本画	
田村 茂		<コンクール部門>		河原 進	日本画	
家、MIRAGE	写 真	平面		家族 III	日本画	
内藤 正敏		阿伊染 徳美		河村 春水	油	絵
人類	写 真	再版解体図 '71A	油	置いて行かれた卵	油	絵
野村 仁	写 真	麻田 脩二		菅野 聖子	油	絵
福島 敬恭		Work-G		レヴィストロースの世界 1	油	絵
10,000枚の鉛	鉛と鉄	Work-L		きしねみつたか		
前山 忠		浅野 純		ふるうぶりんとその1120=ぬりえ	コピ	
反 戦	旗・布・ビラ・紙・ステッカー・ビニール	Leview 2		木庭 喜久男	油	絵
松沢 宥		荒木 哲夫		作 品	油	絵
人類の滅亡近し	布	幾何学的な夜	版 画	木村 林吉	油	絵
皆しかと心の注意を	シ	有田 暁子		鏡の裏側 S	油	絵
××××をせよ	シ	Out I		菊地 和博		
マッド・アマノ		有本 弘		無 題		
セックス・エデュケーション	写 真	Color Space(D)	油	清塚 紀子		
マ ッ プ	シ	飯塚 国雄		ミロアールの8番	版 画	
進 化	シ	Adam & Eve	版 画	窓からの眺め、ミロアールの11番	シ	
水上 旬		井上 公三		桑原 盛行		
情報揭示		Swing No.1	油	自由の主題を持つ造形組織体の比例要因による変奏(4)	水彩画	
昭和46年自5月10日至10月10日		Swing No.5	シ	自由の主題を持つ造形組織体の比例要因による変奏(5)	シ	
森山 大道		石田 黙		小阪 正次		
Hy-Brid	写 真	白い静物 I	油	捨場の道化	油	絵
矢辺 啓司		石橋 泰幸		小林 基輝	版 画	
VECTOR 6	ガラス・鉄・写真	The Pressed Colour with Color (3)	油	ホーライ	シ	
横尾 忠則		市川 正三		鼠		
ワンダーランド	紙	無言譜	油	小松 豊		
ワンダーランド	シ	市橋 哲夫		私は色を編む(C)	版 画	
ワンダーランド	シ	ふりむかないヴィナス 71-3	油	緞 緞 敏郎		
		今村 幸生		くりかえされる返礼	水彩画	
		L'extase Matérielle(71-B)	油	追込まれたスペース2	シ	
		生形 貴春				
		Den Den Ban	油			
		大坂 日出男				
		ブルーに向かって	油			
		大橋 たか子				

佐藤勝彦				中田 寛				森田 篤			
華から月え	日本画			世界の辞典(Where is it?)				青 一 68			
佐藤泰生				中村憲之				矢柳 剛			
メイク・アップ・ラブ				Across the Universe IV	油	絵		空に咲く花	版	画	
斎藤 智				浜田 清				万華鏡	シ		
視界 E				三月にたよりを	版	画		私自身の文明	シ		
視界 F				早川貞亮				宇宙人間	シ		
志賀敏広				遠い空(H)	油	絵		山田 彊 一			
四つの方形における井戸(2)				原 健				視点の消滅と移動(B)			
島 州 一				a couple of lines, No. 2	版	画		山中嘉一			
月と企業	版	画		a couple of lines, No. 4			サイレンサー	版	画		
椅子	シ			広井利三郎			山本 貞				
島田武代士				集合体 No. 2	油	絵		ザ・ランドスケープ T	油	絵	
Space Construction No. 4 移行	油	絵		半物体 No. 2	シ		横尾 靖				
嶋屋征一				深沢史朗			女 1	油	絵		
スペース・白 71-3				紙碑のカルテ	版	画	古木 健				
清水国夫				藤井 肇			Fade Out 35				
作品 7117	油	絵		団地はずれも	油	絵	Fade Out 35				
神保素子				二俣 隆			吉田 登				
絶望に支えられた憧憬 No. 3	版	画		解体 II	油	絵	White 1	版	画		
杉本和人				真板雅文			渡辺 正				
環境異変(言葉)による知覚神経作用	版	画		1971年、自然線、人工線			律 No. 2	油	絵		
タイイ・芦沢				増井和弘			渡辺豊重				
交通事故経過報告				Work 71-31	油	絵	かたち No. 701 5				
高橋恵子				松井和弘			立 体				
All-Over C	油	絵		夜の虹	日本画		相川文字				
高橋好文				松田 豊			愛された				
アクロポリス(A)	油	絵		GU-GU			伊藤 隆				
高柳 裕				松原龍夫			エロチカ "Cube" I	電	気		
Landscape with Clam Chowder	版	画		12cmのぼかしの線	油	絵	エロチカ "Cube" II	シ			
谷野 稔				松本文子			魚田元生				
ステンレス・スティールの波(C)				JULIE			ほしもの				
椿 義 則				松本安良			車				
平面上の形 2	油	絵		もしもあなたが(I)	油	絵	植松奎二				
坪内晃幸				三宅幹一郎			截				
作品 No. 1	油	絵		ダブル・ブルー No. 2	油	絵	大久保利罔				
鶴岡 洋				三浦哲生			It's cloudy day				
快樂思考の図71の「え」	版	画		仮 晶 III	油	絵	カワズミ・カズオ				
徳永 考 衝				三国 正太郎			GREAT VIBRATION				
グランド・キャニオン(III)	日本画			天皇退位説 No. 1 (コーヒーカップが詩う)			角 永 和 夫				
富張 広 司				元山道子			木				
凝視するもの(A)	版	画		Torse 71-10	版	画	風倉 匠				
中沢洋一				森島 勇			魔術によって宇宙の一部を証す道				
Where is Green (2)	水彩画			車 内	版	画	岸田龍平				
							言葉:「限定された空間内における行為と現象」				

美術展覧会(5月)

倉重光則  
 作品Ⅱ(ナマリ、  
 螢光灯)  
 作品Ⅲ(ベッド)  
 小室至  
 対話 1  
 対話 2  
 佐野芳樹  
 Communication  
 antennas  
 4・びーびーM  
 M判・シャツ  
 下谷千尋  
 EARTH PRINTING  
 嶋本昭三  
 右まわり左まわり  
 上下まわりに見える線  
 鈴木健司  
 BASE  
 田代幸俊  
 花粉  
 田中薫  
 曲る板 電 動  
 中村康平  
 水砂  
 仲山計介  
 Raot(い)  
 仲山進作  
 ThroughⅡ-1  
 長谷川真紀男  
 a'  
 福原金太郎  
 無題  
 松下哲雄  
 現地出品によるブ  
 ロック雪崩  
 松山徹  
 原 告 6 アクリル  
 水崎拓  
 ある日  
 水本修二  
 状況・状態  
 守屋行彬  
 クリーニング  
 ヤスマルノブユキ  
 My way No.11  
 山本衛士  
 化粧 3-さび  
 渡辺英夫  
 中間体

雨晴会展(16回) 11-15 兼素洞  
 二紀選抜展 11-16 都美術館  
 臥龍会展(4回) 11-16 高島屋  
 バーナード・リーチ作品展 11-16  
 三越  
 村井正誠・小川孝子二人展 12-17  
 竹川画廊  
 刑部人展 13-22 日動サロン  
 吉田克朗個展 15-29 ピナール画  
 廊  
 明治の洋画展 15-31 本間美術館  
 瑛九回顧展 15-6月15 宮崎県総  
 合博物館  
 オノサト・トシノブ展 17-22 大  
 阪・梅田画廊船場店  
 10回独立選抜展 17-23 都美術館  
 小野末・平川敏夫二人展 17-29  
 彩壺堂  
 寺内萬治郎回顧展 18-23 三越  
 走泥社展(前衛陶芸の動向) 18-30  
 伊勢丹  
 ルネ・マグリット展 22-7月11  
 東京国立近代美術館  
 37回旺玄会展 23-6月5 都美術  
 館  
 11回日展水彩作家協会展 24-30  
 日本美術協会会館  
 高間惣七展 24-31 日動画廊  
 42回第一美術展 24-6月5 都美  
 術館  
 清水多嘉示彫刻絵画自選展 25-30  
 三越  
 出品目録  
 彫刻  
 イタリーの少女 ブロンズ 1924  
 女の立像 シ シ  
 女の立像 シ 1925  
 ミラー嬢 石膏 1926  
 フランスの少女 ブロンズ シ  
 レア嬢 シ シ  
 女の顔 シ シ  
 騎馬像 シ シ  
 女の立像 シ シ  
 女の座像 シ シ  
 女の座像 シ シ  
 フランスの少女 シ 1927  
 マルセル嬢 シ シ  
 ソニア嬢 石膏 シ  
 習作 ブロンズ シ  
 髪をすく シ 1930

サフォー ブロンズ 1930  
 コスチュームの  
 少女 シ シ  
 裸 婦 シ 1932  
 飛躍 シ 1933  
 水浴 シ 1935  
 母子像 石膏 1939  
 母子像 ブロンズ シ  
 みどり児 シ 1944  
 バリ嬢 シ 1947-8  
 霞ヶ浦記念碑試  
 作 シ 1948  
 星女嬢 シ 1950  
 T夫人の像 シ シ  
 女の立像 シ シ  
 女の立像 シ シ  
 女の座像 シ シ  
 鳩をもつ シ 1951  
 みどりのリズム シ シ  
 みどりのリズム シ シ  
 すこやか シ 1952  
 すこやか シ シ  
 女の座像 シ 1953  
 女の座像 シ 1955  
 藤井氏像 シ 1958  
 黎明 石膏 シ  
 裸婦 シ 1959  
 裸婦 ブロンズ シ  
 裸婦 石膏 1960  
 雄飛 シ シ  
 雄飛 ブロンズ シ  
 女の立像 シ シ  
 岩による シ シ  
 岩による シ シ  
 躍進 石膏 1961  
 躍進 ブロンズ シ  
 女の立像 シ シ  
 日本嬢 シ 1962-3  
 女の立像 シ 1963-4  
 浩 石膏 1963  
 S嬢 ブロンズ 1964  
 爽 シ シ  
 爽 シ シ  
 女の座像 シ 1965  
 裸婦 石膏 シ  
 裸婦 ブロンズ シ  
 高見順先生像 石膏 1966  
 裸婦 シ シ  
 裸婦 ブロンズ シ  
 女の座像 シ 1967  
 裸婦 シ シ





美術展覧会(6月)

聖 性 矢野利隆	囲 加藤一	庵 船 岩見睦男
部 屋 で	列 林 俊 治	憩り(WEST) 長尾和
風 景(郷) 羽原智達	口 ト に て	憩り(EAST)
風 景(郷)	風 景 関 晴 明	黒い雨Ⅱ 木村栄治
偶 話 上野実	遊 園 地 鬼頭太三夫	黒い雨Ⅰ
不安な風景 西村保史郎	樹 晴 秋 島田武幸	離 島 奈良清四郎
終末の祭典 上野実	private space	空と大地(イン
聖	—<positive>	下シナ)
北 の 海 田中淳樹	private space	炎の墓標 吉井忠
作 品(C) 末松正樹	—<positive>	砂浜にて 森芳雄
作 品(A)	PASTORAL	釣 人(Ⅱ) 塚田重明
作 品(B)	(2)	釣 人(Ⅰ)
北 の 春 小谷博貞	PASTORAL	足搦岬 伊佐港
大地・休息一冬	(1)	土 木 大野五郎
遠い風景 賀川孝	海 治 深見公道	削られる緑 A 戸津勇作
遠い風景(B) 賀川孝	谷 の 春 中村輝行	削られる緑 B 奥富修
馬 走 る 川合喜二郎	空 を 見 る 野本醇	市 場 B 塩水流功
坐 る 森田六男	仮面の裸(家族) 和田松久	市 場 A 稲葉実
枯 人 森田六男	仮面の裸(婚) 伊志嶺保俊	女ひとり耕す 井沢元一
営 菓	二人の女 加藤十三朗	おさな友だち 荒木道夫
blue sky no	女 あつまり 磯村敏之	風 景 松井豊
Return 塚田猛昭	記 憶 作 品 A	ウ マ 井沢元一
blue sky for	作 品 B	木 景 加藤勁
you	風景(埋立地の	風 景 前川博人
作 品(A) 尾崎平次	コンビナート)	樹 と 山 浜田方一
作 品(B)	風景(ガスタンク	高 原 に て 田中朝吉
作 品(C)	と発電所)	野 原
食 事 前田孝造	風景(鹿島にて)	21回新興美術院展 7—19 都美術
流 れ る 賀川忠	蝸牛譜(1)	館
水 の 風景	蝸牛譜(2)	19回光陽会展 7—19 都美術館
川 の 風景	憩 憩 (男)	ポール・ウンダーリッヒ展 7—19
夜 へ の 道 赤塚徹郎	憩 憩 (女)	東京画廊
作 品 A-71 入幡三郎	ベナレスの沐浴	村上肥出夫新作油絵展 8—13 銀
真昼の時計 赤塚徹郎	冬 の 木 渡力敷唯信	座・松坂屋
作 品 柳沢安雄	赤 い 空 尾内健治	岩田藤七喜寿記念展 8—13 高島
風 景 平沢理紀夫	赤い花の季節 島田由紀子	屋
イカルス(B)	秋 豊田一男	「近代日本の彫刻」展 8—7月11
イカルス(A)	蝕 無人の風景(2) 森川ユキエ	京都国立近代美術館
posthumously	無人の風景(1) 山田光春	今関一馬滞欧作品展 10—18 日動
space-A'	南 の 涯(A) 小菅徳二	サロン
space-A	南 の 涯(B) 葉 葉 No. 1	田中阿喜良展(3回) 10—19 日動
DO SOME-	葉 葉 No. 4	画廊
THING	葉 葉 No. 2	25回霹靂社展 14—26 都美術館
オリンボス考 石井義雄	葉 葉 No. 5	14回新象作家協会展 15—27 都美
あーら、しばら 橋本章	葉 葉 No. 3	術館
く	葉 葉 No. 6	59回日本水彩画会展 15—27 都美
こまっちゃうわ	廃 船 岩見睦雄	術館
何 処 へ 大村連		アンディ・ウォーホール版画展
追 憶		17—22 渋谷・西武
イダの記録 松本忠義		18回新美術展 17—26 都美術館

美術展覧会(6・7月)

浜田知明銅版画展 21—30 大阪  
 フォルム画廊東京店  
 24回創造美術展 21—7月3 都美  
 術館  
 清流会展(23回) 22—26 下村画廊  
 晴風会日本画展(5回) 22—27 上  
 野・松坂屋  
 現代ソビエト絵画展 23—7月8  
 月光荘ギャラリー  
 JAN美術展(40回) 25—30 日本  
 橋・東急  
 27回現展 28—7月10 都美術館  
 43回新構造展 28—7月10 都美術  
 館  
 51回朱葉会展 28—7月10 都美術  
 館  
 佐藤大寛墨彩画展 29—7月4 三  
 越

7 月

加藤昭男彫刻展(5回) 1—10 壹  
 番館画廊  
 明治の石版画展 1—12 本間美術  
 館  
 2回現代国際彫刻展 1—11月30  
 彫刻の森美術館  
 作品目録  
 招待部門  
 アーミテージ、ケ  
 ネス  
 両 腕 ブロンズ  
 ベルロカール、ミゲ  
 ル  
 第2のアダム ブロンズ  
 カブラロス、クリス  
 トス  
 女 性 像 木  
 チェロリ、マリオ  
 不均衡またはレオ  
 ナルドの人間像 木  
 ファッツィーニ、ペ  
 リクレ  
 変 身 ブロンズ  
 ジャコメッティ、ア  
 ルベルト  
 婦 人 像 ブロンズ  
 イブステギ、ジャン  
 湯浴みする女 ブロンズ  
 ロート、ウィルヘル  
 ム

浜 辺 に て アルミニウ  
 ム  
 マリーニ、マリーノ  
 叫 び ブロンズ  
 マリソール、エスコ  
 パー  
 マ マ と 私 ペインティ  
 ッド・ステ  
 イール、ブ  
 ロンズ  
 マルタン、エティエ  
 ンス  
 大きなカップル ブロンズ  
 マスケリーニ、マル  
 チェロ  
 春 ブロンズ  
 ムーア、ヘンリー  
 横たわる像：弓状  
 の足 ブロンズ  
 ピカソ、パブロ  
 腕を上げた女 ブロンズ  
 トローヴァ、アーネ  
 スト  
 習作：倒れる人、  
 ヴェニス風景 サテン仕上  
 げ、シリコ  
 ン加工プロ  
 ンズ  
 朝 倉 響 子  
 女 ブロンズ  
 本 郷 新  
 無 辜 の 民 ブロンズ  
 木 内 克  
 露 柱 ブロンズ  
 工 藤 哲 己  
 イオネスコのポー  
 トレート—映画  
 “泥、のために—あ  
 る世代の終り” 紙、木、プラ  
 スチック、  
 金属、ガラ  
 ス  
 三 木 富 雄  
 耳 ハイドロア  
 ルミニウム  
 村 岡 三 郎  
 SIGN BOARD タイル、金  
 (われわれは進化 属、樹脂そ  
 しない) の他  
 ノグチ、イサム  
 運 命 石  
 佐 藤 忠 良  
 若 い 女 ブロンズ  
 島 田 忠 恵  
 餓 鬼 真 鍮  
 辻 晋 堂  
 古代人のように 鉄  
 若 林 奮  
 雨 鉄、鉛(木)  
 柳 原 義 達

犬 の 唄 ブロンズ  
 コンクール部門  
 青 山 光 佑  
 存 在 コンクリー  
 ト、木、鉄  
 有 田 暁 子  
 足 跡 木  
 榎 本 栄 子  
 わらの日の生態図  
 (一つの死と方形  
 の厚さについて  
 1、2) 木  
 藤 原 市 三 郎  
 末 法 五 濁 石  
 船 山 滋 生  
 椅 子 ポリエステ  
 ル  
 グッドマン、リー  
 頭 ステンレ  
 ス・スティ  
 ール  
 速 水 史 朗  
 女 黒御影石  
 細 川 宗 英  
 王 様 と 王 妃 ブロンズ、  
 石  
 今 村 輝 久  
 題名のない肖像 アルミニウ  
 ム、プラス  
 チック  
 木 村 光 佑  
 現在位置—自然2 スティール、アクリ  
 ル  
 黒 田 邦 男  
 セックス・インパ  
 ルス 71 木  
 増 田 隆 昭  
 ま げ 木  
 松 永 敏 宏  
 椅 子 木  
 松 山 徹  
 原 告 7 ポリエステ  
 ル、アクリ  
 ル、土  
 水 本 修 二  
 検討又は触診 鉄  
 中 川 征 男  
 影 鉄  
 新 国 孝 雄  
 黒 い 太 陽 黒御影石  
 翁 譲  
 公害病認定患者番  
 号 ∞ 鉄、木

美術展覧会(7月)

奥田善巳  
個とグループ  
ステンレス・ステール

柴田正明  
TIME  
陶器

島田勝吾  
人間家族像 1971-3  
ポリエステル、鉄、ブロンズ

空充秋  
心  
白御影石、北木石

澄川喜一  
手品師の椅子  
アクリル

鈴木啓子  
フィーリング・オブ・ラブ  
ポリエステル

高木修  
ディストーション  
ステンレス・ステール

田中米吉  
人間(空間の無限の脱皮)  
プラスチック、ガラス、ファイバー、ステンレス・ステール

富田真平  
ある会話より作品Ⅱ  
白御影石

植松奎二  
截然  
ステンレス・ステール、鉄ワイヤー

楊英風  
心像  
ステンレス・ステール

横山善一  
過去 現在 未来  
ラワン材、ウレタン樹脂

太陽展(8回) 2-15 日動画廊  
中川紀元展 5-14 フジキ画廊別館  
川島猛個展 5-17 南天子画廊  
森田曠平展 6-12 高島屋  
上村松園展(前期) 6-8月1日 山種美術館  
出品目録

清少納言 明治25年頃  
義貞勾当内侍を祝る、下絵 明治28年  
重衡朗吟、下絵 明治31年

人生の花  
同 下絵  
姉妹三人、下絵  
春の粧  
虫の音  
同 下絵  
人形つかひ  
同 下絵  
舞仕度  
同 下絵  
娘深雪、下絵  
焰、下絵  
初夕  
可  
桜待  
同 下絵  
新春  
春  
新天  
保歌  
詠  
草紙  
同 下絵  
初灯  
鼓の音  
風  
同 下絵  
雪  
桜夕  
同 下絵  
晴  
汐く  
美人詠  
晩  
鶴  
男  
つれづれ  
寿  
夏美人  
初  
深き秋  
オリент展 6-9月30日 出光美術館  
瀧の会展(2回) 7-14 日動サロン  
グレコ、マンズー、ファッツィーニ 三人展 9-13 渋谷・西武

明治32年  
明治36年  
明治42年  
明治43年  
大正3年  
大正7年  
昭和1年  
昭和4年  
昭和5年  
昭和7年  
昭和10年  
昭和11年  
昭和12年  
昭和13年  
昭和14年  
昭和15年頃  
昭和16年  
昭和18年  
昭和23年

ジョルジュ・フェーエル展(4回)  
9-21 京王梅田画廊  
三浦巖素描・淡彩展 12-17 銀座アート・ギャラリー  
阿部和唐作陶展 12-17 下村画廊  
加藤土師萌展 12-18 高島屋  
ジャパンアート・フェスティバル出品作品国内展示(6回) 17-8月8日 東京国立近代美術館  
高橋由一とその時代展 17-8月15日 神奈川県立近代美術館  
(作品目録1 高橋由一)

丁番姿の自画像 麻布油彩  
牧羊図 東京国立博物館蔵  
江島図(江島全景) 金刀比羅宮博物館蔵  
海岸(江島見淵図) 東京国立博物館蔵  
二見ヶ浦 東京国立博物館蔵  
田子富士 東京国立博物館蔵  
左官 東京国立博物館蔵  
雪景 紙本油彩 東京国立博物館蔵  
墨堤雪(墨堤堤の雪) 麻布油彩 金刀比羅宮博物館蔵  
墨堤桜花 東京国立博物館蔵  
江島風景 東京国立博物館蔵  
江の島図 金刀比羅宮博物館蔵  
芝浦夕陽 東京国立博物館蔵  
本牧海岸 東京国立博物館蔵  
本牧海岸 東京国立博物館蔵  
愛宕望嶽 東京国立博物館蔵  
国府台真景図 東京国立博物館蔵  
真崎の渡 東京国立博物館蔵  
鱈梅花 金刀比羅宮博物館蔵  
西南戦争図 東京国立博物館蔵  
海岸風景 東京国立博物館蔵  
海岸風景 東京国立博物館蔵  
愛宕山より品川沖を望む 東京国立博物館蔵  
驟雨図 麻板張油彩 東京国立博物館蔵  
関屋里(浅草遠望) 麻布油彩 金刀比羅宮博物館蔵  
屋上月(中洲夜景) 東京国立博物館蔵  
火打具(燈具) 紙本油彩 東京国立博物館蔵



巻	布	麻布油彩	金刀比羅宮蔵	川 鱒 図	板油彩			青 年 図	紙本水彩		
豆 腐		〃	〃	稲 村 な か 像	絹本油彩			住 吉 神 社	〃		
なまり(なまり節)		〃	〃	寒 河 江 平 陰 像	麻布油彩			猫 図	〃		
鎧袖塔(百万塔と鎧袖図)		〃	〃	小 池 虚 一 斎 夫 妻 像	〃			根 津 権 現 境 内 図	〃	東京芸術大学資料館蔵	
読 本 と 草 紙		〃	〃	優 田 和 尚 像	〃	山形・立石寺蔵		明 治 天 皇 ・ 皇 后 兩 陛 下 真 写 図	〃		
洲 崎(品川沖)		〃	〃	司 馬 江 漢 像	〃	東京芸術大学資料館蔵		三 偉 人 図 (ピスマルク・リンカン・ケマルパシャ像)	絹本淡彩墨		
牧 ヶ 原 望 嶽		〃	〃	岩 倉 具 視 像	〃	宮内庁蔵		農 夫 (西洋画臨写)	紙本木炭	東京芸術大学資料館蔵	
鮭 図		板油彩		長 良 川 鶺 鴒 図	絹本油彩	東京国立博物館蔵		風 景 写 生	紙本墨	〃	
鮭		麻布油彩	山形美術博物館寄託	日 本 武 尊	麻布油彩	東京芸術大学資料館蔵		東 北 新 道 石 版 画 下 絵 (53 枚、現 場 地 写 真 付)	紙本淡彩	山形美術博物館寄託	
鮭(重 文)		紙本油彩	東京芸術大学資料館蔵	楠 正 行 如 意 輪 堂 に 和 歌 を 残 す の 図	〃	宮内庁蔵		常 盤 御 前	石 版	神戸市立南蛮美術館蔵	
花 魁 図		麻布油彩	〃	織 田 信 長 ひ そ か に 密 勅 を 五 老 臣 に 示 す の 図	〃	〃		日 吉 丸	〃	〃	
貝 図		〃	金刀比羅宮蔵	高 橋 源 五 郎 像	〃			東 北 新 道 石 版 画 (126 枚)	石版着色	東京国立博物館蔵	
海 魚 図(鯛)		〃	〃	高 橋 源 吉 幼 像	〃			福 島 県 道 路 風 景 帖 (1 冊)	〃	福島県立図書館蔵	
桜 花 図		〃	〃	高 橋 銀 幼 像	〃			(関 係 資 料)			
鴨 図		〃	〃	蔬 菜 図 伝 高 橋 由 一 作	絹本油彩			上 海 日 記		東京芸術大学資料館蔵	
品川海晏寺紅葉図		〃	〃	鮭 伝 高 橋 由 一 作	厚紙油彩	北大理学部付属博物館蔵		上 海 渡 航 図 卷 対 談 図			
不 忍 池		〃	〃	鮭 伝 高 橋 由 一 作	彩布油麻			ス ケ ッ チ ・ ブ ッ ク		東京芸術大学資料館蔵	
花 図		〃	東京国立博物館蔵	能 面 図 伝 高 橋 由 一 作	〃			写 生 帖		〃	
琴 平 山 遠 望		麻板張油彩	金刀比羅宮蔵	お い ら ん 図 伝 高 橋 由 一 作	厚紙油彩			油 画 史 料		〃	
月 下 墨 田 川		麻布油彩	〃	魚 図 伝 高 橋 由 一 作	麻布油彩			天 絵 塾 門 人 牌		〃	
大 久 保 甲 東 像		〃	東京国立博物館蔵	風 景 図 伝 高 橋 由 一 作	〃			瞬 間 弄 写		〃	
上 杉 鷹 山 像		〃	〃	墨 堤 桜 花 厚紙油彩 伝 高 橋 由 一 作	厚紙油彩			臥 遊 席 珍		〃	
栗 子 山 墜 道 図 (西 洞 門)		〃	宮内庁蔵	藤 田 東 湖 像 伝 高 橋 由 一 作	麻布油彩			石 版 関 係 書 類		〃	
宮 城 県 庁 門 前 図		〃	宮城県立図書館蔵	武 士 図	絹本着色	東京国立博物館蔵		西 洋 画 譜 画 稿		〃	
松 島 五 大 堂 図		〃	〃	捕 象 図	絹本墨画	〃		三 島 通 庸 宛 書 簡		国立国会図書館蔵	
松 島 図		〃	〃	由 比 ヶ 浜 図 伝 高 橋 由 一 筆	紙本墨画	神奈川県立博物館蔵		三 島 通 庸 宛 建 策 書		〃	
初 代 玄 々 堂 像		〃	神戸市立南蛮美術館蔵					書 簡		山形・立石寺蔵	
酢 川 に か かる 常 盤 橋		〃	国立国会図書館蔵					書 簡		〃	
栗 子 山 墜 道 図		〃	〃					(作 品 目 録 2 そ の 他 の 画 家)			
最 上 川 風 景		〃	〃					○ 司 馬 江 漢			
山形市街図(山形県庁前通り)		〃	山形美術博物館寄託								

美術展覧会(7月)

- |                   |       |             |
|-------------------|-------|-------------|
| 天体地動論争之図          | 絹本油彩  |             |
| 蜆子和尚図             | 紙本油彩  | 神戸市立南蛮美術館蔵  |
| 雲仙牧羊図             | 紙本着彩  |             |
| ○亜欧堂 田 善          |       |             |
| 蘭 医 像             | 絹本着彩  |             |
| 今戸瓦焼図             | シ     | 神戸市立南蛮美術館蔵  |
| コロンブス、イスペインア女帝引見図 | 銅板    |             |
| 西洋人馬図             | シ     |             |
| ○若 杉 五十八          |       |             |
| 洋人行楽図             | 麻布油彩  | 長崎県立美術館蔵    |
| ○石 川 孟 高          |       |             |
| ライオン図             | 絹本墨淡彩 |             |
| ○谷 文 晃            |       |             |
| ファン・ロイエン画花鳥図      | 紙本着彩  | 神戸市立南蛮美術館蔵  |
| 模写                |       |             |
| ○荒 木 如 元          |       |             |
| 蘭人鷹狩図             | 紙本着彩  | 長崎市立博物館蔵    |
| 瀬海都城図             | 麻布油彩  | 神戸市立南蛮美術館蔵  |
| ○渡 辺 肇 山          |       |             |
| 市河米庵像             | 紙本着彩  |             |
| ○下 岡 蓮 杖          |       |             |
| 外人家族図             | 絹本着彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| ○五姓田 芳 柳          |       |             |
| 西南戦役大阪臨時病院        | 絹本水彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| 西洋老婦人画像           | 絹本着彩  |             |
| 婦 人 像             | シ     |             |
| ○横 山 松三郎          |       |             |
| 江戸城之図             | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| ○中 丸 精十郎          |       |             |
| 瀑                 | 麻布油彩  | 石橋美術館蔵      |
| ○国 沢 新九郎          |       |             |
| 西洋婦人              | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| ○本 多 錦吉郎          |       |             |
| 中禅寺夜景             | 麻布油彩  | 神奈川県立近代美術館蔵 |
| ○渡 辺 文三郎          |       |             |
| 海 浜 図             | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| ○五姓田 義 松          |       |             |
| 十三歳自画像            | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| 横浜婦人(横浜風俗)        | シ     | シ           |
| 横浜 風景             | シ     | 神奈川県立近代美術館蔵 |
| 長岡駅長生橋之図          | 厚紙油彩  | 宮内庁蔵        |
| 岐阜長良川鷗飼図          | シ     | シ           |
| 相州七里ヶ浜より江之島の朝陽図   | 麻布油彩  |             |
| 駿河湾風景             | シ     |             |
| 伊太利人半身像           | シ     | 東京芸術大学資料館蔵  |
| 女 裸 休             | シ     | シ           |
| 西洋婦人肖像            | シ     | シ           |
| 操 芝 居             | シ     | シ           |
| ○渡 辺 幽 香          |       |             |
| 犬吠崎沿岸             | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| ○浅 井 忠            |       |             |
| 春 叡(重文)           | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| 河合辰太郎像            | シ     | 神奈川県立近代美術館蔵 |
| ○小 山 正太郎          |       |             |
| 川上冬崖像             | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| 外房御宿海岸            | シ     |             |
| ○平 木 政 次          |       |             |
| 箱根芦の湖より駒ヶ岳を望む     | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| ○安 藤 仲太郎          |       |             |
| 東 寺               | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| ○高 橋 源 吉          |       |             |
| 風景(臥竜橋)           | 麻布油彩  |             |
| 風 景               | 紙本水彩  | 大阪市立美術館蔵    |
| 武州金沢の景            | 麻布油彩  | 衆議院蔵        |
| ○印 藤 真 楯          |       |             |
| 美 人 図             | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| ○原 田 直次郎          |       |             |
| 師高橋由一像            | 麻布油彩  | 東京芸術大学資料館蔵  |
| ○二世五姓田芳柳          |       |             |
| 日本橋附近の風景          | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| ○伊 藤 快 彦          |       |             |
| 少女 像              | 板油彩   | 京都市立美術館蔵    |
| (作品目録3)           |       |             |
| ○川 上 冬 崖          |       |             |
| 風 景               | 麻布油彩  | 東京国立博物館蔵    |
| 山 水 図             | 絹本墨着色 |             |
| 菊花彩日図             | 紙本着色  |             |
| 鐘 馗 図             | 紙本墨着色 |             |
| 梅 に 竹 図           | 紙本墨画  |             |
| 牡 丹 図             | シ     |             |
| ぶ ど う 図           | 紙本墨淡彩 |             |
| 蓮 花 図             | 絹本墨淡彩 |             |
| 玉 堂 富 貴           | シ     |             |
| 花 卉 図             | 絹本墨着色 | 長野県立図書館蔵    |
| 西風瓜下図             | 絹本墨淡彩 |             |
| 百事如意図             | シ     |             |
| 歳寒三友図(梅松図)        | 紙本墨画  |             |
| 唐 美 人 図           | 絹本着色  |             |
| 金 木 犀 図           | 紙本着色  |             |
| 蘭 竹 図             | 紙本墨画  |             |
| 秋 花 卉 図           | シ     |             |
| 懸崖墨竹図             | 絹本墨画  |             |
| 水 仙 図             | 紙本墨淡彩 |             |
| 梅 椿 図             | 紙本墨着色 |             |
| 田家竹林図(双幅)         | 絹本墨淡彩 |             |
| 花 蝶 図             | 紙本着色  |             |
| 桜下遊馬図             | 紙本墨画  |             |

ばら図 紙本着色  
 唐美人献菜図 シ  
 桜花に小鳥 シ  
 唐美人図 シ  
 菜果図 シ  
 ばらに金鶏鳥図 シ  
 烏瓜に小鳥 シ  
 唐美人図 紙本着色  
 雁来紅図 シ  
 山水図 紙本墨淡彩  
 玉水春夜(牡丹図) 紙本墨画  
 海棠に鳥図 紙本着色  
 杉に牡丹図 紙本墨画  
 南天図 絹本着色  
 町娘立像 紙本着色  
 樹幹図 紙本水彩  
 果実図 絹本着色 東京国立博物館蔵  
 ヒポクラテス像 紙本墨画  
 ナポレオン像 紙本着色  
 草花写生 シ  
 風景図 シ  
 山県有朋書簡  
 聴香読書館資料(西洋石版画など)  
 川上冬崖小品(粉本模写写生下図など)  
 魯敏孫漂流紀略 東京国立文化財研究所蔵  
 輿地誌略 シ  
 西画指南 シ  
 追遠会誌 シ  
 扇面臨写帖(作品目録4)  
 ○ワグマン  
 女O Bun san 厚紙油彩 神戸市立南蛮美術館蔵  
 腰越風景 麻布油彩 東京国立博物館蔵  
 自画像 シ 東京芸術大学資料館蔵

街道 麻布油彩 神奈川県立博物館蔵  
 宿場 シ  
 飴売板油彩 東京国立博物館蔵  
 百合図 麻布油彩  
 小漁夫 シ  
 武士の像 厚紙油彩  
 風景(広東)A 水彩  
 風景(広東)B シ  
 東禅寺浪士乱入図 シ  
 ワグマン夫人像 シ  
 七里ヶ浜風景 シ  
 東海道風景 シ  
 上州風景 淡彩  
 新潟風景 鉛筆淡彩  
 ○フォンタネージ  
 牧牛 紙油彩 東京芸術大学資料館蔵  
 不忍の池 麻布油彩 東京国立博物館蔵  
 風景 板油彩  
 木立 紙油彩 東京芸術大学資料館蔵  
 森の家 麻布油彩 金刀比羅宮博物館蔵  
 ○キヨソネ  
 大久保利通像 コンテ 国立国会図書館蔵  
 ○サン・ジョバンニ  
 牛 板油彩  
 (作品目録5)  
 ○小林清親  
 濠端風景 麻布油彩 東京国立博物館蔵  
 東京新大橋雨中図 神奈川県立博物館蔵  
 東京小梅曳舟夜図 シ  
 海運橋 シ  
 第一回国内勸業博覧会図 シ  
 瓦斯館図 シ  
 猫と提灯 シ  
 梅若神社 シ  
 高輪牛町臘月景 シ

川口鍋釜製造図 神奈川県立博物館蔵  
 川崎月海 シ  
 両国花火之図 シ  
 千本杭両国橋 シ  
 箱根山中富獄眺望 シ  
 箱根三枚橋雨 シ  
 両国焼跡 シ  
 両国大火浅草橋 シ  
 浜町より両国大火 シ  
 新版三十三相(組) シ  
 武蔵百景(組) シ  
 三十三相追加百面相(組) シ  
 教導立志基(組) シ  
 ○井上安治  
 蠣殻町 神奈川県立博物館蔵  
 浅草橋夕景 シ  
 富士見渡し之景 シ  
 池の端雪 シ  
 (作品目録6)  
 ○初代玄々堂松本保居  
 浪花名勝雑喉場風景 銅版  
 (玄々堂写)  
 五月五日上加茂競馬之図(玄々堂写) シ  
 祇園会雨月鏝景(玄々堂) シ  
 大仏耳塚(玄々堂 Vasoeokj) シ  
 通天橋 其二(玄々堂写) シ  
 五条雛馬霜夜(玄々堂写) シ  
 高雄丹楓(玄々堂) シ  
 洛東水寺春(玄々堂写) シ  
 宇治平等院(玄々堂写) シ  
 祇園社境内風景(玄々堂写) シ  
 宇治川写(玄々堂) シ  
 御室春之景(玄々堂写) シ  
 自五条橋洛東勝地遠望之図(玄々堂写) シ  
 ロッデス島その他西洋風景 シ  
 西洋人支那紀行之内 シ  
 西洋風俗図 シ  
 東海道五十三次道法附早見細見之図 シ  
 帝都名勝細見 シ  
 徹塵絵 シ

美術展覧会(7・8月)

小倉百人一首	銅板
○二代玄々堂松田緑山	
圓山端之寮楼風景	銅板
通天橋丹楓其二(安政4年仲秋)	シ
洛北竜安寺風景	シ
通天橋風景(安政4年仲秋)	シ
花園妙心寺	シ
祇園会十四日浮橋幸之図	シ
洛西松之尾火焼神事図	シ
真如堂丹楓	シ
○岡田春燈齋	
新鑄三都自慢鏡	銅板
東福寺通天橋	シ
洛東新嶋原(春灯写刻)	シ
四条大芝居顔見世霜囀之景(春灯齋写製)	シ
肥前長崎丸山	シ
○春泉堂橋本澄月	
大阪道頓堀芝居図(春泉堂鑄)	銅板
大阪四ツ橋(都春泉堂写鑄)	シ
○安田雷州	
東海道五十三次(14枚組)	銅板
外国戦争図	紙本着彩
日本陶彫会展 20-25	松坂屋
現代ユーゴスラヴィア代表作家絵画展 20-8月3	伊勢丹
川島理一郎近作展 21-31	日動画廊
追悼・平井進展 22-31	南画廊
田淵安一展 23-28	池袋・西武
斎藤寿一展 26-8月4	壹番館画廊
藤田嗣治展 29-8月10	平野政吉美術館
猪熊弦一郎展 31-8月5	椿山荘国際ホール
8 月	
北美展 2-7	日本画廊
鷺田新太個展 2-7	下村画廊
京都日本画新人展(1回) 3-8	高島屋
トルコ中世壁画展 3-8	高島屋
上村松園展(後期) 3-29	山種美術館

出品目録	(後期)	
母子、下	絵	明治33年
粧		明治33年頃
長	夜	明治40年
同	下	シ
月	影	明治41年
同	下	シ
螢		大正2年
同	下	シ
花	が	大正4年
同	下	シ
楊	貴	大正11年
同	下	シ
芸	娘	昭和1年
同	下	シ
母	夕	昭和9年
夕	子	昭和10年
序	の	昭和11年
同	下	シ
雪	月	昭和12年
同	下	シ
つ	れ	昭和13年
砧、下	れ	昭和13年頃
櫛	の	昭和15年
鼓	音	シ
春	芳	シ
春	風	シ
晴	日、下	昭和16年
朝	絵	昭和17年
雪		シ
娘		シ
新	螢	昭和18年
静		シ
待	月	昭和19年
牡	丹	シ
楠	公	シ
麗	夫	昭和19年頃
静	人	昭和21年
思、下	容	昭和23年
庭	絵	
の	雪	
花	下	
桜	美	
可	人	
長	里	
杜	夜	
折	鶴	
夕	ベ	
春のよそをひ		
初夏の夕(絶筆)		昭和24年

富岡鉄斎展 4-10月3	大和文華館	
金子光晴・駒井哲郎詩画集展 6-11	小田急	
平和美術展 10-19	都美術館	
「香月泰男の北海道」展 11-20	伊勢丹	
十一会展 16-21	銀座ヤマト画廊	
25回新樹会展 17-22	三越	
出品目録		
絵	画	
小	屋	青山龍志
呼	び	シ
小	屋	の内
静	物	1・2・3
裸	婦	赤堀尚
ど	ちら	がほんとうか?
S	érénitél	池内康子
サ	ク	ラン
桃		伊藤禎朗
ネ	コ	とサクラン
ポ		シ
蝶		岡田菊恵
あ	る	風景
作	品	1・2
エ	ビ	ファ・三王
来	朝	アルベルト・カルペンティール
十	字	架
漁	師	たち
ア	ト	リエの裸婦
伊	浜	風景
S	tamattina	絹谷幸二
P	omegiggio	シ
あ	る	部屋A・B
発	光	体Ⅲ
風	景	1・2・3
ふ	た	り
ひ	と	り
浜		野間佳子
水	門	と波
千	潮	の港
浜	辺	の夕
港	の	昼
青	の	室内
ピ	ン	とかご
鏡		シ
回	転	木馬附近
馬	車	のある公園
月	光	とバラ
雪	の	谿谷
風	景	(夕方)
		植田寛治





美術展覧会(9月)

海 前川佳子  
 地 中 海  
 空 隙 ① 保地謹哉  
 空 隙 ②  
 望郷の人(チベ  
 ットへの憧れの  
 ために)  
 車窓 AF 大場厚  
 車窓 BF  
 窓 (雪山)  
 窓 (断崖)  
 記憶とのあらい  
 記憶のない地図  
 赤のための組曲  
 赤のためのマリ  
 ア  
 接合 No.4  
 more I  
 more II  
 炎 夏  
 夏の日  
 未知の座席(あ  
 お)  
 未知の座席(み  
 どり)  
 バベルの塔  
 塔  
 方式 71—22  
 方式 71—23  
 平環  
 スペインの窓  
 <夜>  
 スペインの窓  
 <昼>  
 煙と人  
 変貌する人々  
 beach <7>  
 beach <6>  
 冬 晴  
 冬 曇  
 白い波形  
 白い波形  
 シェリト・リン  
 ド  
 シェリト・リン  
 ド  
 さんま・さんま  
 ある誕生日  
 砂の花  
 夏

卵と石と(伊勢  
 田史郎作詩「ブ  
 ロッケンの弧  
 より」)  
 花と月  
 退屈な地平  
 流転  
 絶端  
 碑(B)  
 碑(A)  
 女の祭り—OKI-  
 NAWA—  
 女の祭り—OSO-  
 REZAN—  
 秋, 子供  
 新 潟 港  
 汀 道  
 歩 街  
 B のセレモ  
 ニー  
 黄泉軍と入雷神  
 現代の底部に潜  
 在する欲求とそ  
 れとはうらはら  
 な精神的危機感  
 人間不在の中に  
 うごめく存在  
 人間像  
 痕跡によりてI  
 痕跡によりてII  
 降三世明王  
 不動明王  
 闘牛 A  
 闘牛 B  
 映す「菖蒲の中  
 の女」  
 映す「カトレア  
 の中の女」  
 魚板を運ぶ  
 野川の朝霧  
 猫 女  
 双ヶ岡暮色  
 神戸港(A)  
 神戸港(B)  
 花すもも  
 土讃本線  
 噴煙 桜島  
 早春 富士  
 岳への径  
 六月の田園  
 坂を下る人びと  
 日の出  
 晴日 熱海

河野通紀  
 辻親造  
 大森朔衛隆  
 深見隆  
 大谷久子  
 高橋進  
 三芳悌吉  
 田中勇次郎  
 難波香久三  
 木村平  
 星野和雄  
 西田秀雄  
 儀間比呂志  
 松本宏  
 福井勇  
 斎藤真成  
 小出卓二  
 榎倉省吾  
 田辺三重松  
 向井潤吉  
 田中忠雄  
 古家新  
 柏原覚太郎

西伊豆の港  
 母子構  
 石段のある街  
 丘の街  
 紅葉狩  
 炮烙割  
 弥勒菩薩  
 四天王今世に  
 らむ  
 船倉島  
 能登の女  
 遼 逅  
 午睡の森にて  
 春の餓鬼岳  
 爺子岳の見える  
 風景  
 西瓜売り(アカ  
 プルコ)  
 模型のヨット  
 秋  
 煙を分つ  
 衣を分つ  
 ビエタ  
 小みち  
 ある生活  
 牛買人  
 牛と老人  
 半島浸食  
 丘陵煙霧  
 エッフル塔の  
 見える街角  
 トレドの街  
 船倉島の海士  
 能登の漁婦  
 シッタンの牛飼  
 ひ  
 ポンギーと涅槃  
 予言者  
 星占より  
 裏大山雪景  
 大山雪景  
 供物  
 花と五百羅漢  
 発掘された祈り  
 発掘された祈り  
 空に結ぶ  
 High Way  
 彫刻  
 作品二〇一連作  
 オラ二つの世界

柏原覚太郎  
 佐藤真一  
 川原章二  
 矢野喜久男  
 全和風  
 高須国之  
 小林武夫  
 荒井秀宣  
 飯田清毅  
 田川寛一  
 西阪修  
 辻好子  
 原義行  
 仲谷孝夫  
 山森元亀  
 大森重夫  
 小西嘉純  
 荒木由三  
 尾崎悌之助  
 玉沢潤一  
 近藤直行  
 竹内豊  
 岩城信嘉











ポスター	2点	坪井鶴吉	残暉	1906		ガラスなどのある	1935	
ポスター	2点	池田正三	飼はれたる山羊	1910		室内	シ	
ポスター	2点	明山正次	無花果畑	1912		湖烟る伊豆	シ	
ポスター	2点	藤重信	初秋	1914		霞む春	1936	
ポスター	2点	轟周平	鞆の港	シ		裸婦	シ	
ポスター	3点	田沢清見	牧場にて	シ		志賀高原の秋	シ	京都市美術館蔵
ポスター	2点	河村久子	椿と仔山羊	1916	東京国立近代美術館蔵	春	1938	
ポスター	2点	竹内和夫	林檎咲く	シ	シ	箱根の秋	1943	
ポスター	3点	木島武雄	林檎咲く	シ	シ	錦秋	1946	
ポスター	2点	山崎達雄	哈爾賓の雪	1917	ブリヂストン美術館蔵	知多の春	1947	
ポスター	2点	武田貞夫	風車	1920	東京国立近代美術館蔵	自画像	1949	
ポスター	2点	高橋正郎	ブルーヂュの秋	シ		妻の顔	シ	
ポスター	2点	高勢節郎	オランダフェールにて	シ		雪の朝	1950	
ポスター	2点	水口幸三	ブルーヂュにて	シ		八瀬早春	1950	茨城県美術館蔵
ポスター	2点	佐々木保太郎	カルチュラタンの裏町	シ		オリヅの丘	1951	
ポスター	2点	菊池重太郎	デルフトの微雨	シ		安茂里の杏花	シ	
ポスター	2点	阿部悦次	秋(ブルーヂュ)	シ		淡路霞む	1952	
ポスター	2点	岡馬師津夫	グラナダの夕	シ		志摩早春	1953	
ポスター	2点	中安藤広吉	サンヂェルマンの春	1921		春の日	1955	
ポスター	2点	安藤清二	モンティニューの春	シ		須磨の朝	1956	茨城県立美術館蔵
ポスター	2点	竜口清次	川辺の村	シ		つゆの晴れ間	シ	東京都蔵
ポスター	2点	藤原芳次	ブルターニュの海	シ		内海初冬(淡路橋立)	1958	
ポスター	2点	栗木しげる	ブルターニュの春	シ		楠若葉	1959	
ポスター	1点	黒木邦彦	ヴェニスにて	シ		淡路島山	1960	
ポスター	2点	杉本一政	春(巴里郊外)	シ	ブリヂストン美術館蔵	湖辺早春	シ	茨城県立美術館蔵
ポスター	2点	高山一良	フォントネ・オ・ローズの春	シ	シ	山湖萌春	1961	東京国立近代美術館蔵
ポスター	3点	京田信太	フォントネーの春	シ		惜春	1962	シ
ポスター	2点	関豊伸	アルバノ湖畔にて	シ		雪しぐれ	1964	
ポスター	1点	林明一	コロソにて	シ		新涼	1966	東京都美術館蔵
ポスター	2点	大里栄一	城下晩秋	1924		霧の霽れ間	シ	
ポスター	2点	石井福三	初秋の朝	1925		山湖秋日	1968	
ポスター	1点	嘉悦歌子	放牧	1929	宮内庁蔵	おほくまたけらん	水彩	
ポスター	1点	高畑利雄	画房の一日	1931		だりや	シ	
ポスター	2点	加藤明輝	阿寒双湖台より	1932	国立公園協会蔵	ははこぐさ	シ	
ポスター	2点	原輝三	雄阿寒嶽麓	シ		なたまめ	シ	
ポスター	2点	栗栖福三	神苑の雪	1933		おほごてふ	シ	
モニュメント		(黒林) 木邦彦	風薫る	シ	愛知県文化会館蔵	くじゃくさぼてん	シ	
モニュメント		(黒林) 木邦彦	風薫る	シ	シ	かるせをらりあ	シ	
下村良之介展	2-11	壹番館画廊	ハルバノ湖にて	シ		べにふでつつあな	シ	
榎倉省吾回顧展	3-8	京王梅田画廊	ハルバノ湖にて	シ		にしきはぼたん	シ	
北原悌二郎展	3-11	紀伊国屋画廊	ハルバノ湖にて	シ		「草土社の画家たち」展	4-10月3	
形象派展(19回)	4-11	愛知県美術館	ハルバノ湖にて	シ		奈良文化会館		
辻永展	4-17	茨城県立美術館	ハルバノ湖にて	シ				
出品目録								
自画像		1906 東京芸術大学蔵						
父の像		シ						
母の像		シ						

美術展覧会(9月)

出品目録		
○岸田 劉生		
椿君に贈る自画像	大正3	油彩
赤土と草(草と赤土の道)	大正4	シ
高須光治君之肖像	シ	シ
冬の崖上の道	シ	シ
林檎三個	大正6	シ
初夏の小路	シ	シ
静物(ビンと茶碗と林檎一個)	大正6	油彩
晩秋の霽日	シ	シ
村娘之図	大正8	素描水彩
麗子坐像(麗子肖像)	大正9	シ
麗子微笑	シ	シ
窓外早春	大正11	油彩
○木村 荘八		
樹の風景	大正2	油彩
青いガラス瓶	シ	シ
壺をもつ女	大正4	シ
裸婦	大正6	シ
戯画「震災予後」	大正12	シ
○清宮 彬		
朝鮮平壤	大正2	油彩
朝鮮風景	大正3	シ
猫のいる風景	大正10	シ
静物	大正11	シ
○中川 一政		
春光	大正4	油彩
監獄之横	大正6	シ
野娘(エチュード)	シ	シ
夕日がおちる小さい踏切	シ	シ
初夏水辺	大正8	シ
静物	大正10	シ
瓶と椿一輪	大正12	シ
○椿 貞雄		
自画像	大正4	油彩
代々木附近の風景	大正5	シ
片瀬川	大正7	シ
八重子像	シ	シ
鶴沼風景	大正9	シ
横堀角次郎兄像	大正10	シ
菊子立像	大正11	シ
○横堀 角次郎		
自画像	大正4	油彩
崖と道	シ	シ
齋藤山より大崎遠望	シ	シ
右京山	シ	シ

静物		油彩
鶴沼風景		シ
川べり		シ
○河野 通勢		
長野風景	大正3	油彩
三人の乞食	大正5	シ
自画像	大正6	シ
崖	大正8	シ
アマゾン征伐	大正10	シ
麴町武者小路邸焼跡之図	大正12	銅版
○高須 光治		
夏の小路	大正8	油彩
藤原君之肖像	大正13	シ
○中島 正貴		
風景	大正9	油彩
静物	大正10	シ
春の郊外	大正12	シ
○川幡 正光		
朝の湖	昭和2	油彩
○丸山 行雄		
自画像	大正9	油彩
○土屋 義郎		
墓場	大正9	油彩
坂道	大正10	シ
○宮崎 丈二		
風景	大正8	油彩
小笠原風景	大正12	シ
資料18点		
近代作家の回顧・山口薫展	4-10	
月10 東京国立近代美術館		
出品目録		
曠原の鷺	1925	
静物	1926	
裸婦	1928	
自画像	1930	
静物	シ	
ニースのカーニバル	1931	
クルニー美術館の裏庭	シ	
緑衣の女	シ	
ワンダ像	シ	
緑衣横臥婦人像	1931-32	
パリ、アレジアの教会	1932	
パリの画室より	シ	
パリのアトリエにて	シ	
裸婦	シ	
マルティエグ風景	シ	
南仏サントロベ	1932頃	
ブルターニュ風景	シ	
婦人坐像	シ	

ベニス風景	1932頃
裸婦四人とバラ	1933頃
裾野とカラス	1935
エミリエンスの結婚	1936頃
古羅馬の旅	1937
黒耀石	シ
潮騒(夜明)	シ
花ノ像(カラーージュ)	シ
鳩と壺	1938
蝸壺など	1939
紐	シ
野辺の風景	1940
水	1941
晶(秋)	シ
大地	1943
立てかけた銃	1943頃
葬送	1944
ブルターニュ回想	1947
矢(ギリシャ神話)	シ
ひだまりの樹木	シ
十和田紀行	1948
保谷クリスタル	シ
野性の風景	シ
桃	シ
残雪の木々	1949
画室の森	シ
叙情の唄	滝
からすの子	1950
豊旗雲に入陽さし	1950頃
幻想	1951
母	子
花子誕生	シ
月光の顔	1952
子供のための楽曲「田園」	シ
クレタのユーロップ	シ
木と紐	シ
春の鳥	シ
あじさい	シ
林の幻影	1953
広場の十字架	シ
ボタン雪と騎手	シ
季節の哀歌「田圃と鳥」	シ
ダム・エリザベットの戴冠	シ
少年とカラス	シ
カラスと杉と水	シ
雪と少女	1954
ノートルダム	シ
あや子正月	シ
銅色の月	シ



雪山好日 1955  
 孤独者のすまい シ  
 白痴の愛(あやこ) シ  
 白亜に刻む 1995  
 ひざし シ  
 水田を拓く 1956  
 田園詩 シ  
 歳月の記録 シ  
 暖め鳥 シ  
 むすめ像 シ  
 森の二重像 1957  
 千手「黒夫人」像 シ  
 あや子月魄鳥 シ  
 牛と鳥 シ  
 栗牛の頭 シ  
 赤い牛 シ  
 牛の頭 1958  
 夜の宿 シ  
 幻想矢羽根と牛 1959  
 牛の親子 シ  
 矢羽根飛ぶ シ  
 娘の肖像 おぼえがき シ  
 あや子あやとり シ  
 霧の沼 シ  
 沼面春の雨(乾拓地) 1960  
 紙箱と真田紐 シ  
 しのめの水 1961  
 白い雨 シ  
 川舟 シ  
 ある山の石仏 シ  
 石仏二体 兄弟不動 シ  
 矢羽根ときじ 1962  
 荒れた小さい菱形の沼 シ  
 甲斐虎・クマの幼き顔 シ  
 草原を飛ぶ翼 シ  
 幼きまつり シ  
 耕作地 シ  
 丸沼の火山弾 シ  
 廃船と菜の花畑 1963  
 竹の園生 シ  
 ある都 シ  
 仏の手 シ  
 冠と娘の顔の彫刻 シ  
 丸い沼と春の雪 1964  
 シンフォニー・ランドス ケープ(沼と樹) シ  
 水田を飛ぶカーチス式軽 ヒコキ シ  
 春の滝 1965  
 ある農園 シ

北海道所見 温泉熱利用 1965  
 の製塩場 シ  
 ある春の唄 1966  
 月と道産子 1967  
 春駒寄せと楽譜 シ  
 ナイルの源泉 シ  
 牛と花嫁 シ  
 しのぶ 1967  
 若い月の踊り 1968  
 おぼろ月に輪舞する子供 たち シ  
 金環色の若駒 シ  
 太陽の中の鎧や馬 シ  
 石版画(4点)  
 銅板(4点)  
 彫刻(2点)  
 デッサン・水彩・詩文 (14点)  
 スケッチブック(8冊)  
 肖像写真  
 ケーテ・コルヴィッツ版画展 6—  
 18 青木画廊  
 第三文明展(3回) 7—12 三越  
 画業60年・大久保作次郎展 7—12  
 三越  
 異色の画家シリーズ(1)近代の南画  
 展(前期) 7—10月31 山種美術  
 館  
 出品目録  
 ○富岡鉄斎 大正3年  
 観瀑洗心 大正8年  
 古柯竹石 大正9年  
 小黠大胆 大正12年  
 閨窓脩竹  
 伏見人形  
 宝船  
 ○小川芋銭 大正8年  
 樹下石人談 大正10年  
 若葉に蒸さるゝ木精  
 水虎と其眷族 シ  
 沼四題のうち泥鯰打、  
 小鰕網 大正11年  
 石炭と椿の円光 大正13年  
 積雨取 昭和5年  
 朱面河童 シ  
 反照 昭和9年  
 桃花流水漁夫を送る  
 ○平福百穂 大正6年  
 双松 昭和7年  
 小松山

○富田溪仙 明治41年  
 河梨帝母 大正10年頃  
 前赤壁 大正15年  
 蘭亭曲水 大正15年頃  
 四風帖 昭和5年  
 雪中の鹿 シ  
 白鷺 昭和11年  
 万葉春秋 昭和11年  
 鷹ヶ峰 昭和11年  
 嵐峡雨罷 (絶筆) 昭和11年  
 ○今村紫紅 大正4年  
 牡丹  
 ○小杉放庵  
 高士自適  
 陽光(珠簾)  
 水郷黄昏  
 ○森田恒友 戯穂禽  
 水辺童 夜  
 取柳水 麴  
 新川千 麴  
 小水畔異 夜 昭和33年  
 漁樵問答 昭和38年  
 海邑風景 昭和39年  
 木竹清風 昭和40年  
 影法師問答 昭和41年  
 弄花逸楽 シ  
 鷗外高瀬舟 昭和44年  
 ○石井林響 山  
 寒山  
 ○近藤浩一路 大正12年  
 鷗外六題のうち浴泉  
 ○萬鐵五郎  
 砂丘春雨 日  
 松林春日 日  
 砂丘春日 遊  
 湖山舟 題  
 無 題  
 ○村上華岳 昭和3年頃  
 墨梅 昭和9年  
 青楓谿澗  
 ○水越松南 昭和38年  
 三戒粧  
 化塘一悟  
 ○小茂田青樹 大正9年  
 早春(武蔵野狭  
 山風景)

美術展覧会(9月)

○岸田 劉生  
 清澄茂太郎  
 秋山 隠士 昭和4年  
 (絶筆)

○楠 瓊州  
 水墨山水 昭和16年  
 桃果紫籠 昭和25年  
 尋梅山水 昭和31年

○中川 紀元  
 多少楼台烟雨中 昭和46年  
 蓼科湖ハツ岳

○中川 一政  
 なまざ 昭和41年  
 雪やこんこん

○横尾 深林人  
 紅艶焼人 昭和33年

○野口 謙蔵  
 富士

太田良平彫塑展 10—15 大丸  
 マルケ遺作版画展 10—20 麻布画廊  
 明治・大正・昭和名作美術展 12—27 徳島郷土文化会館  
 石井弥一郎個展 13—18 丸善画廊  
 熊谷登久平遺作展 13—19 柳屋画廊  
 北川民次個展 13—23 飯田画廊  
 イギリスの新しいグラフィズム展 (II) 13—25 ガレリア・グラフィカ  
 神津港人油絵展 14—19 銀座・三越  
 国際形象展 14—26 三越  
 染織の新世代展 14—10月10 京都国立近代美術館  
 高林和作遺作と所藏品展 15—10月10 京都市美術館  
 ビニヨン展 16—28 渋谷・西武  
 マーサ・ジャクソンコレクション展 17—29 池袋・西武  
 ボルドー美術館名作展 17—10月5 愛知県美術館 11月19—47年1月15 神奈川県立近代美術館  
 カレル・アベル展 18—25 南天子画廊  
 マリー・ローランサン展 18—28 伊勢丹  
 創展(5回) 19—26 都立大手町産業会館  
 五味梯四郎作品展 20—29 フジキ画廊別館

三宅輝夫個展 20—30 フジテレ  
 ビ・ギャラリー  
 アフリカ原始美術・仮面と神像展 21—26 三越  
 古稀記念・高村表恵漆芸展 21—26 三越  
 北村治禧彫刻展 21—26 三越  
 棟方志功作品展 21—10月24 日本民芸館  
 17回一陽展 22—10月10 都美術館

会員出品目録

絵画

那智 滝 浅井 一介  
 大王 崎 〃  
 枯木 林 江川 光信  
 家畜 A 堀内 千里  
 〃 B 〃  
 袋田 萩原 光観  
 那須 藤尾 和美  
 の 1 〃  
 〃 2 〃

サン・モリッツ 五十嵐 二郎  
 島の船着場 市川 勉  
 石垣のある部落 〃  
 spirit 井黒 四郎  
 〃 〃

男の目 片柳 忠男  
 女の目 〃  
 空中サーカス 小出 泰弘  
 大空の裸婦 〃  
 秋と少女 国本 克己  
 教会と少年 〃  
 遺跡の月 勝 一晃  
 古城 〃  
 他人の空シリーズ—勝利者— 北山 泰斗  
 レンガの塀の秋 角 美貴子  
 の小鳥達 〃  
 紫のファンタジー 〃  
 プレーボーリング 熊田 藤作  
 グ 〃  
 ボーリング場 〃  
 ゼロメートル・パラダイス 小松 久子  
 〃 〃  
 下町の残像 神門 四郎  
 鎮魂歌 1 〃  
 〃 2 〃  
 緑園の午後 葛西 康  
 残暑の庭 〃  
 凍 湖 絹笠 省三

紅富士 米良道博  
 裸女 〃  
 市場 棟方寅雄  
 イエルサレム 〃  
 裸婦 松下明治  
 地球儀とモデルシップ 〃  
 ギター弾き 村上英男  
 歌の手 〃  
 骨の静物 峯岸義太  
 舟小屋 A 宮本 清  
 〃 B 〃

FAKE BLUE SKY一扉 森 秀雄  
 〃 一窓 〃  
 瀬戸内海・仲度島附近 野間仁根  
 瀬戸内海漁港 〃  
 海 野間佳子  
 星の詩(ウタ) 野間伝治  
 空 〃  
 ・18 中村秀雄  
 〃 〃  
 ・19 〃  
 追憶 中村亮一郎  
 期待 〃  
 羽衣 中島マミ  
 祭衣 〃  
 裸女 中沢蓉子  
 窓辺 〃  
 街の灯台 荻野康児  
 海の灯台 〃  
 初秋に映ゆさん 小川哲郎  
 ご草原 1 〃  
 〃 2 〃  
 桜魚うり 小野 怱郎  
 西瓜うり 大石 可久也  
 躍子 岡本 耕典  
 夕陽 〃  
 青の作品・A— I 〃  
 〃 II 〃  
 残雪 越智映介  
 坂道 〃  
 船に遊ぶ 荻原宗晃  
 岸辺 〃  
 下田港 鈴木 信太郎  
 壺 〃  
 春曉蝶 持田 由米  
 渡洋蝶 〃  
 神戸市街図 沢田 正太郎

小屏風と裸女  
ソファの裸女  
ANIMALS  
IN MOTION-I  
シ 一II  
作 品 1  
シ 2  
慈光院(太陽)  
シ (松)  
伊豆の山々  
伊豆の海  
シャルトルの水  
辺  
シャルトルの裏  
街  
スペインの丘  
田舎の駅  
機関車  
輝く一陽  
光る一陽  
花と果実  
夏衣  
いきとしいける  
もの A  
シ B  
仲よしの木偶  
賢易風  
ノクターン  
あくたれっ子  
ちょうちんを持  
つ少女  
岩 場  
ヨメガサ  
少女と牛(バン  
コクで)  
川辺の家族(プ  
ーゲンピリアの  
花咲く)  
菖蒲(A)  
シ (B)  
島の神話 A  
シ B  
彫 刻  
無標的 71  
坐像  
女の首  
はぐくみ  
直付けの裸婦  
雨垂れの詩  
ファミリー

斎藤満夜  
シ  
佐野儀雄  
シ  
鈴木国威  
シ  
島本芳伸  
シ  
高岡徳太郎  
シ  
田辺栄次郎  
シ  
田所満雄  
鶴田猛  
月見里シゲル  
シ  
丹治伊三郎  
シ  
上田春雄  
シ  
上野富蔵  
山山谷一  
シ  
八重垣逸郎  
シ  
山田首  
シ  
山田治  
シ  
柳原謙三  
シ  
与儀達治  
シ  
浅野孟悦  
野黒藤博  
シ  
金田忠  
小池郁男  
宮川和博

裸少女  
少消ウ胤  
胤礼倭足馬  
シ  
作 品 A  
シ B  
座首  
「O.O.OH」  
作 品 '71  
トルソー(未完)  
坂東三津五郎  
立 老 陶 工  
裸 婦 浦  
桃 浦  
コンポジション  
K  
35回新制作協会展  
22-10月10  
都美術館  
会員出品目録  
日 本 画  
R・K・K  
天 滄 橋  
滄 港 の  
舞 妓 罪 陽 葵 鳥  
残 立 飛 ぶ  
山 宿 北 霧  
人 夢 会 寂 蝕  
池 苑 惜 日  
牡丹せいらん  
白 寒 燈  
幻 映

森川正之  
シ  
蜜波羅伸三  
丸山敏光  
六崎シ  
シ  
シ  
中村輝  
シ  
根本勲  
シ  
大野春代  
シ  
柳山口昌孝  
シ  
植木力  
シ  
シ  
山崎猛  
横沢英一  
秋野不矩  
麻田應司  
池田雄  
石本幹  
上野泰  
上原卓  
上原松  
上原正  
大河内弘  
太田正  
小野具  
菊池隆  
菊地養  
工藤甲  
黒沢吉  
近藤弘  
塩見仁  
信太金  
竹山昌  
西村昭  
野野崎一  
稗 穂

椿花平川敏夫  
幻華広田多津  
うみねこ岩礁(故)福田豊四郎  
春の来る径堀井文子  
九渚の弧情山本武彦  
夏の孤情天吉岡堅  
飛奪われた海辺鎌田正蔵  
油 絵 鎌田正蔵  
作 品 KA  
作 品 TU  
作 品 MA  
暈 若松光一郎  
渾 瑞  
ひ と り  
(HAIGHT)  
ふ た り  
(WATTS)  
海辺の三軒家  
海辺の家  
襟裳岬  
ある週末につい  
ての断想  
静かな日  
追悼  
(Per L'anima  
del figlio)  
青い空間のコン  
ポジション  
一見文字の様な  
黄色い壁画  
緑の中の動き出  
した赤  
非 黙  
マラガ風景  
影の中に-A  
影の中に-B  
涅 槃  
変 身 71-22  
変 身 71-23  
海 辺(鳥渡る)  
船 付 場 の 露 店  
九 日 の 間  
雲, 風, 人 間  
倣 職 人 尽 残 缺 (A)  
シ (B)  
夜 の ファン タ ジ  
ア (モロッコ)  
砂 塵 (モロッコ)  
作 品 I  
作 品 III

丸山正三  
相原求一朗  
赤穴宏  
石川滋彦  
伊勢正義  
糸田芳雄  
内田武章  
大住閑  
太田久紀  
岡田正二  
萩風間  
角 浩  
高津鉄朗

美術展覧会(9月)

魔園 佐野ぬい  
 饒舌 山東洋  
 神々は闘う(右) 鈴木新夫  
 (左) 玉置正敏  
 小休止 鶴見雅夫  
 見本市へ行く人 寺戸恒晴  
 ゼロになる迄 富岡惣一郎  
 THE FOUN- 深尾庄介  
 DER-71-333  
 THE FOUN- 福島誠  
 DER-71-444  
 鬼来迎(房総広 松田穰臣  
 济寺に伝わる) 山内秀臣  
 飛驒の獅子舞 脇田和  
 海と黒 荒井茂雄  
 山と黒 安保健二  
 城 71<秋> 小関利雄  
 <夜I> 小林義範  
 <夜II> 柴田善登  
 <夜III> 瀬崎好正  
 <影> 田沢茂  
 リクリエシヨ 西田勝  
 ン都市計画案 金太郎  
 首都圏文化福祉 力士人形  
 施設地域設置計 花火と鯉  
 画案  
 サークスの人達 空・水  
 ラピラント 高架線のある風  
 標擬 都橋風景  
 鳩舎 景か  
 鳥花苑 森湖 あおき  
 赤い 旗と船灯(赤) 都農  
 旗と船灯(緑) 市村  
 朝夕の川 No. 1  
 青と白の珠状体 金太郎  
 人 空・水 力士人形  
 高景線のある風 花火と鯉  
 都橋風景 景か  
 あおき 都農  
 むらさき 市村  
 都農 No. 1  
 金太郎 力士人形  
 花火と鯉

野菜とバラと少女  
 アホトピア  
 トーキョー村の騒動  
 トレド遠望  
 うつくしき塔のまち(S. GIMI-  
 GNANO)  
 名所(PLACED'  
 ESPAGNE)  
 さからってはい  
 けない  
 それでも……  
 幸せな日々  
 DESTINY 1  
 2  
 3  
 円の中の情景  
 グラデーション  
 のための情景  
 大峰  
 パンを持って  
 坐った女  
 翼の城(1)  
 (2)  
 見てる子とみら  
 れる鳥  
 鳥・家・海  
 西洋人形  
 古い物語 A  
 (雨夜の品定)  
 B(柏木)  
 冬砂丘  
 漁網  
 平面上の形(1)  
 (3)  
 (4)  
 遺作室  
 彫刻  
 急ぐ人  
 あそぶ妖精  
 雨露と土  
 金色の樹像  
 立海を征くピエロ  
 杜のピエロ  
 家族像  
 坪田譲治像  
 Lament  
 時間的空間  
 U博士像

服部和益  
 渡辺恂三  
 加藤金一郎  
 丹羽和子  
 桑田道夫  
 橋本武  
 中村貞夫  
 網谷義郎  
 石坂春生  
 伊藤蕪郎  
 小磯良平  
 坂井範一  
 竹本三郎  
 椿義則  
 (太田忠進)  
 芥川永  
 阿部米蔵  
 五十嵐芳三  
 石場清四郎  
 伊東繁  
 伊藤礼太郎  
 岩野勇三  
 大國丈夫

じゅんの首  
 ラ・クーブル  
 (レゴングス  
 よりの幻想)  
 COMPOSI-  
 TION 71  
 これを少女と名  
 づけよう  
 たおれた木  
 桔梗  
 「海の男たち」戦  
 歿船員の碑のた  
 めのモニュマン  
 試作  
 うたいめ  
 復活のマリア  
 大太平洋の壺(海  
 底に沈む戦友の  
 霊に捧ぐ)  
 口碑—うつぼ  
 舟—  
 チャーちゃん  
 帽子のチョコ  
 証人  
 木偶母子  
 途  
 木音 その四  
 連続する形体  
 (角・弧)  
 連続する形体  
 (角・円)  
 O氏試作像  
 残像  
 ボール・シニ  
 ヤック像  
 ひと  
 絹・着て坐る  
 木綿・着て立つ  
 Signature  
 少女  
 横たわる女  
 野の女  
 宮崎富次郎氏  
 のぞみくん  
 あるURUSA  
 山人の石  
 石と鉄(A)  
 石と鉄(B)  
 T像-2  
 BODY  
 無極  
 マイストルフ  
 M画伯

岡本庄三  
 小田襄  
 掛井五郎  
 加藤昭男  
 菊池一雄  
 郡司和男  
 小坂圭二  
 寒川典美  
 佐藤忠良  
 佐藤祐司  
 篠崎明雄  
 城田孝一郎  
 菅原安男  
 澄川喜一  
 高田博厚  
 高橋清米  
 高橋米  
 滝次郎  
 武竹田京一  
 田畑一作  
 田村興造  
 土谷武  
 富松孝侑  
 中島幹夫  
 長沢市郎  
 西常雄



遺された記録—  
71(壁シリーズ  
より)

孤  
うみどり  
からす

原の城(ハラノ  
ジョウ)

1971「男と女」  
家 族

花東(南)(橋の  
ための彫刻)

花東(北)(橋の  
ための彫刻)

馬 知 識 人

観 察

津田青楓先生  
の碑

働 哭 の 碑

オ オ バ ン

カムリウズラ

遺 影

スペース・デザイン

TESTEM 実  
験住宅 No.1

恣 意 空 間

花 び ら

CYLINDER  
SPACE

TANA 71

遺 作 (故) 剣 持 三 勇

33回一水会展 22—10月10 都美術  
館

会員出品目録

睡 蓮 名 取 明 徳

馭 者 の 夢 小 松 崎 邦 雄

乗 鞍 高 原 三 浦 俊 輔

みちのくの春 近 岡 善 次 郎

姥 女 燈 と 灯 台 大 津 鎮 雄

「白い街」(カサ  
ブランカ) 伊 藤 正

山 村 広 瀬 功

夏 の 日 深 沢 紅 子

さびれた漁港  
(出漁) 尾 崎 正 章

白夜の海港 浮 田 克 躬

静 物 藤 島 毅 一

シュブルズの町 中 谷 龍 一

紅葉の竜返しの滝 木 下 義 謙

浜 岡 登 美 子

番 浦 有 爾

舟 越 保 武

細 川 宗 英

細 谷 泰 英 兹

本 郷 新

本 田 明 二

麦 倉 倉 忠 彦

村 田 勝 四 郎

山 内 壮 夫

山 本 本 二

山 本 常 一

吉 田 大 象

池 辺 陽

川 島 甲 士

小 林 保 治

白 石 勝 彦

垂 見 健 三

作 (故) 剣 持 三 勇

22—10月10 都美術  
館

名 取 明 徳

小 松 崎 邦 雄

三 浦 俊 輔

近 岡 善 次 郎

大 津 鎮 雄

伊 藤 正

広 瀬 功

深 沢 紅 子

尾 崎 正 章

浮 田 克 躬

藤 島 毅 一

中 谷 龍 一

木 下 義 謙

真 夏 の 木 會  
三 本 岳 の 見 える  
三 宅 島 海 岸

巴 里 晚 秋

ほ う き 草 の ある  
静 物

セ ゴ ビ ア の 店

林 間 の 赤 松

雪 黎 明

木 會 須 原 風 景

榮 光 へ の と き め  
き (ミ ラ ノ ス カ  
ラ 座)

老 人 と 少 年 と 犬 影

流 ア ビ ラ 展 望

エ ー ゲ の 旅

ま わ れ ま わ れ 景

甲 州 風 景

冬 の メ ニ ール ・  
モ ン タ ン

パ ル マ 風 景

残 雪 (裏 六 甲)

石 仏 像

婦 人 像 蓮

睡 ビ ュ ッ ト ・ ショ  
ー モ ン 公 園

オ テ ル ・ ド ・ ヴ ィ  
ル 河 岸

平 遠

早 春 の 妙 高 山

午 后 の 埠 頭

秋 立 つ 址

城 雨 後 の 十 和 田 湖

老 愚 者 の 春

安 茂 里 の 運 河

雪 国 の 運 ち

小 鳥 た 網

橋 千 立 女

三 水 路 の 春

高 原 の 赤 かん ば  
於 富 貴 ノ 平

早 春 松 本 平

小 樽 海 岸 祝 津

塩 谷 の ポ ン メ 岬

枯 葉

木 下 義 謙

皆 吉 志 郎

古 賀 文 子

越 後 島 進 吉 人

兄 島 三 艸

中 畑 生

小 泉 元 弥

田 中 春 道

筒 井 村 弘 道

北 山 田 弘 三 郎

山 寺 井 川 道 治

小 吉 崎 道 信

山 岡 正 信

弦 田 英 太 郎

伊 藤 立 巳 二 信

相 川 子 博 一

菊 地 秀 一

嵯 峨 山 純 一

三 橋 永 文 雄

吉 根 岸 見 榮 功

城 塩 本 若 樋 口 義 一

雨 後 の 十 和 田 湖

老 愚 者 の 春

安 茂 里 の 運 河

雪 国 の 運 ち

小 鳥 た 網

橋 千 立 女

三 水 路 の 春

高 原 の 赤 かん ば  
於 富 貴 ノ 平

早 春 松 本 平

小 樽 海 岸 祝 津

塩 谷 の ポ ン メ 岬

枯 葉

高 橋 庸 男

倉 庫 と 運 河  
夏 の 夕 月 (積 丹  
瀧 港)

森 と 街 と 港

シ ャ コ タ ン の 荒  
磯

港 小 樽 の 運 河

夏 来 たり ぬ 女

少 由 布 院 金 鱗 湖

晩 阿 リ カ ン テ の ポ  
ス タ ー の ある 室

内 赤 い 扉 堂

二 月 晚 秋 の 那 須 高 原

白 樺 湖 畔 影

軽 井 沢 の 木 像

少 女 の コ ン チ エ ル  
ト

婦 人 像

佐 々 木 夫 人 像

ピ ア ノ に 依 る バ  
レ ー ダ ン サ ー

娥 S 影 娘

長 春 鷺 花 城

白 裏 仲 庭 周

三 月 の 川 辺 合

五 島 の 朝 陽

白 馬 を 飼 う 女 街

古 河 畔 浅 春 村

川 沿 い の 頃

雪 解 け の 千 里

阿 蘇 山 (初 秋)

老 人 (マ ッ サ ー  
ジ 師)

木 會 峽

入 江 の 波 止 揚

疎 夫 人 林

E 倉 早 春

鎌 倉 早 春

小 竹 義 夫

金 丸 直 衛

飯 田 福 治

伊 藤 本 上 一 巳

東 川 松 本 山 唯 雄

豊 島 輝 彦

松 田 忠 一

野 村 光 司

山 田 菊 枝 子

木 下 米 三 男

高 野 孝 則

木 村 辰 彦

小 山 敬 三

仲 田 好 江

源 鈴 川 木 良 三

田 坂 田 新 生 一 治

福 菅 真 下 誠

高 田 廣 助

中 村 琢 二

納 富 進 一 郎

池 辺 一 郎

安 宅 盾 雄

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春

鎌 倉 早 春



トミー・アングラー・グラフィックス  
27-10月2 ガレリア・グラフィ  
カ

18回日本伝統工芸展 28-10月10  
三越

出品目録

陶 芸

紫交趾平水指 赤 沢 正 中  
流掛草文角皿 浅 野 憲 陽  
鉄 絵 花 瓶 東 川 豊 蔵  
無地志野茶碗 荒 伊 志 良 光  
筒描柘榴文皿 伊勢崎 上 万 満  
緋 緋 壺 井 今 泉 今 右 衛 門  
青白磁彫文壺 今 泉 善 詔  
色鍋島つゆ革文 今 泉 善 詔  
鉢 絵 じゆず玉文 今 泉 善 詔  
白 塩 釉 長 皿 岩 潤 重 哉  
練上手菊文鉢 上 上 田 恒 次  
信 楽 茶 入 釣 窠 月 白 飛 茶 碗 宇 野 宗 麿  
染付貼花文深鉢 灰 釉 紅 芒 文 大 皿 江 江 大 野 法 世  
壺 焼 ぐ め 皿 鉄 釉 金 彩 三 彩 壺 小 小 野 野 祥 子  
鼠 志 野 大 皿 鉄 釉 前 広 口 壺 備 前 大 平 鉢 備 前 大 平 鉢 染 付 金 彩 葡 萄 文 花 瓶 織 部 鉢 灰 釉 草 文 飾 皿 色 絵 球 形 文 飾 皿 色 絵 四 割 取 小 紋 皿 炭 火 灰 釉 壺 九 谷 菱 文 飾 皿 呉 須 線 文 六 角 蓋 物 玳 瑁 盞 天 目 壺 龍 盞 盞 釉 平 鉢 壺 鉄 釉 流 し 壺 上 野 丸 壺 茶 入

照子夫入平郎雄二夫義子一雄城貞郎雄三郎雄爾介三郎彦一二利人茂保雄功生一郎泰花郎夫里資邦賀容子衛  
晏久邦卯高五宗順秀忠信昭哲水二哲三信誠莊惣三郎文盛茂宗寛勇忠伝元定敏  
北植富橋田藤羽田村川野川山藤松井端杉中會根塚田中野巳原川達智岡沢尾谷小猪阿長谷場三木境長谷川土屋吉田  
野徳久高岡加鳥森松山岡滝晶加兼浅川杉青水田辰塩淀安越柴平小上鍋小阿長谷場三木境長谷川土屋吉田  
決入れのピート祭 清流(遠藤ヶ滝) 秋日盆地畔 雪の摺上川 新雪の保 野佐世の 粟晩か 夏五池神乎鳥門(越前海岸) マロニエの並木路 裸冬の遺跡(ローマ) 穂窠海姉鳴り雪根早商白曇る尖閣湾(佐渡) 林古蔵王「積」 大理石寺院(パソコク) 白馬と農家港の見える人物(立像) 小諸風景 荻須高德展 24-10月20 神奈川県 立近代美術館  
対 獲入れのピート祭 清流(遠藤ヶ滝) 秋日盆地畔 雪の摺上川 新雪の保 野佐世の 粟晩か 夏五池神乎鳥門(越前海岸) マロニエの並木路 裸冬の遺跡(ローマ) 穂窠海姉鳴り雪根早商白曇る尖閣湾(佐渡) 林古蔵王「積」 大理石寺院(パソコク) 白馬と農家港の見える人物(立像) 小諸風景 荻須高德展 24-10月20 神奈川県 立近代美術館  
行一正嘉元福三憲太三義徳俊良憲敏知真精勇み俊一敦力嘉英外耕益玲富登辰一修胡清裕方子葱清  
輝郎勇春一郎輝太郎三人三郎 雄明貢三雄雄治夫 美一美子夫豊子精久男正吉信司武躬子彦野男一郎一六太夫子葱清  
井一本田山葉藤田中島島下田石辺見野木勢井馬田内藤海原倉見林出柳口木川山美田野木柄井川田口藤井  
今栗岡坂山杉千伊奥田中小亀島白渡鷺伴青能酒遊成谷加天小砂朝浅小西小山山鈴石与志久宇佐々真坂市富堀佐增  
門月港ナ麓景ド景秋橋 堂辺村魚海流影 夏らぶめ雪景廊冬村達つ春地登古原 橋の鉦の造雪の街所像  
水紀北三 魚シエアルパシー伊田鉦路より夏北漁ほ地樹オフロノ面晩画風ゆ浅ギター「窓」上回溪雪昆バス雪能劇団冬道秋赤雪勇宅庭チ古川港坐

水紀北三 魚シエアルパシー伊田鉦路より夏北漁ほ地樹オフロノ面晩画風ゆ浅ギター「窓」上回溪雪昆バス雪能劇団冬道秋赤雪勇宅庭チ古川港坐  
門月港ナ麓景ド景秋橋 堂辺村魚海流影 夏らぶめ雪景廊冬村達つ春地登古原 橋の鉦の造雪の街所像  
今栗岡坂山杉千伊奥田中小亀島白渡鷺伴青能酒遊成谷加天小砂朝浅小西小山山鈴石与志久宇佐々真坂市富堀佐增  
井一本田山葉藤田中島島下田石辺見野木勢井馬田内藤海原倉見林出柳口木川山美田野木柄井川田口藤井  
行一正嘉元福三憲太三義徳俊良憲敏知真精勇み俊一敦力嘉英外耕益玲富登辰一修胡清裕方子葱清  
輝郎勇春一郎輝太郎三人三郎 雄明貢三雄雄治夫 美一美子夫豊子精久男正吉信司武躬子彦野男一郎一六太夫子葱清  
對 獲入れのピート祭 清流(遠藤ヶ滝) 秋日盆地畔 雪の摺上川 新雪の保 野佐世の 粟晩か 夏五池神乎鳥門(越前海岸) マロニエの並木路 裸冬の遺跡(ローマ) 穂窠海姉鳴り雪根早商白曇る尖閣湾(佐渡) 林古蔵王「積」 大理石寺院(パソコク) 白馬と農家港の見える人物(立像) 小諸風景 荻須高德展 24-10月20 神奈川県 立近代美術館  
荻須高德展 24-10月20 神奈川県 立近代美術館  
ローマ・パロック展 24-11月9 国立西洋美術館





訪問着「爽」	每田仁郎	合子「闇に光る蝶」	北村謙一	乾漆キンマ食籠	向井武志
沖繩美術「花ゴーマイ」	真栄城喜久江	輝貝細螺斜線文飾箱	黒田辰秋	漆箱「宵」	谷内和子
久留米緋「初夢」	松枝玉記	沈金竹林の図小箱	古今菁峰	乾漆キンマ草花文菓子器	山口松太
長板中形「梅花文」	松原利町	刻線入重律文香盒	呉藤友乗	キンマ紅葉色紙箱	
「水に菊」	松原八光与	螺鈿茶箱	小佐々木永芳夫	花文彫漆茶入	山下楊哉
藍型染着物「竹」	松原原与七博	籃胎キンマ文箱	塩田水谷浩惣	割貝波文長棗箱	山田田夜みどり
「波の綾」	松原野文栄	乾漆食籠	清関高橋一静	香線陽炎の舟工	山田田角大
訪問着「春」	水野文栄	菱市松時繪盛器	高田中橋口所中	大地の金	
紬織着物「さやか」	宮尾文栄	氷華文箱	高田田田井直	葉文銀壺	明石井義祐
どぼんこぼかし「菱」	宗広力三	乾漆菓子器	高田田田井直	柿金具	浅井田伏圭
紬着物「霜」		彫漆花文小箱	高田田田井直	鉄打出玄猿置物	魚住川谷一
佐賀錦「花こうし」	毛利百合子	乾漆端華文茶入	高田田田井直	鑄銅双禽鈕香炉	魚住川谷一
友禪訪問着「菱文様」	森口華弘	彩漆入緩卓	中島淑枝	香	魚住川谷一
友禪単衣「籠目文様」	森口邦彦	乾漆時繪茶入	中島光夫	布目象嵌羽紋文箱	魚住川谷一
友禪着物「麦」	山田田田彰	千鳥時繪箱	中島光夫	砂張平水指	魚住川谷一
黎	山吉田田彰	乾漆キンマ花文食籠	中島光夫	砂張水指	魚住川谷一
紬着物「雲立涌」	赤地友哉	草花文小箱	中島光夫	鑄銅線文花瓶	魚住川谷一
漆	赤新井良博	野の小径時繪小物箱	中島光夫	入角口の釜	魚住川谷一
捲胎瓢花盒	磯板植田	漆皮臘月狐文小宮	中野孝一	やまぐさ文肩衛	魚住川谷一
キンマ草文茶箱	磯板植田	キンマ楓文盤	中山波仁稔	四方形釜	魚住川谷一
刀目文盛器	磯板植田	木目朱金盛器	福井誠山	眺雲文水滴	魚住川谷一
キンマ竹林香盆	太田加津子	時繪やぶでまり箱	福藤静大	線文細口銀花瓶	魚住川谷一
海の草漆箱	太田加津子	螺鈿寶石箱	福藤静大	金淡彩水滴	魚住川谷一
彫漆水指	太田加津子	描キンマ春風卓	増田昌弘	鶉水滴滴	魚住川谷一
キンマ「せせらぎ」色紙箱	大場松魚	乾漆キンマ「群」寶石箱	増村益城	蘭花香盆	魚住川谷一
籃胎キンマ八角盆	岡崎保子	紙燃キンマ信夫文茶入	松井芳子	銅水滴	魚住川谷一
キンマ竹林の図食籠	岡村康寿	乾漆キンマ盛器	松田権明	臚銀有耳花瓶	魚住川谷一
籃胎キンマ香盆	岡出丸耕	沈金清春箱	宮坂辰之助	砂張小田巻香炉	魚住川谷一
平文松竹文箱	岡音丸	沈金山桜箱		象嵌文鑄銅花器	魚住川谷一
平文提盤	音丸	沈金秋の野文箱		桃金具	魚住川谷一
時繪飾箱	小野次雄	沈金瀟岩を洗う図小箱		銀瓶	魚住川谷一
流線文水指	小川窪居久	円文変り塗り入辺盆		鉄打出流水文花瓶	魚住川谷一
乾漆盛器	笠居華江	乾漆根来蓋もの		砂鉄釜「流水」	魚住川谷一
堆漆菊桐文茶器		沈金あすなろ文箱		砂鉄帆船紋撫肩釜	魚住川谷一
堆白水指「水辺」		吉祥文椀(六客)		砂鉄釜「流れ雲」	魚住川谷一
堆漆吹雪「夜明け」		なると時繪棗		臚銀流金文水指	魚住川谷一
堆漆香盒「雪の花」		獅子時繪平文庫		鑄銅香炉「つゆあけ」	魚住川谷一
翻波文鉢		沈金あすなろ文箱		水辺香盒	魚住川谷一
キンマ盛器				鍛鉄春蘭置物	魚住川谷一
キンマ色紙箱				純銀打出彫春雪水指	魚住川谷一
螺鈿松文箱				蟹金具	魚住川谷一
				重ね金菱文小宮	魚住川谷一
				鳥賊金具	魚住川谷一

美術展覧会(9・10月)

柰目銅壺 進藤玉明  
 三味線銅花文透 末武整宝  
 銀消壺 鈴木幸平  
 湯沸「武蔵野」 須戸章太郎  
 黄いろい壺 関谷四郎  
 白い壺 野澄雄  
 鑄銅花瓶 高野良市  
 六稜鑄銅花瓶 高高橋敬典  
 砂鉄肩衛平釜 立川善二  
 波地文筒釜 田中秀明  
 鑄銅櫛目文花器 田中正幸  
 南鍍鍍起四方水指「洋」 田中川塚西藤  
 鉄銀打合せ花瓶 田中川塚西藤  
 鉄赤銅角模様打込銀水指 玉手寺内  
 重ね打香炉釜 長野裕一  
 七宝透丸火箸器 磯の文宮  
 銀盛線文宮 八葉文青銅花瓶  
 黄銅交線文宮 八葉文青銅花瓶  
 礎の文宮 八葉文青銅花瓶  
 入葉文青銅花瓶 八葉文青銅花瓶  
 たまみづ文鏡口筒釜 砂鉄波文鏡口釜  
 糸目釜 砂鉄焼抜鏡口翼釜  
 黄銅線文飾箱 菱の実水滴  
 金彩銅壺「鷺と山菜莢」  
 金銅透彫箱「鴨跖草と蝶」  
 錫渦文茶入 亀甲文鑄銅花瓶  
 金象嵌銀赤銅火箸 鑄銅花瓶  
 鑄銅花瓶 木竹工  
 櫻拭漆手付盛器 拭漆桑硯箱  
 黒柿列短冊箱 老松盆卓  
 拭漆櫻棚盆 櫻造大盆  
 縞黒檀茶入 拭漆仕上食籠  
 桑小卓 塩地拭漆文机

拭漆析空飾筐 平棗「斜陽」  
 水精白檀木尽花器 椗皮六角小宮  
 槐すり漆器局 黒柿色級箱  
 楠空拭漆盛器 やに松の文机  
 拭漆桑小棚 桐手箱  
 楠玉空彫技色紙箱 寄木隅切小箱  
 桐摺漆色紙箱 螺施文様花籠  
 櫻彫刻文箱 桑造入足卓  
 輪花盆 鉄刀木造盛器  
 楠干菓子盆 授花籠  
 色紙箱 花籠  
 櫻拭漆大鉢 櫻拭漆手箱  
 屋久杉木目荒磨平卓 盛籠  
 拭漆櫻食籠 桐塑人形「閻伽」  
 乾漆漆彩「海鳴り」  
 張抜桐塑「残照」 桐塑人形「遠き日」  
 木目込人形「青いとり」  
 木彫彩色「水輪」 紙塑人形「豊かな海」  
 木心桐塑「背戸」 木彫人形「夕なぎ」  
 シ「秋想」 木彫象嵌人形「慈光榮々」  
 木彫人形「童子」 木彫人形「桜花の舞」  
 木心桐塑「憩う」 シ「竹姫さま」  
 シ「窸ぐれ」

秋郎 斎 州 樵 雪 傑 成 月 真 堂 丘 一 篁 三 堂 邦 造 美 房 齋 義 荘 詠 明 齋 玗 和 洋 子 英 子 とし子 昭 子 藏 榮 城 美 一 賢 子 俊 園 生 子  
 辰吉 曲 豊 如 枉 桑 琉 薰 一 昭 尚 哲 見 翠 広 作 竹 房 齋 義 荘 詠 明 齋 玗 和 洋 子 英 子 とし子 昭 子 藏 榮 城 美 一 賢 子 俊 園 生 子  
 黒齋 本 藤 藤 原 原 崎 田 台 村 蕨 蕨 早 林 水 平 福 福 前 松 水 村 本 柳 大 青 秋 雨 市 上 田 大 森 鹿 兒 島 加 藤 小 松 佐 藤 下 口 鈴 木 芹 川 田 熊 野 村  
 胡桐塑「狂言くさびら」 木心桐塑「やんちゃざかり」 木彫木目込「松浦佐用比売」 張子「秋草少女」 木彫人形「鷹」  
 シ「雫」 その他 雨端硯 水指「水のかけり」 茶碗「小町」 七宝水指 省胎七宝花瓶 省胎七宝鉢 七宝花器 切子硝子「いちまつ」 截金小屏風「華」 截金茶入 七宝「唐草」飾壺 四葉文花瓶 雲海硯 高田硯箱 春の雪飾箱 截金彩色合子「西」 瑪瑙香炉 茶碗 七宝水石箱 「ふね」硯 象嵌色紙短冊箱 若田硯 硝子花瓶 象牙ばちる筭 金唐皮草花文飾箱  
 近代日本画展 29—10月31 術館  
 近代日本画の名作展 30—12月22 大倉集古館  
 10 月  
 版画グラン・プリ展(2回) 1—10 東急日動画廊(田村文雄、坂爪厚生、平田自一、田島征彦、矢柳剛、小池暢子、大場正男、深山護之助、

馬場禱男、鶴岡洋、長谷川富三郎、島州一、池田定巳、清塚紀子、井上佐之助、小口益一、高羽賢一、上矢津、高柳裕、原真美、児島正俊、小林敬生、坂本好一、齋藤カオル、渡辺達正、小林清子、鳥居綾子、金井守、長岡国人、田辺和郎、大沢泰夫、山本久美、蔵本利彦、金子富美、岡部和彦、羽倉詠子、清水遠流、森幸司)

マリー・ローランサン展 1—25  
京都市美術館

4回現代日本彫刻展 (強化プラスチックによる) 1—11月10 宇部市野外彫刻美術館

出品目録

朝 F.R.P. 襲 嘔  
木、鉄

美術館 F.R.P. 石井 厚生

Birdfeed on Peace Symbol F.C.シート(ABS樹脂)

無 題 F.R.P. 狗巻 賢二

貴方まかせ F.C.シート(ABS樹脂)、鉄

風 門 F.R.P.、鉄 井上平八郎

柱上の舞 F.R.P.、鉄 江口 暹

飛行変態するカニモドキ F.R.P.、鉄 押尾 豊

Contact F.C.シート(ABS樹脂)、ステンレス、鉄 小田 襄

石と青いパイプ F.R.P.、石 河口 龍夫

躍 動 F.R.P. 木津 一夫

状況律 (The situation law) F.R.P.、石、木 菅 木志雄

残像 71 F.R.P.、アクリル 澄川 喜一

超空間 F.R.P.、アクリル 多田 美波

通過する空間 F.R.P. 中野 將

円筒鏡面 F.R.P.、木、アクリル

Apple F.R.P. 福岡 道雄

無 題 F.R.P. 福島 敬恭

ななめの円筒をななめに通りぬける円筒 F.R.P.、鉄 堀内 正和

F.R.P.のための造形 F.R.P.、鉄 向井 良吉

EXTRACT F.R.P. 村井 浩

ゲル化(硬化) F.R.P. 村岡 三郎

チャラン、ポラン F.R.P.、ステンレス 最上 寿之

あらわれようとするかたち F.R.P. 保田 春彦

生命 F.R.P.、アクリライト 安原 喜武

赤・布・F.R.P.、ロープ 吉田 克朗

作品 ヨシダミノル

山口薫壁画下絵展 4—10 夢土画廊

熊倉順吉展 4—13 壹番館画廊

吉田善彦・牛島憲之二人展 4—16 彩壺堂

木内克ローマ臘型ブロンズ展 5—10 三越

鳥海青児展 5—24 東京セントラル美術館

出品目録

平塚風景 1924

ポプラと洋館 1925

水無き川 1928

水無き川

北海道風景 1929

山 鳥

う ず ら 1930

スイス風景

オアシス(アルジェリア)

アルジェリア風景(ブッサダ)

雪のシベリア駅路

シベリア駅路の雪

アルジェリアの兵士

アルジェリア風景 1931

アルジェの廻廊 1932

アルジェの水汲み女

闘 牛

闘 牛

ブラス・デュ・グーベルマン

アラビア風の海と家

夜のノートル・ダーム 1932

ノートル・ダーム・ド・パ  
リ

カ ス パ

フェズ(モロッコ)

ノートル・ダーム・ド・パ  
リ 1933

ノートル・ダーム・ド・パ  
リ

セース河

グラン・キャナル・ヴェニ  
ス

ヴェニス

ヴェニス

イタリアの寺院

ベルリン風景

まがった家(ベルリン)

水 田 1936

紀南風景

信州の晶

道 化

道 化

道 化

道 化

道 化

道 化

セリスト 1937

裸 婦

石橋のある風景(芦屋川)

高カラーの男 1938

高カラーの男

並木のある丘

蘇州風景 1939

蘇州風景

漢 口

北京の家

張家口風景

沖繩風景 1940

沖繩風景

万里の長城図 1941

瀬戸の山

北京天壇

アカシア

アマリリス

天津のフランス寺院 1942

だ い れ ん 木 1943

南瓜と壺 1946

牡 丹

い ち じ く 1949

い ち じ く

南瓜と茶碗

美術展覧会(10月)

南	瓜	1949
南	瓜	シ
樹	木	1950
南	瓜	シ
段	々	1951
春の段	々	1952
狸穴	風景	1953
狸穴	の家	シ
川	治いの家	1954
川	治いの家	シ
シルク	の馬	シ
シルク	の馬	シ
うずくまる		シ
うずくまる		シ
黄色い	人	1956
家	並	シ
壺をつくる	人	シ
彫刻をつくる		シ
二重	橋	シ
静	物	1957
ピカドール		1958
ピカドール		シ
ピカドール		シ
石をかつぐ		シ
ピサ(イタリア)		シ
アッシジの寺院		シ
壁の修理		1959
壇	輪	シ
壇	輪	シ
ブラインドを降ろす男		シ
ブラインドを降ろす男		シ
ブラインドを降ろす男		1960
スフィンクス		シ
スフィンクス		シ
スフィンクス		シ
スフィンクス		シ
赤まなま		シ
石の街		1961
石だたみ		シ
石だたみ		シ
メキシコ風の西瓜		シ
ユカタンの家		1962
昼寝するメキシコ人		1964
果汁を吸うマヤ人		シ
大念の出た法隆寺塑像		1967
素朴な静物		1968
メキシコ人の家族		1969
石	像	1970
日の丸盆の静物		シ
朱盆の果実		1971

瓶	子	1971
異色の画家シリーズ(1)	近代の南	
画展(後期)	5—31	山種美術館
出品目録		
○富岡鉄齋		
旧蝦夷風俗	明治29年	
大江捕魚	大正5年	
○小川芋銭		
豊幡浦	明治38年	
樹間如水人如魚	大正12年	
畑のお化	昭和4年	
止水水	シ	
太古香	昭和5年	
海島秋来	昭和7年	
桃花源	シ	
霞ケ浦	昭和10年	
沼の月		
○平福穂		
松林歸牧	大正8年	
竹林幽棲	大正12年	
湖上新秋	昭和2年	
湖山雨霽	昭和5年	
松栗鼠		
○富田溪仙		
風山の春	大正8年頃	
吉野细雨	昭和2年頃	
雲仙岳		
○今村紫紅		
湖見坂	大正4年	
○小杉放庵		
歸樵問答		
漁樵問答	昭和34年	
木瓜		
立石寺(奥の細道)		
○森田恒友		
山路の冬		
山路の冬	昭和7年	
雪中の松		
○小川千麿		
古梅	昭和41年	
出雲入重垣	昭和42年	
柳緑花紅	シ	
○石井林響		
総南の旅	大正10年	
炭を焼く		
○近藤浩一路		
鶏飼六題のうち残樵	大正12年	
○萬鐵五郎		
湘南春景		

魚やの居る風景		
(茅ヶ崎風景)		
松		
無	題	
シ		
シ		
○村上華岳		
冬の山	昭和13年頃	
○小茂田青樹		
丘に浴える	大正9年	
○楠瓊道州		
三色薔薇	昭和6年	
疎林寒光	昭和23年	
朝顔	昭和28年	
○中川紀元		
琵琶行	昭和46年	
穂高暁天	シ	
○中川一政		
雪国	昭和25年	
冬薔薇	昭和41年	
○横尾深林人		
山間雨情	昭和36年	
クロード・岡本個展	7—19 渋谷・	
西武		
朔日会油絵同人展(5回)	8—13	
松屋		
6回大調和秋季展	8—13 日本橋・	
東急		
白樺派の画家達・草土社大調和回顧		
展	8—17 日本橋・東急	
フランス美術の栄光展(2回)	8—	
23 日動画廊		
錦木清方展	8—20 松屋	
出品目録		
暮れゆく沼	明治31年	
寺子屋画帖	明治32年	
山路の冬	シ	
春野	明治35年	
一葉女史の墓	シ	
孤兒院	シ	
秋宵	明治36年	
深沙大王	明治37年	
教誨	明治38年	
曲亭馬琴	明治40年	
嫁ぐ人	シ	
花吹雪 落葉時雨	明治41年	
大川端花火の夜	明治42年	
抱一上人	シ	
女歌舞伎(小下絵)	明治43年	
深川六間堀	シ	



美術展覧会(10月)

野崎村	大正2年	小品集	昭和22年	「瓶子」	鳥海青児
墨田河舟遊	大正3年	金色夜叉	シ	瓶子(A)	シ
晴れゆく村雨(小下絵)	大正4年	日本橋	昭和23年	孫二人	小島善太郎
黒髪	大正6年	朝夕安居	シ	桃	シ
薄雪	シ	春宵怨(下絵)	昭和26年	人形	土井俊泰
早春	大正7年	小説家と挿絵画家	シ	「ルクサンプルク公園」の雪	白鳥三郎
ためさるゝ日	シ	時雨の宿	昭和27年	「樹」	シ
刺青の女	大正8年	女役者兼入	昭和29年	マネキンのある店	中村善種
水汲	大正10年	11月の雨	昭和31年	オアハカの市場	シ
銀座金沢亭	大正10年頃	遠い花火	昭和32年	五月	中津瀬忠彦
金沢絵日記	大正11~12年	夏の武家家敷	昭和35年	川手氏像	水島清
襟おしろい	大正13年	金沢瀬戸の夕潮	昭和42年	毘	竹内晟
朝涼	大正14年	ままごと	シ	薔薇の迷路	シ
築地明石町	昭和2年	鬢囃展 9-16 南天子画廊	シ	野の食卓	松樹路人
註文張	シ	小野竹喬展 11-16 下村画廊	シ	たまごそして銃	シ
芝居絵12題	昭和3年	新興秋季展 11-17 日本美術協会	シ	やランブ	青柳澄佳
道成寺(山づくし)	昭和4年	39回独立美術展 12-30 都美術館	シ	龍	シ
七夕	昭和5年	会員出品目録	シ	沼と花たち	芝田米三
道成寺・鶯娘	シ	落日	森崎幸	北仏の人	シ
三遊亭円朝像	シ	追想	シ	ノルマンディー	シ
新富町	シ	潮	松藤真澄	霧の北海	尾崎良二
浜町河岸	シ	懶惰坊(節句)	針生鎮郎	霧の燈	シ
滝野川観楓	シ	砂漠の女(エチオピア)	西野久子	背広のある部屋	桜井寛
江戸桜	昭和7年	アオイ果物ヲ売ル女(ニューギニヤ)	シ	背広のある静物	シ
夏の女客	昭和8年	土塀ファンタジー	荒木絢子	茨戸水辺	松島正幸
目黒の栢蔭	昭和8年	盾はにわ	シ	イルクーツク聖堂	シ
にごりえ	昭和9年	日は出	藤岡一	祇園まち	島村三七雄
妓女像(下絵)	シ	日没	シ	立つ	中間冊夫
雪夕入谷の畦道	昭和10年	風景A	斎藤紅一	らづくまる	シ
初冬の花	シ	風景B	シ	峠より	斎藤長三
明治風俗12ヶ月	昭和11年	我がドウシネーア・デル・トボソ	安田謙	峡	シ
伽羅	シ	居酒屋への入城式	シ	シルクロードの女	緑川広太郎
墨水三勝	昭和12年	バスを待つ	米原二郎	静物	織田彩子
慶喜恭順	昭和14年	鳥を売る	シ	モンテカルロ	斑目秀雄
鯛	シ	窓ぎわの静物(故)	江川平三	噴水(ニースの公園)	シ
朝顔日記	昭和15年	いろはえ	シ	光を求める人々	横地康国
お夏清十郎物語	昭和16年	札幌風景	伊藤彪	光を賛える人々	シ
美人四季	シ	キングダム	今井憲一	「よりよき次代のために」	シ
一葉	昭和17年	シャルトルへ行く	鈴木重夫	リズム	大内のぶ子
藤懸博士像	昭和18年	く	シ	飛鳥	高間惣七
築地川	昭和21年	実りの行進	シ	秋山	小林和作
寮の春雨	昭和21~24年	とり習作A	小原雄二	少女	小林武
阿竹大日如来	シ	とり習作B	シ	シャトーと馬	野口弥太郎
春雪	昭和22年	伊豆高原	志村計介	朝やけ	佐川敏子
少年	シ	セレベール風景	シ	暮れてくる山	シ
「苦楽」表紙	シ			馬と少年と雲	妹尾正彦
真夏	シ				
紫陽花	シ				

美術展覧会(10月)

黒い鳥と白い鳥と海	妹尾正彦	ワラのモノメント(II)	寺島 穰	ラストロ1・マドリード	仲村一男
ヴェルサイユ港	堀之内一誠	ワラのモノメント(I)	〃	砂漠(風船旅行7)	斎田武夫
ベニス	〃	三角	広瀬義男	屋岩	桜井浜江
三宅島風景(赤場咲)	小林 数	三円	〃	色環	〃
三宅島風景(目金岩)	〃	渓谷	山道栄助	12	斎藤研信
翠の祭り	高須観子	不動沢の秋	〃	花畑・あい	斎井上寛
村の教会	高山栄二	作られたものと共に(A)	小原 稔	花畑・い	〃
花と教会	〃	作られたものと共に(B)	〃	翼々帰鳥A	足達 襄
巫女	中村節也	七島八島	矢崎牧広	帰鳥B	〃
日本の舞(残照)	〃	鎌ヶ池(奥霧ヶ峯)	〃	白い影車	鈴木正教
駒ヶ根渓谷	清水鍊徳	顔	田中行一	入月(風)	古賀 猛
霞沢岳	〃	卓上魚果	〃	十月(晴)	〃
媽祖廟	入江一子	日曜日のウォール街(ニューヨーク)	大久保 泰	民族の遺産	江添 栄一郎
朱像(男)A	砂田友治	ブルックリン橋とスカイ・ライン(ニューヨーク)	〃	民族の根源	〃
群像(男)B	〃	山	岡村芳男	連帯	坂本善三
さすらい	久保一雄	湖	〃	夜明け(故)	西山舜之助
孤独なるサーカス	〃	人物	山本 正	虚空	〃
R	菊地精二	ピンチオの丘	〃	虚像と実像(A)	柰田たけを
イタリヤの神父	〃	春の海(湖畔)	山本 正	夏のこたえ	白野文敏
薔薇と馬鈴薯	鈴木保徳	早春の御岳	妹尾正雄	展	〃
室内の季節	〃	海鳥A	水野恭子	無題1	松崎 真一
離れ山	高晶達四郎	海鳥B	〃	無題2	〃
犬吠崎燈台	〃	ある群の断想(A)	河尻隆次	舟型と昔がたり	吉田西 緋
マラガにて	鳥居敏文	ある群の断想(B)	〃	屈折した舟型	〃
丘の上	加藤陽求	古き街	芝田耕通	し	赤星 孝一
山陰の旅から	〃	殺戮者	〃	Space<Yellow>	三浦洋一
少女像	赤星信子	墜ちる	高森 明	Space<Red>	〃
T子像	池島勘治郎	カスベ遊歩	〃	孤絶する人間	山田貞実男
花んな	〃	赤いカスベ	堀口千鶴雄	「娘」	〃
かんな	森 兵五	山頂と狩人	〃	父の肖像	〃
ジョリバの踊り	宮崎精一	巢	西田藤次郎	日御崎	山中 馨
ジョリバの太鼓	〃	坂の上の街(A)	〃	二人と馬	〃
F2	江田 豊	坂の上の街(B)	高崎文夫	梟	来栖重郎
F1	松本英一郎	蹟(B)	〃	鯉のぼりのある静物-こどもの日一	〃
半獣神	〃	蹟(A)	江口 良	風通しのよい部屋	今井信吾
半獣神	松山幾三郎	入江のある風景	〃	何んのための翼	〃
不安な朝の映像	〃	燈台のある風景	空野入百蔵	寓話(二)	広瀬通秀
影が伸びて...	〃	瀬戸内の饗宴	〃	寓話(一)	〃
迷路ふうな...	江田 豊	瀬戸内の饗宴	仲村一男	少女	湯沢正臣
無題	〃	ラストロ2・マドリード	〃	赤い室内	〃
退屈な風景I	絹谷幸二	〃	〃	追慕	和気史郎
退屈な風景II	〃	〃	〃	仰	〃
華化	〃	〃	〃	アリス・イン・ベッド	浅羽保治
浮	〃	〃	〃	〃	〃
non esseve né carne né pesce	〃	〃	〃	〃	〃

35回自由美術展

12-30 都美術館

会員出品目録  
絵画

ふとる教団  
心象風景  
椅子のある風景  
絵のある風景  
輪廻-7161  
輪廻-7190  
「作品Ⅰ」  
「作品Ⅱ」  
ポルノ作品  
斗争の記録 714  
嘘言身  
変身(二)  
作品A  
作品B  
作品2  
作品1  
いらなくなった表情  
風景(A)  
風景(B)  
花鬼  
ひとり  
渚窓の詩Ⅲ  
エピソードのない連帯  
突堤のように象象  
アンドロギヌス No.Ⅱ  
フォルム  
フォルム(ブルー)  
魚を喰べる女  
四季の終り  
対「キナクサイ」  
「海」  
凶境の空  
「4次防」  
肖像1  
黄木のかたらいⅡ

長谷川 匠  
ニ  
岡 泰子  
森 本仁平  
ニシオ トミジ  
日名子 金一郎  
ニ  
藤 沢 匠  
池 田 和 美弘  
久 田 三  
井 上 リラ  
河 内 登 国  
長谷部 昇  
浜 田 紀 子  
幸 丸 辰 門  
佐 藤 孝 慧 寛 博  
大 塚 博  
岩 崎 垢 仁彦  
高 原 美 登 里  
笠 松 昭 吾  
杉 原 玲 子  
調 杉 惣 男 司  
東 宮 不 二 夫  
有 村 真 鉄  
広 畑 美 代 子

黄木のかたらいⅠ  
片目のジャック  
片目のジャック  
片目のジャック  
片目のジャック  
作品B  
変女  
ばらと風景  
日人並汎静  
雲との対話  
望なる肖像  
煙突のある風景  
ヴァレンシアⅠ  
ヴァレンシアⅡ  
ヴァレンシアⅢ  
モラルの分解  
対話の記録  
雷風  
あらそい  
目視  
視視  
渡良瀬川  
理性たち No.2  
作品Ⅱ  
作品Ⅴ  
幻想踊り  
作品Ⅰ  
作品Ⅱ  
暮春の公園  
二人  
作品J  
作品BL  
失題

広畑美代子  
青山嘉靖  
ニ  
ニ  
土器屋 杏子  
西久保 四郎  
大久保 和良  
大和田 幸十  
太田上 藤 澄  
斎吉 佐 青  
石丸 宇 鶴 大 沢 溝  
八幡 健 二  
沢 田 哲 郎  
上 原 二 郎  
岡 島 弘 国  
西 垣 清 信  
中 野 良 義 衛  
毛 内 康 子  
松 野 康 子  
平 出 速 雄  
田 賀 亮 三  
伊 藤 朝 彦  
井 上 照 子  
井 上 長 三 郎

肖像  
風景(1)自然破  
壊  
静物1  
静物2  
人間たち一断片  
としての一  
のび上った風景  
蒼き傷跡の風景  
雪の日に  
壁人ドラマ  
ドドラマ  
囚われ燃え  
こよみどりの静物  
外芸風ふ鎮よ黙田話久落日  
子供(箱船)  
ひ  
ミトウナ  
71吹弁排叫森  
コーカサスの雪  
碑帰ってきた少女  
(B)  
帰ってきた少女  
(A)  
自分の位置はどこ  
白のイメージ  
風魔ド

井上長三郎  
森 健  
関 正 和  
井 上 美 彦  
一 木 平 蔵  
沢 木 鈴 江  
吉 見 敏 治  
草 山 薙 隆  
増 田 暢 直  
柿 手 春 三  
比 田 井 仁 史  
赤 木 幸 輝  
細 井 千 鶴 子  
大 野 修  
久 保 愛 子  
久 保 吉 一 汜  
浜 坪 井 藤 本 昭 平 実 じ  
佐 岡 本 じ 紘  
奥 田 一 三  
福 寿 一  
新 見 孝  
岡 橋 次  
大 成 子  
吉 田 耳 浪  
竹 中 俊 一  
三 田 耕 之  
彦 阪 浅 男  
倉 智 憲 夫  
横 尾 茂  
橋 本 久 枝  
洪 田 三 純  
千 原 田 郎  
森 玉 五 広  
見





25回二紀展 12-30 都美術館  
 会員出品目録  
 絵画  
 老師の夢 三輪勇之助  
 待っている 黒沢三郎  
 どこへ行く 〃  
 砂漠の黒い男 中西勝  
 大地の聖母子 〃  
 暁の祭礼 須摩とおる  
 善霊と悪霊 〃  
 夏は終わった 小西保文  
 DISCOVER→  
 JAPAN 〃  
 やすらかに 宮嶋美明  
 無情 〃  
 エッフェル塔を 西村功  
 望む 〃  
 広場 〃  
 仏頭Ⅰ 山口操助  
 仏頭Ⅱ 〃  
 幼魚の野外水槽 佐々木孔  
 「かき」夜の作業 〃  
 場 〃  
 少女 鈴木博  
 夜 〃  
 古い貨車 吉田富士夫  
 街の連作B 児玉幸雄  
 街の連作A 〃  
 私はのどが渴いた(ヨーロッパの印象) 金田辰弘  
 春(ニースの海岸通り) 熊野俊一  
 春(シャトウの裏通り) 〃  
 雑羊の歌 佐伯米子  
 時計台の見える 〃  
 石段 〃  
 ホトケ座像 中川紀元  
 オンフルール港 坂本益夫  
 風景(ヨーク) 〃  
 LA CRÉATION 星崎孝之助  
 小さな水路(ベニス) 島岡実  
 埴 津田周平  
 黄土に咲いた花 〃  
 神の丘 藪野正雄  
 祭の日 〃  
 二人 宮本三郎  
 熱叢夢 〃  
 真菰川 峯岸義一  
 鳥心自然図詩 〃

女三態 田村孝之介  
 人形 〃  
 海洋訓練所風景 成井弘  
 (和歌浦) 〃  
 ヨツト 秋保正三  
 道をふさぐ若者 〃  
 たち 〃  
 おばあちゃん 近藤嘉男  
 モンマルトル風 〃  
 景 大兼実  
 一隅 〃  
 法隆寺の道 大兼実  
 DENMARK 宮永岳彦  
 雅 〃  
 SWISZERLAND 土岐国彦  
 麗 〃  
 東大寺残照 北村脩  
 若草山と東大寺 〃  
 建物と人々とB 小笠原誠次  
 建物と人々とA 〃  
 象(列, 1) 小川智平  
 象(列, 2) 〃  
 躍る 小乾竜平  
 曲率・余剰Ⅱ 〃  
 曲率・余剰Ⅰ 高瀬善明子  
 むげん-71' 高加藤敏  
 追憶 〃  
 鳥たちと天使 〃  
 ボウゼンCイ 浜田信  
 (フランス) 〃  
 グreekの谷 牧ハルナ  
 (北ノールウェイ) 〃  
 ピアノを弾く 〃  
 変貌するマキ 〃  
 ピエタ 市野長之介  
 闖入者 〃  
 語り 小島真佐吉  
 む 〃  
 歩 〃  
 十勝岳 中野安次郎  
 オコタン湖 〃  
 信濃富倉の残雪 山本直治  
 夜間空港 〃  
 石垣門 久野修男  
 塀 〃  
 野 小島謙  
 群 〃  
 サークスの人たち1 大久保実雄  
 サークスの人たち2 〃  
 かたち'71 鳥居雅隆  
 泡 青木寿

或る追想 坂宗一  
 インコとサボテン 森英  
 オットンシヤン 〃  
 彫刻 〃  
 胎動 村上丙  
 トーテムの歌 水野欣三郎  
 <Ⅲ> 〃  
 陰陽神・あたたかい、遠い海 堀義雄  
 陰陽神・閉ちこめた水 〃  
 立つ 矢形勇  
 石との交り 北川薫  
 躍動 No. 3 木津一夫  
 標 山崎脩  
 花たより 松村外次郎  
 翳(かげ) 上田暁  
 コンドル 長谷川八十  
 人物 〃  
 托鉢像 板橋一步  
 頭 菅沼五郎  
 TORSO 〃  
 25年 滝川昆堂  
 失なわれた色 邑田五郎  
 21世紀への課題 長野隆業  
 歩き廻る良心 滝瀬弘造  
 サックスの青年 堀口泰  
 フルートの青年 〃  
 流人 小島弘  
 白い木のある風 吉羽一郎  
 影 〃  
 二十やすらぎ 真鍋忠  
 対 八柳恭次  
 巨頭 斎藤聖香  
 清宮質文、秀島由起男、駒井哲郎三人展 15-23 南天子画廊  
 パンリアル展(29回) 18-27 京都市美術館  
 松尾敏男展 18-30 彩壺堂  
 現代の陶芸(アメリカ、カナダ、メキシコと日本) 19-12月5 京都国立近代美術館、12月14-47年1月30 東京国立近代美術館  
 出品目録  
 (カナダ)  
 ワイア・ストーン アグニユー、  
 ジェイン  
 毛皮のセンター 〃  
 ピース 〃  
 最初の塊り 〃

美術展覧会(10月)

ずたずたのかゝと	シカンスキー、ヴィクター	フラッグの壺	パウア、パッティ・ワラシナ	BC. オレンジ色	ブライス、ケネス
唇のある靴	シ	まだらの壺	シ	B. 緑色	シ
最新スタイルのデバイスの靴	シ	腐ったミルクの海	シ	クリーム色	シ
用途不明	クールノワイエ、ジョルジュ	青白釉の棒型花瓶	フリムケス、マイケル	B. クリーム色	シ
道具袋	シ	月のロッジでのジャンプ	シ	おりおり	ローズ、ダニエル
5つのバッグ	シ	ヤードバード・パーク	シ	想い出	シ
ジャケット 7	レヴィス、マリリン	古代ギリシャの籠型壺	シ	おきて	シ
バッグ	シ	崩壊した世界	ギルフリー、デイヴィッド	貯蔵所	シ
ジャケット 4	シ	蛙の王様	シ	壺	ロスマン、ジェリー
ブーツ 4	シ	世の終り	シ	花びらのないユリ 4	シ
塩ぐすりの器	ソーンズベリ、ジェイムズ	潰された蛙	シ	様式 D	シ
塩ぐすりの陶彫	シ	ボール・ボウル	シ	無題	サックス、エイドリアン
おもちゃの三輪車 (アメリカ)	シ	ダグの肖像	ホフステイッテン、ジョリオン	無題	シ
憶い出 '70	アレクサンダー、レイモンド	イメージ 1	シ	アメリカの恋人よ、いらっしや	シュランガー、ジェフ
オハイオ '70	シ	陶彫	シ	悲しみ	シ
ミスター・オレンジ・リイ '70	シ	ランプ付陶彫	ファイ、カクオン	植物物語	シ
とらもろこしの作品	アーネストン、ロバート	ブルー・ライト	シ	沈む舟のある寝いす	ショウ、リチャード
ふり落されたアーネストン	シ	陶彫器	シ	牛の脚つきテーブル	シ
受け皿に沈んでゆくカップ	シ	花器	シ	スプーンつきかもめの壺	シ
色ぐすりをかけたハムつきの選りぬき肖像写真	シ	無題 1	カネコ、ジェン	骨崇拝	ショアーズ、ケン
赤い潮	アーンツ、マイケル	無題 2	シ	太陽トートム	シ
ミヌーラの春	シ	三色すみれの壺	コトラー、ハワード	羽毛箱	シ
12インチ平方の透明体	シ	黄金の天使	シ	鳥崇拝	シ
春のオブジェクト	シ	身ぶり手ぶりでレオナルド作最後の晩餐	シ	骨崇拝	シ
無題	オーティオ、ルディ	塔と卵	ロウ=ビーア、スーザン	魔法の瓶 1	サイラー、バトリック
無題	シ	サンドウィッチ	シ	魔法の瓶 2	シ
無題	シ	鳥	シ	魔法の瓶 3	シ
赤と黄の縞	バセラ、ラルフ	風景	シ	黄色のティーポット	シ
オレンジ色のドーム	シ	鳥の柱	シ	7つのカップ	シ
黒 3	シ	垂直の彫刻	メイスン、ジョン	らくの皿	ソールナー、ポウル
青い脚	シ	穴のあるフォルム	シ	らくの壺	シ
回転ノ	パウア、フレッド	無題	シ	らくの皿	シ
アメリカン・ピエティ・ローズ	パウア、パッティ・ワラシナ	山積みゲーム	メルチャート、ジェイムズ	陶彫	シ
		7/8 の a	シ	3/4 壺 1	スガノ、レオ
		グロテスクな a	シ	3/4 壺 2	シ
		凝った a	シ	斜め半分の壺	シ
		ムシ 1971	ミズノ、ミネオ	無題	シ
		標本 C F 2625.	ブライス、ケネス	無題	シ
		13	シ		

輪づみ円形大壺 タケモト、ヘンリー  
 輪づみ大扁壺 シ  
 飾りつき輪づみ陶彫“白夜” シ  
 大皿 シ  
 ジャガー4200c.c.エンジン タウズリー、ジュフレイ  
 289馬力噴射式シボレー・エンジン シ  
 座軸 ヴァーヤ  
 未来の夢 シ  
 無題 ヴォーカス、ピーター  
 リトル・ピグホン シ  
 大壺 ウォルシュラダー、フレッド  
 蓋物 シ  
 蓋物 シ  
 フロア・ユニット シ  
 (メキシコ)  
 黒い球 ディアス・デ・コシオ、アルベルト  
 灰色の壺 シ  
 皿 シ  
 黒い塔 ディアス・デ・レオン、グラスイエラ  
 うそ発見器 シ  
 さぼてん シ  
 花壺 マノーラ  
 瓶 シ  
 小さなひよこ レイノソ、ルイサ  
 塔“チロロ” シ  
 2つの瓶：回転する小皿、母と兄弟 シ  
 緑が欲しい ベラスケス、ウーゴ  
 (日本)  
 プリントッド・ボールズ——風俗アラカルト 荒木高子  
 おとこ 林秀行  
 おんな シ  
 モーニング・タイム 石山駿  
 ディスク・ジョッキー シ  
 ヤング・ポップ シ  
 彩陶壺 加守田章二

彩釉長方皿 加守田章二  
 作品A 加藤清之  
 作品B シ  
 三様 加藤整治  
 土に帰る 鯉江良二  
 古上野釉壺 高鶴元  
 炭化壺 シ  
 古上野釉炭化組鉢 シ  
 僧の座 熊倉順吉  
 枯葉像 シ  
 肖像 シ  
 パッケージ1 久世建二  
 パッケージ2 シ  
 パッケージ3 シ  
 紳士の為に 三輪龍作  
 夏の海 宮永理吉  
 夏の雲 シ  
 夏の山 シ  
 砂壺 森陶岳  
 彩文土器 森野泰明  
 祭祀生 シ  
 碑 シ  
 せめにあり戒め度し難し 中村錦平  
 SERIES: POLLUTION ALLERGY 里中英人  
 泥像 鈴木治  
 四角い鳥 シ  
 馬 シ  
 廃堆 高野基夫  
 自在まんだら 滝瀬弘  
 千手まんだら シ  
 笛師の戯れ A 坪井明日香  
 笛師の戯れ B シ  
 笛師の戯れ C シ  
 牡牛 辻晋堂  
 タオスにて シ  
 頁1 八木一夫  
 頁2 シ  
 頁3 シ  
 陶標 山田光  
 作品 シ  
 作品 シ  
 紺釉金銀彩花瓶 柳原睦夫  
 作品 71/5 シ  
 紺釉金銀彩花瓶 作品 71/9 シ  
 紺釉金銀彩花瓶 作品 71/13 シ

作品 69-3 安原喜孝  
 作品 71-3 シ  
 作品71-10-1 シ  
 ルオー生誕百年記念展 20-27 吉井画廊  
 シャガール近作展 20-30 フジテレピ・ギャラリー  
 現代ドイツ美術展 20-12月5 東京国立近代美術館、12月16-47年1月30 京都国立近代美術館  
 岡本治男展 21-27 壹番館画廊  
 「日本の四季」名作日本画展 22-27 大丸  
 坂本繁二郎・熊谷守一二人展 22-27 大丸  
 河口築土個展 24-30 銀座ヤマト画廊  
 私のおつめたやきもの展 24-11月10 神奈川県立近代美術館  
 小山富士夫自選展 24-11月10 神奈川県立近代美術館  
 富田真平石彫展 25-30 現代彫刻センター  
 空充秋木彫展 25-30 養清堂画廊  
 ジョルジュ・ルオー展 26-31 三越  
 フジカワ画廊35周年展(ギュスターブ・モロー展、ブルデル展、国内作家現代絵画彫刻展) 26-11月4 東京セントラル美術館  
 新しいステンドグラス福沢一郎・大伴二三弥作品展 26-11月7 東京セントラルサロン  
 中本達也展 28-11月6 壹番館画廊

11 月

知求会十五周年展 1-7 銀座アートギャラリー  
 二元展(10回) 1-10 日本美術協会会館  
 福沢一郎個展 1-14 彩壺堂  
 3回日展 1-12月6 都美術館  
 会員受賞者目録  
 日本画  
 潜像 棚田泰生  
 昼さがり 成田環  
 真夏の夜の夢 田島なす美







美術展覧会(11月)

裸身心風	瀬戸団治	な が れ	得能節朗	春風	風女	渡辺弘行	行郎
清時	進藤武	爽ツ像	星野貫宣	猫黒	女マ	三寅金	彦彦
手を	伊須賀	レの観	矢安達	滝証	行人	寅金	央央
蒼旦	大和分	い	岡安本	証	人精	正徳	讀讀
裸内	木野々	え	大山川	荒	哭	太朗	豊邦
布持	村国村	立	川橋	陽	空	朗田	高規
萌	川田	裸	井藤	碧	ない	高規	也
萋	川田	婦	本井	果	み	也	剛
作	藤	RYOKO	藤田	実	なり	剛	治
形	井	立	山田	さ	とり	治	夫
成	田川	膝	内村	あ	エ・ダ	夫	司
日高	城本	と	持川	バ	ン	司	德
潮の	野形	春	山田	サ	下	司	璃
布を	野宮	ゆ	本崎	春	佳	璃	光
裸足	平雨	の	野波	樹	子	光	弘
晨	杉	少	中田	母	神	弘	彦
晨	山本	女	島江	春	像	彦	三
心回	堀藤	年	本崎	窺	る	三	樹
生	宮山	像	崎野	長	像	樹	庸
南	田山	力	波中	髪	き	庸	洲
散	田山	才	島江	蹲	識	洲	成
の	田山	雲	長橋	立	女	成	象
念	田山	山	宮高	立	歌	象	雄
思	市之	の	宮高	立	門	雄	樹
鷹	市之	年	宮高	立	人	樹	二
踊	市之	穹	宮高	立	女	二	民
昇	市之	二	宮高	立	風	民	佐
夢	市之	三	宮高	立	壞	佐	実
裸	市之	女	宮高	立	芸	実	明
健	市之	夢	宮高	立	象	明	三
む	市之	地	宮高	立	象	三	司
腰	市之	湖	宮高	立	門	司	映
内	市之	ち	宮高	立	命	映	水
Live	市之	女	宮高	立	杜	水	之
う	市之	夢	宮高	立	花	之	二
地	市之	地	宮高	立	炎	二	舟
樹	市之	湖	宮高	立	綿	舟	二
女	市之	ち	宮高	立	島	二	爾
風	市之	湖	宮高	立	鳥	爾	豊
林	市之	湖	宮高	立	映	豊	博
姉	市之	湖	宮高	立	晨	博	弘
ハ	市之	湖	宮高	立		弘	
ARTIST	市之	湖	宮高	立			
EST	市之	湖	宮高	立			
時	市之	湖	宮高	立			
田	市之	湖	宮高	立			
蝶	市之	湖	宮高	立			
野	市之	湖	宮高	立			
腰	市之	湖	宮高	立			



美術展覧会(11月)

牛島憲之・千野茂二人展	8—15			
フジカワ画廊東京店				
香月泰男「画集シベリア」刊行記念展	8—13			
フォルム画廊				
東山魁夷新作展	9—14			三越
斎藤清個展	9—20			ギャラリーオカベ
東山魁夷展	9—28			東京セントラル美術館
白根光夫個展	10—20			丸の内サエグサ画廊
モー、ブルデル展	11—22			フジカワ画廊
高松次郎展	12—27			東京画廊
彼末宏展	15—27			銀座サエグサ画廊
田村一男個展	15—27			彩壺堂
和田新油絵展	16—22			ギャルリーアルカンシエル
ゴヤ展	16—47年	1月23		国立西洋美術館
出品目録				
油彩・タピスリー				
牧神パンに捧げる犠牲	1771	油	彩	個人蔵
火の女神ベスタに捧げる犠牲		シ	シ	シ
天使たちによる神の御名の礼讃	1772	シ	シ	シ
イフィゲネアの犠牲	1775—80頃	シ	シ	シ
いのしし狩り		タピスリー		マドリッド王宮
凧あげ	1778	油	彩	ブラド美術館
兵隊ごっこ		タピスリー		サンティアゴ大聖堂歴史美術館
瀬戸物売り	1779	油	彩	ブラド美術館
たきぎ拾い		タピスリー		サンティアゴ大聖堂歴史美術館
ギターを持つマホ		シ	シ	シ
ラッパを吹く牧童	1786—87	油	彩	ブラド美術館

泉にいこう	1786—87	油	彩	ブラド美術館
狩人				
槍を持った闘牛士	1786—87?	シ	シ	シ
竹馬	1791—92	シ	シ	シ
わら人形		シ	シ	シ
わら人形		タピスリー		マドリッド王宮
聖ベルナルドの奇蹟	1787	油	彩	バリアーバドリッド、サンタアナ修道院聖堂
キリストの捕縛	1798	シ		レド、大聖器室
キリストの捕縛	1788—98	シ		ブラド美術館
自画像(?)	1773—74頃	シ		サラゴッサ、考古美術博物館
ガスパー				
ル・メル				
チョール	1784—85	シ		個人蔵
デ・ホベリャーノス				
ホセ・デル・トーロ				
イ・サンブラーノ	1785	シ		マドリッド、イスペイン銀行
トローサ侯爵	1787	シ		シ
カルロス四世(半身)	1789	シ		ブラド美術館
王妃マリア・ルイーサ(半身)		シ		シ
カルロス四世(全身)	1789頃	シ		シ
王妃マリア・ルイーサ(全身)	1789	シ		シ
画家の妻ホセファ・バイユ	1790—98頃	シ		シ
ド・ニャ・タデア・アリアス・デ・エンリーケス	1793—94	シ		シ

着衣のマハ	1803頃	油	彩	ブラド美術館
裸のマハ	1790頃	シ	シ	シ
女優ラ・ティラーナ	1799	シ		王立サン・フェルナンド美術アカデミー
首切り	1808—14	油	彩	亜鉛板
たき火		シ		シ
ホアキン・ナダード	1802—04頃	油	彩	バレンシア美術館
イシードロ・マイケス	1807	シ		ブラド美術館
タデオ・ブラーボ・デ・リベロ	1806頃	油	彩	板
パンタレオン・ペレス・デ・ネニン	1808	油	彩	個人蔵
バルコニーのマハとセレスティナ	1808—12頃	シ		個人蔵
自画像	1815	油	彩	板
マヌエル・キハーノ		シ		油
ラファエル・エステーベ		シ		シ
村の市日	1813—18頃	シ		個人蔵
聖女フスタと聖女ルフィーナ	1817	油	彩	板
版画・素描				
天使の顔		素	描	マドリッド、個人蔵
フリーベ三世	1778	エン	チ	ブラド美術館
マルガリータ・デ・アウストリア		シ		シ
フリーベ四世		シ		シ
イサベル・デ・ボルボン		シ		シ
バルタサール・カルロス王子		シ		シ



オリバーレス伯公・ガス・パウル・デ・グスマン	1778	エッチ エンゲ	ブラド 美術館	祖父もこう だった(カ プリーチ ョス39)	アクワ イン ブラド 美術館	道はけわし い	素描	ブラド 美術館	
黒人少女マ リア・ルー スを抱くア ルバ公夫人		素描	シ	祖父もこう だった	素描	治してやっ てまた戦場 の惨禍20 (8))	エッチ エンゲ	シ	
街頭のマハ たち		シ	シ	告げ口屋 (カプリー チョス48)	エッチ エンゲ	治してやっ てまた戦場 へ	素描	シ	
お化けがや って来る (カプリー チョス3)		エッチ エンゲ	シ	告げ口屋	素描	暴徒(戦争 の惨禍28)	エッチ エンゲ	シ	
お化けがや って来る		素描	シ	おめかし (カプリー チョス51)	エッチ エンゲ	暴徒	素描	シ	
誰も自分の ことは分ら ない(カプ リーチョス 6)		エッチ エンゲ	シ	おめかし	素描	ある女の慈 善(戦争の 惨禍49 (36))	エッチ エンゲ	シ	
誰も自分の ことは分ら ない		素描	シ	何と有難い お説教! (カプリー チョス53)	エッチ エンゲ	ある女の慈 善	素描	シ	
彼女は連れ て行かれた (カプリー チョス8)		エッチ エンゲ	シ	何と有難い お説教!	素描	墓地へ(戦 争の惨禍56 (30))	エッチ エンゲ	シ	
彼女は連れ て行かれた		素描	シ	彼女は飛ん でいった (カプリー チョス61)	エッチ エンゲ	墓地へ	素描	シ	
歯を盗む (カプリー チョス12)		エッチ エンゲ	シ	彼女は飛ん でいった	素描	猫のバント マイム(戦 争の惨禍 73)	エッチ エンゲ	シ	
歯を盗む		素描	シ	よきご旅行 を(カプ リーチョス 64)	エッチ エンゲ	猫のバント マイム	素描	シ	
びったりよ (カプリー チョス17)		エッチ エンゲ	シ	よきご旅行 を	素描	ペテン師た ちのショウ (戦争の惨 禍75)	エッチ エンゲ	シ	
びったりよ		素描	シ	首かせ男 1778— 80頃	エッチ エンゲ	ペテン師た ちのショウ	素描	シ	
文無しは追 い出せ(カ プリーチョ ス20)		エッチ エンゲ	シ	ムーア人の 闘牛(闘牛 技6)	シ	真実は死ん だ(戦争の 惨禍79)	エッチ エンゲ	シ	
文無しは追 い出せ		素描	シ	ムーア人の 闘牛	素描	真実は死ん だ	素描	シ	
可哀そうな 女たち! (カプリー チョス22)		エッチ エンゲ	シ	闘牛をする カルロス五 世(闘牛技 10)	エッチ エンゲ	彼女はよみ がえるだろ うか?(戦 争の惨禍 80)	エッチ エンゲ	シ	
可哀そうな 女たち!		素描	シ	闘牛をする カルロス五 世	素描	彼女はよみ がえるだろ うか	素描	シ	
彼女たちは すでに席を 得た(カプ リーチョス 26)		エッチ エンゲ	シ	いつもこう だ(戦争の 惨禍8)	エッチ エンゲ	残忍な怪 物!(戦争 の惨禍81)	1815— 20頃	エッチ エンゲ	シ
彼女たちは すでに席を 得た		素描	シ	いつもこう だ	素描	これが真理 だ(戦争の 惨禍82)	1815— 20頃	シ	シ
ブラーボ! (カプリー チョス38)		エッチ エンゲ	シ	この為にお 前達は生れ たのだ(戦 争の惨禍12 (24))	エッチ エンゲ	女の愚(こ とわざ1)	シ	シ	シ
ブラーボ!		素描	シ	この為にお 前達は生れ たのだ	素描	女の愚	素描	シ	シ
				道はけわし い(戦争 の惨禍14 (28))	エッチ エンゲ	恐怖の愚 さ(こと わざ2)	エッチ エンゲ	シ	シ
						恐怖の愚	素描	シ	シ

飛行の愚(ことわざ5)	エッチング	ブラド美術館	カスターネットを鳴らして踊るお化け	素描	ブラド美術館
結婚の愚(ことわざ7)	シ	シ	アンダルシアのダンス、エル・ビート	1824—25頃	リトグラフ 個人蔵
結婚の愚	素描	シ	決闘	シ	ブラド美術館
歓喜の愚(ことわざ12)	エッチング	シ	南米の名闘牛士マリーノ・セバリーヨス	1825	シ
歓喜の愚	素描	シ	スペインの娯楽	シ	シ
飛び方(ことわざ13)	エッチング	シ	牛の角にかけられた槍	シ	シ
静寂の愚(ことわざ17)	シ	シ	二分された闘牛場	1825	シ
静寂の愚	素描	シ	ふらんこに乗る老人	1825—27頃	エッチング 国立図書館
滑稽の愚(ことわざ3)	エッチング	シ	ふらんこに乗る老婆	シ	シ
蛇女	素描	シ	マハ、暗い背景	シ	シ
猿男	シ	シ	マハ、明るい背景	シ	シ
一人でもうかった	シ	シ	年老いた闘牛士	シ	シ
役に立つ男の末路	シ	シ	参考出品		
見つからない	シ	シ	ガエタノ・メルキ		
大根を引抜くのはわけが違	素描：セビア淡彩	シ	フランシスコ・デ・ゴヤの胸像	1795—1812頃	ブロンズ ブラド美術館
よく食い、よく飲め	素描	シ	特別展示・聾の家		
なんにも気にしない	シ	シ	(「黒い絵」の原寸大複製写真によるゴヤ晩年の住居の復原)		
見ていられない	シ	シ	マノーラ：ド・ニャ・レオカディア・ソリーリャ		
やがて君は自由になる	シ	シ	サン・イシードロの泉への巡礼		
無一文は幸せ	シ	シ	魔女の集会へ		
受けの構え	シ	シ	運命		
突き	シ	シ	殴り合い		
お似合いのカップル	シ	シ	二人の修道士		
悪い夫	シ	シ	サン・イシードロ祭		
泣き虫	シ	シ	魔女の集会		
至福の女	シ	シ	スープを飲む二人の老人		
スケートを滑った修道士	シ	シ	わが子を食うサトルヌス		
			ユディットとホロフェルネス		
			二人の女と一人の男		
			読書		
			砂に埋れた犬		
			家具 24点		
			走泥社展 21—28 京都市美術館		

佐藤忠良自選展 22—30 梅田画廊 三番街店  
 金重陶陽展 23—28 高島屋  
 石黒宗磨五十選展、石黒宗磨遺作展 23—28 三越  
 中野淳個展 24—12月3 飯田画廊  
 荻太郎個展 24—12月4 ギャラリー・オカベ  
 渡辺恂三個展 26—12月24 第七画廊  
 菅井汲グラフィクス 29—12月11 ガレリア・グラフィカ  
 ドーミエの石版画展 29—12月11 ギャラリー・プリントアート  
 正井和行展 29—12月11 彩壺堂

12 月

彫刻六人展 5—25 日本橋画廊 (桜井祐一、淀井敏夫、広瀬和子、峰孝、中村直人、松村外次郎)  
 清水九兵衛彫刻展 6—18 南画廊  
 芝田米三個展 6—18 銀座サエグサ画廊  
 35回大潮会展 10—26 都美術館

<古美術>

1 月

第47回特別展「大阪の神社の名宝展」 2—31 大阪市立博物館  
 春の坂道「剣聖柳生展」 3—13 松屋本店  
 久能山東照宮秘宝「徳川十五代甲冑と刀剣展」 4—13 松屋横浜支店  
 江戸浮世絵名作展 4—13 東急本店  
 行成の書・水墨画と漢の土偶 4—3月28 正木美術館  
 南蛮美術展 5—17 岡山県総合文化センター  
 名刀特別展 5—2月28 刀剣博物館  
 特別陳列「経塚の遺宝」 5—2月7 京都国立博物館  
 東洋の陶磁 5—31 大和文華館

長崎派絵画展 5—2月25 神戸市立南蛮美術館  
 与謝蕪村・小林逸翁追慕「白梅忌展」  
 5—3月21 逸翁美術館  
 近世屏風画卷名作展 7—24 高知県立美術文化会館  
 日本刀の歴史展 9—19 そごう千葉店  
 みちのくの神秘・ミイラ伝の秘宝「出羽三山展」 15—26 藤井大丸  
 世界の陶芸展 15—3月14 滴翠美術館  
 武将の愛刀展 21—26 阪神百貨店  
 武将の愛刀展 22—27 近鉄阿倍野店  
 加賀百万石名宝展と古九谷名品展 22—2月2 小田急百貨店  
 鎌倉彫 23—3月7 サントリー美術館

## 2 月

東洋の漆工 3—3月28 大和文華館  
 豪華人物誌「平野一含翠堂の人々」  
 7—3月7 大阪市立博物館  
 古筆展 20—28 BSN新潟美術館  
 尾張徳川美術館所蔵古美術名品展 27—3月28 茨城県立美術館

## 3 月

虎徹とその一門展 2—4月11 刀剣博物館  
 特別展「日本の楽器」 6—28 神奈川県立博物館  
 日本刀展 7—27 神戸市立南蛮美術館  
 南画名品展 8—17 そごう神戸店  
 名刀展 13—22 富山県民会館美術館  
 中国陶磁展 13—4月25 白鶴美術館  
 第48回特別展「讃岐・金刀比羅宮」  
 14—4月18 大阪市立博物館  
 連歌と俳諧 15—6月30 天理ギャラリー

三彩の道 中国—ペルシャ—日本  
 16—5月5 サントリー美術館  
 狩野山楽展 20—4月11 京都市美術館  
 箱の展観 20—5月9 藤田美術館  
 日本古美術展—くらしの中の美—  
 20—4月18 琉球政府立博物館

## 4 月

戦国武将展 1—11 静岡市・田中屋  
 楽代々展 1—20 兵庫県陶芸館  
 芭蕉真跡展 1—5月9 逸翁美術館  
 近世開国文化展 1—5月25 神戸市立南蛮美術館  
 春夏の茶道具取合せ展 1—7月18 滴翠美術館  
 水墨画と根来塗展 1—9月27 正木美術館  
 新指定重要文化財特別陳列 6—18 東京国立博物館  
 古代ペルシャ土器展 6—18 三越本店  
 ソ連所蔵名品百選展 10—5月30 東京国立博物館  
 根津美術館所蔵「茶碗百選展」 10—5月9 徳川美術館  
 近江の甲冑と武具展 10—5月31 彦根城開国記念館  
 熱海美術館百選展 11—25 島根県立博物館  
 偉風堂旧蔵展 13—6月13 刀剣博物館  
 古写経展 14—5月16 五島美術館  
 1350年御忌記念「聖徳太子展」 16—21 近鉄阿倍野店  
 刀剣展「日本刀の流れ」 17—5月18 秋田市美術館  
 奈良薬師寺金堂復興祈願「月光菩薩展」 20—5月2 三越本店  
 須恵器・古信楽展 20—25 三越本店  
 馬場コレクション「カラフト・アイヌ展」 20—5月30 市立函館博物館  
 尾張徳川家名刀百選展 23—5月9 小田急百貨店

歴史に残る「日本名刀展」 24—5月10 日本民俗資料館  
 社寺縁起絵展—絵巻物を中心にして— 24—5月23 奈良国立博物館  
 徳川三百年展 24—5月23 二条城特別陳列「織物の歴史 I」 27—5月23 京都国立博物館  
 日本のよろいかぶと展 25—5月23 BSN新潟美術館  
 辻が花と戦国の女性像展 28—5月30 大和文華館  
 第49回特別展「クリスタルの歩み」 29—6月6 大阪市立博物館  
 徳川十五代甲冑と刀剣展 29—6月20 東照宮博物館  
 福井県陶芸館開館記念特別展 30—5月9 福井県陶芸館

## 5 月

古唐津—出光美術館所蔵品— 1—31 白鶴美術館  
 春季特別展「日本古美術百選展」  
 4—6月6 石川県美術館  
 日本における宗教のあゆみ「殉教展」  
 7—17 大和百貨店金沢店  
 特別陳列「阿部コレクションと中国の名宝」 9—31 大阪市立美術館  
 スウェーデン国王所蔵中国古美術展 11—23 高島屋本店  
 創立20周年記念「名品春季展」 12—6月2 藤田美術館  
 秀吉を中心とした「戦国武将画像展」 12—21 名古屋市豊清二公顕彰館  
 茶碗展 15—7月25 逸翁美術館  
 奇想の画家・歌川国芳 15—6月27 サントリー美術館  
 奥羽大名展「佐竹家の遺宝」 15—6月10 致道博物館  
 熱海美術館名品展 15—6月6日 徳川美術館  
 生誕550年記念「世界の画聖雪舟展」 20—25 阪神百貨店  
 瀬戸内水軍の秘宝「大三島武具展」 21—30 そごう神戸店  
 茶道名品展 22—6月20 秋田市美術館



古美術展覧会(5~10月)

水の詩—日本画に現われた波—25  
—6月27 山種美術館  
尾張徳川家伝来「徳川美術館名品展」  
29—6月20 富山県民会館

6 月

岩佐又兵衛とその周辺展 1—20  
神奈川県立近代美術館  
茶器と茶掛展 1—13 本間美術館  
特別展示「万福寺障壁画」 1—30  
京都国立博物館  
特別展示「信楽の壺」 1—30 京都  
国立博物館  
特別展示「消息」 1—7月25 京都  
国立博物館  
特別展示「平安時代の出土品」 1—  
8月1 京都国立博物館  
特別展示「國東半島の佛像」 1—  
京都国立博物館  
ソ連所蔵名品百選展 8—7月25  
京都国立博物館  
近世日本の絵画と工芸 2—8月1  
大和文華館  
第50回特別展「おかげ参りとええじ  
ゃないか」 17—7月18 大阪市  
立博物館  
名古屋城障壁画展 18—23 近鉄四  
日市市支店  
近世異端の芸術展 26—7月13 小  
田急百貨店  
中国の染付 26—7月18 梅沢記念  
館  
日本刀の流れ「日本名刀展」 26—7  
月25 石川県美術館

7 月

地獄・極楽とその周辺展 1—8月  
25 愛媛県立美術館  
茶道四天王展 1—9月5 五島美  
術館  
日本古画漆芸品展 1—9月26 大  
倉集古館  
特別展示「漢・六朝・隋の器物」 1  
—9月30 京都国立博物館  
加賀のれん 3—8月15 サントリ  
ー美術館

オリエント美術秘宝展 6—9月30  
出光美術館  
桃山・江戸時代の新刀名作展 15—  
8月15 BSN新潟美術館  
殷周青銅器 15—10月30 天理ギャ  
ラリー  
昭和45年度新収品特別陳列 20—8  
月1 東京国立博物館  
特別陳列「葉師寺の宝物」 24—8月  
22 奈良国立博物館  
特別陳列「近畿地方の縄文文化」 25  
—8月31 大阪市立博物館  
アレキサンダー大王の道展 30—8  
月11 西武池袋店

8 月

五島美術館名品展 1—15 浜松市  
美術館  
浮き絵と眼鏡絵展 1—25 神戸市  
立南蛮美術館  
特別展示「古絵図」 1—9月26 京  
都国立博物館  
特別展示「西林寺の仏像」 1—12月  
19 京都国立博物館  
徳川十五代甲冑と刀剣展 6—31  
東照宮博物館  
両陛下御訪欧記念「御物を中心とす  
る日本美術展」国内展示 18—22  
東京国立博物館  
旅(熊野) 21—9月23 サントリー  
美術館  
東池坊全国華展と東慶寺重宝寺展  
31—9月5 札幌市・今井デパート

9 月

万葉集の古筆展 9—26 五島美術  
館  
尾張徳川家伝来「茶道具と刀剣名品  
展」 9—27 香川県文化会館  
国焼展 10—12月19 滴翠美術館  
仙台・歴史と美術展 11—10月10  
仙台市博物館  
若冲 15—10月10 東京国立博物館  
秋季展「中国古代青銅器」 15—11月  
23 白鶴美術館

美濃古陶展 20—10月8 大阪市立  
美術館  
墨跡と花器展 25—10月24 石川県  
美術館  
名品秋季展 25—12月1 藤田美術  
館  
特別展示「宋・元の墨跡」 29—11月  
28 京都国立博物館

10 月

仏教美術(絵画)展 1—15 本間美  
術館  
名古屋城障壁画展 2—21 彦根市  
開国記念館  
特別展示「羅漢画」 1—24 京都国  
立博物館  
呉春展 1—11月14 逸翁美術館  
特別展「日本の科学の歩み」 1—11  
月21 山口県立山口博物館  
初期洋画の流れ「南蛮紅毛美術展」  
1—11月25 神戸市立南蛮美術館  
能阿弥 500年忌辰とシルクロード展  
1—47年3月28 正木美術館  
開館十周年記念特別展 2—12月23  
サントリー美術館  
名品展 6—11月28 大和文華館  
皇室の御寺「泉涌寺」 8—20 そご  
う大阪店  
生誕七百五十年記念「日蓮聖人展」  
9—20 京都府立総合資料館  
第2回日本文人画展「関東文人画」  
10—20 BSN新潟美術館  
日本絵画史展 10—31 長野県信濃  
美術館  
第51回特別展「古墳文化—吉備・筑  
紫・出雲」 10—11月31 大阪市  
立博物館  
特別展示「古鏡展」 10—11月28 京  
都国立博物館  
特別展示「江戸時代の歌舞伎衣装」  
10—11月28 京都国立博物館  
特別展示「木米を中心とした煎茶陶」  
11—12月18 京都国立博物館  
特別展「平安時代の彫刻」 13—11月  
28 東京国立博物館  
日本刀の歴史と流れ「名刀展」 15—  
20 いよてつそごう



古美術展覧会(10~12月)

「扇」展 15—11月7 元興寺極楽坊  
総合収蔵庫  
ふるさとにかえった南蛮紅毛美術展  
16—24 長崎市立博物館  
近世写生画の系譜 16—11月7 神  
奈川県立博物館  
宮本武蔵と沢庵展 16—11月10 秋  
田市美術館  
第6回吉備文化展「良寛」 16—11月  
7 岡山美術館  
日本の面—東日本を中心に— 19—  
11月11 鎌倉国宝館  
般若寺名宝展 16—11月14 奈良県  
文化会館  
正倉院展 17—31 奈良国立博物館  
黒潮国体芸術展「原始・古代の紀伊  
国」 23—29 紀伊風土記の丘資  
料館  
徳川美術館名品展 24—11月7 長  
崎県立美術館  
特別展示「十二天画像」 26—11月28  
京都国立博物館  
茶道興隆期の名陶展 27—11月7  
常滑市立陶芸研究所  
朝倉文化展 28—11月17 福井県立  
岡島美術記念館

第2回熱田神宮文化史展「熱田と頼  
朝」 30—11月28 熱田神宮宝物  
館  
東北の衣裳展 30—11月27 仙台市  
博物館  
中国の美術—宋・元・明・清時代の  
絵画・陶磁器・漆芸品— 30—11  
月21 香川県文化会館

11 月

日本の色絵磁器展 1—16 日本民  
俗資料館  
埼玉の歴史・美術 2—47年3月31  
埼玉県立博物館  
高野山秘宝展 3—9 野沢屋  
近江文化史展「安土・桃山時代文化」  
3—23 滋賀県立琵琶湖文化館  
鎌倉時代と昭和 3—23 椿山荘  
特別展示「天球院障壁画」 3—12月  
19 京都国立博物館  
美濃古陶展 6—12月5 根津美術  
館

志野・黄瀬戸・織部展—薄茶の取り  
合せと懷石道具— 7—28 兵庫  
県陶芸館  
桃山時代の蒔絵調度展 17—29 名  
古屋市豊清二公顕彰館  
日本の兜 20—12月12 神奈川県立  
博物館  
芝居錦絵展「源平の世界」 20—12月  
23 逸翁美術館

12 月

特別展示「奈良・平安時代の写経」  
1—19 京都国立博物館  
松永耳庵翁遺愛品並びに遺墨展 1  
—27 椿山荘  
東洋の古代美術 1—47年1月30  
大和文華館  
アメリカにおける日本文人画展(国  
内展示) 3—12 東京国立博物  
館  
特別陳列「キリシタン関係遺品」 14  
—47年2月27 東京国立博物館

「物故者」 ページ (77～95 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.77-95)

Cut for protection of the personal information

## 美術文献目録

(昭和46年)

## 凡 例

- ここに採録した文献は昭和46年中にわが国において発行された単行図書、定期刊行物、および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 単行図書の形で刊行されたもののうち多数の論文を集録したものは単行図書としてあげたほか、その内容を定期刊行物中にも組み入れた。
- 現代美術文献目録は明治以後の美術に関するものを、外国美術文献は西洋を主として集めたが、東洋やその古美術に関するものも現代に関わりをもつ限りこれを採録した。
- 建築ならびに工芸の範囲は本文最初の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は特記したほかは、内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。(例えば作家欄において作家名を先に出す等のこと。)
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお757~759は757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9. 1, 3, 6は昭和46年9月1日、3日、6日の新聞を示す。(5)は昭和46年5月号を示す。

## 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

現代美術・西洋美術	
総 説	98
絵 画	102
彫 刻	103
工芸・デザイン	104
建 築	107
作 家(人名別音順)	
日 本	111
外 国	123
美術関係者(人名別50音順)	125
時評・その他	127
展覧会批評(主要新聞)	134
展覧会批評 雑誌(50音順)	153

## 東洋古美術

総 記	162
絵 画	164
書 蹟	167
彫 刻	168
建築・庭園・石造美術	169
工 芸	171
陶 磁 工	171
金 工	172
漆 工	173
染 織 工	174
玉工・ガラス工・その他	174
考古学関係	174
歴史関係・その他	175

## 〔単行図書〕

現代美術・西洋美術・東洋古美術	176
-----------------	-----

定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術文献

総 説

古代エジプト人の色彩象徴	鈴木 八司	毎日夕刊	3.9
古代アンデスの謎	利根山光人	朝日ジャーナル	7.23
拓本マヤ美術(上)(下)	平川 明	三 彩	269, 271
ギリシャ幾何学様式的美術	水田 徹	美術史	81
特集 地中海世界幻想のアレキサンドリア	辻 佐保子	歴史と人物	創刊号
星とキリスト教美術	田中 文雄	古美術	35
デューラーの美術論における Kunst の概念	勝 国興	美学	85
シラーの自然観について	山川淳次郎	シ	86
タコの神話学	ロジェ・カイヨワ	中央公論	6
デトロイト美術館の「書斎の聖ヒエロニムス」について一制作者の問題と作品のアイコングラフィ	森 洋子	女子美大紀要	3
ルネッサンス美術の美術史上の意義	山本 喜美	中 美	196
コンドル設計上野博物館に関する考察 1.2.3.	小野木重勝	日本建築学会論文報告集	179, 181, 184
岡倉天心に関する在外二史料	堀岡 智明	日本歴史	282
大正文学と美術との関連について	匠 秀夫	札幌大谷短大紀要	6
京都美術工芸学校のことなど	加藤 一雄	季刊芸術	5—4
特集 近代日本美術における1930年			
1930年の油絵	岩崎 吉一	現代の眼	197
1930年協会から独立美術創立の頃	林 武一郎 福沢 (談)	シ	シ
1930年プロレタリア美術のこと	須山 計一	シ	シ
人物のいる風景・1930年	小野 忠重	シ	シ
戦後前衛所縁の荒事	ヨシダ・ヨシエ		
「原爆の図」を背負って(1)		美術手帖	337
「原爆の図」を背負って(2)		シ	339
岡本太郎の「塔」		シ	340

「アンフォルメル」の嵐		美術手帖	341
停止した「時間派」の時間		シ	342
狂乱の「ネオ・ダダ」		シ	343
「読売アンパン」轟沈す		シ	344
「VAN」コンミュニの夢		シ	345
肉体叛乱の予兆		シ	346
「九州派」の英雄たち		シ	347
モルモット・アンダーグラウンド		シ	348
嗚呼千里丘陵		シ	349
<大正期の新興美術運動をめぐって>			
13. 画廊九段 無選首都展 単位三科	中原実氏にきく	現代の眼	194
14. 造形美術家協会の頃(その1)	矢部 友衛	シ	195
15. 造形美術家協会の頃(その2)	シ	シ	196
特集 現代日本美術の祖型・1930		みづゑ	797
移植から定着へ 古賀春江の詩より	本間 正義		
コミュニケーション 旧世代・新世代			
1. 戦前戦後の美術運動(対談)	岡本桂川 唐貴寛	美術グラフィ	20—7
2. 戦争とは? 軍隊とは?	山本田相原深尾菊地 政雄 竹次 恒雄 庄介 明子	シ	20—8
特集 ポスト'70の表現志向		美術手帖	340
私説・肉体産業絵詞	谷川 晃一		
変革の風化	李 禹煥		
情報の自己組織	峯村 敏明		
戦略的後退期の終焉	彦坂 尚嘉		
特集 表現・状況—60年代美術はどう動いたか		シ	349
日本現代美術の秋	藤枝 晃雄		
「場」の変質をめぐって	石子 順造		
私的総活 戦後美術ジャーナリズム	針生 一郎		



百花斉放・作家の眼(座談会)	菊畑茂久馬 高松次郎 刀根康高 吉村益信	美術手帖	349	特集 内面喚起とその変容—ドイツ表現主義	野村 太郎	みづゑ	792
特集 集団の波・運動の波—60年代美術はどう動いたか		〃	347	特集 ドイツ表現主義		芸術生活	258
物質から「空間」へ	中原 佑介			生きた人間の表現	〃		
百花斉放・60年代初期	編・刀根康高			再評価されるヨーロッパ表現主義	村木 明		
ハイレッド・センターにふれて	今泉 省彦			ドイツの小雑誌—表現主義を中心として	早川 東三	学 燈	68—12
千円札裁判における中西夏之証言録(一)				ドイツの現代美術			
番外資料「千円札裁判へ」				さながら雑色のモザイク模様	V・チハー コバー	美術手帖	349
特集 変革のにない手たち		〃	337	ラインの橋からの一瞥	峯村 敏明	〃	〃
シンボジウム 近代日本の美意識と倫理(3)	高階 秀爾 小島信夫 山崎正和 平川祐弘 芳賀徹 小堀桂一郎 江藤淳	季刊芸術	5—1	特集 現代ドイツの美術	野村 太郎	芸術生活	268
バロック懐疑論	田中 英道	三 彩	279	現代ドイツ美術へのわが愛憎	針生 一郎	芸術新潮	263
特集 壮大な宗教的宇宙—ローマバロックの美術	若桑みどり	芸術生活	267	ドイツ現代美術補遺	〃	視 る	55
特集 <歪んだ真珠>のバトス・イタリア17世紀	中山 公男	みづゑ	798	機械時代における芸術と技術(二)(三)	鈴木 健二	美 学	85, 86
特集 雅宴の夢と享楽—ロココ		〃	795	芸術と意味—メルロポンティの芸術論をめぐって	深田 進	〃	85
華麗に彩られた世界	野口 栄子			現代美術における作品の意味	乾 由明	〃	84
ロココ時代	窪田 般弥			現代美術	寺田 透	学 燈	68—7
アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデにおけるデザイン思想の一考察	羽生 正気	人 文	19	現代芸術への告発		芸術新潮	260
アンリ・ヴァン・ド・ヴェルデと雑誌「ヴァン・ニュー・エン・シュトラークス」	西沢 信弥	美術史研究	8	現代美術の東と西			
リアリズムについて	岡本 透	中 美	196	自然と人間のかかわり合い(1)~(4)	三宅正太郎	萌 春	195~198
ベルグソンの芸術哲学(6)	高階 秀爾	季刊芸術	5—1	人間・物体・自然(1)~(4)	〃	〃	199~202
世紀末の影 上	〃	読 売	3.19	現代の人間像(1)~(3)	〃	〃	203~205
世紀末の影 下	〃	〃	3.20	<連載講座>表現と職業との間			
近代日本美術における一九三〇年	三木 多聞	絵	87	①カメラマンとして	柳本 尚規	美術手帖	345
シュールレアリスムの残光	山中 散生	芸術生活	262	②デザイナーとして	安藤 紀男	〃	346
パウハウスという「学校」	中原 佑介	〃	260	③映像作家として	波多野哲朗	〃	347
ソヴィエト現代美術の一断面	エレナ・クロソウスキー	〃	266	④総集篇	下山 真司 水木 薫 彦坂 尚嘉	〃	349
脱衣のヨーロッパ現代芸術	斎藤 正治	〃	〃	特集 芸術は職業たりうるか		〃	343
スペイン異端の系譜	藪野 健	日本美術工芸	388	芸術の職業化と脱職業化	針生 一郎		
				芸術家廃業のすすめ	アラン・カブロー		
				とりあえず芸術家として(座談会)	峯村 敏明		
				富士見町アトリエ美学校	岡田 隆彦		
				食うためではない芸術家に	編 集 部		

定期刊行物所載文献

芸術共同体への志向	D・P・パ ーンズ		ニューヨーク・シー ンから	篠原有司男		
特集 ものみな複製 の時代に		美術手帖 346	それにつけても日 本のことよ(座談 会)	飯塚 国雄 高岡 夏樹 篠原有司男 ヨシダミノ ル		
極私的複製絵画替 り	鈴木志郎康		やさしさのための 反体制	今野 雄二		
ベンヤミン以後 アウラ	針生 一郎 刀根 康尚		芸術家とエコロ ジーとコミュニ オン	久保田成子		
生のアウラから わが複製	峯村 敏明 編・木付恒 久		ロックの詩とアメ リカの死	ダグラス・ ラミス 訳 田川律		
西郷札伝播考	木村 恒久 横尾 忠則 島 州一 赤瀬川原平 荒木 経惟		ハイレッドセンター にみる美術の「現代」	石子 順造	美術手帖 345	
私にとって「複製」 とは			前衛批判	クレメン ト・グリーン ンバーグ	〃 〃	
特集 都市のなかの まつり		〃 348	なにが混沌であるの か	中原 佑介	芸術生活 257	
都市に時間の刻印 を	津村 喬		「美術」の否定とは何 か	〃	〃 258	
それで自由となっ たのかい	田川 律		自己表現とは何か	〃	〃 259	
「人間と大地のま つり」瞥見	編 集 部		カタログの変貌	〃	〃 265	
はぐれ船無惨	矢田 卓		二次元と三次元	〃	〃 266	
まつりは芝居のそ ばにある(対談)	唐 十郎 佐藤 信		美術と音楽	鹿島 享 前 春	196	
神々の愛でし都	栗田 勇		われ等「現代の芸術」 に背を向けて	宗 左近	芸術新潮 261	
12. ルクソール神殿		芸術生活 257	特別寄稿・現代のマ ニエリスム・ゲルハ ルト・ヘーメ	グスタフ・ ルネ・ホッ ケ 訳 種村 季弘	みづゑ 803	
13. 王家の谷		〃 258	未開の眼・未完の城	巖谷 国土		
14. スペイン		〃 259	1. ジャック・エロ ルド	〃	797	
15. フラメンコ		〃 260	2. レオノーラ・カ リントン	〃	798	
16. トレド		〃 261	3. ヴィフレッド・ ラム	〃	799	
17. セビリアの アルカサル		〃 262	4. ビエール・モリ ニエ	〃	801	
18. ドンファンと カテドラール		〃 263	5. トイエ	〃	802	
19. コルドバ		〃 264	6. ドロテア・タニ ング	〃	803	
20. コルドバ		〃 265	特集 イミテーショ ン			
21. アルハンブラ		〃 266	1. 肉体の錬金術	森山 純一	芸術新潮 262	
22. アルハンブラ		〃 267	2. 肖像<写真>画 工	石子 順造	〃 〃	
23. マラガ		〃 268	3. 贋作を駆逐する 巧芸画	藤 昇一	〃 〃	
環境・地球・生態学	日向あき子	季刊芸術 5-1	4. 天才浮世絵版画 師	坂東三津五 郎	〃 〃	
美学のアンソロジー	利光 功	美 学 85	特集 秘境の壁画			
時代のしるし	中原 佑介	芸術生活 267	壁画—そのオリエ ント的展開	柳 宗玄		
造形思考—シンボル の図形	林 由男	〃 264	壁画模写に参加し て	吉岡 堅二		
特集 概念の芸術と 芸術の概念		美術手帖 342				
眼にみえない芸術 知的表現の奪還へ	中原 佑介 藤枝 晃雄					
特集 フリーク・ア ウト・アメリカ		〃 341				
不可能な夢に挑む 若ものたち	辰濃 和男					
革命のアクセサ リー	金坂 健三					

ファラスの一日	鈴木 八司	世界の色・日本の色	太作 陶夫		
幻の宮殿壁画	香山 陽坪	「あお」について	富家 直		
画堂パーミアン	樋口 隆康	たかが「色」ではないか	川上 元郎		
壁画との対話	松久保彦胤	文学者と絵画への共感	(T)	読 売	7.2
遙かなり敦煌	安保 久武	闇を翔る慧星・20世の詩人たち(6)H・ミシヨー	小海 永二	芸術生活	262
オリエントへの問い(対談)	岡本 太郎 江上 波夫	新しい通貨体系	峯村 敏明	季刊版画	12
特集 悪魔と協力した芸術		精神の先兵たる手	シ	シ	10
悪魔と芸術	東野 芳明	横着者の横行	シ	シ	11
ゴヤのお化けの絵	加賀 乙彦	美学会第22回全国大会研究発表		美 学	87
黒い案内書	種村 季弘	芸術と風土	金田 民夫		
ロマネスク幻想	辻 佐保子	芸術体験に於ける「静けさ」について	渡辺 護		
阿修羅の両面	高橋 睦郎	美的なるものの克服の問題	太田 喬夫		
鬼と天狗	五来 重	芸術におけるイメージの問題	今井 清		
ゴヤの魔	栗田 勇	陶器鑑賞における日本の特質	満岡 忠成		
特集 性と芸術		日月モチーフと宮廷絵所一日月山水図屏風の一考察	吉田 友之		
1. 性の荒野・ヨーロッパで見たこと	野村 太郎	東大寺大仏の鎌倉再興について	松山 鉄夫		
2. ポップ・アートの性的幻想	石崎浩一郎	「北斎漫画」の滑稽表現について	狩野 博幸		
3. 霊肉同化の輝きを求めて	岡田 隆彦	オットー朝写本画の特性について	斎藤 稔		
4. ロック・生命のオーガズム	片岡 義男	フィレンツェの洗礼堂第二の扉の浮彫の構成	宍戸 進		
5. 積重なった子宮	池田満寿夫	ピエロ・デラ・フランチェスカの遠近法	小山 清男		
イメージの変革	坂崎 乙郎	デューラーの素描について	前川 誠郎		
イメージの変革	シ	シャルル・メリヨンの芸術	目形 照		
13. クリムト		プレラフ・ライティズム再評価の問題点	中村 義一		
14. ベルメール		近代彫刻の一課題	八代 修次		
15. エルンスト		現代美術における空間の問題	藤枝 晃雄		
16. ミシヨー		特集 非日常空間への変身		みづゑ	794
17. ジャコメッテイ		睡眠者の全知	種村 季弘		
18. ド・スタール		フランケンシュタイン・ターゼ	中村 宏		
19. クライン		私の絵画視界	横尾 龍彦		
20. ジョーンズ		特集 戦後の日本美術		三彩増刊	280
21. ザンダーリッヒ		戦後日本画の問題点	桑原 住雄		
22. シーレ		洋画・版画	小倉 忠夫		
23. ダッド					
描く人への関心-絵と文学と(対談)	坂崎 乙郎 金井美恵子				
オリジナルと複製の価値転倒	桑原 住雄				
複数芸術の隆盛	三木 多聞				
特集 球面絵画 光琳風紅白梅図					
球面絵画の制作にあたって	鈴木 慶則				
球面絵画論	秦 恒平				
汎濫する擬似美術 色彩感-そのナゾ	瀬木 慎一				
特集 色彩と人間					
ポリクロミズムの美学	瀬木 慎一				
美術新潮	263				
芸術生活	263				
読売夕刊	1.9				
美術手帖	337				
シ	339				
シ	340				
シ	341				
シ	342				
シ	343				
シ	344				
シ	345				
シ	346				
シ	347				
シ	348				
シ	349				
美術新潮	254				
読売夕刊	3.4				
芸術生活	268				
読売夕刊	8.5				
朝 日	12.6				
国際文化	207				





VI. 庶民信仰の系譜と版画の歩み 3	季刊版画	10	骨法試考 骨の構造 倉田 公裕 萌 春 200
VII. 庶民のための版画活動 1	シ	11	絵画の風土性と気候の変化 関口 武 東京夕刊 5.19
VIII. 庶民のための版画活動 2	シ	12	息切れとマンネリー反省期に入ったマンガ (角) 朝日夕刊 2.6
版画と近代	海上 雅臣		傑作なき近代絵画 (対談) 西脇順三郎 芸術生活 261 池田満寿夫
6. 忘れられぬ小品版画家	シ	10	現代絵画への挑戦者 宇佐見英治 芸術新潮 253
7. 美術大衆化状況に思う	シ	11	時代の中の絵画について 北村 由雄 萌 春 196
8. 現代版画とメカニカル・テクノロジー	シ	12	京都国立近代美術館の日本画から 内山 武夫 視 る 47
自伝的日本近代版画史	関野準一郎	シ	10 確証の旅(1)〜フェルメールを巡って 岡本謙次郎 芸術新潮 253~264
特集 現代日本の版画	小川 正隆 三 彩	270	史上最高値の絵画 一千万円のピカソの版画 神吉 敬三 中央公論 2 嘉門 安雄 芸術新潮 258
情報化社会における版画の可能性(座談会)	岡田、豊嘯、吉原、野田、吉田、	季刊版画	10 作画技法と保存法の諸問題 寺田 春弐 求 美 6
特集 版画はどこへ行くか(座談会)	小倉、岡田、海上、野田、野田	シ	12 石版書の技法2-4 バニヨグラフィ 吉原 英雄 季刊芸術 10-12 森 洋子 季刊版画 12
「版画の可能性」について	大岡 信	朝日夕刊	4. 8 石膏像の研究 小松崎邦雄 アトリエ 527 斎藤 静輝 小島 俊男
特集 春画考			
1. 春画 この恍惚のお化け	宗 左近	芸術生活	257 風景画の描き方 西村 愿定 シ 528
2. 女がワジルシを見るとき	富岡多恵子	シ	シ 529 墨絵の描き方 峯岸巍山人
3. 視姦のエロチズム	石堂 淑朗	シ	シ 530 静物画の初歩から次の段階へ シ
4. 画狂人葛飾北斎の和印	桜田 常久	シ	シ 531 クロツキーのポイント シ
特集 秘本「ハガーダ」の運命		芸術新潮	263 モチーフと技法の展開 新具象研究会 532
秘本「ハガーダ」の運命	カラメーメドビッツ		シ 533 人物デッサンの描き方 鈴木 新夫
ユダヤ人の「過越の祭」	加納 正弘		シ 534 海と船の描き方 シ
中世の写本	辻 佐保子		シ 535 人物画の基礎から次の段階へ シ
童画のエネルギー	西本 鶏介	芸術生活	263 風景スケッチ 寺田 春弐 536
朝鮮の民画	泉 宏尚	三 彩	272 水彩画を始める人へ 三橋兄弟治 田中 実 柴田 祐作 537
寓意画のヨーロッパ	吉田 正俊	学 燈	68-4 油絵のABC イラストレーション 絵画 写真 展開 土屋幸夫編 別冊アトリエ 106
世界の漫画	久里 洋二	東京夕刊	2. 2 ファッションイラストの描き方 戸板服装学院デザイン研究室編 538
特集 外国マンガ		芸術生活	261 レタリングの実際と技法 高田正二編 539
1. 世界の異色マンガ家			
2. アングラ・マンガの旗手 ロバート・クラム	小野 耕世		シ 107 レンダリングの描き方 FD編 109
3. スーパー・アメリカのスーパー・コミックス	ディビッド・グッドマン		
4. 外国マンガ小史	石子 順造		
5. 狂気の季節	森 卓也		
6. 世界マンガ語録			
			彫 刻
			近代日本の彫刻その黎明期 中村伝三郎 視 る 49
			教会堂と彫刻的表現 読 売 11. 24

定期刊行物所載文献

太守庁の彫刻裝飾	井上 光夫	朝日夕刊	6.18	特集 18・19世紀アメリカ・ナイーブ絵画	小川 正隆	アイデア	105
彫刻と詩の出会い (座談会)	高内 壮介 三好豊一郎 嶋岡 晨 山崎 一芳	日本美術	79	チェコスロバキアの 国家功労アーティスト トルドルフ・アル トリストター			シ
永遠なる美術 (エジ プト篇)	東 珠樹	美術グラ フ	20-1	ヘルムート・シュ ミットとタイポ・デ ザイン	ヘルムート ・シュミッ ト		シ
4. 書記の像				ベントリー、ファレ ル、バーネットデザ イン・グループ	マイクル・ ファレル		シ
興福寺十大弟子像	松島 健	萌 春	200	三橋陽子のイラスト レーション	宇野亜喜良		シ
石仏行	里見 文明			ルイ・ドーフスマン と CBS			シ
1. 北條羅漢石仏		三 彩	268	アイデア 豊かな ミ ナレ・タターズ フィールド・プロビ ンアチーリの新作	大智 浩		シ
2. 磨崖信仰と鸚殿 石仏群			270	アーロン・ボロード の静物画	日向あき子		シ
3. 播磨の石棺仏			272	インターナショナル ・タイプフェース・ コーポレーション	桑山弥三郎		シ
4. 朝鮮石人像			274	グラフィックと映画 作品で活躍している ハーバート・ダンス カ			シ
5. 上州の閻魔と地 蔵			276	女流イラストレータ ーリンダ・ケイ・レ ッカー			シ
6. 江戸の石仏			279	ジャン・クロード・ モジラールの典型的 なエンパイロンメン ト・デザイン	今竹 翠		シ
工芸・デザイン				ダリとフランス国有 鉄道の「巨匠の作品」	ジョルジュ ・マルティ ナ		シ
アメリカの公共広告 運動	中井 幸一	アイデア	104	ベルトールト会社の 活字カタログ	原 弘		シ
さまざまな表情をも つ深野匡の文字たち	土屋 耕一		シ	牧歌への野望をいだ く、クラックネル	草森 紳一		シ
第4回ブルノ・グラ フィック・デザイン	イールジー ・フルシチ ユカ		シ	中村誠+福田繁雄の モナリザ100微笑	中原 佑介		シ
直截にユーモアを表 現するアンドレ・フ ランソワ	ベン・シャ ーン、ロナ ルド・サシ ェル、ル・ラ ゴ エン		シ	ヴォルフガング・ヴ ォルター	原 弘		シ
特集 グラフィック ク・コミュニケーション の世界で活躍 する黒人アーティスト たち			シ	キューバの2人のデ ザイナー	福田 繁雄		シ
ハインツ・クロール と清潔なポスター・ デザイン			シ	コミュニケーシ ョンとの適合性を追求 するジェームズ・D・ ギルバート			シ
フィリップ・キャッ スルの古き良き時代 を想わせるイラスト レーション			シ	最近のオーバック	シエルド ン・ハリス		シ
マジソン街を告発す るカルダーヘッド・ ジャクソン社	西尾 忠久		シ	ジャン・ピエール・ エステール	麴谷 宏		シ
アイデアのエlemen ト(9)~(14)	福田 繁雄		104~109	多様な個性を駆使す るジンマーマン			シ
アントン・ペーケの アルファベット			105	*71 グラフィック・ デザイン卒業制作誌 上展			シ
美しい美意識のチャ レンジ・勝岡重夫個 展「アクエリアス」	早川 良雄		シ				シ
カルダーヘッド・ ジャクソン社	西尾 忠久		シ				シ
クロスビー、フレッ チャー、フォープス の最新作			シ				シ

ノルウェーのグラフィック・デザイナーヘルマン・ボンガルド	大智 浩	アイデア	107	ハーワード・ヨークとその作品		アイデア	109
バウハウス50年		シ	シ	ピーター・ブラティンガの新しい実験印刷「クアドラッド・プリント」	今竹 翠	シ	シ
バウハウス50年展		シ		ポール・ジャーヴィスとタロン・ジッパの広告キャンペーン		シ	シ
バウハウスと「バウハウス展」	植村鷹千代			ニューヨークで活躍する若い日本人(座談会)	米山、虎、柏木、チン、帆足、山本、津神	シ	シ
バウハウスの理念と効用	向井周太郎			MIT(マサチューセッツ工科大学)高等視覚センター展	ジョルジュ・ケベシユ	シ	シ
AIGAのサバイバル展		シ	108	無人島に移住するトミ・アンゲラー	西尾 忠久	シ	シ
「アラン・オールドリッジ」世紀のイラスト・ファンタジア	草森 紳一			ロブ・ロイ・ケリーとカンザスシチー美術学院のデザイン基礎教育		シ	シ
シワの美学				若いグラフィック・デザイナーのための視覚コミュニケーション	グレゴリー・ウルフ	シ	シ
ワンシート・レリーフの造形法則とその試作	友永 兼介	シ	シ	見直される人間味	(山)	朝日夕刊	2.6
友永氏のワンシート・レリーフ	福田 繁雄	シ	シ	第2回ブラチスラバ・ビエンナーレ授賞式		シ	3.2
シュルニョ広告社のクリエイティブ・フランスのマーク	ジョルジュ・マルティナ	シ	シ	オールドリッジのイラスト展		シ	3.23
東洋美術の影響がうかがわれるジェームズ・マクマラン		シ	シ	インテリアデザイン入門 ①~⑧	漆原美代子	朝 日	5.25 ~6.2
永井一正個展		シ	シ	政党のためのポスター	(東)	朝日夕刊	6.19
日本レタリングデザイン展		シ	シ	紙幣のニューデザイン		シ	8.28
ハンス・ユルゲン・シュボンの絵本	今竹 翠	シ	シ	デノミと紙幣	泉 真也	朝 日	9.2
福田匡伸のフォトワーク	重森 弘滝	シ	シ	家具調度の歴史的保存	鍵和田 務	シ	9.4
メリー・M・デ・ヴァイス=ノートの「ペアーノのテーマ」によるヴァリエーション数学理論による構成	大智 浩	シ	シ	プロの道具	泉 真也	シ	9.9
レニングラードの諷刺ポスター	ヤン・ライリフ	シ	シ	大きい小さい		シ	9.16
ロランボラス・ピーブル	日向あき子	シ	シ	小さなラジオ		シ	9.23
アネグレート・バイアーの各国におよぶ多彩なデザイン・ワーク	麴谷 宏	シ	109	ブラック・ユーモア・被告席に		シ	10.1
イスラエルのブックデザイナー ガド・ウルマン		シ	シ	近眼の世界像	(雲)	朝日夕刊	10.2
エピキュリアン誌とレス・メイソンのエディトリアル・デザイン		シ	シ	イスならぬイス	(球)	シ	シ
バリのギリシア人デザイナー デオドール・スタマタキスの多岐にわたるデザイン活動	大智 浩	シ	シ	フォト・モンタージュの流行	重森 弘滝	シ	10.9
バルセロナのフランセスク・ギタルト		シ	シ	企業イメージの芸術横割り見本市	(青)	シ	10.30
				広がる視覚世界一絵ことば	泉 真也	朝 日	11.18
				動物マーク	泉 真也	シ	12.2
				教育用ミニ映画		シ	12.9
				陶工の原点		朝日夕刊	12.18
				こよみ「週単位」に注目		朝 日	12.23

定期刊行物所載文献

創造へ大きな力一朝 日広告賞の20年	新井静一郎	朝	日	12.27	中世末期のフレンチ ・タビストリー	カラーデ ザイン	17—7
20歳迎えた朝日広告 賞		シ	シ		初期アメリカのウ ォール・ステンシリ ング	シ	17—8
第1部選評	田中 一光				プレ・ロマネスクの 写本装飾	シ	17—9
第2部選評	向 秀思				ロマネスクの写本装 飾	シ	17—10
倉俣史朗の仕事	多木 浩二	S	D	75	江戸文様の型	シ	17—11
ガエターノ・ペーシ ェの仕事	G. G. タ ラポー	シ		76	19世紀英米のバッ チワーク	シ	17—12
高橋秀の仕事—空間 を席卷する色彩の帯	ネッロ・ボ ネンテ、大 石敏雄訳	シ		77	現代の名工 労働大 臣表彰	京 都	1.5
黒川雅之の仕事		シ		79	クリエイティブ・デ ザインとは	シ	2.16
インナー・ストラク チュア 黒川雅之のセ ミナー	黒川 雅之	シ		80	笑いと遊びとデザイ ンと 2, 3	福田 繁雄	シ 3.2, 3
ラバンドール 銀座 メタモルフオーシス	三輪 正弘	シ	シ		沖縄の伝統工芸	シ	4.14
多田美波の仕事	大岡 信	シ		81	滋賀の焼き物	シ	8.16
福岡相互銀行東京支 店 感傷的なV効果	木村 恒久	シ		83	幻の陶工欽古堂亀祐 を浮き彫り	シ	12.11
伊藤隆道の仕事 (座談会)	岡田、中原、 伊藤	シ		84	スーパー・グラフィ ック	黒川 紀章 芸術生活	シ 261
伊藤隆道のこと— アツチ論	宮脇 檀	シ	シ		車の機能とデザイン	シ	シ 262
セイコー・ウォール・ クロック壁時計につ いて	渡辺 力	シ	シ		ファニチュアのシス テム・デザイン	シ	シ 264
電子計算機によって 進化するデザイン	橋本 創造	シ	シ		バウハウス展特集 その1	現代の眼	シ 195
藤岡蕙子の仕事	E・リット サス	シ	シ		バウハウスの理念	阿部 公正	
粟辻博+フジエテキ スタイル展	粟辻 博	シ	シ	86	デッサウの憶い出	山脇 巖	
ジョエ・コロポの 死をめぐって	松風 正幸 安東 早苗	シ	シ		バウハウスにおけ るヴィジュアル・ デザイン	原 弘	
ファニチュア・コレ クションと「私の座」	宮脇 檀	シ	シ		バウハウス展特集 その2	シ	シ 196
特集 剣持勇とその 創り得ぬものへのま なざし		シ		87	バウハウスと日本	宮島 久雄	
現代デザインの警 鐘としての前衛	松本 哲夫				日本のバウハウス 運動を反省する	川喜田煉七 郎	
またの名は口惜し の歌	宮内 嘉久				バウハウス・デッ サウと私	山脇 迪子	
創り得ぬものへ	松村 勝男				バウハウスと工業 デザイン	豊口 克平	
日本の陶芸	吉田 光邦	学	燈	68—12	現代の陶芸 アメリ カ・カナダ・メキシ コと日本	吉田 耕三	シ 205
スキタイの動物意匠		カラ ーデ ザイン		17—1	大学を創る 九州芸 術工科大学	小池 新二 工芸ニ ュース	シ 39—1
ゴシックの建築		シ		17—2	設計プロセスの体系 化	出原 栄一	シ
ゴシック後期の鉄工芸		シ		17—3	1970年デザイン界の 歩み	シ	シ 39—2
16—17世紀 ドイツ の鉄格子		シ		17—4	I A I と剣持勇	畑 正夫	シ 39—3
15—16世紀のスペイ ンの絹織		シ		17—5	特集 日本の工業デ ザイン 1945—1970 (I)	シ	シ 39—4
テイロールの民芸家 具		シ		17—6	デザイン・プロセス の構造 I, II	L・ブルー ス・アーチ ヤ	シ 38—4,5



特集 住宅の工業生産化とデザイン	工芸ニュース	39—4	「貝紫」のとりこになつて 染色工芸家・吉岡常雄	毎日	8.30		
広告を斬る (5)~(13)	中谷善三郎	中 美	189~198	勝見 勝	9.10		
伝える・考 (1)~(7)	太田 幸夫	ス	192~198	韓国陶芸の現状	金子 量重 毎日夕刊 10.2		
やぶにらみのタイポグラフィ論(1)~(10)	森 啓	ス	191~200	感動を誘う 急変する広告デザイン	ス	10.3	
生きている文字	小野寺啓治	ス	199~200	切手の図案に疑問	ス	10.12	
僕にとってのデザイン教育	金子 喬彦	ス	200	陶工むしばむ「けい肺」	毎日夕刊	11.13	
インテリアもパッケージで新しい照明	水野 清子	東 京	1.1	第17回毎日産業デザイン賞	毎日	12.9	
写真の著作権問題		ス	9.4	第39回毎日商業デザイン賞	ス	12.10	
フランス・ヴァロリス国際陶芸展への参加を推進して	長谷川 栄	陶 芸	231	第20回毎日工業デザイン賞	ス	12.11	
ギリシャ陶器の技法	前田 正明	陶 説	218	「米国のハンドウィービング」	堀内 紀子	視 る	52
北欧のインテリアショー開催(松屋)		日経夕刊	4.15	現代の染織	内山 武夫	ス	ス
ことしの「日経広告賞」から		ス	11.20	アメリカの大学における陶芸	柳原 睦夫	ス	53
生活空間のなかの新しい画集	秋山 邦晴	美術手帖	337	アメリカ陶芸私見	宮永 理吉	ス	ス
デザインがよければなかのジャズもいい	植草 甚一	ス	339	アメリカの陶芸、金子潤氏にきく	鈴木 健二	ス	54
ニュー・ロックのLPジャケット	白藤 丈二	ス	340	ある簡素なインテリア・デザイン		読 売	1.16
ミルトン・グレイザーのポスター	森 喜久雄	ス	ス	光の演出を求めて		ス	1.30
古代のガラス	相馬 隆	萌 春	204	第2回世界絵本原画展授賞式		読売夕刊	3.1
伝統の漆芸				消える清水焼の火	清水六兵衛	読 売	3.25
1. 輪島塗 (上)	古今伸一郎	月刊文化財	96	阿波正藍しじら織り		ス	7.18
2. 輪島塗 (下)	ス	ス	97	都市生活をデザイン	植村鷹千代	読売夕刊	9.4
3. 津軽塗	城倉 可成	ス	98	イラスト時代異色の訴訟		読 売	10.1
4. 高松漆器	磯井 正美	ス	99	手工芸の伝統と保存	水尾比呂志	読売夕刊	10.13
伝統の陶芸				デザイン字体と著作権		読 売	11.29
12. 楽 焼	平野 敏三	ス	88	人間性回復をめざす日本インダストリアルデザイン会議		読売夕刊	12.13
13. 京 焼	満岡 忠成	ス	89				
14. 美濃焼	加納 陽治	ス	91				
15. 東北のやきもの(上)	吉田 耕三	ス	93				
日本伝統工芸の将来	今泉 篤男	ス	99				
受賞を励みとして……(毎日デザイン賞)		毎日	1.10				
信楽の陶器	永守 祐一	毎日夕刊	4.14				
道のデザイン	栄久庵憲司	ス	4.16				
「なつあさ」国際絵本展のグラフィック賞に		毎日	4.23				
喜寿の岩田藤七氏ますます元気		毎日夕刊	ス				
伊勢型紙	平岡 博	ス	4.28				
沖繩陶芸 壺尾	南部 ひろ	ス	5.19				
小原工芸紙	河合 邦雄	ス	8.18				
				建 築			
				象徴空間をこえて—原空間のひとつとしての機能空間序説	篠原 一男	新 建 築	46—1
				続・篠原一男編「意味」の空間	多木 浩二	ス	ス
				現代建築の多様性について	佐々木 宏	ス	46—2
				建築のほかの人間関係 1~3	乾 正雄	ス	46—2~ 46—4
				建築の論理の再建築	林 昌二	ス	46—4
				現実と非現実の狭間に宿る密かな感動のために	瀬尾 文彰	ス	46—5
				破壊工学<論>	黒川 紀章	芸術生活	258
				選挙と都市の再開発<論>	ス	ス	259

定期刊行物所載文献

地震と都市災害 〈論〉	黒川 紀章	芸術生活	260	空間プロジェクトの実験—あらゆる場所は等価である	原 広司 宇佐美圭司	美術手帖	346
都市のオリエンテーション〈論〉	〃	〃	265	Ethnos の風景と素描—生活環境構成について	増田 友也	S D	79
建築の色彩と環境 〈論〉	〃	〃	267	特集 環境計画思想の原像を求めて			
都市開発プロジェクト批判				1. バウハウスへの問い		〃	80
6. プランナー論	若林 時郎	S D	75	2. CIAM の都市像		〃	81
7. 民間デイベロップターの都市事業	内田 雄造	〃	76	3. ポローニヤの実験		〃	82
8. 都市基本計画論	水口 俊典	〃	77	4. マンフォードの思想		〃	83
9. 抵抗の都市計画運動	内田 雄造	〃	79	5. 続・マンフォードの思想		〃	84
10. まとめ プランナーと地域空間地区設計研究会		〃	80	6. プランナーの必要性和その活動		〃	85
特集 都市への挑戦 空間は奪回しうるか		美術手帖	345	7. 環境の数学的モデル		〃	86
都市は変えられるか(対談)	磯崎 新 吉本 隆明			8. 続・環境の数学的モデル		〃	87
アジテーションとしての建築	宮内 康			特集 環境科学への課題			
風景の死滅	松田 政男			3. なぜ人間の科学か		〃	75
感覚空間都市へ	山口 勝弘			4. 判断と体験の構造		〃	76
生態学にみる都市環境	磯辺 行久			5. 価値的なるものへ		〃	77
特集 アーバンデザインの系譜		新建築	46-8	6. 何が「自然の学」か		〃	79
アーバンデザインへ	丹下 建三			7. どの理性か		〃	80
第1部 アーバンデザインの系譜				8. 都市は必然か		〃	81
第2部 環境と人間				9. 多様なもの		〃	83
第3部 21世紀の日本—その国土と国民生活の未来像				10. 具体的事象へ		〃	84
「丹下健三・アーバンデザインの系譜」批判	武雄 基彦 佐々波秀彦 小沢 恭明 高口 恭行	〃	46-12	11. 楽園喪失の原点		〃	86
特集 都市住宅の再構築	菊竹 清訓 建築設計事務所	〃	46-11	人間の街路 (1)~(12)	バーナード ・ルドフスキー、井出 建訳	〃	75~87
I 都市住宅への挑戦	菊竹 清訓			特集 コミュニティ建築は可能か			
II セミパブリックの構成				1. 共同体と環境への視座		〃	75
III セミパブリックの計画				2. 拠点としての意味の場		〃	76
低迷する住宅デザインの中で(座談会)	菊竹 清訓 林 昌二 篠原 一男	〃	46-10	3. 現実の磁場の中で		〃	77
独立住宅の設計はなお意味をもちうるか—住宅産業との関連における原点の再考	(討論) 東、戒居、近藤、篠原、漆田、高橋、西沢、神代	建築文化	292	4. 利用の対象としての空間から生活の拠点としての空間へ		〃	79
				特集 日本の広場	建築文化	298	
				広場論、広場のパターン、広場化のアクティビティケース・スタディ			

自然的環境の破成	高口恭行+アトリエCASA	建築文化	301	サンドバークさんの手紙—パリ芸術総合センター国際コンペの応募資格審査に関して	村松貞次郎	新 建築	46—7
有線都市と情報手段	黒川 紀章	芸術生活	257				
アルミの家 設計行為とは歪められてゆく自己の思考過程を追跡する作業にはかならない	伊東 豊雄	新 建築	46—10				
特集・解体の世代 その存在様式		建築文化	296	建国式百年記念祝典・一九七六年	ロバート・ヴェーリ デニス・スコット・ブラウン 訳 井出健	美術手帖	339
「無伴走狂騒曲」の終焉を一建築と社会性	大高 正人	〃	292	第5回懸賞プロジェクト第一席下出賞授賞作品		建築文化	294
建築の解体	磯崎 新			環境と建築家 箱根国際観光センター(座談会)	伊藤、小能林、菊竹、西原、林、馬場	新 建築	46—6
6. ロバート・ヴェンチューリ		美術手帖	339	環境および近代建築—箱根のコンペによって提示されたふたつの問題	佐々木 宏	〃	46—7
7. スーパースタジオとアーキズーム		〃	347	続「かんそうなめくじ」の言	吉阪 隆正	〃	46—8
特集 建築と集団(討論)テーマI~IV		建築文化	300	イタリア都市計画コンペに一等入選		朝日夕刊	12.13
構造デザインとトータル・デザインの結節点(座談会)	内田 祥哉 木村 俊彦 高橋 統一 山本 学治	〃	293	建築家のクライテリア	村松貞次郎	新 建築	46—3
考現学と今和次郎	川添 登	新 建築	46—3	過密・過疎の中での小学校施設とは		読 売	11.16
考現学と生活学	〃	〃	46—11	着々と進む融合—公共建築と芸術	(英)	朝日夕刊	1. 9
特集 現代建築の断面				菊竹氏ハワイで海上都市実現へ		〃	1.28
日本的デザインの原型とその変貌(上)	近江 栄	国際文化	208	生態学的な調和を一建築・都市計画と環境		〃	2.27
ヨーロッパで二つの話	郡 菊夫	〃	〃	建築家の「監理」	藤井正一郎	〃	3. 5
東京一個島と新宿住宅は何処へ	山口 広 柳沢 定助	〃	〃	集合住宅が初めて建築学会費に		〃	5.21
日本的デザインの原型とその変貌(下)	近江 栄	〃	209	スーパー・グラフィック的な店舗		読 売	8. 4
改正されなかった「新建築基準法施行令」	大場 則夫 河村 健 白石 博三 守屋 秀夫	建築文化	291	黒川氏がパリ芸術センターコンペに入賞		朝日夕刊	8.11
「新建築基準法批判」に答える	建設省住宅局建築指導課	〃	293	革命的な学校建築	(鳥)	〃	8.21
再び新建築基準法施行令の問題点について	大場 則夫 河本 秀夫	〃	296	都市開発・先輩に学ぶ—社会工学研がプロジェクトチーム		日経夕刊	6.22
『新建築基準法批判』に答える』を読んで	白石 博三	〃	〃	エヴァルトノッツの遺跡	砂田 保光	三 彩	281
横浜・金沢区総合庁舎が教えるもの	黒川 紀章	芸術生活	266	「ないカヤはふけぬ」指定文化財続々銅版ぶき		朝 日	5.19
カプセル商品化の危険性	〃	〃	268	海外の芸術—古ビルを新用途に	横山 正 日 経		6.22
第二のホテルブーム	〃	〃	263	中世の名城に危機	伊礼 正雄	読 売	8.3
「ただひとつの空間」による反建築試論	瀬尾 文彰	新 建築	46—10	威容と美—姫路城をたずねて		京都夕刊	9.17
建築家における主体的な闘い	宮内 嘉久	国際文化	200	和風建築の伝統を守れ	中村 昌生	京 都	9.8
				大ドーム		〃	4.28

定期刊行物所載文献

2. バチカンのサン ビエトロ大聖堂				メキシコあれこれ	新田 陽子	国際文化	209
動き出した仏跡ボロ ブドールの修復	千原大五郎	毎日夕刊	2. 8	1. コデイセより		シ	シ
「重文」増上寺の山門 避難		シ	2. 18	2. 精霊の夜		シ	シ
薬師寺金堂を創建の 姿に		京 都	2. 21	レポート・ロサンゼ ルス大地震	芦原 信孝	新 建 築	46-5
青丹よし薬師寺ミニ 金堂		毎 日	4. 17	ルポ・首都高速道路 下町に行く		シ	シ
焼失の神泉苑客殿一 年半ぶりに着工		京 都	4. 21	かわら屋根の町なみ	上田 篤	シ	46-6
都市の保存と開発古 都ポローニヤ	丹下 健三	朝日夕刊	2. 10	船橋市立図書館	西川 馨	建築文化	295
ライト建築守れ		シ	11. 20	標準化による多様性 への対応	坂倉建築研 究所	シ	294
老「上野図書館」どこ へ行く		毎 日	10. 3	千葉県立上総博物館 設計メモ	有田 和夫	シ	シ
「老兵」180度の転身 旧近衛衛団司令部近代 美術館の分館		東京夕刊	11. 13	パッチワークの建築 KU邸	曾根 幸一	シ	シ
新しいキャンパス 三つの芸大		朝日夕刊	11. 24	選択・転写・断片 化・地	磯崎 新	シ	299
舞台裏のアメリカ建 築	小林 文次			プライマリー・アキ テクチュア論・補	宮脇 檀	シ	シ
4. 南部連邦のホワ イトハウス		国際文化	200	三つの都市生活複合 体	東 孝光	シ	297
5. ジョン・モーガ ンの家		シ	201	人間が自らの身体を 生きる「場」たれ	藤井正一郎	シ	シ
6. フランクフオー トの住宅		シ	202	新宿副都心計画		シ	シ
7. ワシントンD・ Cのジョージタ ウン		シ	203	高層都市ホテルの計 画	村尾 成文	シ	シ
8. ベリーの生家		シ	204	長崎県立向陽寮		シ	293
9. ニューヨークの 鉄造のビル		シ	205	子供たちの家	岡田 新一		
10. デンバーのララ マー地区		シ	206	「収容所」から「生 活の場」へ	岡 道也		
11. シアトルのバイ オニア広場		シ	207	遠山美術館	今井 兼次	シ	292
12. ジェームズタウ ンの遺蹟		シ	208	新たな非日常性の構 築一篠さんの家	篠原 一男	シ	291
渡辺洋治の異端建築 孤独な夢想者の建築	(礎) 江原 順	朝日夕刊	9. 11	ダイナミック・シン メトリーー直島小学 校	石井 和紘	シ	シ
CRAIG ELLWO- ODとその作品	渡辺 明次	芸術新潮	263	潜在的構造がひらく 媒体の領域	石井 和紘	シ	294
あすのアメリカをひ らく人々(ルボル タージュ)	磯部 行人 吉原慎一郎 訳	建築文化	295	引裂いた建築一日吉 台教会堂「隠れ家」の 概念と「空間封じ術」 をめぐって	毛綱モン太	シ	293
V. IAN L. MCHARG		シ	291	「容積制広場」への対 処一ポーラ五反田ピ ル、東日ビル	(鼎談) 池田 武邦 西沢 文隆 林 昌二	シ	295
VI. ROBERT VENTURI		シ	293	佐倉市庁舎		シ	シ
VII. CHARLES W. MOORE		シ	294	ダイエー中百舌鳥 ショッピングプラザ のもつ意味と問題点	辻野 純徳	新 建 築	46-2
VIII. LOUIS J. BAKANOW -SKY		シ	295	静岡市農協センター 農村と私	大高 正人	シ	シ
近代建築の目撃者 I <sub>1</sub> ~I <sub>3</sub>	(対談) 今井 兼次 佐々木 宏	新 建 築	46-6 46-7 46-9	農協建築に対する 建築家のあり方につ いて	山名 元		
				ウォーナー博士像覆 堂について	大江 宏	シ	46-3
				光と緑の園「子供た ちの家」の生活	岡田 新一	シ	シ



光と緑をみて一対話を育む豊かな環境づくり	太田 隆信	新 建 築	46-3	設計にあたって	J・スター リング			
佐賀県立博物館	高橋 航一	シ	シ	記号論的分析	C・ジュン クス			
佐賀県立博物館をみて	鬼頭 梓	シ	シ	スターリング批判	K・フラン プトン			
特集 タイ国文部省職業教育施設計画	坂倉建築研究所	シ	46-4	ヘイワード・ギャラ リー	山下 和正	S	D	79
佐竹台ハイツを設計して	福家 克彦	シ	46-5	タイヴェアラテ教会	内田 祥哉	シ	シ	
佐竹台ハイツをみて	内井 昭蔵	シ	シ	ポーラ五反田ビル	山本 学治	シ		80
佐倉市庁舎を設計して	宇治田 護	シ	シ	アテネ・フランセ造形と人間の切点	針生 一郎	シ		81
佐倉市庁舎をみて	武 基雄	シ	シ	金沢区総合庁舎	(対談) 榎 文彦 神代雄一郎	シ		82
箱根国際観光センター設計競技をめぐって	伊藤ていじ 林 昌二 佐々木 宏	シ	シ	九州芸術工科大学第一期工事	山本 学治	シ		83
愛知県立芸術大学をみて	林 昭男 鋤細 忠治 太田 隆信	シ	46-6	秋田相互銀行二ツ井支店	宮脇 檀	シ		84
回想しての広場考	榎 文彦	シ	46-7	芝浦工業大学大宮図書館		S	D	87
京王プラザホテル	村尾 成文	シ	シ	設 計	沖 種郎			
新宿超高層時代	中嶋 泰	シ	シ	にもかかわらず権威の象徴だつた	鬼頭 梓			
京王プラザホテルをみて	伊藤 滋	シ	シ	GOLDEN GATE WAY PROJECT	高瀬 隼彦 芦原 信孝	シ	シ	
徳島県郷土文化会館について	西山 卯三	シ	46-12	サイクルスポーツセンター		シ		86
芝浦工業大学大宮図書館	沖 種郎	シ	シ	設計概要	岩崎 孝彦			
日本大学理工学部習志野図書館	小林 美夫	シ	シ	Viva! 自転車都市	真鍋 博			
名古屋商科大学 キャンパス計画 新学園計画	村瀬 卯市 栗本 祐一	シ	シ	建築界ことしの回顧	伊藤ていじ	朝日夕刊		12.24
銀座カリオカビル外部デザインの挑戦		シ	46-11	作 家 (日本)				
大阪芸術大学のキャンパス計画	第一 工房	シ	シ	(ア)				
登戸の家—建築としての住宅	坂本 一成	新 建 築	46-10	震囀—レインボーと真実と	足立 正生	美術手帖		337
福岡相互銀行東京支店をみて	多木 浩二	シ	46-9	震囀<ディアローク・21>	聞き手 秋山邦晴	みづゑ		801
秋田相互銀行二ツ井支店	宮脇 檀	シ	シ	震囀の版画—華麗なる虹のイメージ	ジョセフ・ラウ	季刊版画		11
ホテルバシフィック東京のデザイン構成	西沢 文隆	シ	シ	狩勝峠<さむほおる>	相原求一郎	絵		93
ゲタ小学校と老人クラブ	神代雄一郎	シ	シ	坂本繁二郎と青木繁	下川都一郎	シ		91
優れた建築(大沢商会本社ビル)	林 昌二	S	D	76	青木繁<美のことは23>		京 都	9.17
どこへ行く(静岡市農協センター)	伊藤ていじ	シ	シ		狂気と浪漫主義—青木繁のこと	河北 倫明	世 界	9
佐賀県立博物館		シ	77		表現は犯罪を包んでいる	赤瀬川原平	中央公論	5
地域文化の核として	光吉 健次				赤瀬川原平—ススム野次馬軍団	足立 正生	美術手帖	343
佐賀の史跡と博物館	内田 祥哉				赤羽末吉さん		朝 日	8.30
セント・アンドリュース大学寄宿舍		シ	シ		現代に生きる装飾性—縣治朗のホテル・オークラ・アムステルダムの壁画	白崎 秀雄	三 彩	273

定期刊行物所載文献

朝倉摂<ひと>	(安)	毎日々刊	3.27	6. ニューヨーク美術シーズン開幕	季刊版画	10
日本の自然—自然と風景画	麻田 鷹司	三 彩	268	7. ホーム・スイート・ホーム	シ	11
天主堂の色ガラス<さむほおる>	朝比奈文雄	絵	89	8. 古典への回帰	シ	12
麻生三郎の人と作品—存在の真実を求めて	小川 正隆	求 美	9	ニューヨーク美術市場の不況	池田満寿夫	芸術新潮 256
「さすらい」<自作を語る>	麻生 蓉子	絵	85	プライベートなアメリカ	シ	中央公論 6
サーカスの思い出<さむほおる>	阿部 合成	シ	92	池田流エロス礼讃	桑原 住雄	芸術生活 261
阿部展也氏を悼む	豊福 知徳	芸術新潮	258	イケダマスオ頌(池田満寿夫の水彩画)	加藤 郁乎	美術手帖 342
ヴィアレー・ビントリッキオ四十五番地	三木 淳	シ	262	絵師伊坂芳太良の夢童話的乱夜の世界	渡辺 武信	芸術生活 262
遙かなイタリアの10年	阿部 展也			空に向かって思うこと<エッセイとスケッチ>	石黒 直子	求 美 9
1. 死にふれる場所		シ	253	石田光男<気鋭のデザイナー訪問記>		中 美 198
2. トレントの山に		シ	254	海老原先生と佐賀	石本 秀雄	絵 89
3. プランクシーとルーマニア		シ	255	石本正<人物交差点>	(竹)	中央公論 5
4. 地震におそわれたトッスカニア		シ	256	孤高の画家<交遊抄>	伊勢 正義	日 経 8.30
5. ユーゴースラヴィアのセツェッション		シ	257	石井柏亭初期のバトロ	佐々木静一	絵 90
<遺稿>幻の建築家ミケラッツィ		シ	259	芝川照吉・渡辺惶(六郎)	(一)	シ 91
無口の彫刻家(雨宮次郎)<交遊抄>	柳沢 二郎	日 経	2.5	(二)		シ 92
文化勲章の荒川豊蔵		芸術新潮	264	(三)		シ 93
志野一すじに	小山富士夫			(四)		シ 94
その人と生活と作品	加納 陽治			(五)		
有島生馬の帰朝	瀬沼 茂樹	群 像	9	磯辺行久<現代彫刻の12人・12>	中原 佑介	中央公論 12
日常の神話—ルネ・マグリット—	粟津 則雄	三 彩	275	白けた衝撃—ルネ・マグリット	井田 照一	視 る 51
「粟津 深 デザイン図絵」からの断想	田中 一光	季刊芸術	5—2	荒々しい土の香り—山陰に現われる小野具定さん	板倉新兵衛	三 彩 273
画業随筆	安西 啓明	日本美術	79	伊藤隆道<現代彫刻の12人・6>	高階 秀爾	中央公論 6
	(イ)			藤島・岡田両先生の想い出<さむほおる>	伊藤 清水	絵 83
十年一日<さむほおる>	飯野農夫也	絵	87	特集 伊藤晴雨		芸術生活 259
歩いて来た道五十五年	池田 遙邨	三 彩	278	伊藤晴雨の責め絵	草森 紳一	
わたしは荒縄で縛られた	シ	ア ー ト	19—1	最後の絵業師・座談会	古今亭今輔 宮尾しげお R・佐藤 石子 順造	
日本画の世界	シ	京 都	6.19	糸園和三郎<表紙の画家>	(中野)	求 美 9
池田遙邨	(竜)	シ	10.8	糸園和三郎の人と作品	小川 正隆	シ 8
池田遙邨の世界	(慶)	ア ー ト	19—3	ロルジュについて	井上長三郎	美術グラ 20—5
池田遙邨	(山崎)	日本美術	76	主題と作品について<新人の発言>	井上 敏男	季刊版画 11
ニューヨークの日本人芸術家	池田満寿夫	日 経	12.10	井上武吉<現代彫刻の12人・2>	高階 秀爾	中央公論 2
「スフィンクスの首像」について	シ	美術手帖	337			
作家の眼	シ					

伊原通夫<現代彫刻の12人・10>	岡田 隆彦	中央公論	10	上村松園<美のことば・8>		京 都	3. 19
猪熊弦一郎氏<訪問>	(寺田)	東京夕刊	6. 17	上村松園一その人と芸術	小野 礼子	萌 春	201
「古い造形の新鮮さ」を読んで	伊原宇三郎	美術グラフィ	20—5	上村松篁<巨匠を訪ねて>	(山崎)	日本美術	76
ヨーロッパの子供達<さむほおる>	今井 信吾	絵	84	民家への出合<さむほおる>	内田光之助	絵	94
チンチョンのキリスト<さむほおる>	今関 一馬	シ	87	ことしの私	宇治山哲平	毎 日	12. 16
賢父鈍息	シ	シ	88	毎日芸術賞・宇治山哲平	土方 定一	毎日夕刊	1. 1
幻の画家・今西中通		求 美	6	美に向かう遍歴	宇治山哲平	シ	1. 5
今西中通遺稿				内井昭蔵<CLOSE UP>		芸術生活	260
フォーヴィストとしての今西中通	坂崎 乙郎			宇留河泰呂一色と光のエキリプリスト	金子 光晴	芸術新潮	259
短くも光ある生の記録	林 武			梅原龍三郎<美のことば・20>		京 都	8. 13
骸骨に美をみた造形思考	野見山晁治			梅原龍三郎訪問記	三宅正太都	ア ー ト	19—2
忘れられた鉱脈・画人再評価				(エ)			
8. 今西中通(上)	梅野 隆	美術グラフィ	20—4	南国の画家一海老原喜之助	日高 旺	中央公論	4月臨時増刊(歴史と人物2)
9. シ(下)	野口弥太郎 中間 冊夫 大野 五郎 山本 正	シ	20—5	海老原先生と佐賀海老原君の事など	石本 秀雄	絵	89
十二代今泉今右衛門さん	蔭山 欽哉	読 売	5. 30	海老原君の傑作を買う	小林 和作	シ	83
伊牟田経正(対談)		三 彩	281	「そっくり」の不気味—遠藤昭彦、神田日勝、地主悌助	亀倉 雄策	芸術新潮	258
能面—入江美法さん	宮部 修	読 売	8. 8		宗 左近	芸術生活	265
「小さき者」<自作を語る>	入江 観	絵	89	(オ)			
天平の会<交遊抄>	入江 泰吉	日 経	7. 1	大観音をきざむ心	大内 青圃	読 売	1. 31
岩田 栄吉<ディアログ・13>	聞き手 飯沢 匡	み づ ゑ	792	砂ばくにかけられたロンドン橋	大久保 泰	絵	91
ガラス工芸家岩田藤七氏を語る	吉田五十八	三 彩	275	ルーヴル美術館陳列がえ	シ	シ	86
岩田藤七ガラス工芸	真船 豊	芸術生活	265	「橋とスカイライン」<自作を語る>	シ	シ	シ
岩田藤七・邦子夫妻を祝い会		東京夕刊	6. 8	欧米の旅に病む	シ	東京夕刊	2. 4
岩田 専太郎氏<訪問>	(村山)	シ	6. 5	大久保作次郎の芸術	河北 倫明	日本美術	79
岩田専太郎氏の古稀祝い		毎日夕刊	6. 12	日本の自然—日本の風景	大沢 昌助	三 彩	268
野宿の友<交遊抄>	岩田 正己	日 経	11. 17	大島哲以 <ディアログ・19>	聞き手 武智 鉄二	み づ ゑ	798
新説風神雷神論	岩崎 巴人	ア ー ト	19—3	版画教育20年	大田 耕二	読 売	8. 10
岩橋 英遠<画家訪問>	藤本 韶三	三 彩	278	大高正人<CLOSE UP>		芸術生活	262
	(ウ)			大野藤三郎<好日好題>		日本美術	79
舳倉島の海女を描いて	上田 臥牛	三 彩	271	近況<さむほおる>	大森 啓助	絵	88
ヤビツ峠	シ	絵	85	ルソーの墓にまいる	岡 鹿之助	シ	83
ウソの西洋<ちょっと一言>	上原 二郎	美術グラフィ	20—1	岡鹿之助<表紙の画家>	(中野)	求 美	7
上原二郎論ノート<明日に期待する・6>	山岸 信郎	シ	20—6	岡鹿之助の「花と廃墟」<私と一枚の絵>	中野 英男	シ	6





「アクション」が生れるまで	神原 泰	絵	89	国東照幸<気鋭のデザイナー訪問記>	中 美	197
ニューヨークの近代美術館とピカソと猪熊君と	シ	シ	83	国吉康雄のリトグラフ・人間への思慕	朝日 晃	みづゑ 797
川崎小虎の芸術	河北 倫明	ア ー ト	18-3	国吉康雄		美術手帖 343
川崎鈴彦の発心	永井 信一	萌 春	195	冒険者「クニヨシ」の軌跡	富山 秀男	
川崎春彦<画室を訪ねて>	田中 皓一	シ	205	異国に捧げた波乱の生涯	小沢 善雄	
私の肖像	河野 秋郎	京都夕刊	2.20	アメリカ現代美術の大正五年(国吉康雄)	ポール渡部	芸術新潮 254
「そつくり」の不気味—神田日勝、遠藤昭彦、地主悌助	宗 左近	芸術生活	265	私の履歴書(1)~(2)	熊谷 守一	日 経 6.14~7.12
	(キ)			熊谷守一とひとりのコレクター		求 美 7
ウグイスの鼻の穴	木内 広	東京夕刊	3.16	熊谷さんに惚れぬいた三十年	村山裕太郎	
マリア像の完成<さむほおる>	木内 克	絵	83	よくわかる主人の気持	村山 はつ	
菊竹清訓<CLOSE UP>		芸術生活	266	木曾山中の熊谷守一	弦田平八郎	絵 88
岸田劉生<美のことは・1>		京 都	1・5	熊谷九寿作「夜桜」	三宅正太郎	三 彩 273
洋画家の南画<岸田劉生と万鉄五郎の場合>	陰里 鉄郎	三 彩	278	囚われ人<さむほおる>	庫田 燧	絵 86
劉生あれこれ	松方 三郎	絵	90	久里洋二の世界	(角)	朝日夕刊 4.3
喜多川平朗さん	増永 俊一	読 売	3.14	芸術家と職業	黒崎 彰	京 都 7.30
北大路魯山人年譜上, 中, 下	白崎 秀雄	日本美術工芸	392~394	インテリア・デザインの新風—版画家黒崎彰の例		読 売 3.18
魯山人と修静堂(同心草1)	満岡 忠成	シ	389	黒崎彰さん<生きる>		京都夕刊 6.21
芸術と芸術家<視点>(北大路魯山人)	佐藤 雅彦	毎日夕刊	12.9	黒崎彰<作家研究>	小倉 忠夫	季刊芸術 12
日本画壇と反逆児	北川 民次	群 像	1	黒沢吉蔵<画室を訪ねて>	田中 皓一	萌 春 198
北原進<CLOSE UP>		芸術生活	264	黒田征太郎<気鋭のデザイナー訪問記>		中 美 200
或る情景	北村 巖	絵	84			
城所昌夫のこと<明日に期待する・8>	三好豊一郎	美術グラフ	20-9	(ケ)		
木村雨山	加賀 友祥	東京夕刊	3.7	娘と父親	剣持 勇	毎日夕刊 1.9
木村忠太のこと	小川 正隆	絵	86			
木村光佑さん<人間登場>	島元 謙郎	読 売	5.16	(コ)		
木村光佑氏の壁画		読売夕刊	12.13	東京芸術大学回想	小磯 良平	芸術新潮 256
「季刊版画」と私	木村 光佑	季刊版画	12	詩人と画家—若き日の交友(小磯良平)		読 売 3.21
最近の仕事について<さむほおる>	木村賢太郎	絵	83	小磯良平<CLOSE UP>		芸術生活 262
時計の音<さむほおる>	桐野江節雄	シ	90	小磯良平(表紙の画家)	(中野)	求 美 8
	(ク)			小出橋重<美のことは・15>		京 都 7.2
楠部さんの素朴さと山の神とともに<さむほおる>	平沢 興	ア ー ト	19-2	小出橋重<近代日本美術家の文献紹介・13>	岡 畏三郎	現代の眼 201
工藤甲人<画室訪問>	藤本 韶三	三 彩	279	土着と近代的造形美(小出橋重)	匠 秀夫	世 界 7
工藤甲人の人と作品	竹田道太郎	求 美	9	郷倉千靱	藤本 韶三	三 彩 281

定期刊行物所載文献

野性的花<エッセイとスケッチ>	国領 経郎	求美	7
児玉希望画伯の急逝		崩 春	199
小島さんコンニチワ(絵と随筆)	田栗 テル	美術グラ	20-1
(8)		〃	20-2
(9)		〃	20-4
(10)		〃	20-5
(11)		〃	20-6
(12)		〃	20-10
後藤純男<画室を訪ねて>	田中 皓一	崩 春	204
小林古径<美のことは・3>		京 都	2.5
古径、靱彦、青一郎作品ではなくその人がらについての私的瞥見	水沢 澄夫	崩 春	201
小林清親一百面相	草森 紳一	芸術生活	266
セザンヌの絵について	小林 和作	日本美術	73
海老原君の事など	〃	絵	83
日本の自然—自然美はますます開発せよ	〃	三 彩	268
われわれの代々木時代	〃	芸術新潮	255
寡黙な画家(小林和作)	佐藤 雅彦	毎日夕刊	10.13
修那羅峠の石仏に思う<さむほおる>	小林 邦二	絵	86
本の装丁について	駒井 哲郎	東京夕刊	4.10
ルネ・マグリット展に寄せて	小牧源太郎	視 る	51
栗の花咲く最上川<エッセイとスケッチ>	小松 均	求美	9
小松均の人と作品	につた不問子	〃	6
水墨の個展<私の個展>	小松 義雄	日本美術	73
嗜 眠	小紋 章子	〃	74
小山敬三<巨匠を訪ねて>	(やす子)	〃	78
偶感<エッセイとスケッチ>	小山 敬三	求美	6
ニューヨーク「現代日本美術展」	近藤 竜男	芸術新潮	255

(サ)

西郷弧月の画業と幻の後半生	子母平正樹	三 彩	274
非運の画家西郷弧月	中村 溪男	〃	〃
斎藤垣		芸術生活	257
赤の幻想	斎藤 真一	芸術新潮	262
腎女を描く<エッセイとスケッチ>	〃	求美	6
斎藤真一氏<訪問>	(寺田)	東京夕刊	3.17

「味爽の島々」<自作を語る>	斎藤 長三	絵	94
宿縁<エッセイとスケッチ>	斎藤 真成	求美	9
激情(斎藤正夫)		朝 日	10.16
死の際の佐伯祐三		美術グラ	20-6
佐伯祐三の思い出	中山 巍		
佐伯のこと	佐伯 米子		
続・佐伯祐三のバリのあしあと	朝日 晃	絵	87
佐伯祐三がエル・グレコを写したか……	〃	〃	94
奇行の佐伯祐三と船の思い出	山田 新一	〃	〃
佐伯祐三の虚と実<真贋89>	朝日 晃	芸術新潮	257
榊原紫峰の死をめぐる(よみがえる因画創作協会)	田中日佐夫	〃	255
油彩の障壁画にいとむ—酒見恒平氏		京 都	11.12
坂本繁二郎と青木繁	下川都一郎	絵	91
坂本画伯とパイコン先生	秋吉 茂	〃	〃
坂本繁二郎の「馬」の世界		説 売	5.1
坂本繁二郎<美のことは・5>		京 都	2.19
索居味道の芸術	山内 得立	ア ー ト	18-3
沈金—前大峰さん	木村 英二	説 売	6.6
佐熊桂一郎<ディアログ・16>	聞き手 栗田 勇	みづゑ	795
佐々木四郎<ディアログ・18>	聞き手 梶 祐輔	〃	797
思うこと<新人の発言>	佐々木英夫	季刊版画	10
写実の歩み (4)~(6)	笹島 喜平	〃	10~12
作家にフェイトを湧かせるエディターを<新人発言>	佐藤 亜土	〃	11
佐藤圀夫<画室を訪ねて>	田中 皓一	崩 春	199
佐藤武夫<CLOSE UP>		芸術生活	265
里見勝蔵の人と作品	日野耕之祐	求美	7
沢田さんと仏像	富永 惣一	三 彩	276

(シ)

木曾路の江漢	細野 正信	季刊芸術	5-1
篠崎之男<画室を訪ねて>	田中 皓一	崩 春	201
篠田守男<ディアログ・17>	聞き手 渡辺 武信	みづゑ	796
俺はチャンネルのマフィアだぜ	篠原有司男	芸術新潮	260

L I F E(私)	島 州一	芸術生活	259
島州一について	安井 収蔵	シ	シ
すずめ、仔猫	島谷 晃	シ	260
島谷晃について	三木 多聞	シ	シ
清水幸太郎さん	宮部 修	読 売	7.4
志水晴児<現代彫刻の12人・5>	岡田 隆彦	中央公論	5
下川都一郎の創造	竹林 宇遠	日本美術	73
坂本繁二郎と青木繁	下川都一郎	絵	91
下村良之介<人物雑記>		京 都	4.2
ワサビ漬	下村良之介	シ	4.9
私の肖像		京都夕刊	6.26
知覚される平面	趙 国禎	芸術生活	263
趙国禎について	三木 多聞	シ	シ
「ザムザの夢」<自作を語る>	正田 壤	絵	87

(ス)

「版画ブーム」と言うけれど	吹田 文明	芸術新潮	257
菅井汲<作家研究>	小倉 忠夫	季刊版画	10
オランダ語版「職人ブック」	菅野 陽	学 燈	68—2
杉浦勝人氏の新作について	植村鷹千代	日本美術	79
素材たちのパントマイム(杉浦勝人)	山田 今次	シ	シ
カスバのカスバ	杉本亀久雄	芸術新潮	253
杉本哲郎「北御堂のフレスコ壁画」		毎 日	1.16
杉山寧のクラシズム	竹田道太郎	萌 春	199
杉山寧の芸術	寺田 千壱	三 彩	273
杉山芸術の特質	三宅正太郎	ア ー ト	19—2
鈴木博導と人生の譜	田近 憲三	日本美術	76
鈴木昌弥メモー水の観念学	織田 達朗	三 彩	272
孤高の老画家・薄田芳彦		京 都	9.1
須藤八十八さん		読 売	7.25
砂川しげひささん<人物登場>	吉田 和夫	シ	5.23
青磁の諏訪蘇山	浅井 国美	京 都	12.26

(セ)

妹尾正雄		日本美術	79
幻視の画家—関野正二補遺	今 東光	絵	88
幻視の画家—関野正二	土方 定一	世 界	4
関根伸夫<現代彫刻の12人・9>	中原 佑介	中央公論	9
関根伸夫論2	李 禹煥	S D	75
関野準一郎とその作品	北岡 文雄	浮世絵芸術	30

関谷充作「心象北壁」空間を載る		美術グラフィ	20—6
芹沢氏の四季まんだら		朝日夕刊	8.30
わが美術館を建てるの記	全 和風	求 美	7
仙田満<CLOSE UP>		芸術生活	258
(タ)			
高坂雄水さん	村瀬 雅夫	読 売	1.31
日本洋画と写実主義—高橋由一をめぐって	高階 秀爾	読売夕刊	6.17
日本洋画の黎明期・歴史のなかの高橋由一	芳賀 徹	三 彩	276~279
ルオーの思い出	高田 博厚	シ	279
ルオーと「神」象徴と抽象		学 燈	68—10
わが仲間バリの知性—高田博厚氏に聞く1~4	堀 利貞	毎日夕刊	6.1~6.4
某月某日(高田博厚など)	池島 信平	日 経	6.1
私と版画<私の個展>	高部多恵子	日本美術	73
花卉・小禽・狩猟	高間 惣七	絵	87
鳥と花と<エッセイとスケッチ>		求 美	6
高松次郎<ディアローグ・14>	聞き手 大岡 信	みづゑ	793
高松次郎<現代彫刻の12人・11>	高階 秀爾	中央公論	11
銀座の工事現場に出現した芸術作品(高松次郎)		朝日夕刊	1.11
画仙・篁牛人の渴筆	佐々木直比古	芸術生活	267
高村光太郎覚書	原田 実		
4.「裸婦」「手」「老人の首」など		三 彩	268
5.木彫について		シ	269
6.光太郎と劉生		シ	270
7.「黒田清輝胸像」「高村光雲胸像」など		シ	273
8.詩と彫刻の関連について		シ	278
最終回「裸婦像」のこと		シ	28
高村光太郎と智恵子の場合(特集 悪女考4)	岡庭 昇	芸術生活	258
高山辰雄<巨匠を訪ねて>	(やす子)	日本美術	78
高山辰雄の人と作品	小川 正隆	求 美	7
「無名者作文」	多賀谷伊徳	絵	86
パリは死に死に		芸術新潮	253
竹久夢二の読売時代	青江舜二郎	読 売	12.25
夢二の里がえり	松田 基	絵	84
夢二が帰って来た		日 経	10.1

定期刊行物所載文献

情緒を排除しようとする村井浩の彫刻	建晶 寛造	求 美	9
川原なでしこ<エッセイとスケッチ>	田崎 広助	シ	8
私をささえるもの	田島 征彦	芸術生活	266
田島征彦について	田中 穰	シ	シ
辰己四郎<気鋭のデザイナー訪問記>		中 美	199
辰己四郎<CLOSE UP>		芸術生活	263
辰己四郎<インタビュー2>	足立 正生	美術手帖	339
黒と白の風景	田所 幸一	芸術生活	258
田所幸一について	田中 穰	シ	シ
絵筆随想<さむほおる>	田中 三郎	絵	92
「粟津 潔デザイン図絵」からの断想	田中 一光	季刊芸術	5-2
「ゴンドラの船頭」<自作を語る>	田中阿喜良	絵	88
LSの絵<エッセイとスケッチ>	田中 忠雄	求 美	7
蛙亭・田中作次郎さん俳画のこころを語る		京 都	7.15
絵になる「ボーイズビーアンビシャス」(田中忠雄)<手帳>		読売夕刊	2.20
田中忠雄「基地のキリスト」		毎 日	1.23
田辺三重松<好日好題>		日本美術	74
初見参富士<エッセイとスケッチ>	田辺三重松	求 美	7
クレタ島でのハプニング<さむほおる>	田辺栄次郎	絵	88
港と船・水を訪ねて	田辺 穰	シ	84
マイナスのための「当惑」考	田辺 和郎	芸術生活	265
田辺和郎について	小川 正隆	シ	シ
田淵安一<CLOSE UP>		シ	263
テーマたとえば愛想記と表現方法の関連性など<新人の発言>	田村 文雄	季刊版画	10
リトグラフ雑感<さむほおる>		シ	絵 85

(チ)

売らない個展	千種 達夫	芸術新潮	255
千葉あやのさん	村瀬 雅夫	読 売	4.11
「そつくり」の不気味—地主悌助、遠藤昭彦、神田日勝	宗 左近	芸術生活	265
「聖者」(地主悌助)	木山みさを	芸術新潮	259
島海青児	佐々木静一	三 彩	278, 279
島海さんの近作のこと	土方 定一	ア ー ト	19-2

(ツ)

図画教師としての椿貞雄	岡谷 公三	芸術新潮	255
土田麦僊<美のことば・18>		京 都	7.30
土田麦僊研究(18) 土田麦僊年譜(完結編)	田中 皓一	萌 春	195
風渡る夜	辻 光典	日本美術	73
父・辻永のこと	辻 朗	絵	92
歳寒漫筆	津田 青楓	芸術新潮	253
「あらわれいでたるたけちみつひで」	坪内節太郎	三 彩	268
芸居絵を描く人	利倉 幸一	シ	シ
「愛」について	鶴岡 洋	季刊版画	10
グランショーミエール<エッセイとスケッチ>	鶴岡 義雄	求 美	6
フジタ先生との出会い		シ	絵 83

(テ)

クワナバカの夜<エッセイとスケッチ>	寺田 竹雄	求 美	6
「十和田湖畔」<自作を語る>		シ	絵 92
寺田政明さんの仕事	林 紀一郎	美術グラフィ	20-3

(ト)

笠間の芸術村<さむほおる>	富樫 一	絵	85
富岡鉄斎<美のことば・19>		京 都	8.6
鉄斎の賛<眼>	小高根太郎	視 る	52
古代アンデスの謎	利根山光人	朝日ジャーナル	7.23
古代メキシコ芸術に取組む		シ	朝 日 8.4
メキシコ古代のアースワーク		シ	芸術新潮 254
富永太郎の絵と画帖	大岡 信	三 彩	269
富永太郎の絵	大岡 昇平	シ	シ
ミラノのヘンな外人たち	豊福 知徳	芸術新潮	254
阿部展也氏を悼む		シ	シ 258

(ナ)

長井雲坪の芸術(3)~(9)	高井 蒼風	萌 春	195~202
長友啓典<気鋭のデザイナー訪問記>		中 美	200
中西夏之<ディアローグ・23>	聞き手 鈴木志郎康	みづゑ	803
「千円札裁判」における中西夏之証言録(一)、(二)		美術手帖	347, 348



ばらとばらの絵	中野 和雄	絵	86
スペイン旅行<エッセイとスケッチ>	中根 寛	求美	9
長野埜志さん	蔭山 欽哉	読売	4.18
子供の時の藤島先生の思い出	長原 坦	絵	86
トラステベレのフレスコ<さむほおる>	長宗 希佳	〃	84
尾道と鞆の風情<風景論・35>	中村 琢二	読売夕刊	11.17
私の肖像画考	中村 正義	芸術生活	265
人工木材でオートメ住宅―画家中村正義氏の“国家的、余技”		東京	2.22
モンパルナス<エッセイとスケッチ>	中村 直人	求美	8
陶二代―中村梅山、錦平	海上 雅臣	芸術生活	261
正月ばなし	中村 善策	日本美術	73
十二展初期の頃	中谷 龍一	絵	86
鍋井克之「大内山清雪」	曾我部 久	求美	9
(二)			
「二本のクリーンヒット」西垣武雄展、津田季穂展(1)(2)	池田 弘	絵	91, 92
西島武郎絵ごよみ		朝日	11.5
西村龍介の人と作品	三宅正太郎	日本美術	75
古城をたずねて―西村龍介の作品	田近 憲三	〃	〃
(ノ)			
長崎の雨<エッセイとスケッチ>	野口弥太郎	求美	9
多色刷木版画	野田 哲也	三彩	270
野田英夫のこと<さむほおる>	寺田 竹雄	絵	89
旧校舍さようならパーティの日に	野見山暁治	芸術新潮	254
幻の画家今西中通―骸骨に美をみた造形思考	〃	求美	6
(ハ)			
富士の見える画室で―同じ天涯孤独の淋しさ(特集 東山魁夷)	橋本 明治	中央公論	11
寡黙な画家―橋本節哉	〃	日本美術	80
35年後の利行	後藤 雅彦	毎日夕刊	10.13
ピエロ<さむほおる>	木村 東介	求美	9
浜田 観氏<画家訪問>	塙 賢三	絵	90
浜田昇児に期待する	(竜)	京都	9.10
	山田 龍平	アート	19-1

益子の「秋」(浜田庄司)	桑原甲子雄	芸術新潮	263
版画集「ヨーロッパ印象記」をつくって	浜田 知明	〃	257
林由男氏		東京夕刊	4.28
幻の画家今西中通―短くも光ある生の記録	林 武	求美	6
林武氏<訪問>	(寺田)	東京夕刊	1.12
速水御舟「游魚」		求美	6
特集 原精一			
原精一さんのこと	田村泰次郎	三彩	271
原精一<画室訪問>	藤本 韶三	〃	〃
出会い(原精一)	井口 基成	日経	5.13
(ヒ)			
ヨーロッパの窓―ドイツオーストリアの旅	東山 魁夷	芸術新潮	259
「菩提樹」の歌の安らぎ	〃	読売夕刊	5.8
日本の自然(対談)	東山 魁夷 河北 倫明	三彩	268
東山魁夷<CLOSE UP>		芸術生活	268
特集 東山魁夷		日本美術	80
東山さんの窓	川端 康成		
旧作 新作	谷川 徹三		
「朝明けの潮」に寄せて	草野 心平		
東山魁夷氏の画業	高橋誠一郎		
東山さんの窓	井上 靖		
いのち	入江 相政		
東山さんと風景との出会い	小林 行雄		
魁夷芸術の意味	河北 倫明		
東山さんと私	正田英三郎		
柔らかくして厳然たる画風	鹿島 卯女		
絵心茶心	千 宗室		
「窓」を見て	吉田五十八		
文学・詩を感じる作品	稲田 清助		
東山魁夷と自然	富永 惣一		
東山さんの旅想	太田 正夫		
敬重すべき同時代人	高尾 亮一		
東山先生と私	糸川 英夫		
「芸は人なり」のお人柄	中村歌右衛門		
東山魁夷に想う	嘉門 安雄		
異質の精神風土に魅かれて(対談)	東山 魁夷 高橋 義孝		

定期刊行物所載文献

東山魁夷の人と芸術(座談会)	桑原 住雄 田中 稷 日野 耕之祐 佐々木直比 古山崎 一芳	日本美術	80	東洋への鎮魂曲(対談)	平山 郁夫 小森 盛	アート	18-3
京都御所の「日月四季図」	谷口 吉郎			ベルセポリスへの道	平山 郁夫	すばる	5
若き日の東山画伯	四本 潔			平山郁夫<CLOSE UP>		芸術生活	266
魁夷談話	谷 信一			「入涅槃幻想」	平山 郁夫	毎 日	2.13
東山魁夷の描いた「滝」	難波専太郎			菱田春草		京 都	4.23
人格完成美のご夫妻	山崎 富治			「苗代の頃(白馬高原)」<自作を語る>	広瀬 功	絵	91
人生の画家	北島 織衛			(フ)			
同じ天涯孤独の淋しさ	橋本 明治			芸術の世界にあるもの	福井 延光	季刊版画	11
不思議なご縁の瀬戸内海	松田伊三雄			かつら	福沢 一郎	芸術新潮	253
馬車よ、ゆっくり走れ	久富 貢			福沢一郎<CLOSE UP>		芸術生活	257
透徹した信念の人の壁の一枚	飯田 新一 北村 由雄			私の絵日記	福田 新生	美術グラフィ	20-10
人間東山魁夷	中村 溪男			1. 牛の涙		シ	20-11
東山魁夷君のこと	川崎 千春			2. 沖縄デモ		シ	20-12
「人物論」入門	草柳 大蔵			3. 女の戦い		シ	20-8,9
知性豊かな教養文人魁夷画集「窓」	今里 広記 鈴木 進			スリーコフとその周辺		シ	
「道」に訓えられるもの	下田 実花			「聖女」のこと(藤島武二)	高階 秀爾	世 界	8
東山魁夷の世界	寺田 千壘	日本美術	81	藤島、岡田両先生の思い出<さむほおる>	伊藤 清永	絵	83
東山魁夷「白夜光」	河北 倫明	日 経	11.12	子供の時の藤島先生の思い出	長原 坦	シ	86
版画の一断面 東山魁夷と脇田の近作を中心に	小川 正隆	季刊版画	11	藤田嗣治<美のことは>		京 都	1.26
樋口治平・小論<明日に期待する・7>	植村鷹千代	美術グラフィ	20-7	「礼拝堂壁画」	藤田 嗣治	毎 日	1.9
永見晃堂さん	木村 英二	読 売	5.23	藤田嗣治の「大地」(1)		日本美術	75
平川明<CLOSE UP>		芸術生活	258	藤田嗣治「大地」<私と一枚の絵>	藤田 一暁	求 美	8
自肅の言葉<エッセイとスケッチ>	平櫛 田中	求 美	9	里帰りしたフジタの大作		朝日夕刊	2.12
百歳(平櫛田中)	辻 晋堂	京 都	5.1	フジタ先生との出会い	鶴岡 義雄	絵	83
平櫛田中氏が胎内仏を制作(広島)		毎 日	1.5	日本の自然一天地玄黄	藤田 吉香	三 彩	268
百歳の春一がんばる平櫛田中さん		毎日夕刊	1.4	藤田吉香の模写		シ	271
平櫛田中氏を祝う会		朝日夕刊	6.3	いろいろせい<さむほおる>	藤本東一良	絵	91
海 紅豆<さむほおる>	平松 譲	絵	85	藤原啓さん		読 売	3.7
平田郷陽さん		読 売	1.10	特集 二重作龍夫		日本美術	81
日野耕之祐と作品<明日に期待する・4>	田近 憲三	美術グラフィ	20-1	ドン・キホーテシリーズのこと	三宅正太郎		
東鶴寺の尼僧<エッセイとスケッチ>	平野 杏子	求 美	8	二重作龍夫小論	植村鷹千代		
旅と人情	平山 郁夫	シ	シ	パリの二重作さん	平賀 亀祐		
イラン・イラクの旅から①~④		朝日夕刊	2.4~2.9	画友二重作君の四季	松本富太郎		
				大団円のドン・キホーテ(対談)	二重作龍夫 三和 完児		
				二重作さんとドン・キホーテ	永田 寛定		

舟越保武「高山右近像」		毎	日	2.6
汽車を止めた矢立	古沢 岩美	絵		84
「オルフェの竖琴」 〈自作を語る〉	シ	シ	シ	
わが猥褻闘争記	シ	芸術生活		258
ルネ・マグリットの 世界	シ	美術グラ フ		20—6
エロスの妖光—古沢 岩美	三好豊一郎	芸術生活		260

(ホ)

パリの競馬場〈エッ セイとスケッチ〉	星崎孝之助	求	美	8
追想〈あの頃〉	堀田 清治	絵		93
作らぬ学生〈視点〉	堀内 正和	毎日夕刊		10.9
絵は読むもの〈シ〉	シ	シ	シ	11.6
四角い形〈シ〉	シ	シ	シ	11.13
本郷新〈画室訪問〉	藤本 昭三	三	彩	276

(マ)

前田青邨—作品では なくその人がらにつ いての私的瞥見	水沢 澄夫	萌	春	201
前田青邨のお水取り	吉村 貞司	三	彩	271
青邨先生米寿展雑感	谷 信一	萌	春	198
松尾敏男〈画室を訪 ねて〉	田中 皓一	シ		196
劉生あれこれ	松方 三郎	絵		90
黄色いノート〈さむ ほおる〉	松樹 路人	シ		93
友人松田文雄君のこ と〈シ〉	刑部 人	シ		94
日常生活そのもの 〈新人の発言〉	松原 龍夫	季刊版画		12
洛北の里	松本富太郎	日本美術		73
パリの地下鉄で剥し たポスター	シ	芸術新潮		253
日本の現代画家が描 いた「自然」	真鍋 俊照	シ		258
新幹線知人〈交遊 抄〉	真鍋 博	日	経	5.17
詩人馬淵美意子の絵 を想う		三	彩	274
丸木位里〈CLOSE UP〉		芸術生活		265
「原爆の図第十三部 米兵捕虜の死」 (丸木位里・俊)		読	売	7.28
次のテーマは戦争と 平和—「原爆の図」の 丸木夫妻		朝日夕刊		2.2
丸山正武〈CLOSE UP〉		芸術生活		259

(ミ)

よく似た二人の作品 (三尾公三と森秀雄)		毎日夕刊		4.28
「薫風」〈自作を語 る〉	三雲祥之助	絵		83
「アテネ、ピレウスの 港」〈シ〉	南 政善	シ		93
南美穂子小論〈私の 作家〉	宗 左近	美術グラ フ		20—4
宮入昭平さん	宮部 修	読	売	8.22
屏風ヶ浦〈さむほお る〉	宮内 義雄	絵		88
西伊豆の旅〈私の個 展〉	宮島 武男	日本美術		73
回想—旧友記①~⑩	宮田 重雄	東京夕刊		1.29~2. 24
よき友宮田重雄	丹羽 文雄	読売夕刊		4.30
一枚のスケッチ〈さ むほおる〉	宮田 晨哉	絵		89
モデルの話〈ある日 ある時〉	宮本 三郎	読売夕刊		2.17
宮本三郎〈表紙の画 家〉	(中野)	求	美	6
宮本三郎画伯がセカ ンド・アトリエ		読売夕刊		7.24
宮本三郎「女神たち の復活」	三宅正太郎	ア	ー	ト 19—2
宮脇檀〈CLOSE UP〉		芸術生活		268
三根霞御の作品	三輪 英夫	佐賀県立 博物館報		9
彩色スケッチ雑記	三輪 晃勢	三	彩	268
ゴッダンのタヒチ	シ	求	美	8
陶二代—三輪休雪、 龍作	海上 雅臣	芸術生活		261
三輪休和さん	増永 俊一	読	売	3.28

(ム)

画家蔵	向井 潤吉	芸術新潮		260
仏画を描いて	向井 久万	三	彩	270
画仙—棟方志功の形 成	小高根二郎	芸術生活		257
オヤジと息子(棟方 志功)		朝	日	11.21
情緒を排除しようと する村井浩の彫刻	建畠 覚造	求	美	9
村上肥出夫 〈CLOSE UP〉		芸術生活		264
ベニスの太陽	村上肥出夫	三	彩	276
村上堆朱—鈴木秋湖 さん	村瀬 雅夫	読	売	2.21
村上華岳〈美のこと ば〉		京	都	7.16
村上華岳〈続日本近 代美術史ノート1,2〉	高階 秀爾	季刊芸術		5—2, 4
華岳の小色紙が語る	尾上 豊穂	ア	ー	ト 19—2

定期刊行物所載文献

“槐多の歌える” 美 の詩想	陰里 鉄郎	世 界	5	墓碑「ある人々こ こにねむる」の示唆 すること	山川 輝夫		
	(×)			五年祭を前に	山口 正子		
謝肉祭	目黒 渠雨	日本美術	73	二人山口(長男、薫)	熊谷 幸博	絵	89
この頃の私と絵<さ むはおる>	米良 道博	絵	91	私の世界<新人の発 言>	山口 博一	季刊版画	12
一秒前の歴史から	元永 定正	京 都	12.17	奇行の佐伯祐三と船 の思い出	山田 新一	絵	94
元永定正<ディア ローグ・20>	聞き手 谷川俊太郎	みづゑ	799	私の肖像	シ	京郡夕刊	6.12
よく似た二人の作品 (森秀雄と三尾公三)		毎日夕刊	4.28	山岸純<作家訪問>	山田 龍平	ア ー ト	19-3
「ベニス」<自作を 語る>	森田 茂	絵	89	要町、早春対談	山田 申吾 小森 盛	シ	19-1
森田曠平	藤本 昭三	三 彩	275	山下清さん	朝 日		4.9
雛芥子<エッセイと スケッチ>	森田 沙伊	求 美	7	山下清の“東海道五 十三次”	毎 日		9.5
風景の中の子供	森町 長子	芸術生活	264	未完の遺作“キヨシ の五十三次”	読 売		7.13
森町長子について	安井 収蔵	シ	シ	山下りんの伝記と作 品	岡 畏三郎	美術研究	279
森野嘉光の塩釉作陶	菊地芳一郎	美術グラ フ	20-11	山本豊市	毎 日		9.13
「いかづちの丘」の 前で(守屋多々志)		三 彩	272	山本文彦<CLOSE UP>	芸術生活		261
古画の模写	守屋多々志	シ	シ	絵馬	山本 政雄	日本美術	73
	(ヤ)			山本太郎の絵を見る	三宅正太郎	三 彩	279
すなお	八木 一夫	京 都	4.23	山本森之助(作品紹 介)	古川 文子	長崎県立 美術博物 館館報	45年
陶二代一八木一、 一夫	海上 雅臣	芸術生活	261				
矢崎氏の「雲水群像」 原型完成		読 売	2.1	(ユ)			
森緑翠の作品	矢野 文夫	ア ー ト	19-1	「幼い命を大切に」	柚木 伸一	毎 日	2.26
安井曾太郎<美のこ とば・10>		京 都	4.9	北欧の町	結城 天童	萌 春	195
安井曾太郎の素描	(藤本)	三 彩	279	私の肖像	由利 明	京郡夕刊	2.13
安田靉彦<巨匠を訪 ねて>	(山崎)	日本美術	78				
歌と絵画(安田靉彦)	太田 正夫	シ	73	この世の終末	横尾 忠則	毎 日	9.1
安田靉彦一作品では なくその人がらにつ いての私的瞥見	水沢 澄夫	萌 春	201	雲につかれて	シ	シ	9.2
グレコ先生と一少女	安田 須恵	芸術新潮	264	あべこべなタヒチ	シ	シ	9.3
知床に思う	山田 尚時	日本美術	73	ビートルズは永遠に ほくの敵	シ	美術手帖	342
巨星あいついで去る 山口蓬春画伯も逝去		萌 春	199	イラストレーター休 業日記	シ		
蓬春先生の思い出な ど	藤本 昭三	三 彩	274	5. ニューロック マッサージュ		芸術生活	257
思い出の中の山口蓬 春画伯	横川毅一郎	シ	シ	6. 蛇栖彷徨		シ	258
故蓬春画伯	河北 倫明	シ	シ	7. 聖マンネリヤの 孤独		シ	259
近代作家の回顧一山 口薫		現代の眼	202	8. わが故郷に吹く 風は		シ	260
山口薫回想	今泉 篤男			9. 忠則股旅曆		シ	261
四十年の交友	村井 正誠			10. 渡来に際しての 自問自答集		シ	262
戦後の山口薫氏	勝田 寛一			11. ニューヨーク・ レポート		シ	263
				12. ニューヨーク・ レポート		シ	264



13. 霊界へのモノローグ	横尾 忠則	芸術生活	265				
14. 100時1分宇宙の旅		シ	266				
15. 嘘とまことの絡み合い		シ	267				
最終回・人類滅亡へのエピソード		シ	268				
「幻の画家」横山潤之助の死	朝日 晃	芸術新潮	259				
私の履歴書 ⑥, ⑦	横山 隆一	日 経	12.9, 10				
ことしの私	儀間比呂志	毎 日	12.12				
メキシコ美術とオロスコ	吉井 忠	美術グラフィ	20—10				
吉井忠の仕事<再見と発見>		シ	20—11				
作家への注文	川原 正二						
吉井忠さんのこと	長尾 宏也						
吉光卓美氏		京都夕刊	1.20				
闇の中の一条の光を恐れず	吉田 和枝	季刊版画	12				
ニューヨークと僕	ヨシダミノル	芸術新潮	254				
模写について	吉田 善彦	三 彩	269				
トルコ・ギリシャでの日々		萌 春	196				
アメリカの高級ホテル泊り歩き	吉家 光夫	芸術新潮	257				
ニューヨークのにわか大工	吉村 益信	シ	261				
石版画の技法 2, 3, 4	吉原 英雄	季刊版画	10, 11, 12				
米光太平さん	蔭山 欽哉	読 売	6.13				
万鉄五郎<美のことば>		京 都	9.24				
万鉄五郎 4	陰里 鉄郎	美術研究	273				
円鳥会一万鉄五郎の周辺		絵	86				
洋画家の南画<岸田劉生と万鉄五郎の場合>		三 彩	278				
万鉄五郎<近代日本美術家の文献紹介14>		現代の眼	204				
大正期の「異端」の振幅一万鉄五郎ノート	針生 一郎	世 界	3				
(ワ)							
若林奮<現代彫刻の12人・3>	中原 佑介	中央公論	3				
若林奮<ディアローグ・22>	聞き手 飯島 耕一	みづゑ	802				
虚無の花(和氣史郎)	(沢田)	日本美術	76				
版画の一断面—東山魁夷と脇田和の近作を中心に	小川 正隆	季刊版画	11				
カナダのスケッチ旅行	渡辺 文平	三 彩	275				
				作 家(外国)			
				ヴァンダーリッヒの「デューラーに捧ぐ」	菊盛 英夫	芸術新潮	260
				特集 ヴンダーリッヒ		芸術生活	264
				悪魔主義的エロチシズム	村木 明		
				ヴァンダーリッヒ<イメージの変革・21>	坂崎 乙郎	美術手帖	346
				エド・エムシェウイラー<インタヴュー>	飯村 隆彦	シ	340
				エルンスト<イメージの変革・15>	坂崎 乙郎	シ	シ
				特集 アメリカで最も人気のあるワイエスとオキーフ		芸術新潮	255
				偉大なる田舎もの	藤枝 晃雄		
				特集 ジョルジオ・デ・キリコ		みづゑ	799
				「キリコとは何ものか」	笹本 孝		
				キリコによるキリコ	訳・米川良夫		
				キョソネ—東洋美術館のこと	井関 正昭	朝日夕刊	9.13
				キーンホルツ	東野 芳明	美術手帖	348
				クールベ—野心と孤独	阿部 良雄	中央公論 (歴史と人物)	6 3
				クライン<イメージの変革・19>	坂崎 乙郎	美術手帖	344
				クリムト<シ・13>	シ	シ	337
				特集 グスタフ・クリムト		みづゑ	793
				仮装撩乱・クリムト警見	池内 紀		
				ウィーンの華麗なる情念	野田 弘志		
				ヘレ・クリント<CLOSE UP>		芸術生活	261
				パウハウスのクレー	戸村 浩	美術手帖	341
				ミルトン・グレーザーのポスター	森 喜久雄	シ	340
				かくもながきイタリア彫刻の人気(エミリオ・グレコ)<フットライト>	柳原 義達	芸術新潮	258
				ゴッホ研究の総決算<真贋・85>	瀬木 慎一	シ	253
				ゴッホ問題その後	シ	シ	257
				民衆の画家ゴヤ (編集部)		美術グラフィ	20—11
				特集 悪夢への予兆 宮廷画家ゴヤ		みづゑ	801
				ゴヤあるいは肉体の牢獄	渋谷 龍彦		
				ゴヤを追つて	藤井 哲		
				ゴヤと魔女の世界	渋谷 龍彦	毎 日	11.14

定期刊行物所載文献

ゴヤの「黒い絵」(サラス氏の講演から)	毎日夕刊	11.27	テレスコピッチ「愛馬と騎手」	武道	巨樹	求 美	7
特集 ケーテ・コルヴィッツ	芸術生活	266	ニュルンベルクのデューラー	塚越	敏	芸術新潮	260
悲しみの自立	坂崎 乙郎		ヘルマン・ニッチ<インタヴュー>	飯村	隆彦	美術手帖	344
ケーテ・コルヴィッツの版画	針生 一郎	みづゑ	カールハイデルバッハ	種村	季弘	みづゑ	792
アレックス・コルヴィル「ポップ・マニエラ」の詩	日向あき子	々	坂本画伯とバイコン先生	秋吉	茂	絵	91
特集 エゴン・シーレの「人間模様」	芸術新潮	259	バイロス抄	亀山	巖	芸術生活	259
天逝した予感の画家—エゴン・シーレ	生野 幸吉		ナム・ジュン・バイク(白南準)<インタヴュー>	飯村	隆彦	美術手帖	348
シーレ<イメージの変革・22>	坂崎 乙郎	美術手帖	日本美術の恩人ピゲロー略伝	村形	明子	古美術	35
日本を愛した夫ベン(ベン・シャーン)	バーナード・B・シャーン	ア ー ト	ニューヨークの近代美術館とピカソと猪熊君と	神原	泰	絵	83
旅のムダ使い(シャガール)	安岡章太郎	芸術新潮	バルセロナにできたピカソ美術館	村木	明	芸術新潮	255
ジャコメッティ<イメージの変革・17>	坂崎 乙郎	美術手帖	塗りつぶされたピカソの絵	黒江	光彦	々	262
アルベルト・ジャコメッティの版画集「終りなきバリ」	粟津 則雄	みづゑ	フィニのリトグラフ—レオノール・フィニによせて	金井美恵子	みづゑ		798
ゲーテ館のシュタイナー芸術	上松 佑二	芸術新潮	「水車屋の娘」とフェルメール	増田	隆昭	芸術新潮	253
特集 フランツ・フォン・シュトゥック		みづゑ	“フェルメール”への科学的挑戦<真贋・92>	瀬木	慎一	々	260
世紀末画家シュトゥック	高橋 巖		ヴォルフ・フォステル<インタヴュー>	飯村	隆彦	美術手帖	337
特集 ドイツ画家「古事記」を描く(エルク・シュマイサー)	芸術新潮	254	ゴンザロ・フォンセカ<Nouvelle Forme 1>			求 美	7
エルク君の「古事記」	吉村 貞司		ル・アーヴルのブーダン	大島	清次	三 彩	270
古事記への道	B・吉田クラフト		ニコラ・プッサンにおける古典主義の絵画的基礎	近藤	昭	美術史研究	8
ジョーンズ<イメージの変革・20>	坂崎 乙郎	美術手帖	ウラジミール・プレクリック<Nouvelle Forme 2>			求 美	8
ド・スタール<々18>	々	々	もしペラスケスが本物ならば<真贋・87>	神吉	敬三	芸術新潮	255
スリーコフとその周辺	福田 新生	美術グラフィ	ベルメール<イメージの変革・14>	坂崎	乙郎	美術手帖	339
東京の印象	セザール	芸術新潮	ウィリアム・ホガースの版画	由良	君美	みづゑ	803
セザンヌの絵について	小林 和作	日本美術	リコバシ・ボーシャン—ウェファースのある静物<美の美>	中山	公男	日 経	4.20
ゼードルマイヤーのドームエ論	目形 照	美 学	特集 ノンドラル・ボース			三 彩	275
特集 天空からの眼ゾンネンシュターン	種村 季弘	芸術生活	ベンガル・ルネッサンス考—オポニンドロナート・タゴールとノンドラル・ボース	我妻	和男		
月の道化師	青木 外司		日本とノンドラル・ボース	隈元謙次郎			
ゾンネン翁会見記							
タッカーのイメージ(アルバート・タッカー)		美術グラフィ					20—8
ダッド<イメージの変革・23>	坂崎 乙郎	美術手帖					348

わが内なるボッシュ ポロック	藤枝 静男 藤枝 晃雄	芸術生活 美術手帖	261 343
芸の力—ジャクソン ポロックと六枚の エッチング	大久保喬樹	シ	シ
アンドレ・マッソン	出口 裕弘	みずゑ	796
ジョイス・マンズー ル、マッタ詩画集 「地獄墮ち」	岡谷 公二	シ	792
ロベルト・マッタ	出口 裕弘	シ	794
特集 ルネ・マグ リットの魔術		芸術新潮	258
ルネ・マグリットの 世界	渋谷 龍彦		
特集 醒めた幻想画 家ルネ・マグリット		芸術生活	262
存在を探る残酷な 明晰	中田 耕治		
ルネ・マグリットの 世界	藤井 久栄	現代の眼	198
ルネ・マグリットの 世界	古沢 岩美	美術グラ フ	20—6
ルネ・マグリット		美術手帖	344
ああマグリット— 不意の旅	池田満寿夫		
幸せな、そして凡 庸な—衝撃の美学	中山 公男		
特集 ルネ・マグ リット		みずゑ	796
マグリットあるい は表面の発見	宮川 淳		
山高帽子の無名者 —ルネ・マグリッ トとベルギーの シュールレアリス ム	巖谷 国士		
言葉とイメージ	ルネ・マグ リット、訳 巖谷 国士		
マグリットによる 言葉	訳・編峯村 敏明		
ルネ・マグリット	東野 芳明	視 る	50
ルネ・マグリット展 に寄せて	小牧源太郎	シ	51
「白けた 衝撃—ルネ マグリット」	井田 照一	シ	シ
ミショー—<イメージ の変革—16>	坂崎 乙郎	美術手帖	341
アンリ・ミショーの 銅版画集「通行」	飯島 耕一	みずゑ	799
ヘンリー・ミラー 「不眠症—つかまら ない悪魔」	久保貞次郎	シ	794
ミロの銅版画集「磁 気の流れ」が語った こと	飯島 耕一	シ	793
<座談会>ムンク— 芸術と狂気の間	小野 忠重 寺田 透 針生 だい 針生 一郎	世 界	2
ムンクのこと	坂崎 乙郎	視 る	44

モネ「庭の婦人」<美 の美>		日 経	4.2
ギュスターブ・モ ローの神話		三 彩	281
モンティセリの世界	大島 清次	シ	272
特集 ホルスト・ヤ ンセンのエロチシズ ム		芸術新潮	257
ホルスト・ヤンセ ンの分裂する世界	野村 太郎		
「夜の画家」(ジョル ジュ・ドゥ・ラ・ トゥール)の影の男 <真贋・94>	田中 英道	シ	262
フェリックス・ラ ピス	出口 裕弘	みづゑ	795
バーナード・リーチ 氏<凡語>		京 都	5.24
来日した英のバー ナード・リーチ氏		シ	6.10
アメリカ画壇の孤高 (リチャード・リン ドナー)	藤枝 晃雄	芸術生活	261
ルオーと「神」、象徴 と抽象	高田 博厚	学 燈	68—10
ルオーの世界—その 魂の生成に関して	沢村 光博	芸術生活	265
ルオーの思いで	高田 博厚	三 彩	279
ルオー頌<匿名の貌 について>	中山 公男	シ	シ
ピエール・ルシュー ルのこと	岸 恵子	絵	93
特集 ルノワールの 女		芸術生活	267
真珠色の燃えたつ 陽炎	新川 和江		
レス・レヴィーン <インタビュー>	飯村 隆彦	美術手帖	341
レオナルド・ダ・ビン チ	小野 健一	日 経	1.12
レンブラント・ファ ン・レイン(8)	土方 定一	季刊芸術	5—1
ロルジュについて	井上長三郎	美術グラ フ	20—5
ミシマを描いたロル ジュの連作<フット ライト>	宗 左近	芸術新潮	256
特集 アメリカで最 も人気のあるワイエ スとオキーフ		シ	255
偉大なる田舎もの	藤枝 晃雄		

美術関係者

会津八一の画技	宮川 寅雄	芸術新潮	262
基礎の大切さ<滴 音>	浅野 竹二	京 都	1.29
絵と生活	石川 達三	絵	85
オッパイの船<滴 音>	石原 薫	京 都	5.7
七十六歳の冬富士登 頂	石原 憲治	中央公論	11

定期刊行物所載文献

無題<滴音>	井田 照一	京 都	4.16	極楽鳥を飼う土星の皇帝	坂崎 乙郎	芸術生活	260
蘇った陶片	市田 幸治	芸術新潮	253	私の肖像	酒見 恒平	京都夕刊	1.16
池の石<滴音>	伊庭新太郎	京 都	5.14	未証の美術史	佐藤 雅彦	毎日夕刊	11.18
岩村透の西洋観<視点>	寺田 透	毎日夕刊	5.11	画家と飲む酒—それが一番うまい	沢開 進 絵		84
法隆寺の啖呵	請川良太郎	芸術新潮	254	志賀直哉の編集した「座右宝」	斎藤菊太郎	芸術新潮	264
詞藻と思想	内山 懋	日本美術	78	舞台裏の芸術家たち	嶋岡 晨		
怨霊思想の伝統	梅原 猛	朝日夕刊	1.6	1. 手刺しの夢(武道具師・田代宏之)	〃	芸術生活	261
出雲大社と法隆寺	〃	京都夕刊	4.20	2. 皮染めの花(皮革蒔染め・笠原三津子)	〃	〃	262
鎖状文化圏のなかの京都	(A)	京 都	1.13	5. 一匹竜の唄(刺青絵師・毛利清二)	〃	〃	265
水野清一君との四十余年	江上 波夫	芸術新潮	260	7. 彫る 彫る 彫る(仏具彫刻師・山本栄雲)	〃	〃	267
私の画家ぶきあい	江川 和彦	絵	90	忘れられた蟹溝寺の本尊	菅原 明朗	芸術新潮	254
富永太郎の詩と絵	大岡 昇平	毎日夕刊	2.9	東大寺よ強くなれ	〃	〃	257
竜安寺石庭の“七つのナゾ”を解明した大山平四郎さん<町の研究家>		京 都	3.29	カラニスの壺	鈴木 入司	〃	258
太陽と崇神王朝の大和<特集 写真家の捉えた「大和の原像」>	小川 光三	芸術新潮	258	花の都の日本人画家<求美ジャーナル>	宗 左近 求 美		9
(続)太陽の祭壇	〃	〃	259	古代と近代の人相学	高階 秀爾 学 燈		68—11
仏の膚に息づく木文化	小原 二郎	日 経	2.17	高見沢忠雄<CLOSE UP>		芸術生活	260
岡倉天心の本<座右の書>	河北 倫明	〃	3.14	ベトナムの大津絵	竹内 利雄	芸術新潮	258
警棒代りの絵筆—筋凡才から天才への飛躍	小笠原誠次	〃	11.23	沈みゆく水の都—ヴェネツィアの存亡をめぐって	辻 茂	世 界	3
美術公害<滴音>	梶川 芳友	京 都	3.19	木曾山中の熊谷守一	弦田平八郎	絵	88
私の鏡飾り	金子 国義	芸術新潮	263	岩村透の西洋観<視点>	寺田 透	毎日夕刊	5.11
忘憂里の窟	金子 量重	〃	261	ソ連・ヨーロッパ美術の旅(日記抄)	徳永 進 絵		92
新春雑感—昭和会のことなど	嘉門 安雄	絵	84	富永太郎の詩と絵	大岡 昇平	毎日夕刊	2.9
古代自然観の魅力	川原 正二	美術グラフィ	20—4	富永太郎の魅力<大波小波>	(アラベスク)	東京夕刊	3.9
古代宇宙観とその展開	〃	〃	20—5	みちのく遊女献額	長尾 宇迦	芸術新潮	261
大自然のトラッカーたち<現代の動物生態画>	木村しゅうじ	芸術生活	264	チェカンカのルネサンス	永田 実	日 経	4.12
うしろめたさ	〃	朝 日	12.1	外観と中身<茶の間>	中原 淳一	毎日夕刊	8.19
信楽と私<滴音>	熊倉 順吉	京 都	3.12	日常性と芸術<滴音>	中村 敬治	京 都	8.20
東寺諸尊の調査のおもいで—東京国立博物館の特別展「平安時代の彫刻」にちなんで	倉田 文作	月刊文化財	97	「何かがいいたくて」—アメリカのやきもの界	中村 鈴平	芸術新潮	257
マスター・クラフツマン—高岡重蔵	小池 光三	芸術新潮	260	戦後彫刻と共に—彫刻応援団長の弁(1),(2)	中村伝三郎	絵	91,92
墨と油	小泉 秀雄	ア ー ト	19—2	十一面千手観音像	錦戸 新観 読 売		12.12
60日間世界見て歩き(16),(17)完	郡山 鉄郎	中 美	189,190				
孤島ふうらい私記(1)	酒井 忠康	絵	94				
ハーバート・リードの墓参り	〃	芸術新潮	260				



千二百二十回のお水取	西口紋太郎	芸術新潮	256
私の肖像	西脇 友一	京都夕刊	3.6
嵯峨の緑<滴音>	早川 幾忠	京 都	6.18
ホイジンガの再発見	林 邦夫	毎日夕刊	4.12
アトリエとなったわが家	針生 夏木	芸術新潮	264
日本始源文化の世界性	樋口 清之	国際文化	210
失礼な画評 (2)	彦坂伊太郎	絵	89
グリーン・ネウァルトの住んでいた町	土方 定一	ス	90
尺八と越前和紙<交遊抄>	平山敏治郎	日 経	3.17
フェノロサをしのぶ	古川 久	毎日夕刊	3.22
奈良を去る	前川佐美雄	芸術新潮	254
南蛮文化研究の系譜	松田 毅一	読 売	1.13
芸術というもの<滴音>	松井 文子	京 都	2.12
名古屋という町・古い面新しい面	三浦 小春	絵	83
五十周年を迎えた東洋陶磁学会	三上 次男	芸術新潮	261
水尾比呂志氏<若者と1時間>		京 都	7.24
美津島徳蔵<CLOSE UP>		芸術生活	267
私の肖像	皆川 泰蔵	京都夕刊	5.22
燃焼と怨念の美学	三村 翰	S D	85
嘘偽・抑圧・追放—ぬりこめられた空間	宮内 康夫	ス	86
会津八一の画技	宮川 寅雄	芸術新潮	262
登り窯落成<滴音>	宮永 理吉	京 都	7.16
波に乗る<茶の間>	村田勝四郎	毎日夕刊	2.6
ウガンダの土器	森 淳	朝日夕刊	5.31
私のインド紀行	森川 章二	芸術新潮	257
ブラスの拓本採集	諸泉 陽子	ス	262
パリは美術の都たりうるか	安井 取蔵	絵	84
ヨーロッパ厄落し旅行<キャンパスの裏>	安田 順江	求 美	7
わが美術修業の半世紀 1~20	柳 亮	東京夕刊	9.21~10.22
肉儀と戦争と狐面とビートルズ	矢野 真	芸術新潮	261
もう一つのルネサンス<本の神話学・5>	山口 昌男	中央公論	2
死の想念	山本 太郎	絵	87
タイ・わがマザーランド	横田 仁郎	日 経	12.6
ほろび行く故郷	吉村 貞司	京 都	11.29
ハーバート・リードの墓参り	酒井 忠康	芸術新潮	260
二泊三日・文化財の旅			

18. 伊勢路・熊野路	服部 貞蔵	月刊文化財	88
19. 甲斐路	伊藤 祝孝	ス	89
20. 房総路	高橋 在久	ス	90
21. 西海路—南蛮・唐・紅毛文化の跡		ス	91
22. 武蔵野	大護 八郎	ス	92
23. 会津路	鈴木 啓	ス	93
24. 奥美濃路・奥飛驒路	後藤 時男	ス	95
25. 尾張・三河路	木村 篤治	ス	96
26. 陸奥路	森山泰太郎	ス	97

時評・その他

<時 評>

情念的な画家素描	小森 盛	ア ー ト	19—2
新人ブームに一苦言<美術三十六峰>	(東)	ス	19—3
抽象画家のデッサン<ス>	(北)	ス	ス
新しさ<現代美術論>	上野 照夫	ス	ス
特集 狂気と社会			
歴史のなかの狂と死<対談>	司馬遼太郎 鶴見 俊輔	朝日ジャーナル	1.1
マンガにとりついた狂気	酒井角三郎	ス	ス
<文化ジャーナル>			
環境芸術か観念芸術か—70年の美術界をふりかえる	(C)	ス	ス
日本美術のジレンマ?—グッゲンハイム展の反響	(SOR)	ス	2.5
パウハウスの虚像と実態—国立近代美術館の展覧会を機に	(SOR)	ス	3.12
「位置と場」への探求—グッゲンハイムの国際展	(MOR)	ス	4.2
女性の大美術家はいないか—ウーマン・リブと美術	(SOR)	ス	4.16
住民不在の「21世紀の日本」—官僚的発想のビジョン論	(SSS)	ス	5.14
「人間と自然」をめぐる状況—第10回現代日本美術展の明暗	(SOR)	ス	5.28
中止になったハーケの個展—美術館の政治的判断	(SST)	ス	6.4
建築家の体質を問う—不毛に終わった公開討論会	(FID)	ス	7.16

定期刊行物所載文献

久々にクリストの大作—溪谷にかけたカーテン	(MOR)	朝日ジャーナル	7.23	板囲いの装い—板囲いに援用された堀田一牛の印刷パネル	中原 佑介	S	D	79
“人間と大地のまつり”—連帯を摸索する若者の集り	(END)	〃	8.13	宇宙へ伸びる赤い線条—現代モニメント考(上),(下)	タル・ストリーター 有馬宏明訳	〃		80,81
都市を解放する試み—ソンスピーク71	(SOR)	〃	8.20—27	生熊学的コミュニケーション—音楽ルポルタージュ	ヨシダ・ヨシエ	〃		84
人間と大地は復権されたか—アングラまつりとなった集会	(END)	〃	9.10	皮膚感覚と空間性—アブラアム・モルの論文をめぐって	V・チハーコバー	〃	〃	
突破口への模索—グローバル・コミュニケーション	(3E)	〃	9.24	宵暗通行記—人間と大地のまつり	東野 芳明	〃		86
環境計画の論理の挫折—天皇の道路と住民運動の関係	(S, S)	〃	10.8	意識のなかの「広場」の闘い—人間と大地のまつり	ヨシダ・ヨシエ	〃	〃	
素材生かせぬうらみ—二つの野外彫刻展	(END)	〃	10.15	<読書室>				
因襲からの解放—マッド・アマノ氏の投じた波紋	(EE)	〃	10.22	遊びにおける反知性—ロジェ・カイヨワ「遊びと人間」など	竹内 健	〃		75
90歳のピカソと新世代—フランス誌の特集から	(SOR)	〃	12.3	虚構と現実の間	石崎浩一郎	〃		76
観客の参加で成立する作品—ニューヨークのオノ・ヨーコの個展	(RIA)	〃	12.10	夢の視力	飯島 耕一	〃		77
新しいオークション発足—市場ルール確立の一石となるか	(MOR)	〃	12.17	狂気の探索者—アンリ・ミショーをめぐって	坂崎 乙郎	〃		80
現代芸術の疲弊—第7回パリ青年ビエンナーレに参加して	中平 卓馬	〃	12.10	フィーリング	蟻 二郎	〃		81
移動した欧州美術の中心	飯田 善国	朝日夕刊	1.12	「土」への祝祭—ミロへの視角	鶴岡 善久	〃		82
円空の生年「壬申生れ」の自署発見	土屋 常義	〃	1.28	ユートピア意識の諸層	渡辺 武信	〃	〃	
美術の大衆化—西ドイツの場合	三木 多聞	〃	4.26	日本のなかの朝鮮	神代雄一郎	〃		83
現代のキッチ—エセ芸術への警鐘	(像)	〃	5.15	飛べない翼—状況としてのシュルレアリスム	鶴岡 善久	〃		84
美術 1971 年によせる私の雑感	小川 正隆	絵	83	「解釈」と「構成」を結ぶ象徴論	多木 浩二	〃		85
1971 年の回顧	三宅正太郎	〃	94	「反解釈」の反解釈への試み	V・チハーコバー	〃		87
<SDコラム>				美術季評	東野 芳明	季刊芸術		5—1
千載一遇の機—現代芸術における人間中心主義批判	藤枝 晃雄	S	D	77	坂崎 乙郎	〃		5—2
高松次郎が板囲に描いた<影>をめぐって	中原 佑介	〃	〃	〃	小川 正隆	〃		5—4
<影>と骨折り損	(H)							
1/20の命運	針生 一郎	〃	79	日本洋画壇「71年展」の残したも	求 美			7
都市の美観と表現の自由—大阪府寝屋川市のピラはり規制事件				「五都展」その実態と方向を洗う	中垣 壮	〃	〃	
				<目・め・メ>				
				写楽・魯山人……そして現代	米倉 守	〃		8
				京都—東京	〃	〃	〃	
				制作時の状態が最適	〃	〃	〃	
				“守り”から“攻め”へ	〃	〃	〃	9
				展示の前でティーチ・イン	中垣 壮	〃	〃	

若い人の人気	米倉 守 求 美 9	芸術は職業たりうるか	中 美 195
<求美ジャーナル>		異端ブーム	〃 196
東京偏重のなかの関西	亀田 正雄 〃 8	代用品芸術	〃 197
公募展の季節におもう	日野耕之祐 〃 9	ドル・ショック	〃 198
地球をめぐる溝一彫刻シンポジウム報告	(北) 京 都 5.12	贋作と文化国家の美術振興	〃 199
ニューヨーク画壇昨今	鈴木 健二 〃 8.13	ことしの美術界を回顧して	〃 200
70ユーゴ国際彫刻家シンポジウム報告<滴音>	村上 泰造 〃 12.10	<デザイン戯評>	
危うい日本美術	橋本 喜三 芸術新潮 253	デザイナー、セールス時代	〃 192
<フットライト>		都知事選とデザイナー	〃 〃
華々しい京都芸大の新人たち	乾 由明 〃 〃	ドイツ映画回顧上映	〃 〃
デパートの売る日本の新人	北村 由雄 〃 255	最近見聞きしたこと	〃 193
クラフト運動の挫折	神代雄一郎 〃 260	<デザインフォーカス>	金子 喬彦
パリから見た絵画の大衆化	安井 収蔵 芸術生活 258	紙の未来	〃 194
改善されたい日本文化紹介—フランス・ヴァロリス国際陶芸ビエンナーレへの参加を推進して	長谷川 栄 国際文化 201	後の祭のわびしさ—第9回東京国際見本市	〃 〃
若い世代の日本画の情況—第1回山種美術館賞を通して見て	江川 和彦 三 彩 269	スーパーグラフィックとは何か	〃 〃
<美術時評>	峯村 敏明	伝統玩具復活の意見	〃 〃
属性に注ぐまなざし	〃 268	2冊の作品集	〃 195
記憶への恐怖	〃 269	2冊の絵本	〃 〃
体験の共同性	〃 270	デザイナーの個展	〃 〃
態度は形になった	〃 272	「私の絵画はイメージである」	〃 〃
フィクションの自覚	〃 273, 276, 281	本の美学	〃 196
裸形に瀕する美術家	〃 279	参院選・宣伝合戦雑感	〃 〃
美術大衆化のからくり<東風西風>	中央公論 9	素材と技術の相克	〃 〃
1970年の美術界を回顧して	結城健之介 中 美 190	エディトリアルデザインと若者	〃 197
<美術戯評>		日本のいす—100	〃 〃
《美術手帖》文化	〃 191	日本のカルトグラフィ	〃 〃
ポルノグラフィ全盛	〃 〃	ユージン・スミス写真展	〃 198
光明に至る病	〃 〃	亀倉雄策展	〃 〃
芸術家のストライキ	〃 192	image in print 展のもたらしたものの	〃 199
安井賞展の意味	〃 〃	プラザ・ディックの閉館に思うこと	〃 〃
タレント養成所化したアカデミー	〃 〃	産業と社会と文化とのかかわり合い	〃 200
絵画の大衆普及化時代にそなえて	〃 193	コンセプト・アンド・フォルム展	〃 〃
若者のアンチック・ブーム	〃 194	<デザイン月評>	
		若者とポスター	飯野 光夫 〃 194

定期刊行物所載文献

「老雄(剣持勇)の死」から考えたこと	飯野光夫	中 美	194	コンセプチュアル・アート二題	峯村 敏明	美術手帖	339
自然と文化	〃	〃	196	吉田、小清水、李の個展	東野 芳明	〃	340
若者にとって近代合理主義とは何か	〃	〃	197	針生一郎	高松 次郎	〃	〃
ゆとりのある自分自身の生活を	〃	〃	198	高松次郎の「台本」	竹水 茂生	〃	〃
デザイナーの良心	〃	〃	199	静岡県芸術祭「死亡届事件」	〃	〃	〃
飯野先生への九つの質問	安藤 紀男	〃	200	豪華画集「絵次元」	田村 敦子	〃	〃
日本画の行方	久富 貢	東京夕刊	2.8	高松次郎の屏	倉俣 史郎	〃	〃
美術71年を顧みる	植村鷹千代	〃	12.21	毎日「現代展」の構想	針生 一郎	〃	341
版画ブームの意味するもの	中原 佑介	日 経	1.23	東野芳明	山口 勝弘	〃	〃
名画流出<文化往來>	宮原特派員(ロンドン)	〃	2.26	第7回バリ青年ビエンナーレ参加の構想	岡田 隆彦	〃	〃
回顧展ばかり	〃	〃	4.20	ソ連所蔵名作百選展	〃	〃	〃
チチアーノを渡すな<文化往來>	市岡特派員(ロンドン)	〃	7.8	バウハウスという神話	市川 雅	〃	〃
現代日本陶芸界が直面している今日の問題	吉田 耕三	日本美術	75	佐伯俊男の作品集	〃	〃	〃
異端の季節	鈴木 進	〃	79	グレイト・ホワイト・ライト	飯村 昭子	〃	〃
現代美術界の三大公害と四大苦言	木村 東介	〃	〃	アメリカ現代作家の版画展	岡田 隆彦	〃	342
美術時評(8)~(17)	平井 亮一	美術グラフィック	20-1~20-12	峯村敏明	山岸 信郎	〃	〃
<今月の焦点>				形なき美術の形なき展覧会—京都アンデパンダン展	峯村 敏明	〃	〃
70年美術批評の動き	針生 一郎	美術手帖	337	ワイヤーピース展	ヨシダ・ヨシエ	〃	〃
李禹煥	岡田 隆彦	〃	〃	「脱学生」のミニコミ・ゲリラ	針生 一郎	〃	〃
第1回ソウル国際版画ビエンナーレ展	東野 芳明	〃	〃	ライトの傑作「ユニティ教会」修復計画	〃	〃	〃
横浜市民ギャラリー「今日の作家」展	峯村 敏明	〃	〃	前衛画廊の20年	北村 由雄	〃	〃
「幻想のインテリア」展	赤根 和生	〃	〃	河口竜夫の「172800秒」展	赤根 和生	〃	〃
建築誌「A+U」創刊	〃	〃	〃	観念の季節の凋落	〃	〃	343
高松次郎の十年を回顧	藤枝 晃雄	〃	〃	藤枝晃雄	田中 信太郎	〃	〃
多摩美大その後	〃	〃	〃	ヨーロッパ巨匠水彩素描展	穴沢 一夫	〃	〃
泥臭く悪達者—「絵金展」	辻 惟雄	〃	〃	オブジェ「頭脳の塔」	岡田 隆彦	〃	〃
ヨハン・アルデンドルフ展	桑原 住雄	〃	〃	ルネ・マグリットの大回顧展	安井 収蔵	〃	〃
ごった混ぜ文化	中原 佑介	〃	339	堀浩哉「REVOLUTION」	山崎 秀人	〃	〃
第7回バリ青年ビエンナーレ日本代表・岡田隆彦	中平 卓馬	〃	〃	ポスト万博の動き	宇佐見 圭司	〃	〃
尾ヶ島消滅プラン・キャンセルアート	〃	〃	〃	名古屋でもゴミ騒動	岩田 信市	〃	〃
コンクリート・ポエトリー展	新国 誠一	〃	〃	JAFは何処へ行く	三木 多聞	〃	344
				石子順造	谷川 晃一	〃	〃
				現代美術の商品学	北村 由雄	〃	〃
				彦坂尚嘉「REVOLUTION」	高松 次郎	〃	〃



野外彫刻展「現代世界の人間像」の問題点	阿木 遍	美術手帖	344	「プリント・アート」創刊	美術手帖	349
「岩佐又兵衛」展	辻 惟雄	シ	シ	「コンセプト&フォルム」展	幸村真佐男	シ
ゴミ裁判その後	岩田 信市	シ	シ	デザインと写真著作権問題 ①	木村 恒久	シ
草月アートセンターの解散	波多野哲朗	シ	シ	シ ②	丹野 章	シ
五月女 幸雄 個展「The Bodies」		シ	シ	<世界の動向>		
パリ・ビエンナーレの問題点	中原 道高	シ	345	「マルティプルス」		シ 337
坂崎二郎	野村 太郎	シ	シ	ウォール・ペインティングさかん		シ
「グラフィック・プリント・USA」での作品改作	海上 雅臣	シ	シ	ぼろ着のアンディ・カール・アンドレと「政治」		シ 339
武蔵野美大の「冬」	吉益 宏行	シ	シ	EAT・最近の動静	中谷美二子	シ 341
デザインと写真著作権問題	木村 恒久	シ	シ	ヤン・ディベッツの「概念芸術」		シ
高橋由一とその時代展	佐々木静一	シ	346	芸術家と「国旗」		シ 342
高階秀爾	由良 君美	シ	シ	ニューヨークの不景気風		シ
新画廊の傾向をみる	三木 多聞	シ	シ	だれでも芸術家になれるか	中原 佑介	シ 343
ウォーホールの変貌	池田満寿夫	シ	シ	グッゲンハイム展も衣がえ		シ
音 会	ヨシダ・ヨシエ	シ	シ	「モナ・リザ100」パリで微笑む	海上 雅臣	シ
京都市美術館怪文書事件		シ	シ	マンゾーニの「糞の罐詰」事件	阿部 展也	シ 344
和歌山近代美術館の前衛運動	赤根 和生	シ	347	ハンス・ハーケの個展中止	中原 佑介	シ
ヨシダ・ヨシエ	辻村 和子	シ	シ	脱げば入れる美術館		シ 345
名古屋芸大紛争報告	鷲見和紀郎	シ	シ	ヴォルフ・カーレンの個展	V・チハーコヴァー	シ 346
「ユートピアQ&A1981」展	中谷美二子	シ	シ	「ソングベーク71」展	岡田 隆彦	シ
廣作者ド・ホーリィ		シ	シ	「ソングベーク71」展再報	松沢 宥	シ 348
今年の「サンパウロ・ビエンナーレ」展	本間 正義	シ	348	「ギルバート&ジョージ」		シ
刀根康尚	川仁 宏	シ	シ	ニューヨークの現代美術と日本人美術家たち		毎日夕刊 2.18
JAF展の国外反響		シ	シ	71年の観念美術	亀田 正雄 安井 収蔵	シ 3.11
二代目「セントラル美術館」開館		シ	シ	現代共産圏の絵画	安井 収蔵	シ 6.23
兵庫近美「今日の100人」展	赤根 和生	シ	シ	多様な展開・この一年・文化の世界		シ 12.22
赤井富士雄		シ	シ	<フラッシュ>		
「現代ドイツ美術展」開催	岩崎 吉一	シ	シ	岸田劉生の触覚的世界	高階 秀爾	みづゑ 792
「立体桜画報」展	松田 哲夫	シ	シ	第7回を迎えた国際版画ビエンナーレ	針生 一郎	シ 793
コレクター雑誌拝見	早友惣十茂	シ	シ	現代日本画の限界	吉村 貞司	シ 794
虹による変容の世界	永井 一正	シ	349	表現派からバウハウスへ	中山 公男	シ 795
中原佑介	石子 順造	シ	シ			
Bゼミリポート		シ	シ			

定期刊行物所載文献

具象絵画の再興	桑原 住雄	みづゑ	796	型にはめらな図画の 評価	(Y)	朝 日	2.23
海老原喜之助展	針生 一郎	シ	797	美術教育における創 造性の形成と造形性	玉生 正信	美 学	86
オポチュニズムへ の傾斜—第10回現 代日本美術展	藤枝 晃雄	シ	798	人格の全面発達と美 的教育	熊田 真幸	シ	シ
大道芸人歌川国芳	池田 龍雄	シ	799	諸大学における美学 講座等開設に関する 資料	藤田 一美	シ	87
上村松園一女が描 く女	富岡多恵子	シ	801	版画教育 20 年	太田 耕士	読 売	8.10
高橋由一の位置	原田 実	シ	シ	《美術館》			
山口薫回顧展	桑原 住雄	シ	802	ソ連美術館旅行の心 得—プシキンを中 心に	寺田 千壘	絵	93
ローマ・バロック 展	中山 公男	シ	シ	気楽に立寄れる美術 館を都心に—東京セ ントラル美術館開設 に際して<求美 ジャーナル>	丸山 正武	求 美	9
二つの現代彫刻展	乾 由明	シ	803	開かれた、郷土博 物館	河岡 武春	京 都	4.2
ルオー—生誕百年展	村木 明	シ	シ	美術に親しむ地方巡 回展は年々ふえる	中村 溪男	シ	9.28
鳥海青児の世界	粟津 則雄	シ	シ	ゴヤ展争奪戦	瀬木 慎一	芸術新潮	262
<ワールド・トピッ クス>				<美術館・博物館め ぐり>			
KINETICS	峯村 敏明	シ	792	55. 神宮徴古館	山本 威	月刊文化 財	88
CON T ENPO- RARY JAPA- NESE ART	藤枝 晃雄	シ	793	56. 根津美術館	矢崎 格	シ	89
Happening & Fluxus	村木 明	シ	794	57. 千葉県立上総博 物館	石井 則孝	シ	90
Guggenheim International Exhibition 1971	三木 多聞	シ	795	58. 松浦史料博物館	越中 哲也	シ	91
Second Trien- anle India 1971	小倉 忠夫	シ	796	59. 都立武蔵野郷土 館	吉田 格	シ	92
Multiples—The First Decade	峯村 敏明	シ	797	60. 若松城天守閣郷 土博物館	小滝 利意	シ	93
Earth, Air, Fire, Water: Elements of Art	中原 佑介	シ	798	61. 北海道開拓記念 館	北川 芳男	シ	95
Art and Tech- nology	山口 勝弘	シ	799	62. 石川県立郷土資 料館		シ	96
SURRÉ A- LISME	岡田 隆彦	シ	801	63. 小川原湖民俗博 物館		シ	97
第11回サンパウロ ・ビエンナーレ展	小倉 忠夫	シ	802		本多 善典 山本 健二 白野 皓一 石川 浅大 下平 洋子 小林 且行 福岡 敏矩 三木 多聞	現代の眼	198
Septième Bien- nale de Paris	小川 正隆	シ	803	近代美術館は如何に あるべきか—友の会 会員にきく(座談会)	岩崎 吉一	シ	シ
走泥社の周辺<眼>	佐藤 雅彦	視 る	44	昭和45年度新取蔵作 品について(国立近 代美術館)		シ	シ
一つの場合<ク>	平野 重光	シ	47	新取蔵作品の紹介		シ	201
免罪符を捨てよう <ク>	田中日佐夫	シ	48	小倉遊亀「浴女 その二」	藤井 久栄		
埋めがたい断層 <ク>	富山 秀男	シ	49	菱田春草「賢首菩 薩」	シ		
古美術品の海外流出	鈴木 進	読売夕刊	2.2	小林古径「唐蜀黍」	シ		
ヨーロッパの美術館 と市民社会	村木 明	シ	2.6				
美術の秋の時代 錯誤	木村 重信	読 売	8.24				
奇人画家ブーム「異 端」の意味と現代性	鈴木 進	読売夕刊	8.26				
若冲の世界	辻 惟雄	読 売	9.28				
美術の一年	村瀬 雅夫	読売夕刊	12.21				
<美術教育>							
読みなおす平和のた めの教育—競争否定 するH・リード		朝 日	2.23				

横山大観「南溟の夜」	三木 多聞			新指定の文化財	文化庁文化財保護部	月刊文化財	92
川端竜子「金閣炎上」	〃			近代化と伝統手工業の変遷<開発と文化財>	南 邦男	〃	93
横山操「塔」	〃			木曾妻籠宿の保存	太田博太郎	〃	96
東山魁夷「映像」	押原 典子			新指定の文化財		〃	〃
小野竹喬「池」	〃			紀伊風土記の丘の民家	浜島 正士	〃	98
瑛九「海辺の孤独」	〃			新指定の文化財	文化庁文化財保護部	〃	99
平塚運一「午後の飛石 奈良」	吉田 耕三			金属製遺物の保存法—宮山古墳出土遺物を中心として	沢田 正昭	〃	〃
各務鈺三「クリスタル花瓶」	〃			<美術市場>			
加守田章二「炷器長方皿」	〃			コレクター—年生	丹羽 滋	絵	84
夢と創意の陳列—「博物館お国ぶり」拜見	石田 尚豊	日 経	6.1	パリより安いニューヨーク	安井 収蔵	〃	85
陝西省博物館三件一文革後の中国を訪ねて	宮川 寅雄	美術グラフ	20—11	国際相場変動と美術品の流れ	脇村義太郎(談)	〃	94
地方美術館の課題—管理主義への反省	本間 正義	読売夕刊	5.27	商人からみた骨董輸出	田中 稔	芸術新潮	255
新都美術館の構想をめぐって—関係者の声	(村瀬)	読 売	8.31	絵は高い方がお得	田中日佐夫	〃	257
《文化財》				仙台の阿部次郎コレクション	佐藤 明	〃	〃
東寺から流れた国宝・重文	青山 茂	芸術新潮	258	一千万円のピカソの版画	嘉門 安雄	〃	258
売られた白毫寺の塔	下沢 剛	〃	260	アメリカのコレクター—一行—東京での五日間	藤枝 晃雄	〃	〃
新指定の文化財	文化庁文化財保護部	日刊文化財	88	オークションよもやまばなし	木村 東介	〃	261
日本における観光と文化財の保護	今 日出海	〃	〃	女流画商マーサ・ジャクソンのあつめた絵<フットライト>	藤枝 晃雄	〃	〃
文化財保護法施行二十周年記念式典(随想)	高橋誠一郎	〃	〃	ウォーレス・コレクションの正午	友部 直	〃	262
文化財保護法施行二十周年記念入選論文				ドル・ショック—日本美術市場に異状あり		〃	263
現代生活と文化財(文化庁長官賞)	武田 英子	〃	〃	<絵の相場>			
土木事業と文化財(朝日新聞社賞)	西阪 正勝	〃	〃	6. 画家の黄金時代がやって来る	邱 永漢 求 美	6	
大和今井町の町並み保存<開発と文化財>	伊藤 延男	〃	89	7. オリジナリティが絵の値段をきめる	〃	〃	7
京都・奈良伝統文化保存シンポジウム	伊藤ていじ	〃	〃	8. 流行画家になるための条件	〃	〃	8
伯耆国分寺の発掘調査	宮沢 智士 亀井 熙人 佐藤 興治	〃	90	9. 絵の投資価値はどんなものか	〃	〃	9
温泉寺本堂の修理	鈴木 嘉吉	〃	91	特集 海外画家の作品価値をどう考える「オールフランス画壇新人展」の場合		〃	6
文化財の模写・模造	倉田 文作	〃	〃	フランス絵画の美名におどった後進国コンプレックスか?	針生 一郎		
昭和四十六年度文化庁関係の展覧会開催計画		〃	〃	美の大衆化は高島屋の使命	内山 有造		
文化財保護の事業計画—昭和46年度予算を中心として	中西 貞夫	〃	92				

定期刊行物所載文献

保証のない絵はクズ同然	為永 清司	求 美 6	歴史的な出会い	田中 稷		
賞一その意味その虚実	中垣 壮	シ	父は佐伯に異様な因縁を感じていた	山本 清雄		
政界にモテる画伯たち	戸川猪佐武	シ	山本発次郎遺稿			
女画商泣き笑い<キャンパスの裏2>	佐々木美栄子	シ	山本さんとモジリアニの「裸婦」のこと	西川 武雄		
特集 絵の大量販売時代がやってきた			美術品価格のオープン化への礎石<求美ジャーナル>	安井 収蔵	求 美 9	
必要な「真の大衆」に根ざした考え	飯田 祐三	シ	美術の年鑑価格番付の役割りを問う一連盟ニュース投書の波紋から<求美レポート>	中垣 壮	シ	シ
気軽に選択できる利点	加藤 賢治	シ	大阪フォーラム画廊一松村健			
大きいことば	宗 左近	シ	カワスマ画廊一河澄清男<画商訪問・9>	亀田 正雄	シ	シ
真の商品価値とは	長谷川公之	シ	一哉堂画廊一小林正治郎			
二つの顔をもつ絵画の特徴	山崎 省三	シ	村越画廊一村越伸<2>	安井 収蔵	シ	シ
好きだから私は描く	大歳 克衛	シ	女性画商(堀井照子)の意見<画廊にて>	(藤)	京 都	4.2
時の流れ	小松崎邦雄	シ	芸術院会員とそのあり方一補充選挙に当たって	(山田記者)	シ	9.10
特集 注目され始めた彫刻市場		シ	絵を買う人々	山本 平	日本美術	75
現代日本彫刻への道	中村伝三郎		好みと値段	佐藤 雅彦	毎日夕刊	11.10
「彫刻ブーム」はそこまできている	村上 政之 中里 耕三		「奇」ナル「肉体」25万円	(大岡信、) 加納光於	シ	11.15
ヨーロッパの彫刻市場など	飯野 毅一		画壇新人ブームの裏側	嘉門 安雄	説 売	4.16
男性的魅力にあふれる彫刻	鹿内 信隆		《真贋・他》			
彩壺堂一丸山正武 日本橋画廊一児島徹郎<画商訪問・7>	安井 収蔵	シ	画商四十五年のあれこれ<真贋・90>	長谷川 仁	芸術新潮	258
ロンドンで催された2大オークション<海外通信>		シ	戦後最大の美術品盗難事件	小川 熙	シ	261
オークションのすすめ<求美ジャーナル>	三木 多聞	シ	落着した西洋美術館の贋作事件		シ	263
パリの画商たち<2>	徳大寺公英	シ	ニセモノのタネは尽きまじ一春峰庵事件の思い出	(竜平)	京 都	10.8
美術品の値段<2>	嘉門 安雄	シ	古陶磁・模作と贋作	宇野 三吾	毎日夕刊	3.16
売った値段で引き取ります<2>	森 哲美	シ	名画贋作・その厚いベール	村木 明	読売夕刊	10.16
「新人ブーム」の受け取り方一ある美術記者の苦言	日野耕之祐	シ				
梅田画廊一土井憲治 日仏画廊一玉田勝巳<画商訪問・8>	亀田 正雄	シ				
吉井画廊一吉井長三 入重州美術店一小川有三<2>	安井 収蔵	シ				
特集 山本コレクションの秘密一佐伯祐三の強烈さに魅かれたコレクター山本発次郎		シ	東京国際版画ビエンナーレ展を見て	小川 正隆	朝日夕刊	1.9
		9	八樹会展		シ	1.13
			ジャンセム個展		シ	1.16

展覧会批評(主要新聞)



日本画三人展	朝日夕刊	1.16	豊田一男個展	朝日夕刊	3.17
脇田和の版画近作展	〃	1.20	原精一滞欧小品展	〃	〃
完全複製された東海道五十三次展	〃	1.22	ピエール・クリスタン展	〃	〃
清塚紀子個展	〃	1.23	秀島由己男個展	朝日夕刊	〃
堀口泰造テラコッタ彫刻展	〃	〃	宮崎進個展	〃	〃
吉川勉展	〃	〃	金山平三の芝居絵	〃	3.20
1回山種美術館賞展	小川 正隆	〃 1.29	AYIO 展	〃	3.24
井上洋介の版画	〃	〃 1.30	ポオパンとの出会展	〃	〃
選抜展—売出される新人群	〃	〃 2.3	*71 新鋭選抜展	〃	3.26
斎藤隆展	〃	〃	高井貞二個展	〃	3.27
プチ・パレ美術館の近代絵画展開く	〃	〃 2.5	リチャード・リンドナー展	〃	〃
小野・渡辺展	〃	〃 2.6	ロルジュ—展	〃	〃
ビュッフエ個展	〃	〃	鍋島紀雄遺作展	〃	3.31
グッゲンハイム展に出品する高松次郎	〃	〃 2.8	米寿記念「前田青邨展」に寄せて	小川 正隆	〃 4.2
昭和会展	〃	〃 2.10	伊坂芳太良遺作展 (竹)	〃	4.3
山岸俊治個展	〃	〃 2.13	東方美術展	〃	〃
五山会展	〃	〃	春の院展	〃	〃
原精一展	〃	〃 2.15	ピカソ90歳記念展	〃	〃
古沢岩美代表作展	〃	〃	藤谷虹児個展	〃	4.5
ある版画展—マスクレイプさんのための	朝 日	2.16	奥谷博展	〃	4.7
閃光会展	朝日夕刊	2.20	ブラジリエ展	〃	〃
矢崎虎夫彫刻展	〃	〃	恵俊彦個展	〃	〃
富永太郎の遺作展	〃	〃 2.22	画業50年小磯良平展	小川 正隆	〃 4.9
池田満寿夫の里帰り個展	〃	〃 2.24	池田満寿夫個展	〃	4.10
彩虹会展	〃	〃	重田良一展	〃	〃
柴宮忠徳個展	〃	〃	春の公募展から—光風会、創元会、モダンアート協会、日本版画協会	小川 正隆	〃 4.13
文人の遊歴	鈴木 進	〃 2.25	佐々木四郎個展	〃	4.14
現代日本新人絵画展	〃	〃 2.27	ザーレンバッハ彫刻展	〃	〃
グレイト・ホワイトライト音況演奏会	〃	〃 3.1	田淵安一個展	〃	〃
荻須高德新作小品展	〃	〃 3.3	海老原喜之助遺作展	〃	4.16
向井久万作品展	〃	〃	杉山寧の芸術	小川 正隆	〃 4.17
「ドイツ表現派展」にふれて	小川 正隆	〃 3.4	ボイス展とグッゲンハイム展をみて	東野 芳明	〃 4.20
清水崑「女かつば新作展」	〃	〃 3.5	岡野浩二展	〃	4.21
金山平三「全芝居絵展」	朝 日	3.8	大沢康之個展	〃	〃
ピカソの銅版画展	朝日夕刊	3.9	加倉井和夫作品展	〃	〃
小清水漸個展	〃	〃 3.10	木村忠太展	〃	〃
建島覚造個展	〃	〃	文人画家・冬青個展	〃	4.23
14回安井賞展	〃	〃 3.11	島田章三個展	〃	4.24
「マウハウス50年展」に寄せて	小川 正隆	〃 3.12	西村功個展	〃	〃
香月泰男展	〃	〃 3.13	日本現代工芸美術展	〃	〃
三月会展	〃	〃	「古代アンデス文明展」	〃	〃
			近代日本美術における1930年	〃	4.28
			古代アンデス文明展をみて	岡本 太郎	〃 5.1

定期刊行物所載文献

「ジャポン・ジョコ ンド展」		朝日夕刊	5.1	中谷貞彦展	朝日夕刊	6.19
「ソ連所蔵名品百選 展」をみて	小島 信夫	朝 日	5.4	熊谷守一展	〃	6.26
横山泰三個展		朝日夕刊	〃	清流会展	〃	〃
春の公募展から一春 陽会、国画会	小川 正隆	〃	5.6	飯塚八郎個展	〃	6.30
香月泰男個展		〃	5.8	和田徹個展	〃	〃
棟方志功の版画の世 界	小川 正隆	〃	5.11	現代ソビエト絵画展	〃	7.2
青木大乗近作展		〃	5.12	加藤昭男彫刻展	〃	7.3
雨晴会展		〃	〃	五百住乙展	〃	〃
扉会油絵展		〃	〃	藤森叡三個展	〃	〃
グラフィック・プリ ント・USA		〃	5.15	馬淵美意子の追悼展	朝 日	7.6
宇佐美圭司展		〃	〃	枝英会展	朝日夕刊	7.7
スウェーデン国王所 蔵中国古美術展		〃	5.18	太陽展	〃	〃
意欲的なグラフィック ・デザイナー		〃	5.19	近世異端の芸術展	〃	7.8
ザ・ボディーズ		朝 日	5.20	両陛下ご訪欧宝物展	朝 日	7.9
現代日本美術展を見 て	小川 正隆	朝日夕刊	5.21	川島織物インテリ ア・ファブリックス 展	朝日夕刊	〃
新制作日本画春季展		〃	5.22	わたしのマリリン・ モンロー展	〃	7.9
走泥社展		〃	〃	神田日勝遺作展	〃	7.10
「ヨーロッパ巨匠水 彩素描展」をみて	麻生 三郎	〃	5.24	木沢定一滯欧作品展	〃	〃
彩昭会展		〃	5.26	遠藤昭吾個展	〃	〃
無窮会展		〃	〃	中川紀元展	〃	〃
清水多嘉示の彫刻・ 絵画自選展		〃	5.28	益田義信近作展	〃	〃
井上善教展		朝日夕刊	5.29	山本文彦個展	〃	〃
高岡惣七展		〃	〃	川島猛個展	〃	7.14
モンティセリ展		〃	〃	バルドン展	〃	〃
奇想の画家歌川国芳		〃	5.31	「彩交会」の24回展	〃	7.17
宮本三郎作品展		〃	6.2	「暖話会」「風日会」な どの総合展	〃	〃
高柳裕の版画展		〃	6.5	市川洋個展	〃	7.24
中村徳三郎作品展		〃	〃	沢田政広彫刻展	〃	〃
ポール・ヴァンダー リッヒ展		〃	6.9	森町長子展	〃	〃
アントニオ・セギ展		〃	〃	斎藤寿一展	〃	7.28
タル・ストーリータ展		〃	〃	レオノール・フィニ 展	〃	〃
世界絵本作家の原画 展		朝 日	6.10	渡辺栄一発表展	〃	〃
25回目を迎えた女 流画家協会展		朝日夕刊	6.11	6回「ジャパン・ア ート・フェスティバル」	小川 正隆	朝日夕刊 7.31
館岡豊照個展		〃	6.12	トルコ中世壁画展	朝 日	8.6
村上肥田夫新作油絵 展		〃	〃	1回「版画の星座」選 抜展	朝日夕刊	8.7
ルネ・マグリットの 魅惑	小川 正隆	〃	6.14	注目される版画展三 つ(木村光佑、田村 文雄、駒井哲郎)	〃	8.11
田中阿喜良展		朝 日	6.16	金島桂華展	〃	8.13
神下雄吉展		朝日夕刊	〃	哀しき二等兵展	朝 日	8.14
堤コレクシオン展		〃	6.17	佐野繁次郎展	朝日夕刊	〃
川本末雄展		〃	6.19	寺島龍一油絵展	〃	〃
				イギリスの新しいグ ラフィズム1	〃	8.18
				田辺和郎展	〃	〃
				「ミゼレーレ」と映画 「ルオーの生涯」	〃	8.20

25回新樹会展		朝日夕刊	8.21	2回「版画グラン・ブリ展」		朝日夕刊	10.13
上村松園の芸術	小川 正隆	シ	8.25	荻須高德と鳥海青児	小川 正隆	シ	10.15
シュル美術賞展		シ	8.28	襲嘯の版画展		シ	10.16
「熊野」の美術展		シ	8.31	青山亘幹個展		シ	シ
樹展		シ	9.1	NONG個展		朝 日	シ
潮音会展		朝日夕刊	9.1	楠木清方回顧展		朝日夕刊	10.18
伊藤仁個展		シ	9.4	ローマ・バロック展	加藤 貞雄	シ	シ
小山田二郎水彩展		シ	シ	サントリー美術館開館10周年記念展		シ	10.19
下村良之介展		シ	シ	秋の公募展から一独立、二紀、自由	小川 正隆	シ	10.26
現代国際彫刻展によせて	小川 正隆	シ	9.7	ルオー・深い「告白」の世界	シ	シ	10.29
北原悌二郎個展		シ	9.8	新しいステンドグラス作品展—福沢一郎と大伴二三弥		シ	10.30
齋藤研個展		シ	シ	ギュスターブ・モローの作品展		シ	11.1
南天子画廊展 '71		シ	シ	「平安時代の彫刻」展		シ	11.2
襲嘯、池田満寿夫		シ	シ	現代の陶芸・アメリカ、カナダ、メキシコと日本		シ	11.4
野田哲也、吉原英雄		シ	シ	轟会展		シ	11.6
山口薫回顧展		シ	9.9	上村淳展		シ	シ
大久保作次郎の画業60年記念展		シ	9.10	香月泰男水彩展		シ	シ
入江一子個展		シ	9.11	鴨居玲個展		シ	11.10
小野末、平川敏夫近作風景展		シ	シ	福沢一郎展		シ	シ
平野遼個展		シ	シ	奥村土牛展		シ	11.12
小野竹喬氏の「天皇の世紀」原画展		シ	9.14	東山魁夷の世界—二つの展示に寄せて	小川 正隆	シ	11.13
秋の公募展から—二科、行動、院展	小川 正隆	シ	9.17	白根光夫作品展		シ	シ
北川民次個展		シ	9.18	鈴木信太郎個展		シ	シ
日野耕之祐展		シ	シ	アイズピリ展		シ	11.17
大歳克衛個展		シ	9.21	リラン個展		シ	シ
カレル・アペル展		シ	シ	ルジュアル展		シ	シ
五味悌二郎作品展		シ	シ	宮内庁・文化祭美術展		シ	11.18
10回国際形象展		シ	9.22	田村一男油絵展		シ	11.20
マリー・ローランサンの回顧展		シ	9.25	牧野邦夫個展		シ	シ
現代美術の源流		シ	9.27	私の公募展から—一日展	小川 正隆	シ	11.22
川崎春彦の近作展		朝 日	9.29	六彫展		シ	11.24
若冲の鶏	下村良之介	朝日夕刊	10.4	高松次郎展		シ	シ
日本伝統工芸展		シ	10.5	麻生蓉子個展		シ	11.27
織田広喜展		シ	10.6	奥村光正個展		シ	シ
野田好子展		シ	シ	半田富久石彫展		シ	シ
安井曾太郎水彩素描展		シ	シ	美濃古陶展観		シ	11.29
秋の公募展から—新制作協会、一水会、一陽会	小川 正隆	シ	10.8	現代ドイツ美術展を見て	小川 正隆	シ	シ
今井俊満展		シ	10.9	中野淳個展		シ	12.1
木内克展		シ	シ	井上公三個展		シ	シ
版画の10人展(池田、永井、襲嘯、田村等)		シ	シ	稲葉実展		シ	シ
沢村美佐子個展		シ	10.13	加山四郎「魚」の展		シ	12.4
中村善種展		シ	シ	二見彰—銅版画展		シ	シ

定期刊行物所載文献

正井和行作品展		朝日夕刊	12.4	米寿記念前田青邨展	寺田 千壑	東京夕刊	4.2
渡辺恂三個展		〃	〃	奥谷博展	〃	〃	4.9
米国で来年早々に文人画展		〃	12.10	画業50年小磯良平展	〃	〃	〃
ボルドー美術館名作展によせて	小川 正隆	〃	12.11	西山英雄展	〃	〃	〃
清水九兵衛彫刻展		〃	12.15	服部正一郎油絵展	〃	〃	〃
脇田愛二郎個展		〃	〃	大久保泰欧米作品展	〃	〃	4.16
ことしの回顧ベスト5	土方 定一 本間 正義 中原 佑介	〃	12.16	海老原喜之助展	〃	〃	〃
伊牟田経正個展		〃	12.18	杉山寧展	〃	〃	〃
極光会日本画展		〃	〃	ブラジリエ展	〃	〃	〃
鳳会展		〃	〃	光風会、創元会、モダンアート展をみて	坂崎 乙郎	〃	4.17
彫刻六人展(松村、桜井、広瀬、峰、淀井、中村)		〃	12.22	木村忠太展	寺田 千壑	〃	4.23
田中昇個展		〃	12.22	島田章三個展	〃	〃	〃
「現代の陶芸」展によせて		〃	12.25	春陽展、国展、東光展をみて	植村鷹千代	〃	5.4
東京国際版画展を見て	坂崎 乙郎	東京夕刊	1.13	ソ連所蔵名品百選展をみて	難波田龍起	〃	5.8
今日の日本画展	寺田 千壑	〃	1.16	牛島憲之、香月泰男森芳雄新作展	寺田 千壑	〃	5.14
吉川勉展	〃	〃	〃	五月会展	〃	〃	〃
ジャン・ジャムセン展	〃	〃	〃	4 回隊龍会展	〃	〃	〃
2 回女流画家合同展	〃	〃	〃	香月泰男個展	〃	〃	〃
堀口泰造テラコッタ彫刻展	〃	〃	1.22	松島正幸個展	〃	〃	〃
脇田和版画展	〃	〃	〃	棟方志功展	〃	〃	〃
刑部人油絵展	〃	〃	1.29	「ヨーロッパ巨匠水彩素描展」の感動	坂崎 乙郎	〃	5.16
20世紀名画展	〃	〃	〃	オスカ・ココシカエッチング連作展	寺田 千壑	〃	5.21
ビュッフェ新作風景画展	〃	〃	2.5	新制作日本画春季展	〃	〃	〃
渡辺武夫油絵展	〃	〃	〃	寺内萬治郎回顧展	〃	〃	〃
秀島由己男個展	〃	〃	2.12	清水多嘉示自選展	〃	〃	5.28
古沢岩美代表作展	〃	〃	〃	1 回陶光会展	〃	〃	〃
不遇の詩人画家・富永太郎展	〃	〃	2.16	池田満寿夫詩画集展	〃	〃	〃
立軌展	〃	〃	2.19	井上善教展	〃	〃	6.4
矢崎虎夫彫刻展	〃	〃	〃	8 回櫛会油絵展	〃	〃	〃
原精一滯欧小品展	〃	〃	〃	宮本三郎作品展	〃	〃	〃
丹阿弥丹波子銅版画作品展	〃	〃	〃	神下雄吉展	〃	〃	6.11
彩虹会展	〃	〃	2.26	中村徳三郎作品展	〃	〃	〃
パウハウス展を見て	柳 亮	〃	3.3	村上肥出夫新作展	〃	〃	〃
岩田久利硝子工芸展	寺田 千壑	〃	3.26	吉野泰代展	〃	〃	〃
高井貞二個展	〃	〃	〃	ルネ・マグリット展をみて	坂崎 乙郎	〃	6.16
鍋島紀雄遺作展	〃	〃	〃	川本末雄展	寺田 千壑	〃	6.18
パリ店(ためなが)開廊記念特別名品展	〃	〃	〃	近岡善次郎スケッチ展	〃	〃	〃
巨匠90歳記念ピカソ展	〃	〃	4.2	田中阿喜良展	〃	〃	〃
				三輪勇之助個展	〃	〃	〃
				熊谷守一展	〃	〃	6.25
				小林和作油絵展	〃	〃	〃
				清流会第23回展	〃	〃	〃
				柳瀬俊雄個展	〃	〃	〃
				向井潤吉油彩展	〃	〃	〃



飯塚八郎個展	寺田 千壘	東京夕刊	7.2	岩間正男個展	寺田 千壘	東京夕刊	9.3
近世異端の芸術展	シ	シ	シ	小山田二郎水彩展	シ	シ	シ
ZONE 4展	シ	シ	シ	樹 展	シ	シ	シ
デシュマッケー展	シ	シ	シ	伊藤仁個展	シ	シ	9.11
馬淵美意子の遺作と 庫田袈「石の系譜」展		シ	7.8	大久保作次郎展	シ	シ	シ
加藤昭男彫刻展	寺田 千壘	シ	7.9	下村良之介展	シ	シ	シ
川島猛個展	シ	シ	シ	島村三七雄油絵展	シ	シ	シ
神田日勝遺作展	シ	シ	シ	山田薫展	シ	シ	シ
中川紀元展	シ	シ	シ	二科、行動、院展を みて	植村鷹千代	シ	シ
8回太陽展	シ	シ	シ	岩田糸子作品展	寺田 千壘	シ	9.17
森田曠平個展	シ	シ	シ	大歳克衛個展	シ	シ	シ
山本文彦展	シ	シ	シ	小野竹喬「天皇の世 紀」原画展	シ	シ	シ
坂本繁次郎三周忌に 寄せて	植村鷹千代	シ	7.13	北川民次個展	シ	シ	シ
上村松園の回顧展	寺田 千壘	シ	7.16	10回国際形象展	シ	シ	シ
金静子展	シ	シ	シ	「ボルドー美術館名 作展」始まる		シ	シ
熊谷樞個展	シ	シ	シ	異端のあらため	鈴木 進	シ	10.5
香野ルミ子、香野雄 吉二人展	シ	シ	シ	一水会、一陽会、新 制作協会	中村 溪男	シ	10.7
堀義雄個展	シ	シ	シ	織田広喜展	寺田 千壘	シ	10.8
益田義信近作展	シ	シ	シ	木内克ローマ蠟型ブ ロンズ展	シ	シ	シ
沢田政廣彫刻展	シ	シ	7.23	熊倉順吉展	シ	シ	シ
2回現代国際彫刻展	シ	シ	シ	安井曾太郎水彩素描 展	シ	シ	シ
市川洋個展	シ	シ	7.30	荻須高德展をみて	富山 秀男	シ	10.12
現代ユーゴスラビ ア代表作家絵画展	シ	シ	シ	鎗木清方展	寺田 千壘	シ	10.15
斎藤寿一展	シ	シ	シ	鳥海青児展	シ	シ	シ
高橋由一とその時代 展	シ	シ	シ	2回版画グランプリ 展	シ	シ	シ
夏の樹会展	シ	シ	シ	ローマ・バロック展 をみる	坂崎 乙郎	シ	10.19
森町長子展	シ	シ	シ	3回昭和会受賞作家 展	寺田 千壘	シ	10.23
1回版画の星座選抜 展	シ	シ	8.6	島内きみ個展	シ	シ	シ
3回十騎会展	シ	シ	シ	ベルナルド・ピガ展	シ	シ	シ
6回ジャパン・ア ート・フェスティバル 国内展示	シ	シ	シ	セルジオ・カペリー ニ展	シ	シ	シ
徳永考衛個展	シ	シ	シ	二紀、独立、自由美 術展をみて	坂崎 乙郎	シ	10.27
友添泰典個展	シ	シ	シ	ギェスターブ・モ ロー展とブルデル展	寺田 千壘	シ	10.29
伊藤若冲特別展	シ	シ	8.7	小作青史版画展	シ	シ	シ
画業六十年金島桂華 展	寺田 千壘	シ	8.13	21回丹楓会油絵展	シ	シ	シ
佐野繁次郎展	シ	シ	シ	西八郎個展	シ	シ	シ
14回十一会展	シ	シ	8.20	松尾敏男展	シ	シ	シ
25回新樹会展	シ	シ	シ	山崎豊日本画展	シ	シ	シ
大野藤三郎個展	シ	シ	シ	小野竹喬新作展	シ	シ	11.5
星野真吾個展	シ	シ	シ	ギェスターヴ・ロワ ゾー展	シ	シ	シ
海老原喜之助展	シ	シ	8.27	12回轟会展	シ	シ	シ
ミゼレーレ版画展	シ	シ	シ	福沢一郎展	シ	シ	シ
秋山静版画展	シ	シ	9.3				
猪熊弦一郎シルク・ スクリーン展	シ	シ	シ				

定期刊行物所載文献

ロベール・パンション展	寺田 千壘	東京夕刊	11. 5	在外浮世絵展開催の意義	梶崎 宗重	東京夕刊	12. 18
ボルドーの思い出	坂口謹一郎	シ	11. 10	「今日の日本画」展	日 経	1. 4	
ボルドー美術展から				加賀前田家名宝と丸谷名陶展	シ	1. 13	
(1) 福沢 一郎	シ		11. 11	国際版画ビエンナーレ展	(H)	シ	1. 16
(2) 高階 秀爾	シ		11. 12	ドイツ表現派展	シ	シ	1. 22
(3) 大岡 信	シ		11. 13	20世紀名画展	(田)	シ	1. 29
(4) 高田 博厚	シ		11. 15	ソ連所蔵名品百選展		シ	2. 1
(5) 粟津 則雄	シ		11. 16	ソ連所蔵名品百選展		シ	2. 8
(6) 寺田 透	シ		11. 17	バウハウス展	日経夕刊		2. 12
(7) 中山 公男	シ		11. 18	鎌倉彫展	(H)	日 経	2. 16
(8) 野口弥太郎	シ		11. 19	日府展と新槐樹社展	田近 憲三	シ	2. 25
(9) 駒井 哲郎	シ		11. 20	ソ連所蔵名品百選展から	中山 公男	シ	2. 26
(10) 山田智三郎	シ		11. 22	シ	B・B・ピ		
鈴木信太郎油絵展	寺田 千壘	シ	11. 12	シ	オトロフス	シ	3. 5
鴨居玲展	シ	シ	シ	シ	キー		
東山魁夷の回顧展と新作展	シ	シ	シ	シ	I・クズネ	シ	3. 12
「ボルドー美術館名作展」特集・ヨーロッパ絵画の流れ	坂崎 乙郎	東 京	11. 15	シ	ツォワ	シ	3. 19
ルノワール、ルオー両展をめぐって	岡本謙次郎	東京夕刊	11. 16	シ	L・カガネ	シ	3. 26
清水六兵衛回顧展と新作展	寺田 千壘	シ	11. 19	シ	M・A・レ	シ	4. 9
白根光夫作品展	シ	シ	シ	シ	フォルマツ	シ	
田村一男油絵展	シ	シ	シ	シ	カヤ	シ	
牧野邦夫個展	シ	シ	シ	シ	J・A・ラ	シ	
ボルドー美術館名作展をみる	大久保 泰	シ	11. 24	シ	ビス	シ	4. 13
奥村光正個展	寺田 千壘	シ	11. 26	シ	(美のめぐり会い)	林 武	日経夕刊
2回六彫展	シ	シ	シ	シ	シ	丹羽 文雄	シ
彼末宏新作個展	シ	シ	シ	シ	シ	大竹 省二	シ
現代ドイツ美術展をみる	坂崎 乙郎	シ	11. 27	シ	シ	木村 浩	日 経
日展をみて				シ	シ	杉山 寧	日経夕刊
日本画、洋画、彫刻	柳 亮	シ	11. 30	シ	シ	江藤 淳	シ
工芸	岡田 譲	シ	シ	シ	シ	岡 鹿之助	日 経
9回レアリテ展	寺田 千壘	シ	12. 3	シ	シ	大佛 次郎	シ
島村達彦展	シ	シ	シ	シ	シ	ソ連所蔵名品百選展から	シ
中野淳個展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
2回日動展	シ	シ	シ	シ	シ	ソ連所蔵名品百選展から	シ
フォルム8人展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
加山四郎「魚」展	シ	シ	12. 10	シ	シ	シ	シ
2回燦々会展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
4回INF展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
8回荒土会展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
肉筆浮世絵の美人画		東 京	12. 13	シ	シ	シ	シ
1回極光会展	シ	東京夕刊	12. 17	シ	シ	シ	シ
芝田米三新作油絵展	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
彫刻六人展(松村、中村、淀井、峰、桜井、広瀬)	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
				シ	シ	シ	シ

ソ連所蔵名品百選展 から	富永 惣一	日 経	7.16	小杉放菴展	(田)	日 経	5.7
百花の魅力胸ときめ く(座談会)	富永 惣一 三上山 次男 東山 魁夷 谷川 徹三 木村 浩 加藤 九祚	日 経	3.5	日本ジュウリー展		日 経	5.8
えびそード百選の美 ソ連所蔵名品展への 招待(1)~(8)		日 経	4.1~9	寺内万治郎遺作展		日 経	5.15
魅力の源泉・四重奏 (座談会)	香山 陽坪 嘉門 安雄 高木 東六 本間 正義	日 経	4.28	戦後美術のクロニク ル展	(田)	日 経	5.19
荻須高德展、池田満 寿夫展		日 経	3.5	日本画院展	田近 憲三	日 経	5.21
新世紀展	田近 憲三	日 経	3.12	朔日展		日 経	5.26
美術文化展		日 経	3.13	寺内万治郎回顧展	(田)	日 経	5.28
近代フランス・エッ チング・リトグラフ 展	(田)	日 経	3.13	清水多嘉示自選展		日 経	6.4
向井久万作品展		日 経	3.17	高間惣七展		日 経	6.11
ピカソ版画展		日 経	3.19	宮本三郎作品展		日 経	6.14
宮崎進展		日 経	3.26	女流画家協会展	田近 憲三	日 経	6.18
飯倉宣暢展		日 経	3.27	太平洋展		日 経	6.25
三月会展		日 経	3.30	新興展		日 経	7.2
潮会展		日 経	4.2	主体美術展		日 経	7.9
示現展	田近 憲三	日 経	4.3	ヨーロッパ巨匠水彩 素描展	(田)	日 経	7.16
三軌展		日 経	4.9	田中阿喜良展		日 経	7.23
水彩連盟展		日 経	4.10	神下雄吉個展		日 経	7.30
白日展		日 経	4.13	ルネ・マグリット展	(田)	日 経	8.6
鍋島紀雄遺作展	(田)	日 経	4.16	向井潤吉展		日 経	8.13
リチャード・リンダ ナー展		日 経	4.24	佐藤大寛墨彩画展		日 経	8.19
前田青邨展		日 経	5.1	デシュマッカー作品 展		日 経	8.20
赤堀尚油絵展		日 経	5.3	馬淵美意子の遺作・ 庫田毅“石の系譜”		日 経	9.3
奥谷博展		日 経	5.7	中川紀元展		日 経	9.9
光風展	田近 憲三	日 経	5.8	ギー・バルドン展		日 経	9.17
日本版画協会展		日 経	5.9	上村松園展		日 経	9.23
小磯良平展	(田)	日 経	5.11	益田義信近作展		日 経	9.29
長谷川昂彫刻展		日 経	5.12	沢田政広彫刻展		日 経	10.2
梶喜一個展		日 経	5.14	高橋由一とその時代 展		日 経	10.4
創元展	田近 憲三	日 経	5.15	藤田嗣治展		日 経	10.7
モダンアート展		日 経	5.16	トルコ中世壁画展		日 経	10.11
杉山寧展	(田)	日 経	5.17	金島桂華展		日 経	10.14
アンドレ・ブラジリ エ展		日 経	5.18	*71松屋インテリア 展		日 経	10.17
国吉康雄の遺作35点 翔陽展		日 経	5.19	佐野繁治郎展	(田)	日 経	10.21
国展	田近 憲三	日 経	5.20	海老原喜之助展		日 経	10.24
1930年展	(田)	日 経	5.21	猪熊弦一郎展		日 経	10.28
水の詩展		日 経	5.22	院展	田近 憲三	日 経	10.31
		日 経	5.23	二科展		日 経	11.4
		日 経	5.24	行動展		日 経	11.7
		日 経	5.25	大久保作次郎展	(田)	日 経	11.11
		日 経	5.26	島村三七雄の近作展		日 経	11.14
		日 経	5.27	近代の南画展		日 経	11.17
		日 経	5.28	山口薫展		日 経	11.21
		日 経	5.29	井高洋成作陶展		日 経	11.24
		日 経	5.30	新制作展	田近 憲三	日 経	11.28
		日 経	5.31	一水会展		日 経	11.31
		日 経	5.32	一陽展		日 経	12.4

定期刊行物所載文献

安井曾太郎水彩素描展	(田)	日	経	10.8	ドイツ表現派展	安井 収蔵	毎日夕刊	2.12
織田広喜展	シ	シ	シ		宮永岳彦展		シ	2.19
鳥海青児展	シ	シ	シ	10.9	島州一展		シ	2.25
南蛮紅毛美術展	岸本 晃一	シ	シ	10.11	新人発掘の絵画展		シ	2.26
荻須高德展	(田)	シ	シ	10.15	グラフィック・アートの阿修羅		毎日	2.27
ルノワール展	シ	シ	シ	10.16	POP広告展		毎日夕刊	2.28
独立展	田近 憲三	シ	シ	10.21	池田満寿夫の近作展から		シ	3.2
二紀展	シ	シ	シ	10.22	3回潮展		シ	3.3
自由美術展	シ	シ	シ		荻須高德個展		シ	3.4
ルオー展	(田)	シ	シ	10.29	向井久万個展		シ	シ
小野竹喬新作展	シ	シ	シ	11.5	14回安井賞		シ	3.5
轟会展	シ	シ	シ		建島覚造彫刻展		シ	3.8
日展の日本画	田近 憲三	シ	シ	11.10	沖縄で「日本古美術展」		シ	3.9
日展の洋画	シ	シ	シ	11.11	豊田一男個展		シ	3.12
日展の彫刻・工芸	シ	シ	シ	11.12	京都同時代展		シ	3.16
清水六兵衛回顧展	(田)	シ	シ	11.19	三月会展		シ	シ
ルイス・ロベッソ・ロッサ水彩展	シ	シ	シ	11.26	'71新鋭選抜展		シ	シ
アイズビリ展	シ	シ	シ		宮崎進個展		シ	3.17
リラン個展	シ	シ	シ		インド国際現代美術トリエンナーレ展	小倉 忠夫	シ	3.18
麻生蓉子展	シ	シ	シ		豊嘔展		シ	3.19
渡辺恂三個展	シ	シ	シ	12.3	ベルナル・ロールジュール個展		シ	3.22
荻太郎・裸婦デッサン展	シ	シ	シ		ヘノベス銅版画展		シ	3.24
加山四郎「象」展	シ	シ	シ		高井貞二展		シ	シ
ボルドー美術館名作展	シ	シ	シ	12.10	15回毎日選抜美術展		シ	3.25
東京国際版画ビエンナーレ		毎日夕刊		1.5	リンドナー展		シ	3.26
東洋の陶磁器展		シ		1.6	巨匠九十歳記念ピカソ展		シ	3.27
心をつつむパッケージ展		シ		1.7	鍋島紀雄遺作展		シ	3.31
松原龍夫個展		シ		1.11	赤堀尚展		シ	シ
李禹煥個展		シ		シ	日本古美術展	山口 久吉	シ	4.1
日本陶芸展に期待する	谷川 徹三	シ		シ	前田青邨回顧展		シ	4.2
京都博物館の「経塚の遺宝」特集陳列		シ		1.13	京都市美術館の狩野山楽展		シ	4.5
長寿画家「八樹会」が新作展		シ		1.14	人間国宝新作展		シ	シ
沖ノ島未公開神宝特別展		シ		1.20	奥谷博展		シ	4.7
八木一夫展		シ		1.21	宮永岳彦さしえ展		シ	シ
李禹煥展		シ		シ	西山英雄展		シ	シ
20世紀名画展	安井 収蔵	シ		1.26	ルネ・マグリット展		シ	シ
風景画展花ざかり		シ		1.28	上野の森の公募展幕あけ一光風会、創元会、モダン・アート協会、日本版画協会		シ	4.8
中村哲さん個展開く		シ		2.1	画業50年・小磯良平展		シ	4.9
海外進出する画商ためながバリへ		シ		シ	女流陶芸展	乾 由明	シ	4.12
古沢岩美代表作展	安井 収蔵	シ		2.4	久里洋二の作品		毎日	シ
朱富士会展		シ		2.5	「アモンの秘宝」移送		毎日夕刊	4.13
昭和会賞に麻生蓉子さん		シ		2.9	大沢康之展		シ	シ



海老原喜之助展ひらく		毎日夕刊	4.13	模倣されていた日本のやきもの	毎日夕刊	5.20
海老原喜之助50年の画業	安井 収蔵	〃	〃	ルネ・マグリット展	〃	〃
国吉康雄展		〃	〃	ルネ・マグリット展	毎日	5.21
アンドレ・ブラジリエ展		〃	4.14	ヨーロッパ巨匠水彩素描展	毎日夕刊	〃
有道佐一展		〃	〃	「ルネ・マグリット」展開く	〃	5.22
院展		〃	〃	寺内万治郎回顧展	〃	〃
日春展		〃	〃	福田繁雄展	〃	5.24
杉山寧の大回顧展	安井 収蔵	〃	4.15	ルネ・マグリット展(1)	安井 収蔵	〃
三彩の道(中国—ペルシャ—日本)展		〃	4.16	(2)	〃	5.25
「近代日本美術における一九三〇年」展	安井 収蔵	〃	4.19	(3)	〃	5.27
白鳳・天平の美		〃	〃	(4)	〃	5.28
(1) 井上 靖		〃	〃	(5)	〃	5.29
(2) 町田 甲一		〃	4.20	清水多嘉示自選展	〃	5.25
(3) 小倉 遊亀		〃	4.21	後藤禎二遺作展	〃	5.26
(4) 石田 茂作		〃	4.22	高間惣七展	〃	〃
(5) 松下 隆章		〃	4.23	永井一正展	〃	5.28
(6) 長広 敏雄		〃	4.24	1回中部国際形象展	〃	5.31
きょうから月光菩薩展		毎日	4.20	楠部弥弍自選展	〃	6.2
木村忠太展		毎日夕刊	〃	マグリット展	〃	〃
加倉井和夫展		〃	4.21	現代陶芸の全容ここに	毎日	6.3
島田章三展		〃	〃	'71宮本三郎作品展	〃	6.4
小林勇水墨画展		〃	4.22	日本陶芸展から		
ジャクソン・ポロック版画展		〃	4.23	加藤整治	毎日夕刊	6.7
ゾンネンシュターンのエスキース展		〃	〃	クナッパー・ガート	〃	6.8
「水の詩—日本画に現れた波」展		〃	4.28	里中英人	〃	6.9
10回現代日本美術展開幕迫る	亀田 正雄 収蔵	毎日	4.29	宗像亮一	〃	6.10
10回現代日本美術展によせて	針生 一郎	毎日夕刊	4.30	女流画家協会展	〃	6.8
楠部弥弍自選展	亀田 正雄	〃	5.1	村上肥出夫新作展	〃	6.10
放菴展		〃	5.4	歌川国芳展から	〃	6.11
春陽会・国画会・東光会の公募展にみる		〃	5.6	日本陶芸展をみて	宗 左近	6.14
横山泰三個展		〃	5.8	神下雄吉個展	〃	6.15
現代日本美術展ひらく		〃	5.10	田中阿喜良個展	〃	〃
現代日本美術展入賞者きまる	中原 佑介 収蔵男 安井 富山 秀男	〃	〃	デンジル・スミスの個展	〃	6.16
「古写経」展		〃	5.13	近岡善次郎スケッチ展	〃	6.17
棟方志功の記念展		〃	5.14	エルスナー個展	加藤 貞雄	6.18
日本陶芸展の意義(上)、(下)		〃	5.17, 18	ルネ・マグリット展を見て	浅野 徹	〃
日本のモナ・リザ		〃	5.17	猪熊弦一郎展	〃	6.19
ソ連所蔵名品百選展		〃	5.18	木村直道のスクラップチュア展	安井 収蔵	6.21
現代日本美術展の?		〃	5.19	浜田知明版画展	〃	6.23
				近世異端の芸術展	加藤 貞雄	6.29
				中国の染付展	〃	6.30

定期刊行物所載文献

馬淵美意子さんの追憶展	毎日夕刊	7.1	ペルシャ美術展開幕	毎日夕刊	9.17
川島猛個展	〃	7.2	ペルシャ美術展	〃	9.18
太陽展	〃	7.5	北川民次個展	〃	9.20
森田曠平展	〃	7.6	人間・イメージ・空間	司 修	〃
山本文彦展	〃	〃	ファエンツァ国際陶芸展を見て	坪井明日香	〃
遠藤昭吾個展	〃	7.7	「近代の南画—こころと表現」展	〃	〃
中川紀元展	〃	7.8	大歳克衛展	〃	9.22
益田義信個展	〃	7.9	五味悌四郎展	〃	〃
ギイ・バルドン展	〃	7.15	10回国際形象展	〃	9.23
高橋由一とその時代展	〃	7.16	「現代美術の源流」展	〃	9.25
日本で大「ゴヤ展」	毎日	7.20	ゴヤ展	毎日	9.27
森町長子個展	毎日夕刊	7.21	ゴヤのすべて	〃	〃
大「ゴヤ展」“二つのマハ”出品決まる	毎日	7.25	Goya (1) 神吉 敬三	〃	〃
6回ジャパン・アート・フェスティバル	毎日夕刊	7.26	(2) 宮本 三郎	〃	10.7
日本の古写経展	〃	7.27	(3) 高階 秀爾	〃	10.14
平井進追悼展	〃	7.28	(4) 中山 公男	〃	10.21
“POP PATTERN ENVIRONMENT”	毎日	7.29	(5) 坂崎 乙郎	〃	10.28
金島桂華展	〃	8.7	(6) 久保貞次郎	〃	11.4
佐野繁次郎展	毎日夕刊	8.9	(7) 堀田 善衛	〃	11.11
哀しき二等兵展	〃	8.14	(8) 藤田 吉香	〃	11.18
香月泰男の北海道展	〃	8.17	(9) 宗 左近	〃	11.25
「ミゼレーレ」展	〃	8.18	(10) 土方 定一	〃	12.2
両陛下ご訪欧御物展	〃	〃	伊藤若冲特別展観	加藤 貞雄	毎日夕刊
星野真吾個展	〃	8.20	ゴヤ展—黒い絵シリーズ特別出品	毎日	9.28
田辺和郎版画展	〃	8.23	ゴヤが来る (上)	〃	9.29
海老原喜之助 デッサン・水彩・版画展	〃	8.24	(中)	〃	9.30
2回現代国際彫刻展	〃	8.25	(下)	〃	10.1
林清納展	〃	〃	川崎春彦近作展	毎日夕刊	9.30
猪熊弦一郎シルクスクリーン版画展	吉村 昭	〃	加藤嶺男個展	〃	10.1
下村良之介個展	〃	9.1	鈴木治展	〃	〃
大久保作次郎回顧展	〃	9.7	荻須高德展	毎日	10.2
マグリット、アレチンスキー版画展	〃	9.8	工藤甲人個展	〃	〃
現代版画四人展—豊嘸、池田、野田、吉原	〃	〃	美・術・公・害	堀内 正和	〃
亀倉雄策展	〃	〃	鳥海青児展	安井 収蔵	〃
池袋モンパルナス展	毎日	9.10	秋の公募展の第二陣	加藤 貞雄	〃
平野遼個展	毎日夕刊	〃	若 冲	中村真一郎	〃
「池袋モンパルナス展」ひらく	毎日	9.11	鍋木清方の魅力	〃	〃
島村三七雄油絵展	毎日夕刊	〃	内山コレクション展	毎日	10.5
上野の三団体展—二科、院展、行動	加藤 貞雄	〃	鍋木清方展に寄せて	(1) 里見 肇	毎日夕刊
今日の100人展	〃	9.13	(2) 円地 文子	〃	10.6
山口薫回顧展	〃	9.14	(3) 吉田五十八	〃	10.7
	〃	9.16	(4) 幸田 文	〃	10.9
			熊倉順吉個展	〃	10.7
			木内克の臘型ブロンズ展	〃	10.8

内山コレクション展		毎日夕刊	10.8	(7)	中村雄二郎	毎日夕刊	11.20	
4回現代彫刻展	土方 定一	〃	10.11	(8)	矢代 秋雄	〃	11.22	
版画グラン・プリ展		〃	10.13	(9)	島村三七雄	〃	11.24	
フランス油絵即売展		〃	〃	(10)	五木 寛之	〃	11.25	
白樺派の画家達—草 土社大調和回顧展		〃	10.14		東山魁夷展	〃	11.12	
鏡木清方展を見る	河北 倫明	〃	10.15		東山魁夷新作展	〃	〃	
ニュルンベルク彫刻 シンポジウム		〃	10.19		マハの旅 17,000キ ロ	毎 日	11.13	
「平安時代の彫刻」展		〃	10.20		現代の幻想絵画展	毎日夕刊	〃	
巨匠デッサン展		〃	〃		スペインの誇り ゴ ヤ展開催を喜ぶ	フ ロ レ ン テ ィ ー ノ ・ ペ レ ス ・ エ ン ビ ド	毎 日	11.14
二紀、独立、自由美 術展	加藤 貞雄	〃	10.21		ゴヤの版画とデッサ ン	〃	〃	
魔女裁判とゴヤ		〃	〃		ゴヤの芸術	〃	〃	
井上覚造展		〃	10.22		白根光夫作品展	毎日夕刊	11.15	
正倉院展を見て	眉村 卓	〃	〃		山下菊二展	〃	〃	
福富栄展		〃	〃		ゴヤ展—出品全リス ト	毎 日	11.16	
飯田善国制作のキネ ティック・モニュメ ント		〃	10.25		マハとモナリザ	(治)	毎日夕刊	11.17
増田誠個展		〃	10.26		美濃古陶展	〃	〃	
ボルフ・カーレン展		〃	10.27		現代ドイツ美術展	安井 収蔵	〃	〃
福沢一郎・大伴二三 弥作品展		〃	10.29		宮内庁美術展	〃	11.18	
若沖とサボテン	瀬川弥太郎	〃	〃		田村一男展	〃	11.19	
現代の陶芸—アメリ カと日本展		〃	〃		アイズピリ展	〃	11.22	
“着衣のマハ”がやっ てきた		毎 日	10.31		ヤンセン展	〃	〃	
パンション回顧展		毎日夕刊	11.1		改組第3回日展	加藤 貞雄	〃	11.24
ギュスターブ・モ ロー展		〃	11.2		麻生蓉子展	〃	11.25	
杉本亀久雄滞欧作品 展		〃	〃		稲葉実展	〃	〃	
福沢一郎展		〃	11.5		島田しづ展	〃	11.26	
ルオー生誕100年・ 回顧展		〃	11.6		井上公三展	〃	〃	
ゴヤ展		毎 日	11.8		現代秀作絵画展	〃	11.30	
倉田三郎展		毎日夕刊	11.10		日動展	〃	〃	
鈴木信太郎展		〃	〃		加山四郎展	〃	12.1	
ビエール・ルシュ ール展		〃	〃		辻協陶芸展	〃	〃	
ルイス・ロペス・ロ サ展		〃	〃		中野淳展	〃	〃	
リラン展		〃	〃		ゴヤのすべて“正統” への反逆	毎 日	12.2	
ゴ ヤ	サラス・プ ラド、山田 智三郎氏に 聞く	毎 日	11.12		島村達彦個展	毎日夕刊	〃	
ゴヤ展への招待(1)	沢野 久雄	毎日夕刊	11.12		松山幾三郎個展	〃	〃	
(2)	開高 健	〃	11.13		展覧会・二題	佐藤 雅彦	〃	〃
(3)	小林 勇	〃	11.15		井上長三郎展	〃	12.3	
(4)	亀倉 雄策	〃	11.17		中村宏展	〃	〃	
(5)	津村 節子	〃	11.18		版画のモニュメント —木村光佑氏の作品	〃	12.6	
(6)	藤山愛一郎	〃	11.19		セントラル100人展	〃	12.8	
					ゴヤ展から—その愛 と告発	毎 日	12.8	
				(2)		〃	12.9	
				(3)		〃	12.10	
				(4)		〃	12.11	
				(5)		〃	12.12	

定期刊行物所載文献

(6)	毎 日	12.13	国立博物館の“春の浮世絵”	(丈)	読 売	3.4
(7)	シ	12.14	潮 展	シ	読売夕刊	3.6
(8)	シ	12.15	クリストフ・ドーン展	シ	シ	3.9
(9)	シ	12.16	荻須高德新作小品展	シ	シ	シ
(10)	シ	12.17	ピカソ銅版画展	シ	シ	シ
(11)	シ	12.18	「日本の楽器」特別展		読 売	3.11
(12)	シ	12.19	山種美術館賞展	(丈)	読売夕刊	3.13
(13)	シ	12.21	1 回三月会展	シ	読売夕刊	3.13
(14)	シ	12.22	10回安井賞展	シ	シ	シ
清水九兵衛個展	毎日夕刊	12.9	豊田一男展	シ	シ	3.16
末田利一展	シ	12.10	宮崎進展	シ	シ	シ
脇田愛二郎展	シ	12.13	建昌覚造展	シ	シ	3.18
芝田米三展	シ	12.14	アラン・オルドリッ ジの近作展		読 売	3.19
伊牟田経正展	シ	12.15	リチャード・リンド ナーの近作展		シ	シ
入島正明展	シ	12.17	19世紀フランス巨匠 展	(丈)	読売夕刊	3.20
麻田脩二展	シ	12.20	71新鋭選抜展	シ	シ	シ
渡辺恂三展	シ	12.21	ロルジュール展に寄 せて	村木 明	シ	3.23
志賀直哉をしのぶ書 画展	シ	12.22	“手ざいん”展		読 売	3.25
イミテーター六人展 (関根、岡田、島、風 倉、長谷川、渡辺)	シ	12.23	渡辺学・魚と人展	(丈)	読売夕刊	3.26
江戸の文人画	中村真一郎	シ	高井貞二個展	シ	シ	シ
入樹会展	(丈)	読売夕刊	1.12	森真道油絵展	シ	シ
女流秀作美術展	シ	シ	1.13	鍋島紀雄遺作展	シ	シ
ジャンセム展	シ	シ	1.13	久里洋二マンガ展		読 売
東山魁夷孔版画集 「京洛小景」刊行記念 展	シ	シ	1.16	米寿記念前田青邨展	(丈)	読売夕刊
吉川勉展	シ	シ	1.18	伊坂芳太郎の遺作展		読 売
日本芸術見本市から	シ	読 売	1.23	19世紀ドイツ絵画の 再評価		読売夕刊
寺門晃個展	シ	読売夕刊	シ	奥谷博展から	(丈)	シ
田所幸一展	シ	シ	シ	西山英雄展	シ	シ
井上洋介版画展	シ	シ	1.26	画業五十年小磯良平 展	シ	シ
脇田和版画展	シ	シ	シ	アンドレ・ブラジリ エ展	シ	シ
二十世紀名画展	シ	シ	1.29	エミリオ・グレコ名 作展		読 売
ドイツ表現派展を見 て	坂崎 乙郎	シ	2.1	米の“PWA P作品” 総点検		読売夕刊
公募団体1970年受賞 作家選抜展	(丈)	シ	2.3	重田良一展	(丈)	シ
岩松古徑作品展	シ	シ	2.5	佐々木四郎個展	シ	シ
森義利回顧展	シ	シ	シ	大沢康之個展	シ	シ
古沢岩美展	シ	シ	2.10	国吉康雄展		読 売
現代日本新人絵画展	シ	シ	2.12	小林勇大人の七回目 個展		シ
6 回昭和会展	シ	シ	シ	杉山寧展	(丈)	読売夕刊
パウハウス展		読 売	2.13	海老原喜之助展	シ	シ
原精一滯吹小品展	(丈)	読売夕刊	2.17	現代工芸美術展の十 年	吉田 耕三	シ
死後四十五年の富永 太郎展		読 売	2.18	木村忠太展	(丈)	シ
ドイツ表現派展	(丈)	読売夕刊	2.25			4.21
池田満寿夫個展	シ	シ	2.27			
'71 画商展	シ	シ	3.1			



加倉井和夫作品展	(丈)	讀賣夕刊	4.21	坂口光男展	村木 明	讀賣夕刊	6.21
エミリオ・グレコ展	坂崎 乙郎	シ	4.22	掛井五郎宗教彫刻展		読 売	6.23
「キュービストの時代」展		シ	4.26	熊谷守一展	(丈)	シ	6.24
「三彩の道」展	三上 次男	シ	4.28	浜田知明全作品展	村木 明	シ	6.28
近代日本美術における1930年	朝日 晃	読 売	4.30	黒崎彰版画展	シ	シ	シ
ソ連秘蔵の名画”百選展”	(丈)	読売夕刊	5.1	佐藤大寛個展		シ	7.1
グラフィックプリント・USA		読 売	5.4	飯塚入郎個展	村木 明	シ	7.2
春陽展、国展、東光展をみて	原田 実	読売夕刊	シ	宮尾秀人彫刻展	シ	シ	シ
セザンヌからピカソまで—ヨーロッパ巨匠水彩素描展		読 売	シ	シュールレアリスム大回顧展		シ	7.3
花の幻覚—小原豊雲展		シ	5.5	7回現代有名洋画家の珠玉作品展		シ	7.5
横山泰三の“おんな”展		読売夕刊	5.8	太陽展		シ	シ
国際青年美術展を見て	三木 多聞	シ	5.11	馬淵美意子の遺作・庫田袈「石の系譜」展	(丈)	シ	7.7
哀しき二等兵展		シ	シ	近世異端の芸術展	村木 明	シ	7.8
「水の詩—日本画に現れた波」		読 売	5.13	遠藤昭吾個展	シ	シ	7.9
香月泰男展	(丈)	読売夕刊	シ	山本文彦個展	シ	シ	シ
棟方志功展	シ	シ	シ	益田義信近作展	シ	シ	7.13
樋口治平展	シ	シ	5.15	バルドン展	シ	読売夕刊	7.13
中川一政さんの“明治”		読 売	5.16	川島猛個展	シ	シ	シ
寺内万治郎回顧展	(丈)	読売夕刊	5.21	上村松園展		読 売	7.15
現代日本美術展	久保貞次郎	読 売	5.23	沢田政広仏像彫刻展		読売夕刊	7.20
ヨーロッパ巨匠水彩素描展	(丈)	読売夕刊	5.24	ルノワール展		読 売	7.23
池田満寿夫詩画集展	シ	シ	5.26	ユーゴーの素朴派絵画展	村木 明	読売夕刊	シ
オスカ・ココシュカ「蛙」展	シ	シ	シ	物故作家展		読 売	7.24
作品のない展覧会		読 売	5.27	上村松園展	佐々木直比古	シ	7.26
清水多嘉示彫刻絵画展自選展	(丈)	読売夕刊	5.29	森町長子展	村木 明	読売夕刊	シ
モンティセリ展		シ	シ	渡辺栄一展	シ	シ	シ
宮本三郎作品展	(丈)	シ	6.2	平井進の追悼展	シ	シ	7.27
江戸の異端画家たち	瀬木 慎一	読 売	6.9	市川洋個展	シ	シ	7.29
ルネ・マグリット展	村木 明	読売夕刊	シ	国枝芳夫油絵個展	シ	シ	シ
村上肥田夫新作油絵展	(丈)	シ	6.11	斎藤寿一展	シ	シ	シ
神下雄吉展		シ	シ	白井昭子版画展	シ	シ	シ
近世日本風俗画展		読 売	6.15	6回ジャパン・アート・フェスティバル	シ	シ	8.4
プリミティブの木彫展		シ	6.16	ニュー・ヨークの黒人作家の現代美術展		シ	8.5
田中阿喜良展	(丈)	読売夕刊	6.17	金島桂華展		読 売	8.7
パウル・ブンダーリッヒ展	村木 明	シ	6.18	トルコ中世壁画展		読売夕刊	シ
ソ連所蔵名品百選展	東山 魁夷	シ	6.19	1回版画の星座選抜展	村木 明	シ	8.9
ヒマラヤ芸術展		シ	シ	絵金展		読 売	8.11
山村昌明個展	村木 明	シ	6.21	香月泰男の北海道展	村木 明	読売夕刊	8.13
				哀しき二等兵展		読 売	8.14
				近代美術館新収蔵品展示		シ	シ
				マリー・ローランサン展		シ	8.15
				佐野繁次郎展	村木 明	読売夕刊	8.16
				絹笠省三個展	シ	シ	シ
				平櫛田中特集陳列		読 売	8.17

定期刊行物所載文献

ルオー「ミゼレーレ 版画展」			読売夕刊	8.21	イタリア オリベッ ティ コンセプト アンド フォルム展			読 売	10.7
井上有一「花の書帖」 展					パリ画壇受賞作家選 抜展			読売夕刊	シ
海老原喜之助の回顧 展	村木 明	シ		8.25	フランス絵画展			シ	シ
2回現代国際彫刻展	シ	シ		8.27	「平安時代の彫刻」展			読 売	10.9
2回樹展	シ	シ		8.30	2回版画グランプリ 展	村木 明		読売夕刊	シ
宗旦四天王展			読 売	8.31	プリントアートの旗 手10人展	シ		シ	10.9
伊藤若冲画展			シ	9.1	1回潮源会展	シ		シ	10.12
小山田二郎水彩展	村木 明	読売夕刊		9.3	中村善種展	シ		シ	シ
西洋美術館の新蔵作 品展			読 売	9.4	富田英三個展			読 売	10.13
人間・イメージ・空 間シリーズ-北原悌 二郎			読売夕刊	9.7	鎌木清方展			シ	シ
現代作家四人展、池 田、襲嘯、野田、吉原	村木 明	シ		9.8	飯田善国の「鏡」のモ ニュメント			シ	10.14
伊藤仁個展			シ	シ	鳥海青児展	村木 明	読売夕刊	シ	
入江一子個展	村木 明	シ		シ	ルノワール展への招 待	芝木 好子	シ	10.15	
殷周青銅器展			読 売	9.9	(2) 山本 太郎	シ		シ	10.16
秋の公募展-第一陣 を見て	村木 明	読売夕刊	シ		(3) 沢野 久雄	シ		シ	10.18
森野嘉光作品展			シ	9.10	(4) 平山 郁夫	シ		シ	10.21
大久保作次郎展	村木 明	シ		9.11	(5) 井出一太郎	シ		シ	10.22
ジュエマニック	シ	シ	シ		近世英国興隆展			シ	10.15
マリー・ローランサ ンの絵	中山 公男	読 売		9.13	筆牛人展	村木 明		シ	10.18
近代の南画			シ	9.14	「平安時代の彫刻」展 をみて	吉村 貞司	シ	10.20	
北川民次の個展	村木 明	読売夕刊	シ		独立美術協会、二紀 会、自由美術協会の 三展	村木 明	シ	10.21	
ローランサンの人と 芸術			シ	9.16	地主梯助展	シ		シ	10.22
山口薫展	村木 明	シ		9.17	松尾敏男展	シ		シ	シ
マリー・ローランサ ン展	中山 公男	読 売		9.20	3回昭和会受賞作家 展	シ		シ	10.25
北村治禧彫刻展			シ	9.21	井上覚造個展	シ		シ	シ
10回国際形象展	村木 明	読売夕刊	シ		「現代日本彫刻展」- ヴォルフ・カーレン の個展		読 売	10.26	
日野耕之祐展	シ	シ	シ		シャガール近作展	村木 明	読売夕刊	10.27	
デザイナー山岸義氏 の展覧会			読 売	9.23	セルジオ・カペリー ニ展	シ		シ	シ
大歳克衛個展	村木 明	読売夕刊	9.25		福沢一郎・大伴二三 弥作品展	シ		シ	10.29
田島征彦展	シ	シ	シ		7回青年ビエンナー レ展			シ	10.30
荻須高德展	シ	シ		9.27	葛西四雄展	村木 明	シ	シ	11.2
公募展-第二陣から	原田 実	シ		9.28	西入郎個展	シ		シ	シ
工藤甲人の近作展			読 売	9.29	現代ドイツ展		読 売	11.3	
御正伸の秋の近作小 品展			シ	9.30	松本亀久雄滞欧作品 展	村木 明	読売夕刊	11.4	
中島千波個展	村木 明	読売夕刊	シ		松原亜也個展	シ		シ	シ
安井曾太郎の水彩素 描展	シ	シ	シ		滝口修造展			シ	11.6
ローマ・バロック展			読 売	10.2	福沢一郎氏の「地獄 門」展		読 売	11.7	
野田好子展	村木 明	読売夕刊	10.4						
織田広喜展	シ	シ	シ						
富岡惣一郎個展	シ	シ		10.6					

ルオー展と「受難」連作	高田 博厚	読売夕刊	11. 9	出光美術館五周年記念展		読 売	12. 22
東山魁夷のヨーロッパの風景新作展		読 売	11. 10	アトリエC—126	村木 明	読売夕刊	12. 23
斎藤清個展	村木 明	読売夕刊	11. 12	双杉会13回展	シ	シ	シ
4回晴秋会油絵展	シ	シ	シ	日本画、洋画大作展	シ	シ	シ
鈴木信太郎油絵展	シ	シ	シ	来春「万鉄五郎」回顧展		シ	12. 27
気を吐くオールド彫刻家(案々会)	シ	シ	11. 15	松谷武判版画展		京 都	1. 15
イギリスの新しいグラフィズム展	シ	シ	11. 17	「山種美術館賞」展	(竜)	シ	シ
ホルスト・ヤンセン展	シ	シ	シ	経塚の遺宝展	シ	シ	1. 22
ビエール・ルシュール展	シ	シ	シ	9回堂本印象作品展		シ	シ
日本の四季展		読 売	11. 17	黒崎彰個展		シ	シ
日展をみて	村木 明	読売夕刊	11. 18	現代インド絵画展		シ	1. 24
東山魁夷の回顧展	シ	シ	11. 19	現代インド絵画展	シ	シ	1. 29
庄巻「パッション」連作—ルオー—生誕百年展	シ	シ	11. 20	ムンク展をみて	(藤)	シ	シ
大野五郎個展	シ	シ	11. 22	横尾忠則展		シ	シ
田村一男油絵展	シ	シ	シ	親子三代の南画展		シ	2. 2
稲葉実展	シ	シ	11. 24	美術系各大学卒業制展スタート		シ	2. 3
島田しづ個展	シ	シ	シ	大野正雄展	シ	シ	2. 5
福地靖展	シ	シ	シ	江戸時代の小袖と打掛(京都博物館)	(竜)	シ	シ
佐藤忠良自選展		シ	11. 26	「佐々木豊」郵送による個展	シ	シ	シ
麻生蓉子展	村木 明	シ	11. 27	版画四人展(田中良平、山崎実、山尾秋夫、真鍋宗平)		シ	2. 24
中野淳個展	シ	シ	シ	黒田重太郎遺作展をみて	山田 竜平	シ	2. 12
島村達彦作品展	シ	シ	11. 30	穂月明石仏画展	(藤)	シ	2. 19
日動展	シ	シ	シ	独立美術京都作家展	(竜 平)	シ	シ
欧米の浮世絵—一世紀ぶりの里帰り		読 売	12. 1	京で初の「能谷守一展」	(F)	シ	シ
ゴヤと現代	坂崎 乙郎	シ	12. 2	河口龍夫展		シ	2. 26
多彩な現代陶芸展		シ	シ	17回日本伝統工芸展	(竜 平)	シ	シ
井上公三個展	村木 明	読売夕刊	12. 3	黒田重太郎展		シ	2. 27
加山四郎魚展	シ	シ	シ	東京国際版画ビエンナーレ展をみて	(藤)	シ	3. 5
倉石隆個展	シ	シ	12. 3	斎藤博素描展		シ	3. 5
セントラル百人展	シ	シ	12. 4	花に先がけ次々展覧会		シ	3. 7
井上長三郎風刺展	シ	シ	12. 10	狩野山楽展		シ	3. 10
菅井汲グラフィックス展	シ	シ	シ	第1回京都同時代展		シ	シ
菌部雄作個展	シ	シ	シ	第1回京都同時代展	(竜 平)	シ	3. 12
ドーミエ石版画展	シ	シ	シ	小名木陽一展	(F)	シ	シ
カラバッジオとその追従者展		シ	12. 11	京都アンデパンダン展	シ	シ	シ
浜田泰介個展	村木 明	読 売	12. 14	山楽の生涯 (1)		京都夕刊	3. 15
渡辺栂三個展	シ	シ	シ	(2)		シ	3. 16
志賀直哉を偲ぶ書画展	シ	読売夕刊	12. 16	(3)		シ	3. 17
麻田脩二展	シ	シ	12. 20	(4)		シ	3. 18
阿刀暹涯展	シ	シ	シ	(5)		シ	3. 19
田中昇個展	シ	シ	シ	(6)		シ	3. 22

定期刊行物所載文献

(7)		京都夕刊	3.23	楠部弥弉自選展		京 都	4.30
(8)		シ	3.24	前衛23年(パンリア ル)	(藤)	シ	シ
(9)		シ	3.25	寺石正作展		シ	5.4
(10)		シ	3.27	中村義夫の遺作展		シ	シ
(11)		シ	3.28	57回光風会展	(竜)	シ	シ
大田垣蓮月尼の遺作 展		京 都	3.18	28回東丘社	(竜 平)	シ	シ
井上治男の作陶展	(竜)	シ	3.19	23回京展	シ	シ	5.7
山楽の芸術		シ	シ	鼎会屏風絵展	シ	シ	シ
日本画グループ"焔" 第一回展		シ	シ	野崎一良彫刻展		シ	シ
狩野山楽展		シ	3.21	杜園の芸術		シ	シ
京商美パーソナルデ ザインショー		シ	シ	社寺縁起絵展		シ	シ
狩野山楽展		シ	3.24	辻が花と戦国の女性 像		シ	シ
31回美術文化展	(竜)	シ	3.26	ギルマ・ベラチ ョウ 個展		シ	5.10
エルク・シュマイ サー展	田中日佐夫 栄利 秋 木村 冬樹	シ	シ	私の見た <sup>キ</sup> 徳川 <sub>。展</sub>	藤井 勉	京都夕刊	シ
41回南画院展	(竜)	シ	シ	東丘社展ふたあけ		京 都	5.12
毎日選抜展	(藤)	シ	シ	光風会展きよう幕あ け		シ	5.16
狩野山楽展	相馬 大	シ	3.27	徳川三百年一サムラ イと町人展		シ	シ
狩野山楽展一竜虎図 そろう		シ	4.1	京都日本画中堅作家 展		シ	5.21
近美所藏品展		シ	4.2	16回青塔社展	(藤)	シ	シ
狩野山楽展	原 随園	シ	4.3	柳新也版画展		シ	シ
狩野山楽の芸術	(竜)	シ	4.4	57回光風会展	山田 竜平	京都夕刊	シ
関西二科展	シ	シ	4.9	徳川三百年一サムラ イと町人展		京 都	5.22
新制作春季京都日本 画展	シ	シ	シ	13回衣笠会展	(竜 平)	シ	5.28
東方美術協会展	シ	シ	シ	斎藤真成個展		シ	シ
狩野山楽展	河野 秋邨	シ	4.10	田代幸俊個展		シ	シ
米寿を迎えた青邨画 伯	弦田平八郎	シ	4.16	新匠会員二人展		シ	シ
ベルナル・ロルジ ュー展	シ	シ	シ	原田正義個展		シ	6.3
創元展	(竜)	シ	4.16	7回甲辰会展	(竜)	シ	6.4
西山英雄富士20個展		シ	シ	素版展	(F)	シ	シ
光風会展	陰里 鉄郎	シ	シ	13回青々社展		シ	シ
日本版画協会展	シ	シ	シ	鳥海青児展		シ	シ
モダンアート展	シ	シ	シ	24回全関西行動展	(藤)	シ	シ
徳川300年一サムラ イと町人展	奈良本辰也	シ	4.22	23回日図展	シ	シ	6.8
江戸時代の小袖名作 展	(藤)	シ	4.23	「近代日本の彫刻」展		シ	6.11
河田賢二遺作展		シ	シ	エミリオ・グレコ名 作展		シ	6.11
岸田竹史染色草稿展		シ	シ	古窯名陶展	(藤)	シ	シ
西山英雄富士20展	(竜 平)	シ	シ	24回晨島社展	(竜 平)	シ	シ
立体〇〇と××展		シ	シ	朴土グループ展	(竜)	シ	シ
徳川三百年一サムラ イと町人展		シ	4.25	13回牧人社展	シ	シ	6.18
宇田裕彦個展	(竜)	シ	4.30	真魚のグループ展	シ	シ	シ
小合友之助、河合卯 之助二人展	(竜 平)	シ	シ	蒼土会展	シ	シ	シ
				現代日本美術展		シ	シ
				怨念芝居絵絵金(三 者三評)	西井 正樹 山田 美代 加藤 泰	シ	シ



クロード・デュート 個展		京都	6.20	河野秋邨南画展		京都	8.20
下村良之助銅版画展		〃	6.25	上村松園展をみて	(藤)	〃	〃
下店荘八個展		〃	〃	加藤美代三・山崎忠 明二人展	(竜)	〃	〃
「近代日本彫刻」展を みて	(竜 平)	〃	〃	市川洋個展	〃	〃	8.27
グループ「のれん」展		〃	〃	金島桂華展	(竜 平)	〃	〃
足坂伸砧絵展	(F)	〃	〃	伊藤久三郎エスキス 展	(藤)	〃	〃
10回「現代日本美術 展」	(藤)	〃	〃	京都博物館特別展示 の仏たち	〃	〃	〃
フォルメ漆芸展	〃	〃	〃	箱根・彫刻の森をた ずねて	〃	〃	9.3
イナガキタルホ・ピ クチュア展		〃	6.30	中馬泰文個展会場で	〃	〃	〃
富樫実個展	〃	〃	7.2	「古薩摩」の民陶展	〃	〃	〃
広田多津個展	(竜)	〃	〃	具現展	(竜)	〃	〃
伊藤久三郎・小牧源 太郎二人展		〃	〃	新槐樹社展	〃	〃	〃
ミケランジェロ展				三人展(大山忠作 下保昭、加藤東一)	〃	〃	9.10
(上)		〃	7.7	チャーチル会京都展	(竜 平)	〃	〃
(中)		〃	7.8	日下部浜江展	(藤)	〃	〃
(下)		〃	7.9	全和鳳展	〃	〃	〃
2回京都自由展	(藤)	〃	7.16	平野秀一・福本尚三 展	〃	〃	〃
鴨東展		〃	〃	田中俊昭展	〃	〃	〃
北田孝之展会場で	〃	〃	〃	草土社展の画家たち	〃	〃	〃
彩紅会展		〃	〃	富岡鉄斎展	〃	〃	〃
現代陶芸の名作展		〃	〃	禅画社の墨彩美展		〃	9.14
7回主体美術展	(竜 平)	〃	〃	「染織の新世代」展を みて	〃	〃	9.17
ミケランジェロの人 と芸術		京都夕刊	7.19	富樫実展	〃	〃	〃
(1)		〃	7.20	森本裕子展	〃	〃	〃
(2)		〃	7.21	マリス・フォン・ヴェ イク展	〃	〃	〃
(3)		〃	7.22	楠田喜代子展	〃	〃	〃
(4)		〃	7.23	15回シュル美術賞展	(竜 平)	〃	〃
(5)		〃	7.23	高林和作遺作展をみ て	〃	〃	9.24
新井富美郎個展	(竜)	京 都	〃	橋本節哉遺作展	(竜 平)	〃	9.24
1回京都日本画新人 展	〃	〃	〃	新象展	(藤)	〃	〃
11回生展	〃	〃	〃	ブレ・インカの染織 展	〃	〃	〃
4回青展	〃	〃	〃	大和文華館「名品展」	〃	〃	9.29
志野明個展		〃	〃	ボルドー美術館名作 展	(F)	〃	10.1
現代アメリカ版画展	(藤)	〃	〃	ルイス・S・オテロ 展	〃	〃	〃
大野忠男展	〃	〃	7.30	ダッチ・シスター展	〃	〃	〃
林静一原画展	〃	〃	〃	国焼展	(藤)	〃	〃
マグリット考	〃	〃	〃	今日の100人展	〃	〃	〃
船坂芳助版画展	〃	〃	〃	御所所蔵品特別展開 く	〃	〃	〃
6回関西国展をみて	〃	〃	8.6	墨人展	(F)	〃	10.8
中西文彦展	〃	〃	〃	北斎展をみて	(藤)	〃	〃
池田遙邨展	〃	〃	〃	野村耕展	〃	〃	〃
皆川千恵子個展	〃	〃	〃				
吉川観方作品展	〃	〃	〃				
岡野靖夫個展	〃	〃	8.13				
関西自由美術展	(竜 平)	〃	〃				
12回日準会員展	〃	〃	8.18				

定期刊行物所載文献

新匠会公募展		京都	10.8	すっかりダメな男たち展	(藤)	京都	11.19
森野嘉光作品展	(竜 平)	シ	シ	上村淳展	(竜)	シ	シ
日蓮聖人展きょう幕あけ		シ	10.9	小野竹喬新作展	(竜 平)	シ	シ
京都国立博物館「羅漢画」と「江戸時代の歌舞伎衣裳」	シ	シ	10.15	京都博物館「秋のテーマ陳列」	(F)	シ	シ
山下関城の鯉展	(喬)	シ	シ	告白の画家ルオ(1)		京都夕刊	11.24
姉妹都市交歓作品展		シ	シ	(2)		シ	11.25
マリー・ローランサン展	(藤)	シ	シ	(3)		シ	11.26
西真個展	シ	シ	シ	(4)		シ	11.27
矢野茫土展	シ	シ	シ	(5)		シ	11.29
伊藤一信個展	シ	シ	シ	自由美術展	(竜 平)	京 都	11.26
「平安時代の彫刻」		シ	10.20	二科展	シ	シ	シ
秋の画廊街(佐藤暢男、田中良平、石原薫、広重明、野村久三、要樹平)	シ	シ	10.22	黒崎彰版画展	(藤)	シ	シ
パンリアル展	シ	シ	シ	「近江の風土記」展		シ	シ
26 回行動展	(竜 平)	シ	シ	走泥社展	シ	シ	シ
「映像表現'71—現代美術十七人の志向」によせて	乾 由明	シ	シ	無限大展	シ	シ	シ
釘宮雍友個展		京都夕刊	10.23	京都光風会作家展	(F)	シ	シ
現代の陶芸—アメリカ、カナダ、メキシコと日本	(藤)	京 都	10.29	ルオ—展		シ	シ
現代美術3つの流れ	シ	シ	シ	ルオ—展によせて		シ	シ
新制作油絵展		シ	シ	エルタ未亡人訪問記	山脇 亀夫	京都夕刊	11.27
南林社展		シ	シ	パリの「現代日本南画展」		京 都	11.29
ソメキチ展		シ	シ	二科展、独立展きょう開幕		シ	11.30
ゼロの会展		シ	シ	二科展、独立展オープン		京都夕刊	シ
映像表現'71—現代美術17人の志向	(F)	シ	10.30	院展・考	(藤)	京 都	12.3
リブマスク展		シ	シ	角南礼子タビストリ—展	(F)	シ	シ
京都デザイン展開く		シ	シ	素版展	シ	シ	シ
クラフト展フタあけ		シ	シ	蘇山三代展		シ	シ
ローマ・バロック展	佐々木英也	シ	11.2	56回二科展、39回独立展	(竜 平)	シ	シ
宇野兄弟の陶芸三人展	(F)	シ	11.5	三大美術展に人波(二科、独立、ルオ—)		シ	12.5
三人の陶芸(坪井、宮永、柳原)	(藤)	シ	シ	ルオ—展	武者小路実篤	シ	12.7
浅野竹二の個展	シ	シ	シ	ルオ—の警鐘	(藤)	シ	12.10
中野光雄の個展	シ	シ	シ	船井祐版画展	シ	シ	シ
京都日本画の精華展	(竜 平)	シ	シ	辻治個展	シ	シ	シ
国画創作協会五人展		シ	シ	森田秀個展	シ	シ	シ
般若寺名宝展		シ	シ	伊谷賢蔵遺作素描展	(F)	シ	シ
「ザ・レインボウ・アート」展		シ	11.6	アメリカのイメージ展		シ	シ
植物園の野外彫刻展	(F)	シ	11.12	七人の絵画展(伊庭、黒川、藤永等)		シ	シ
国画創作協会五人展	(藤)	シ	シ	デッサン陶芸展		シ	12.16
新制作日本画展	(竜 平)	シ	シ	十無展	(F)	シ	12.17
第3 文明京都展		シ	11.17	小川千穂追悼遺作展	(竜 平)	シ	シ
				ことしの京都美術界	(藤)	シ	シ
				現代ドイツ美術展	シ	シ	12.23
				3 回日展京都展をみて	山田 竜平	シ	12.26

堂本美術館の新陳列 京都美術界回顧	(藤)	京都	12.31	新制作日本画展に切望する	(杏)	アート	19-3
展覧会批評 (雑誌)				シエル美術賞展・考<美術36峰>	(南)		
第55回院展評	矢野 文夫	アート	18-3	マグリットが残した もの<美術36峰>	(西)		
京都における一新制 作日本画展	松村 曠			染織の新世代展	(藤)		
石川晴彦作品展	(M)			金島桂華の骨格	三宅正太郎		
岩崎巴人大作展	三宅正太郎			佐々木邦彦展	松村 曠		
野口弥太郎展				加藤美代三・山崎忠 明日本画二人展	(Y)		
中川伊作新作南蛮展	小山富士夫 中川 伊作			加藤東一・大山忠作 下保昭三人展	福田平八郎		
うごきを見せる直原 玉青—その印度旅行 展を見て	猿 仙			皆川千恵子個展			
長谷川昇近作展	三宅正太郎			山田キミ個展			
森田沙伊近作小品展	小森 盛			矢野茫土個展	(Y)		
森田曠平個展	(松村)			山口吉旺作品展	(X)		
日展評	矢野 文夫		19-1	展覧会評	水上 杏平		
日展の日本画	藤田 猛			毛利武彦、入江一 子、岡信孝、川本 末雄、武田範芳、 川崎春彦、木下純 寛、織田広喜、西 沢富吉、野上魏、 村山登、木内克、 岡橋邦領、森田曠 平、北村裕、遠藤 桑珠、下村良之介、 工藤甲人			
改組第2回日展の日 本画—京都画壇を中 心に	山田 龍平			<SDコラム>			
改組第2回日展工芸	平野 重光			岸田劉生展とエル ンスト・フックス 展	坂崎 乙郎	S D	75
小出檜重回顧展	三宅正太郎			シャギー・アート 展より			76
橋本春光個展	矢野 文夫			三つの個展から (松井豊、松木重 雄、エルク・シュ マイサー)	坂崎 乙郎		
橋本春光個展 (座談 会)	橋本 春光 猿 仙 内田ゆたか 出口 盾雄 衣奈多喜男 森 多喜男 克祐			毎日芸術賞受賞の 宇治山哲平展	海上 雅臣		
今年の日本表現派第 14回展	江川 和彦		19-2	ドイツ表現派展よ り	高橋 巖		77
同時代展に望む	河北 倫明			八木一夫の絵壺展	海上 雅臣		
青木大乘近作展	三宅正太郎			二つの展覧会(野 地正記個展と自由 美術4人展)	坂崎 乙郎		
青木大乘近作展—精 神エネルギーの迫力	小森 盛			リチャード・リン ドナー展	石崎浩一郎		80
岩田藤七喜寿展				距離について(佐 藤一郎展、坂本保 展、小野貴美子展)	坂崎 乙郎		
梶喜一個展				ソ連名品百選展			81
大平華泉日本画展	石井 鶴三 深田 久弥			第10回現代日本美 術展			82
出口 盾雄「日本の 絵」、猿仙「雑草の書」 展を見る	柿谷華王子			状況論から芸術 は生まれない	多木 浩二		
出口 盾雄君の文人画	今 東光			展示の混乱、思 考の混乱	市川 雅		
猿仙展	鳥海 青児			狂言から能へ	大島 辰雄		
猿仙飛躍の書	青木 大乘						
特集 秋の公募展			19-3				
第56回院展評	河北 倫明						
院展素描	矢野 文夫						
院展を斬る	水上 杏平						
二科展評	三宅正太郎						
行動展評	藤 慶之						
一水会展評	三宅正太郎						

定期刊行物所載文献

今日のオブジェの不徹底さ	ブラスタ・チハーコバ	S	D	82	(東京) 第1回版画グラン・プリ展、現代版画七人展、駒井哲郎、谷田川卓、木村茂、佐々木英夫、見塩美枝、長谷川真紀男、千正博一、瀬尾孝子各個展	三木 多聞		
ルネ・マグリット展より	飯島 耕一	≧		83	(関西) 木村光佑、斎藤寿一、奈須豊、森泰、山中嘉一、儀間比呂志、森英夫、広重明、黒崎彰、松谷武判、吹田文明各個展	乾 由明		
ヴォルフ・カーレン展	ヴォルフ・カーレン	≧		87				
ある問いに答えて	ヴォルフ・カーレン							
カーレンと「可逆過程」	中原 佑介							
主導作家を囲んでー「三月会展」発足宴	糸園和郎、三郎、牛島憲之、小磯良平、中谷潤吉、向井潤吉、森脇芳雄、脇田和仁、長谷川徳七、清野久美	絵		85	版画展評		季刊版画	11
審査とはこわいものー第6回昭和会展審査報告	田中 稔	≧	≧		(東京) 吉原英雄、松原龍夫、勝本富士雄、日和崎尊夫、小畑勉、福井延光、尼野和三、馬場禰男、松谷武判、松原直子、二見彰一、佐藤亜土、岡本省吾、上矢津、山下清澄、島州一、清塚紀子各個展	三木 多聞		
「ソ連所蔵名品百選展」に寄せて	田村 祥蔵	≧		87	(関西) 浅野竹二、京都芸大版画七人展、中村敏幸、山下清澄、岡崎紀子、黒崎彰、吉原英雄、二見彰一、松田良介各個展	乾 由明		
太陽展「生命讃歌」によせて		≧		89				
具象絵画の周辺・自然というもの	寺田 千壘				版画評展			12
私の好きな絵の美術館	竹井 博友				(東京) 国際青年美術家展、第39回日本版画協会展、馬場禰男、春陽会(清宮質文、駒井哲郎)国画会展(品川工、笹島喜平)、星裏一、高橋信一、野村博、福田繁雄、グループ「触」、香月泰男、佐藤武雄、野崎信次郎、渡辺洋子、望月淑子、瀬尾孝子各個展			
昭和会、そして版画、渡辺栄一版画発表展		≧	≧		(関西) 村上文生、持田総章、木村光佑、上野富二郎、辻岡道彦、藤原向意、網本智世、山中嘉一、矢柳剛各個展	乾 由明		
熊谷守一展での追憶	久保貞次郎	≧		90				
「版画 グラン・プリ展」審査に列して	安井 収蔵	≧		92	さびれていたサロン・ドートンヌ	安井 収蔵	求 美	6
ポルドー美術館名作展随想	若桑みどり	≧		93	個展評	高島 巽	≧	≧
プラドの思い出「ゴヤ展」にふれて	小川 正隆	≧	≧		松原直子、森緑翠、中西勝各個展			
特集 第7回東京国際版画ビエンナーレ展				10	個展評		≧	≧
受賞者紹介								
国際審査員紹介								
国際審査の概要								
グラン・プリ受賞のルギンビュールについて	三木 多聞							
第7回東京国際版画ビエンナーレ展概評	ピーター・バード							
第2回イギリス国際版画ビエンナーレ展報告	パット・ギルマー	≧	≧		斎藤求、秀島由己男、宮永岳彦各個展			
版画展評		≧	≧		アトリエ解放展	米倉 守	≧	8



ニューヨークの「現代日本美術展」	近藤 竜男	芸術新潮	255	新しい版画の新しい展覧会—第7回東京国際版画ビエンナーレ展を巡って	中原 佑介	芸術生活	259
特集 「バウハウス」の教師たち		〃	256	ジャーナリストが選んだ美術展	吉村 貞司	〃	〃
「バウハウス」の遺産とその宿命	栗田 勇			橋本龍美・佐藤昌美・伊藤彬三人展<個展評>	坂崎 乙郎	〃	〃
美術記者が選んだ日本の新人—'71年新鋭選抜展	宗 左近	〃	257	近頃「メール・アート」賑ワイノ事<〃>	東野 芳明	〃	260
特集 ソ連からきたゴーギャン、ピカソ……(ソ連所蔵名品百選展)		〃	〃	河口龍夫展、下谷千尋展<〃>	乾 由明	〃	261
「ロシア的なるもの」をたずねて	高橋 栄一			佐々木四郎展、重田良一展<〃>	朝日 晃	〃	262
青邨、米寿展での発見<フットライト>	水沢 澄夫	〃	〃	「一九三〇年展」<論>	中原 佑介	〃	〃
日本陶芸展の混乱—日本陶芸が現代芸術になるとき	神代雄一郎	〃	259	第10回現代日本美術展<〃>	〃	〃	263
「言葉とイメージ」展でのイメージと言葉	ブラスタ・チハコパー	〃	〃	特集 第10回現代日本美術展「人間と自然」		〃	〃
セザンヌの水彩—「ヨーロッパ巨匠水彩素描展」を見て	西脇順三郎	〃	〃	自然の異質的可能性とは	吉村 貞司		
八年ぶりで個展を開いた村上肥出夫<フットライト>	安井 収蔵	〃	〃	私の自然観私回の作品			
たった一夜のパリ街頭展	江原 順	〃	260	辺境の孤独に感応する私	小野 具定		
特集 「女性・その自負と偏見」展		〃	261	観者の意識と作家の意識	堀内 正和		
女は女、男は……	大岡 信			知覚される自然とは—現代日本美術展コミッションナー針生一郎氏へ	李 禹煥		
PRIDE AND PRIDE	河野多恵子			宇佐美圭司展<個展評>	富山 秀男	〃	〃
高橋由一とその時代展をみて	中野 重治	〃	〃	マグリットの意味するもの<論>	中原 佑介	〃	264
はじめて開かれるローマ・バロック展<フットライト>	辻 邦生	〃	262	特集 '71年国際美術展受賞の人びと		〃	〃
地方仏の優等生—「平安時代の彫刻」展に寄せて<フットライト>	丸山 尚一	〃	263	転期にたつ国際美術展	北村 由雄		
幻想美術とは何か—「日本現代幻想絵画展」を見て	渋谷 龍彦	〃	264	内と外の眼	中原 佑介		
ニューヨークで開かれた琳派展—ジャパン・ハウス開館記念<フットライト>	J・ブライース	〃	〃	大林義満野外彫刻展<個展評>	小倉 忠夫	〃	〃
日米オブジェ合戦—「現代の陶芸—アメリカ・カナダ・メキシコと日本」展をみて	依田 義賢	〃	〃	柴田雅子展<〃>	中山 公男	〃	265
中里斉個展<個展評>	針生 一郎	芸術生活	257	小原義也展、吉留要展<〃>	野村 太郎	〃	266
須賀昭初・渡辺英夫二人展、前田守一展示<個展評>	石子 順造	〃	258	代尾飛展<〃>	ブラスタ・チハコパー	〃	267
				高山登展<〃>	藤枝 晃雄	〃	268
				第7回パリ青年ビエンナーレ<論>	中原 佑介	〃	〃
				特集 第7回東京国際版画ビエンナーレ展			
				授賞選考の経過	河北 倫明		
				寸感	ハル・ミッシンガム		
				国際審査員略歴	藤井 久栄		
				受賞者紹介			
						現代の眼	194

特集 ルネ・マグリット展		現代の眼 199	展覧会批評		三 彩 269
マグリットをめぐって	坂崎 乙郎		双杉会塚原哲夫、寺田春之各個展	松原 叔	
マグリット・ファンの気まぐれっと散文	堀内 正和		和田敏治ら三人展		
マグリットとマグリット	池田満寿夫		須賀昭初・渡辺英夫二人展、大里宏峻、花岡篤夫、山本衛士、佐々木実、中西幹夫、武留井義男、松田松雄、加納敬次、藤山ハシ、広畑卓司各個展、宮地周遺作展	平井 亮一	
マグリット略年譜			(京阪の美術)上原卓、穂月明各個展	田中日佐夫	
特集 現代ドイツ美術展 (その1)		203	地中海の美術展<美術メモ>		
現代のドイツ美術について	三木 多聞		李禹煥個展<多>		
ドイツ現代美術への一瞥	飯田 善国		第7回東京国際版画ビエンナーレ展<多>		
私の見たドイツ美術の現況	深草 幸司		特集 ドイツ表現派展		270
(その2)		204	日本の近代美術のなかの表現主義	陰里 鉄郎	
ドイツの画廊めぐり	岩崎 吉一		ヨーロッパ表現主義展—日本のドイツ表現派展と関連させて	大島 清次	
B・シュルツエのこと	野村 太郎		展覧会批評		
ボイスの感触	愛甲 健児		五山会、十実会、春鶯会、青瀟会、珠紅会、鬼塚金華個展	松原 叔	
国際展の審査感じたまま	本間 正義	205	今井祝雄、最上寿之、吉田克朗、李禹煥各個展	平井 亮一	
国際美術展のこと	富山 秀男		(京阪の美術)黒崎彰、勝山正則各個展、あすなろ会	田中日佐夫	
第2回インド・トリエンナーレ展に参加して		国際文化 202	鎌倉彫展<美術メモ>		
第11回サンパウロ・ビエンナーレ展	小倉 忠夫	210	古沢岩美代表作展<多>		
転換期を迎えたバリ青年ビエンナーレ	岡田 隆彦		高松次郎の堀<多>		
ソ連所蔵名品百選展のアイコン	クルト・ブラッシュ	古美術 34	パウハウスとわたしたちのあいだ	安藤 紀男	271
出口直日・糸雄二人展をみて	松原 叔	三 彩 268	黒田重太郎遺作展<美術メモ>	田中日佐夫	
展覧会批評			京都アンデパンダン展<多>		
アポロ展、白寿会			清水崑・画賛・肖像画展		
田辺三重松、岡信孝、清水光子、宇治山哲平各個展	松原 叔		展覧会批評		
宮原麗子、日向裕寺島竜一各個展	田近 憲三		現代日本新人絵画展、松籟会、向井久万、鈴木満、山田新一各個展	松原 叔	
武里惣、前田守一、榎倉康二、原口典之、渡辺直行、小林正治、藤原和通、青山光佑、魚田元生、桑原睦子各個展、井上紀樹・渡瀬克次郎二人展	平井 亮一		八田淳、小清水漸松原竜夫、砥上賢治、稻山貴一、依田邦子各個展、「スペース・トゥカ'70」展	平井 亮一	
(京阪の美術)エルク・シュマイサー展	田中日佐夫				
加納敬次個展<美術メモ>	織田 達朗				
伊藤彬個展<多>	志貴 健				
高松次郎個展<多>	(淡)				

(京阪の美術)牧人社、せもあ会、桑野博利、穂月明各個展	田中日佐夫				小田切よう子個展 展覧会批評	(淡)	三	彩	275
小磯良平画業五十年展	多田 信一	三	彩	272	清流会、田中阿喜良、西山英雄、宮本三郎、伊勢正義、毛利武彦、大宮俊興、上河辺みち、森田曠平各個展	松原	叔		
展覧会批評			シ	シ	入江比呂、真板雅文、今井祝雄、楢葉雅、加藤勝久、深尾庄介、上哲夫、清水邦夫各個展、F展	平井	亮一		
現代日本具象画展サンシユマン展、西村龍介、高井貞二、宮崎進、豊田一男各個展	松原 叔				(京阪の美術)農鳥社、朴土グループ展、牧人社、のんのん展	田中日佐夫			
二村裕子、大西保木村修、栗原昇各個展、「普遍・日常行為」展	平井 亮一				現代彫刻と社会—第2回現代国際彫刻展	三木	多聞	シ	276
(京阪の美術)「焱」展、グループ16→21展、エルク・シユマイサー展	田中日佐夫				展覧会批評			シ	シ
第1回京都同時代展<美術メモ>		シ	シ	シ	登龍会、小林和作向井潤吉各個展	松原	叔		
上原二郎個展<多>			シ	シ	若江漢字、中井恒夫、長重之、岩瀬静、渡瀬克次郎、大石博、山本衛士各個展	平井	亮一		
海老原喜之助遺作展	藤本 韶三		シ	273	(京阪の美術)和氣史郎、富樫実、新井富吉郎各個展、滋賀近代の日本画展	田中日佐夫			
展覧会評			シ	シ	駒展一九七一展	織田	達朗	シ	シ
川崎小虎、加倉井和夫、宇田裕彦各個展、燦光会、松柏会	松原 叔				秋の団体展			シ	278
「言葉とイメージ」展、榎倉康二、高山登、齋藤正夫、桜井辰正、佐藤一郎、水本修二各個展	平井 亮一				院展所見	多田	信一		
(京阪の美術)京展パンリアル春季展	田中日佐夫				二科展、行動展	平井	亮一		
西山英雄、宇田裕彦、吉田美弥各個展					展覧会批評			シ	シ
第14回日本表現派展	三宅正太郎		シ	シ	三珠会、潮音会、石川晴彦、大野藤三郎各個展	松原	叔		
近代日本美術における一九三〇年展			シ	シ	平山康允、角永和夫、志野明、角俊範各個展	平井	亮一		
中川一政「天皇の世紀」挿画展随感	(F)		シ	274	(京阪の美術)加藤美代之・山崎忠明二人展、市川洋、山口吉旺、藤本忠彦各個展	田中日佐夫			
第10回現代日本美術展—個人の意識的な体験としての美術	藤堂 司郎		シ	シ	秋の団体展			シ	279
たいどろ彫刻村<美術メモ>	中村伝三郎		シ	シ	新制作の日本画	多田	信一		
春の野外彫刻展<多>		シ	シ	シ	新制作(洋画)、一水、一陽展	平井	亮一		
館岡豊照個展<多>			シ	シ	展覧会批評			シ	シ
展覧会評			シ	シ	北川民次、五味梯四郎、飯田満佐子、野田好子、遠藤桑樹各個展、興人会	松原	叔		
日本現代画のバリでの評価	松原 叔				柏原えつとむ、羽生真、中林富紀子、菅木志雄各個展	平井	亮一		
新制作日本画春季展									
堀光哉、彦坂尚彦、内田和孝、鈴木昌弥、額敏敏各個展	平井 亮一								
(京阪の美術)東丘社、青塔社、衣笠会	田中日佐夫								

定期刊行物所載文献

(京阪の美術)染色 の新世代展、高林 和作の遺作と所蔵 品展、西山喬展	田中日佐夫		手塚国彦、宮崎進 阿部隆行各個展	田近 憲三			
秋の団体展		三 彩 281	イラスト展から<デ ザイン月評>	飯野 光夫 中 美	193		
日展の日本画	多田 信一		展覧会月評		194		
独立展、自由美術 展、二紀会展	平井 亮一		堀田清治、岩船修 三各個展、十二展	田近 憲三			
展覧会批評		〃 〃	展覧会月評		195		
日和会、湧泉会、 轟会、井上寛造、 渡辺玉花、国松登、 中村善種、山崎豊 各個展	松原 叔		中央美術協会、野 中進、碓田勝己・ 関口誠二人展、寺 内万治郎回顧展	〃			
SENNO-KOBO 展、LOCUS展、 山下一郎、鈴木康 雄、阿伊染徳美各 個展	平井 亮一		展覧会月評		196		
(京阪の美術)パン リアル展、青美展 広重明、西真、永 島武、松村光秀各 個展	田中日佐夫		田中阿喜良、向井 潤吉、三上浩各個 展	〃			
展覧会月評		中 美 189	展覧会月評		197		
大垣泰治郎、宇治 山哲平各個展	田近 憲三		中村一郎、木沢定 一各個展	〃			
大野五郎、田中稔 之、赤岩賢三、池 田幹雄、山崎猛各 個展、8室会展	林 紀一郎		展覧会月評		198		
展覧会月評		〃 190	木下純寛、齋藤英 一各個展、十一会 展	〃			
里見勝蔵、山本日 子士良、上出穂美 北川金治各個展	田近 憲三		展覧会月評		199		
心を包む日本のパ ッケージ展	飯野 光夫	〃 〃	長山義一展、熊谷 登久平遺作展、榎 倉省吾回顧展	〃			
展覧会月評		〃 191	展覧会月評		200		
油彩・水彩浅井忠 小品展、刑部人、 山田新一各個展	田近 憲三		織田広喜、中村光 蔵、飯島一次各個 展				
特集・パウハウス50 年展		〃 〃	ドイツ表現派展、二 十世紀名画展	東 珠樹 点 描	4		
第22回全国カレン ダー展	飯野 光夫	〃 〃	神奈川県美術展	横田 博園	5		
デザイン戯評		〃 〃	ソ連所蔵名品百選展	東 珠樹	6		
25のPR誌による 展覧会		〃 〃	雨晴会、新制作日本 画部春季展	竹田道太郎	7		
第5回造本装幀コ ンクール		〃 〃	沢田政広彫刻展、池 田遙郎展	〃	9		
第3回日本レタリ ングデザイン展		〃 〃	画業60年金島桂華展	〃	10		
パウハウス展をめぐ って<デザイン月 評>	飯野 光夫	〃 192	大久保作次郎展、遠 藤桑珠展	植村鷹千代	11		
展覧会月評		〃 〃	奥村土牛、小野竹喬、 東山魁夷各個展	竹田道太郎	12		
江藤哲、奥瀬英三 各個展、現代日本 新人絵画展	田近 憲三		フランス・ヴァロリ ス国際陶芸展への参 加を推進して	長谷川 栄 陶 説	231		
展覧会月評		〃 193	秋の公募展 (3) 日展	(P) 日本美術	73		
			塚原哲夫個展	〃	〃		
			石黒直子個展	〃	〃		
			個展評	〃	〃		



(東京) 長森聡、中津瀬忠彦、白根光夫、小島宏、池田幹雄、山崎猛各個展	三好豊一郎			展覧会を見て句を捧げる	塩山 栄一	日本美術	76
(シ) 日和崎尊夫、小林孔、米山穂子、原武典、粕谷司、渡辺直行、松崎二郎、笠原重雄、宇治山哲平、藤沢典明各個展	嶋岡 晨			向井久万個展		シ	シ
(関西) 草野心平、須田剋太、河野芳夫、松谷武判、佐藤真一、野崎一良各個展	日高 てる			個展評		シ	シ
「今日の日本画展」について	佐々木直比古	日本美術	74	(東京) 鈴木順子、荒木高子、建昌覚造、長谷川栄、三人展(笠松昭吾ら)、四人展(吉田幸藏ら)	嶋岡 晨		
長浜光「個展」をみて個展評	植村鷹千代		シ	(シ) 原弘、豊田一男、宮崎進、佐藤一郎、田中昇、北村巖、阿部隆行、木村琢一各個展	三好豊一郎		
(東京) 木下義謙、荻野康児、谷角日沙春、河北浩、田所幸一、伊藤秀郎、市村一、平田孝、米本久美各個展	三好豊一郎			第2回現代国際彫刻展を観て	中村伝三郎	シ	78
(シ) ハツ木信弘、稲山貴一、松原龍夫、吉田克朗、超因禎、米本久美各個展、「自然」展における溜勇、女流版画家三人展における高部多恵子	嶋岡 晨			第37回旺玄展・感想	植村鷹千代	シ	シ
(関西) 20人の方法展、松田良介、古津三男各個展	日高 てる			第42回第一美術展寸感		シ	シ
パウハウス展	大田 勉		シ	美術みたま	沢田 繁春	シ	シ
鎌倉彫展	(P)		シ	ルネ・マグリット展を見て、熊谷守一、中川紀元、大内マコト、阪東社一、村上肥出夫、佐藤大寛各個展			
能仲ヤツヲ個展			シ	池田遙邨・初の個展	三宅正太郎	シ	79
中川タマオ個展			シ	観画譜		シ	シ
春光会展			シ	金島桂華、三上正寿、大野藤三郎各個展	大林 柚平		
清水洋子個展			シ	観画譜		シ	81
川合弘正個展			シ	東山魁夷展	伐柯亭柚平		
個展評			シ	第2回日展評	菊地芳一郎	美術グラフ	20-1
(東京) 齋藤隆、堀口泰造、押尾豊、磯見輝夫、山本平各個展、公募団体受賞作家選抜展、幸田侑三・佐藤多持二人展	三好豊一郎			展覧会評		シ	シ
(シ) 島田武代士、田中英人、清水洋子、山田忠、近藤央各個展、中田光弘・高根公策二人展、三人展(小田島俊夫ら)	嶋岡 晨			大潮会、70年会、草炎会、ポプラ展三人展(麻生三郎、糸園和三郎、野見山曉治)、茨木杉風、佐藤真一、蓮田脩五郎、小寺健吉、渡辺玉花、佐田勝、北八代、幸坂勇夫各個展	菊地芳一郎 菊地 明子		
第8回現代名家新作展を見る	鈴木南仙子		シ	展覧会評		シ	20-4
「絵」と話の出来たよいうな日本美術社の展覧会	佐藤 哲三		シ	新槐樹社、日府、大調和、一線美術、日本アンデパンダン、美術文化、立軌会、刑部人、森田茂、宮崎進、堀口泰造、矢崎虎夫、山田新一、青木東征、手塚央、丸山妙子、江藤哲各個展	菊地芳一郎 菊地 明子		

青邨展に寄せて 前田先生の御作 鍛と絞り染	岩田 正巳 安西 啓明	美術グラ フ	20-5
ルネ・マグリット展 から	古沢 岩美	〃	〃
展覧会評 光風会、春陽会、 国画会、創元会、 示現会、東光会、 三軌会、水彩連の 30年展、日本版画 協会、日本南画院、 三多圭会、女流日 本画創作会、二元 本画会、日影展、二 一世紀展、日春展、 深谷徹、齋藤三郎、 渡辺学、丹阿弥岩 吉、石塚晃溪、林 茂松、坂田泥華各 個展	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
楠部弥弼の自選陶展 <人と作品 1>	菊地芳一郎	〃	20-6
杉山寧展から<〃 2>	〃	〃	〃
展覧会評 モダンアート、旺 女会、第一美術、 日本表現派、日本 画院、五月会、陶 人社と東陶会、新 制作日本画春季展 豊秋半次、片柳忠 男、巽郁夫、村上 肥出夫、大宮俊興、 井上治男、大田俊 子、谷本重義、高 橋三加子、阿部隆 行、西山松生、田 中義昭、妻永昌、 河合弥各、樋口 順治・久保吉泥 展	植村鷹千代 吉井 忠 菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
蕭白一異端の画家展 から	遠藤 悟空	〃	20-7
展覧会評 新世紀、白日会、 太平洋、主体美術、 女流画家協会、光 陽会、新構造社、 朱葉会、創型会、 東方美術、新綜工 芸、新興展、日本 水彩展、大美展、 創造展、現展、土 窯グループ展、荒 木道夫、三上浩、 佐川敏子、勝尾青 龍洞、藤田喬平、 勝谷木僊、大平華 泉、安西啓明、早 坂信、高頭信子各 個展	三宅正太郎 菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
画業60年・金島桂華 回顧展から	菊地芳一郎	〃	20-8

展覧会評 前衛美術会、日展 水彩作家協会、日 府、煌土社、青炎 会、独立十人の会、 能雅会、川本末雄、 森田曠平、大野藤 三郎、木沢定一、 妹尾正雄、入江一 子、前林章司、藤 沢匠、藤林毅三、 大西弘之、水谷淳、 宮崎喜三、福田新 生、名村定志、坂 本淑晃、杉本博、 江原全秋、神山利 夫、千光寺五平各 個展	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
大久保作次郎回顧展	菊地芳一郎	〃	20-9
池田遙邨の近業	〃	〃	〃
展覧会評 院展、二科、行動、 一陽会、一水会、榎 倉省吾回顧展、熊 谷登久平遺作展、 池袋モンパルナス 展、遠藤桑珠、北 村治禎、寺池陶殊、 島村三七雄、井上 恒也、岡橋邦領、 峰村リツ子、大山 魯牛、川崎春彦各 個展	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
島海青児展から	三宅正太郎	〃	20-10
川崎市展にひとこと <ちょっと一言>	久富金之助	〃	〃
展覧会評 独立、二紀会、自 由美術、新制作、 白土会、九月会、 70年会、女流日本 画創作会、創展、 美術文化選技展、 芳月美人画展、山 崎豊、工藤甲人、 松尾敏男、水島裕 岡信孝、東条光顯、 滝田依子、飯塚小 玕齋、大橋年郎、 河村又次郎、田村 耕一、益田春光、 飯田満佐子、林香 代子、本目勇市、 神津港人、吉城弘、 平松謙、窪田義一、 李景朝各個展	菊地芳一郎 菊地 明子	〃	〃
現代ドイツ美術展を みて	植村鷹千代	〃	20-11
第3回日展評	菊地芳一郎	〃	〃
鍋木清方展から一自 作によせて	鍋木 清方	〃	〃
新しい領域としての 版画—第7回東京国 際版画ビエンナーレ 展にみる	三木 多聞	美術手帖	337
ドイツ表現派の不滅 のメッセージ	穴沢 一夫	〃	339

ストックホルムのヨゼフ・ボイスー回顧展をみて	東野 芳明	美術手帖	342
特集「第10回現代日本美術展」を考える		〃	344
さらなる沈黙に向って	上野 昂志		
「テーマ」と「作品」との間(対談)	中原 佑介 野村 太郎		
人間と自然をめぐって(シンポジウム)	菅谷規矩男 中村雄二郎 針生 一 李 禹煥 三木 多 (司会)		
私は「現代展」にいかに関わったか(作家の発言)			
「見せる」ことへのためらい	若林 奮		
私の方法	田中信太郎		
「放置」という状況	菅 木志雄		
五月十日の宿題	狗巻 賢二		
埋められない空白のなかで	近藤 竜男		
美術をほんとうの「商品」とするために	山口 勝弘		
事物との関係	高山 登		
第2回現代国際彫刻展		〃	346
現代はためらっている	野村 太郎		
やぶにらみ「人間像」—モノローグ風に	池田 龍雄		
マーサ・ジャクソンコレクション展	岡田 隆彦	〃	347
モロー—孤独な幻視者<展覧会から>	窪田 般弥	〃	348
ポルドー美術館展を見て	田中 英道	〃	349
第7回パリ青年ビエンナーレ報告	岡田 隆彦	〃	〃
「素材」の限定をどうとらえるか—第4回現代日本彫刻展の場合	(編集部)	〃	〃
「今日の日本画」展を観て—第1回山種美術館賞展	田中 皓一	萌 春	195

諸展観評		萌 春	195
茨木杉風、艸芽社、上原卓、石黒直子、佐々木直比古、塚原哲夫、服部漁舟、創造美術小品展、双杉会、尚美展、凱風会、柴門会、谷牙会、翠山会、美苗会、中央公論秋季展、芝英会、三三人展(浜田台児・下保昭・岡信孝)、埋火会、孔雀会、東陶会			
諸展観評		〃	196
日展日本画受賞作家展、黎会、玄岐会、黒崎義介、北沢映月、流品展、珠紅会、更会、青濤会、人展、春鶯会、展受賞作家展、光会			
春の院展と日春展と	田中 皓一	〃	198
向井久万展によせて	永井 信一	〃	〃
諸展観評		〃	〃
磯山会、総合美術展「潮」、彩三会、春相会、京都新作家展、秀虹会、和光美術展(絵画の部)、中央公論新人展、青羊会、木村琢一、開廊五周年記念・彩壺会、三多主会、東方美術展、石塚晃溪			
加倉井和夫展	細野 正信	〃	199
諸展観評		〃	〃
令月会、潮会、春暉会、煌土社、至岐会、西山英雄、梶喜一、安西啓明、春信会、女流日本画創作会、渾成会、宇田裕彦、林茂松作陶展、六葉会、高頭信子			
楠部弥式自選展	井上 昇三	〃	200
新制作日本画春季展	田中 皓一	〃	〃
諸展観評		〃	〃
輝風会、松柏会、戸田浩堂、早坂信、皆川泰蔵、桃葉会、無礙面塾展、川崎小虎、豊秋半次、鈴木茂子、燦光会、大平華泉、春風会、日本画院、藤井将太郎、青塔社			

諸展観評

萌 春 201

晨鳥社、霹靂展、  
守屋多々志、伸光  
展、雨晴会、彩潮  
会、青木大乗、彩  
昭、会、翳爽会、青  
風、会、好古会、涼  
涼、会、陽和会、無  
窮、会、松声会、采  
反、会、新制作、友  
展、昭風会、協造  
美術展、爽美会、論  
球琳会、中央公論  
春季展、毛利武彦、  
新興展、吉村醇三  
郎

池田遙邨日本画展印  
象記

加藤 一雄 ≧ 202

諸展観評

安西啓明、工彩会、見  
土窟グループ、女子  
玉輝彦、轍会、女  
美日展グループ、  
井上治男、朴土、グ  
ループ、金蘭会、  
燦人会、康端院、  
晴風会、創英会、  
川本末雄、新美術  
協会、梧桐会、清  
流会、尚美展、創  
造美術展、晴風会、登  
竜会

次代の新人よ出でよ  
一第56回再興院展評

細野 正信 ≧ 203

ガラスの詩人一岩田  
藤七喜寿記念展によ  
せて

南 邦男 ≧ ≧

石川晴彦観音展によ  
せて

田中 皓一 ≧ ≧

小林草月個展によせ  
て

細野 正信 ≧ ≧

諸展観評

全日本水墨画協  
会、九阜会、日本  
画小品展、燐土社、  
晨生会、創風会、  
村山登、常岡幹彦、  
八見会、彩交会、  
玄覽会、二十五日  
会、新美術会、  
美人画展、墨彩会、  
黎象会、阿部六陽、  
金羅会同人展、青  
明会

第35回新制作協会日  
本画評

永井 信一 ≧ 204

小野竹喬原画(天皇  
の世紀)展によせて

田中 皓一 ≧ ≧

諸展覧評

萌 春 204

青炎会、三珠会、女  
流日本画創作会、  
東方美術、金燿会、  
紫雲会、叢光会、  
日和会、北辰画廊  
三周年記念展、三  
人(岩田正巳・牛  
島憲之・寺島紫明)  
展、小野末、平川  
敏夫展、三上正寿、  
大野藤三郎、大山  
魯牛、益田春光、  
岡橋邦領、遠藤桑  
珠各個展

特別展「平安時代の  
彫刻」によせて

松島 健 ≧ 205

第3回日展の新展開

細野 正信 ≧ ≧

小野竹喬新作展によ  
せて

田中 皓一 ≧ ≧

松尾敏男第1回個展  
を見て

≧ ≧ ≧

諸展覧評

≧ ≧

四象会、興人会、  
至風会、新興秋季、  
鼎会、橙黄会、新  
月会、南画院、中  
村玲方、飯田満佐  
子、金子万、木村  
琢一、渡辺玉花、  
水島裕、横尾芳月、  
河口榮土、猿猴庵  
子各個展

英国風景画展によ  
せて

池上 忠治 視 る 44

小合友之助遺作展に  
よせる

佐野 猛夫 ≧ 48

第1回日本陶芸展を  
観て<眼>

木村 重信 ≧ 50

箱根の現代国際彫刻  
展によせて

小川 正隆 ≧ 51

東洋古美術

総 記

東洋の芸術観 5

中村 茂雄 嵯 峨 24—2

想芸の譜 25~36

吉村 貞司 日本美術  
工芸 388~399

骨董百話 25~36

小山富士夫 芸術新潮  
253~264

土俗の造形 1~12

足立 卷一 日本美術  
工芸 388~399

美のふるさと 6

安東 次男 ≧ 388

隠れたる美 1~11

原 随園 ≧ 389~399

塔 13~24

梅原 猛 芸術新潮  
253~264

美術史上のコンバッ  
ド・スタイル

中野 忠明 史迹と美術  
419

スキタイの動物意匠

カラデー  
ザイン 17—1

光悦とその世界

藤井 学 茶道雑誌  
35—11



明治5年の正倉院開封目録—腕川式胤日記「奈良の道筋」より—	由水 常雄	美術史	80	江戸時代の極楽寺地藏堂について	田中 敏子	鎌倉	20
東博保管のキリシタン関係遺品	江口 正一	ミュージアム	249	江戸時代の寿福寺寿福寺近世史料 1	高木 智子	〃	〃
一収集家のみたキリシタン関係遺品	北村 芳郎	〃	〃	甲賀の東寺・西寺	三浦 勝男	〃	〃
隠れキリシタンとその遺物	進士 慶幹	〃	〃	古寺巡礼 大悲山峰定寺	田中 義恭	月刊文化財	89
キリシタン関係遺品展観の記録		〃	〃	東寺から流れた国宝重文	毛利 久	仏教芸術	82
東北古美術雑話	亀田 孜	日本文化研究所研究報告別巻	7	豊前国法鏡寺の建立について	青山 茂	芸術新潮	258
陸奥路	森山泰太郎	月刊文化財	97	観世音寺の美術	中野 幡能	南都仏教	27
会津路	鈴木 啓	〃	93	日向薬師考	猪川 和子	月刊文化財	93
房総路	高橋 在久	〃	90	京都清水寺藏末吉船繪馬の汚染調査と保存処置	金平 妙子	立正史学	35
佐倉とその周辺	篠丸 頼彦	〃	94	日光輪王寺板絵著色神像等の技法と彩色保存処置	中里 寿克	〃	〃
武蔵野	大護 八郎	〃	92	神奈川縣称名寺板絵著色弥勒来迎図板絵著色弥勒浄土彩色保存処置	中里 寿克	〃	〃
三浦半島寺院案内	飯島 秀民	三浦古文化	10	国宝浄瑠璃寺三重塔初重内部彩色保存処置	茂木 曙	〃	〃
鎌倉時代の三浦半島	貫 達人	〃	10	日光輪王寺五大明王像彩色保存処置	立田 三朗	〃	〃
甲斐路	伊藤 祖孝	月刊文化財	89	国宝石山寺多宝塔内部柱彩色保存処置	〃	〃	〃
尾張・三河路	木村 篤治	〃	96	宮城県山王遺跡出土弁柄塗漆桶の技法とその保存処置	中里 寿克	〃	〃
奥美濃路・奥飛騨路	佐藤 時男	〃	95	日光男体山頂祭祀遺跡出土鉄器の保存処置	中里 寿克	〃	〃
湖と美と歴史—近江の文化圏序説—	田中比佐夫	日本美術工芸	397	東京国立博物館鉄灯籠の保存処置	樋口 清治	〃	〃
古京年代記 1~11	村井 康彦	〃	388~393 395~399	日光男体山出土鉄器および東京国立博物館屋外鉄灯籠のさびの分析並びに鉄器類の腐食についての考察	中里 寿克	〃	〃
南三河文化財紀行 1~6	川勝政太郎	史迹と美術	411~414 416, 417	明恵上人紀州遺跡卒塔婆保存処置	中里 寿克	〃	〃
伊勢路・熊野路	服部 貞蔵	月刊文化財	88	金属製遺物の保存法—宮山古墳出土遺物を中心として—	樋口 清治	月刊文化財	99
西海路—南蛮・唐・紅毛文化の跡	片岡 弥吉	〃	91	広島県立美術館内の空中菌	江本 義数	保存科学	7
太宰府の歴史	平野 邦雄	〃	93	法隆寺壁画再現パネルの防黴	〃	〃	〃
日本の山岳宗教	和歌森太郎	仏教芸術	81	新指定の文化財	倉田 文作	月刊文化財	92
山岳信仰美術の特質	佐和 隆研	〃	〃	文化財の模写・模造	〃	〃	〃
羽黒山信仰とその美術	村山 修一	〃	〃	文化財保護の事業計画—昭和46年度予算を中心として	中西 貞夫	〃	92
立山信仰と美術	高瀬 重雄	〃	〃				
白山信仰と美術	井上 鋭夫	〃	〃				
高賀山信仰と美術	佐和 隆研	〃	〃				
大峯の信仰と美術	神山 登	〃	〃				
熊野信仰と美術	鈴木 昭英	〃	〃				
国東・六郷山信仰と美術	中野 幡能	〃	〃				
彦山信仰の美術	筑紫 豊	〃	〃				
求菩提山信仰と美術	重松 敏美	〃	〃				
東国の出版文化と金沢文庫 1, 2	川瀬 一馬	金沢文庫研究	185, 186				

定期刊行物所載文献

日本における観光と文化財の保護	今 日出海	88	平群天神縁起絵巻について	真保 亨	仏教芸術	80	
絵 画			吉備大臣入唐絵詞(名品流転6)	三山 進	芸術新潮	258	
東洋の絵画 5~9	中村 二柄 嵯 峨	24-3, 6~9	竹崎季長絵詞の成立	石井 進	日本歴史	273	
中国美術と日本—水墨画・山水画・文人画—	吉沢 忠	季刊芸術	18	嵯峨山荘色紙和歌と似せ絵	家郷 隆文	藤女子大文学雑誌	9
日 本				北陸地方における聖徳太子伝の説話画の絵解きについて	川口 久雄	日本海城研究所報告	3
日本絵画における墨	源 豊宗	仏教美術	79	伝道宣図考—法金剛院本を中心に—	山本 興二	国 華	941
装飾古墳の線刻画(拓本5)	平川 明 三 彩	278	長曾我部元親肖像とその周辺	竹内 尚次	ミュージアム	244	
高野山阿弥陀聖衆来迎図(名品流転1)	三山 進	芸術新潮	253	室町時代水墨画史序考	山岡 泰造	仏教芸術	79
曼荼羅	香取 忠彦	日本美術	80	異国の鳥を放つ空周上、下一室町時代花鳥図の展開—	中島 純司	国 華	935, 936
星宿美術	真鍋 俊照	古美術	35	東国の陀磨派—14. 5世紀を中心に—	三山 進	金沢文庫研究	180
羅睺・汁都の図像鑑賞	野尻 抱影	8	8	東坡今留何個身	田中 一松	古美術	34
大威徳明王とその曼荼羅	山口桂三郎	国 華	932	戦国武将と宋画「花の絵」(名品流転3)	三山 進	芸術新潮	255
日光滝尾権現曼荼羅	景山 春樹	ミュージアム	241	桃山時代の水墨画の問題点	蓮実 重康	仏教芸術	79
別尊雑記の研究—成立問題を中心にして	錦織 亮介	仏教芸術	82	神武寺の彫刻と絵画	三山 進	三浦古文化	10
八字文殊像について	高崎富士彦	ミュージアム	239	臨川寺の障壁画	土居 次義	史迹と美術	415
文殊騎獅像	白畑 よし	古美術	35	信行寺の天井画と金刀比羅宮の障壁画	8	ミュージアム	245
鎌倉紀年の文殊図—徳治二年蔵山順空贊	田山 方南	8	8	復元された天球院障壁画	田中比佐夫	芸術新潮	261
愚極礼才贊騎獅文殊像	徳永 弘道	国 華	933	観桜漁楽図屏風	檜崎 宗重	国 華	933
細見家所蔵愛染明王画像について	関口 正之	美術研究	274	日月モチーフと宮廷絵所—日月山水図屏風の一考察—	吉田 友之	美 学	87
十一面観音像厨子絵	山本 興二	国 華	941	祇園会と絵画	土居 次義	茶道雑誌	35-7
興福寺蔵紺紙金字成唯識論の荘嚴画	江上 綏	美術研究	277	洛中洛外図屏風 佐渡 妙法寺蔵	檜崎 宗重	国 華	932
社寺縁起絵	中野 玄三	月刊文化財	97	京名所図屏風	水尾比呂志	8	929
絵巻入門 1~10	宮 次男	日本美術工芸	390~399	大追物図屏風	武田 恒夫	8	930
高山寺の鳥獣戯画と鳥羽僧正について	白畑 よし	茶道雑誌	35-4	三木市金剛寺の競馬・遊楽図屏風	磯 博	美学論究	5
原家旧蔵伊勢物語絵巻の絵解き—並びに詞書とその下絵に関する私見—	田村 悦子	美術研究	273	歌舞遊宴図屏風解説	檜崎 宗重	国 華	938
伊勢物語絵巻について	真保 亨	ミュージアム	241	四条河原賀茂競馬—双屏風 解説	8	浮世絵芸術	30
信貴山縁起絵巻様式論 1、2	下店 静市	史迹と美術	418, 420	京名所図屏風 解説	8	8	29
善光寺如来絵伝 解説	宮 次男	国 華	931	日本南画と伝統の問題	下店 静市	史迹と美術	411
清凉寺融通大念仏縁起絵巻 解説	切畑 健	8	8	近世写生画の系譜	横田 洋一	三 彩	278
研究資料 長谷寺縁起 上、下	宮 次男	美術研究	275, 276	綺矯の画家—流派ならざる流派	辻 惟雄	みづゑ	800
長谷寺縁起詞書公刊	8	8	278				

シンポジウム 異色の画家	飯沢 匡 鈴木 進 鈴木 仁一	古美術	34	栄賀筆涅槃図	豊岡 益人	愛知県立芸大紀要	1
幕末風景画論 1、2	佐々木静一	三彩	269, 274	書写山の狩野永納	土居 次義	日本美術工芸	391
浮世絵年譜		浮世絵芸術	28	極私的絵金潜り	鈴木志郎康	美術手帖	345
女性の歳時記	和歌森太郎	シ	シ	位相の転換	大西 広	シ	シ
天明の美と情念	笠原 伸夫	みづゑ	800	偽絵をかいたお城絵師—絵金(真贋88)	邦光 史郎	芸術新潮	256
浮世絵と服装	遠藤 武	浮世絵芸術	28	円空筆絵画群	棚橋 一晃	墨 美	212
美人画の系脈	山口桂三郎	シ	シ	応挙関係資料 植松家の蔵品を中心に上・下	佐々木丞平	仏教芸術	79, 80
美人浮世絵	檜崎 宗重	シ	シ	円山応挙の水墨画—三井家蔵「雪松図」を中心にして—	橋本 綾子	仏教芸術	79
美人画展主作家略伝	山口桂三郎	シ	シ	円山応挙筆東山三絶図	河野 元昭	国 華	936
浮世絵江戸美人展によせて	高橋誠一郎	シ	シ	小野田直武筆洋人調馬図をめぐって—江戸時代洋風画史の一面	成瀬不二雄	シ	938
絵 暦	進士 慶幹	シ	31	貫名海屋筆黄蜀葵図解説	吉沢 忠	シ	939
「浮世絵類考」論究 1~8	北小路 健	萌 春	197~204	貫名海屋筆墨竹図解説	シ	シ	シ
火入れ持つ立美人解説	山口桂三郎	浮世絵芸術	30	貫名海屋筆摸楊文聰江山湖亭図 解説	シ	シ	シ
珠とり 解説	シ	シ	シ	懐月堂美人 解説	檜崎 宗重	浮世絵芸術	30
琉球八景	溝口 康磨	シ	29	華山の「富岳風雨」をめぐって(真贋91)	沢野 久雄	芸術新潮	289
大津絵考	小野 忠重	古美術	33	新出の武人画家北畠具教卿の墨画と曾祖父政郷卿画像について	竹内 尚次	ミュージアム	240
大津絵の技法と解題	徳力富吉郎	シ	シ	桑山玉洲筆山水画	鈴木 進	古美術	35
日本の初期洋風画	金田 民夫	文化史年報	20	桑山玉洲筆錦鶏図	細野 正信	シ	34
洋風画家研究 1~12	細野 正信	国博ニュース	284~295	玉堂伝拾遺	脇田秀太郎	国 華	940
絵 馬	山本 政雄	日本美術	73	浦上玉堂筆春雲模糊図	鈴木 進	古美術	34
蔵王堂の渡海船額		奈良研年報	1971	立原杏所筆東照神君図 解説	河野 元昭	国 華	940
日本版画文化史 6~8	杉山 二郎	季刊版画	10~12	歌川国貞の画歴と業績 付その壮年期の肖像	鈴木 重三	浮世絵芸術	28
長崎版元の版元と作家についての議論—特に収蔵資料を中心として	安永 幸一	長崎県立美術館報	45年度	大道芸人歌川国芳	池田 竜雄	みづゑ	799
「日本製品図説」について	山口桂三郎	浮世絵芸術	29	幻想の靈媒—歌川国芳の優雅なる異端—	松永 伍一	美術手帖	344
「御城天守の図」について	阿部 宏	大阪市立博物館研究紀要	3	末期浮世絵の異色作—国芳・芳年・芳幾	鈴木 仁一	古美術	34
「摂州大坂御城之図」について	平山敏治郎	シ	3	銅板師玄々堂	三井 高陽	浮世絵芸術	31
足利義持自画賛達磨図	衛藤 駿	古美術	35	江漢の珍しい作品	出井 祐治	シ	29
伊年筆四季草花図屏風	中村 溪男	古美術	34	木曾路の江漢	細野 正信	季刊芸術	16
岩佐勝重の場合—新出福井城鶴の間の襖絵を中心に—	磯 博	萌 春	204	江漢の種本	菅野 陽	芸術新潮	259
岩佐又兵衛	辻 惟雄	古美術	34	オランダ版「職人ブック」	シ	学 鏡	68-2
岩佐勝以筆故事説話図巻について	檜崎 宗重	国 華	936				
歌麿の生涯と芸術	菊地 貞夫	浮世絵芸術	28				

定期刊行物所載文献

狩野山楽の禅機・唐人人物図について	土居 次義	国 華	938	御物宗達扇面散屏風の伝来についての誤伝 附御物予楽院草書六箴屏風	近藤 武幹	古 美術	33
伊藤若冲一物好きの集合論	種村 季弘	みづゑ	800	俵屋宗達筆牡丹図解説	水尾比呂志	国 華	940
若冲研究拾遺	秋山 光夫	ミュージアム	245	池大雅筆偃山楼居図解説	吉沢 忠	シ	938
若冲筆動植綵絵を中心として	辻 惟雄	シ	シ	日根対山筆赤壁舟遊図屏風	シ	シ	929
伊藤若冲の水墨画について—鹿苑寺障壁画など前期の作品を中心に	小林 忠	シ	シ	財政危機を救った竹田の「亦復一楽帖」(名品流転10)	三山 進	芸術新潮	262
凝視の画家伊藤若冲上・下	シ	美術グラフィ	20—10, 11	曾我直庵筆山水図屏風	水尾比呂志	国 華	937
伊藤若冲筆葡萄図	水尾比呂志	国 華	932	狩野常信筆耕作図屏風	シ	シ	931
若冲の再見(座談会)	J・ブライ ス 千沢 慎治 小林 忠	芸術新潮	262	在郷時代の長谷川等伯	土居 次義	日本美術 工芸	398
若冲美術館を建てたアメリカ人	シ	シ	255	初代豊国の役者絵落款による画風変化の考察—旧松方コレクションを中心として	菊地 貞夫	東京国立 博物館紀 要	6
1 私の若冲遍歴	J・Dブ ライ イス	シ	シ	長谷川信春筆山水図解説	徳永 弘道	国 華	937
2 若冲になりきったブライスさん	白畑 よし	シ	シ	山本梅逸筆雪中芦雁図解説	吉沢 忠	シ	937
曾我蛇足と宗文をめぐる諸問題	田中 一松	仏教芸術	79	山本梅逸筆歳寒三友図屏風解説	シ	シ	シ
謎の写楽の謎—その周判における屋号・俳名・紋所について	堀城 利蔵	浮世絵芸術	31	鈴木春信とその芸術	小林 忠	浮世絵芸術	28
黙庵周論自賛像	徳永 弘道	国 華	940	今日における春信の錦絵	ジャック・ヒリヤー	シ	29
浦上春琴筆花鳥図屏風	吉沢 忠	シ	932	多武峯の百川	清水 孝之	萌 春	203
勝川春章筆桜下大夫図	菊地 貞夫	古 美術	34	与謝蕪村筆群石図屏風解説	吉沢 忠	国 華	931
曾我蕭白—狂想の天明空闊	由良 君美	みづゑ	800	与謝蕪村筆双石図解説	シ	シ	シ
蕭白	遠藤 悟空	美術グラフィ	20—7	岡田米山人筆騎牛吹笛図解説	シ	シ	935
生ける幽鬼—曾我蕭白	吉村 貞司	芸術新潮	260	岡田米山人筆松齡鶴算図解説	シ	シ	シ
播州の蕭白画について	松尾 勝年	美学研究	5	岡田米山人筆竹石図解説	シ	シ	シ
峯山の弟如山について	小沢 耕一	日本歴史	279	谷文晁筆瀑布図解説	河野 元昭	シ	930
雪溪筆獅子・虎豹図屏風一双	宮 次男	古 美術	35	酒井抱一筆秋草図屏風	中村 淡男	古 美術	35
雪舟資料「雪舟二大字」に関して	熊谷 宣夫	仏教芸術	79	酒井抱一筆牡丹黄雀図解説	水尾比呂志	国 華	936
新出の雪村筆潑墨山水図	中村 淡男	ミュージアム	244	北斎の読本挿絵	東野 芳明	みづゑ	802
仙厓さんの書画から	古田 紹欽	茶道雑誌	35—7,8	北斎初期の黄表紙2	安田 剛蔵	浮世絵芸術	29
宗達水墨画をめぐる諸問題—新出雲竜図屏風の紹介を機に—	田中 一松 米沢 嘉圃 山根 有三 (司会) 吉沢 忠 水尾比呂志	国 華	934	広重進出後の北斎	永田 生慈	シ	30
法橋以前の宗達作への疑問(真贋95)	村重 寧	芸術新潮	263	「北斎漫画」の滑稽表現について	狩野 博幸	美 学	87
				北斎筆甲州三坂水面	斎藤 巖	浮世絵芸術	31
				物語絵屏風 土佐光起筆	白畑 よし	古 美術	33



華山が買えなかった 宮本武蔵の「枯木鳴 鶴図」(名品流転12)	三山 進	芸術新潮	264
青木木米筆聴濤図	吉沢 忠	国 華	933
掘り出した師宣の挿 絵手控帳	庄司 隆治	芸術新潮	254
長沢芦雪筆桐葉図	水尾比呂志	国 華	935
長沢芦雪筆墨竹図屏 風	シ	シ	933
長沢芦雪筆夜雨水上 之竹図	シ	シ	930
中国・その他			
画論に見る気思想 一気韻生動について	倉田 公裕	萌 春	197
骨法試考一骨の構造	シ	シ	200
長沙出土楚帛書の十二 神の由来	林 巳奈夫	東方学報 京都	42
古代中国における仙 界図像	土居 淑子	美術史研 究	8
伝徽宗摹張萱搗練図 の成立に関する考察	五味 充子	美術史	81
伝夏圭筆山水図につ いて一夏圭画に関す る二、三のノート	渡辺 明義	国 華	931
伝牧溪筆芙蓉図をめ ぐる二、三の考察	戸田 禎佑	仏教芸術	79
南宋初期の禅宗祖師 像について(上)(下) 一拙庵徳光贊達磨像 を中心に	徳永 弘道	国 華	929, 930
一山一寧賛芦葉達磨 図 解説	海老根聡郎	美術史	81
幻住永中白衣観音図	シ	古美術	34
鹿王院釈迦三尊図に ついて	戸田 禎佑	美術研究	276
内閣文庫蔵「元朝画 者伝」について	海老根聡郎	ミュージ アム	241
芦雁図について	米沢 嘉圃	国 華	929
明末清初の絵画 下	川原 正二	美術グラ フ	20-1
江稼圃筆傲黄公望山 水図解説	米沢 嘉圃	国 華	939
朝鮮の民画	泉 宏尚	三 彩	272
秘境の壁画 壁画—そのオリエン ト的展開	柳 宗玄	芸術新潮	262
壁画模写に参加して ファラスの一日	吉岡 堅二		
幻の宮殿壁画	鈴木 入司		
画堂パーミヤン	香山 陽坪		
壁画との対話	樋口 隆康		
遙かなり敦煌	松久保秀胤		
オリエントへの問い	安保 久武		
アフラシヤ壁画模 写	江上 波夫 岡本 太郎		
中央アジア出土バラ リック・テベの壁画	土居 淑子	国 華	937

書 蹟

書の鑑賞 121~127	綾村 坦園	茶道雑誌	35-3, 4, 7, 9, 10- 12
墨跡 一行物 1~ 12	芳賀幸四郎	淡 交	24-1~12
日 本			
短 冊	橋本 政宣	日本美術 工芸	389
薬師寺仏足石記と書 者「神直石手」につ いて	吉村 怜	美術史研 究	8
平安時代の一切経書 写と法隆寺一切経	堀池 春峰	南都仏教	26
古 筆	古矢 弘	茶道雑誌	35-8
古筆の内容 41 拾遺抄の古筆切	久曾神 昇	かな研究	42
私撰集と古写断簡の 意義	シ	国語と国 文学	48-4
寛平御時后宮歌合考	松原 茂	墨 美	215
紫式部日記逸文資料 「左衛門督」の「梅の 花」の歌	稲賀 敬二	国語と国 文学	48-4
「橘為仲集」考	久保木啓夫	シ	シ
高松宮本「唯心房集」 一翻刻と解説一	井上 宗雄	シ	シ
定家本伊勢物語の新 資料	中田 武司	シ	シ
藤原為家古今開書 「拾遺抄」残欠異本の 紹介	松田 武夫	シ	シ
中世私家集の資料に ついて	橋本不美男	シ	シ
吉田忠氏蔵古写本 「こわたの時雨」につ いて 上、下	久保田 淳	シ	シ
田村 悦子	美術研究		276, 277
藤原佐理の書風	田 洵 保夫	立正大人 文科学研究 所年報	9
世尊寺流書考 42	田中 塊堂	かな研究	42
利休の書簡	桑田 忠親	日本歴史	273
利休の文	田山 方南	茶道雑誌	35-3
芝監物殿まいる一利 休の書簡	矢橋竜太郎	シ	シ
利休書簡の自筆と代 筆について	桑田 忠親	シ	35-12
瑣談—光悦	吉田 光邦	シ	35-11
光悦の手紙	波多野幸彦	シ	シ
光悦と嵯峨本	赤井 達郎	シ	シ
宋旦の手紙 1~5	曾我部陽子 清瀬ふさ子	シ	35-8~12
近衛信尹と近衛流 女人の書	春名 好重	墨 美	207
9 細川ガラシヤ 10 小野お通 11 千姫 12 吉野大夫 13 京極 闇知の娘 14 春日局 15 三沢初子 16 長谷 川妙躰 17 池玉瀾 18 村山たか 19 梁川 紅蘭 20 蓮月尼	前田 詠子	日本美術 工芸	388~399

定期刊行物所載文献

良寛一未発表資料3	原田 勘平	墨 美	208
良寛筆詩稿について	シ	シ	210
木村家名物良寛和尚歌巻訓註	シ	シ	211
良寛と木村家	シ	シ	シ
良寛草堂詩集 本田家蔵3	シ	シ	213
木村家蔵良寛 屏風・額・幅類	シ	シ	216

中国・その他

楼蘭出土の「焉耆一派」文書について	小山 満	東洋学術研究	10—1
晋・辟雍碑	伏見 冲敬	書 品	214
歴史の流れに翻弄された王羲之の「行穰帖」(名品流転9)	三山 進	芸術新潮	261
正光五年の二刻石	伏見 冲敬	書 品	218
徂徠山摩崖	シ	シ	219
龍門造像記小品 上・下	伊藤 伸	シ	216, 217
唐賢首国師真蹟「寄新羅義湘法師書」考	神田喜一郎	南都仏教	26
密庵の墨跡	増田 孝	日本美術工芸	399
虚堂の虎丘十詠と諸跋一法雲・雲岫兩筆の墨跡一	田山 方南	古美術	35
竺仙梵遷の墨跡	菅原 寿雄	三浦古文化	9
良寛詩巻	伏見 冲敬	書 品	215
八大山人・醉翁吟	伊藤 伸	シ	220
藤井有鄰館所蔵甲骨文字	伊藤 道治	東方学報 京都	42

彫 刻

日 本

日本の彫刻	香取 忠彦	日本美術	75
仏像の美 1~12	望月 信成	日本美術工芸	388~399
石仏行 2 磨崖信仰と鷲殿石 3 播磨の石棺 4 朝鮮石人像 5 上州の閻魔と地蔵 6 江戸石仏	里見 文明	三 彩	270, 272, 274, 276, 279
拓本たち 3 信州の石仏 4 信濃の修那羅 6 線刻の磨崖仏	平川 明	シ	273, 275, 281
十三仏成立への展開 檀龕再説	植島 基行 山本 智教	密教文化 シ	94 97
飛鳥白鳳仏源流考 1~4	松原 三郎	国 華	931~933 935

奈良時代の鑄造技法—造像技法考4—	辻本 千也	仏教芸術	82
平安彫刻の木寄せ法の展開—木彫像技法研究ノートから—	西川杏太郎	ミュージアム	248
平安初期の仏像—特別展「平安時代の彫刻」に寄せて	松島 健	萌 春	205
時代仏の優等生—平安時代彫刻展—	丸山 尚一	芸術新潮	263
東寺講堂の諸尊について	上原 昭一	ミュージアム	247
東寺諸尊の調査のおもいで	倉田 文作	月刊文化財	97
明通寺仏像群について	菊田 益二	小浜市史紀要	2
播磨浄土寺とその彫刻	田辺三郎助	月刊文化財	96
満願寺の彫刻	佐藤 昭夫	三浦古文化	10
神武寺の彫刻と絵画	三山 進	シ	シ
鎌倉時代の金銅仏	田辺三郎助	シ	9
鎌倉時代の金銅仏	シ	金沢文庫研究	178
鎌倉彫刻における高警は宋風か	麻木 脩平	史迹と美術	415
運慶小考	松島 健	ミュージアム	244
東国における運慶—浄楽寺諸像を中心—to	三山 進	国 華	940
浄楽寺の諸像—東国における運慶の造像—	田中 義恭	三浦古文化	10
幕末の鎌倉仏師後藤真慶	三山 進	鎌 倉	20
平安初期における如来像の展開 上	久野 健	美術研究	278
仏生寺村洞窟出土の金銅如来立像	シ	古美術	34
二つの誕生仏	上原 昭一	シ	33
白鳳の悲劇を秘めた阿弥陀三尊像(名品流転 11)	三山 進	芸術新潮	263
平安時代の宝冠仏	光森 正士	ミュージアム	246
仁和寺阿弥陀三尊の造立年代	佐藤 昭夫	シ	247
平等院鳳凰堂本尊像の光背	倉田 文作	シ	243
法金剛院阿弥陀如来像について	井上 正	国 華	941
不寿寺阿弥陀如来像について	井上 正	ミュージアム	248
播磨浄土寺の弥陀三尊像	倉田 文作	仏教芸術	80
信濃善光寺如来原像の銅造等身説 付・善光寺式如来像分布一覧表および在銘像年表	たなかしげひさ	シ	82

新発見の善光寺式銅像と板碑小考	石村 喜英	史迹と美術	418	宗教的視覚による仏像美の探求	西村 公朝	美術院紀要	2
忘れられた蟹満寺の本尊	菅原 明朗	芸術新潮	254	宗教的視覚による仏像美の探求	〃	東京芸大美術学部紀要	7
会津勝常寺の薬師三尊像	倉田 文作	ミュージアム	246	東大寺大仏の鑄造及び補修に関する技術的研究 4. 右手の現状調査報告と天正八年修理の意義並びに鑄師弥左エ門について	前田 泰次 西 大由 戸津圭之介 松山 鉄夫 平川 晋吾	東京芸大美術学部紀要	7
勝尾寺薬師三尊像	田中 義恭	〃	247	「明月院塑造北条時頼像」の修理について	小野寺久幸	美術院紀要	2
創建期東大寺大仏の比例的復原	香取 忠彦	日本美術	77	代用金箔及び金粉・金泥の塗られた仏像の修理について	酒依清太郎	〃	〃
大仏様の蓮弁刻画	平岡 定海	大手前女子大論集	5	仏像修理における美術院修理と仏師の修理法の違いについて	菰田宗二郎	〃	〃
華嚴經に於ける須弥山思想の受容—大仏蓮弁毛彫の思想的背景—	松山 鉄夫	ミュージアム	239	中国・その他			
東大寺大仏の鎌倉再興について	〃	美術学	87	新羅金銅仏年代考—特に如来、菩薩小像の台座形式を中心として—	松原 三郎	美術研究	275
東大寺大仏の鎌倉再興について	久野 健	芸術新潮	254	慶州南山の石仏	永井 信一	女子美大紀要	3
知られざる半跏思惟像	猪川 和子	史迹と美術	417	炳靈寺石窟の西秦造像銘について	福山 敏男	美術研究	276
天文十二年修理銘のある弥勒菩薩立像について	鷲塚 泰光	ミュージアム	248	カシュミール金銅仏坐像の一例	杉山 二郎	古美術	33
中山寺と相応峯寺の十一面観音像	久野 健	美術研究	274	建築・庭園・石造美術			
仏師賢光の十一面観音像について	長谷川 誠	国華	941	規矩考—「周礼考工記」よりの考察—(3)	高田 克巳	大手前女子大論集	5
十一面観音像 解説	上原 昭一	古美術	35	「大工職」について	中村 直勝	史迹と美術	413
金銅如意輪観音菩薩坐像	長谷川 誠	国華	941	宮殿と寺院遺跡 3、4 寺院遺跡上下	浅野 清	仏教芸術	80,82
僧形文殊像 解説	久野 健	ミュージアム	247	古代寺院跡における寺域の問題	三輪 嘉六	考古学ジャーナル	61
平安初期の地藏菩薩像について	長谷川 誠	国華	941	宮城県古川市伏見廃寺跡	佐々木茂楨	考古学雑誌	56—3
地藏菩薩像 解説	井上 正	〃	941	下野薬師寺の調査概況について	斎藤 忠	仏教史研究	5
事件をひき起した「愛染明王座像」(名品流転 4)	三山 進	芸術新潮	256	円覚寺舍利殿(名品流転 2)	三山 進	芸術新潮	254
平安時代四天王彫像の形制について	猪川 和子	ミュージアム	246	円覚寺舍利殿の創建年代再論—「万年山正統院仏牙舍利略記」と「鹿山略誌」—	川副 武胤	日本歴史	280
天心から横取りした「毘沙門天像」(名品流転 7)	三山 進	芸術新潮	259	神奈川県真鶴町釈迦堂遺跡とその出土遺物	杉山 博久	考古学雑誌	56—4
木造大黒天半跏像(青蓮院旧蔵)	上原 昭一	古美術	34	北条氏願成就院跡をさぐる	北村 文治	日本歴史	282
国宝 梵天坐像 解説 教王護国寺蔵	松島 健	ミュージアム	246	信濃善光寺本理院殿廟墓について	鷹司 晋玉	仏教大学研究紀要	55
藤原時代の二王像について—旧蓮台寺像を中心に—	井上 正	仏教芸術	80	温泉寺本堂の修理	鈴木 嘉吉	月刊文化財	91
興福寺十大弟子像	松島 健	萌 春	200				
乾漆造伎楽面	佐藤 昭夫	ミュージアム	243				
菩薩面私考—平安時代を中心して—	田辺三郎助	〃	248				
播磨浄土寺の菩薩面	〃	仏教芸術	80				



定期刊行物所載文献

円勝寺跡の発掘調査	円勝寺発掘調査団	仏教芸術	82	京都奈良伝統文化保存シンポジウム	伊藤ていじ	月刊文化財	89
廃寺園部善願寺攷 宇治の鳳凰堂	吉田 清 香取 忠彦	仏教史学 日本美術	15-2 81	紀伊風土記の丘の民家	浜島 正士	ス	98
東大寺行基堂の建築年代について	松山 鉄夫	東京芸大美術学部紀要 奈良研年報	7 1971	茶室研究雑考 棚の発生と変遷過程に関する構造的・生活空間と装置の相関関係に対する考察 <sup>1</sup> <sup>2</sup>	中村 昌生 後藤偉沙雄	茶道雑誌 九州産業大学芸術学部研究報告	35-2 1-2
海竜王寺の発掘 <sup>2</sup>		日本建築学会論文報告集	187	利休の詫びの意匠 宗旦の茶室補遺 国宝如庵	中村 昌生 ス 佐々木利三	茶道雑誌 ス 林 泉	35-3 35-9 211
法隆寺建築(金堂・五重塔)の研究 <sup>1</sup> 立面構成について	堀内 仁之	月刊文化財	90	作品の評価をめぐる一遠州の金地院茶室の場合 <sup>1</sup>	中村 昌生	茶道雑誌	35-5
伯耆国分寺の発掘調査	宮沢 智二 亀井 照人 佐藤 興治	史迹と美術 奈良研年報	411 1971	潜在的構造がひらく媒体の領域—複合体としての大徳寺孤蓬庵— 九州の茶室 <sup>1</sup>	中村 昌生 石井 和紘	茶道雑誌 建築文化	294
明日香村の四建築遺跡考	たなかしげ ひさ	日本歴史	273	高勾欄系瓦の源流と其影響	太田 静六	考古学雑誌	57-2
平城宮跡飛鳥藤原宮跡発掘調査		ス	280	奈良山53号窯の調査 妙喜庵の瓦	沢田 由治	奈良研年報 陶 説	1971 223
平城宮埴積基壇建物および一部の復原模型		日本美術	76	日本の庭園 露路 <sup>1</sup> ~ <sup>12</sup>	香取 忠彦 中村 昌生	日本美術 淡 交	25-1~ 12
小墾田宮推定地・藤原宮跡の発掘調査(文化財レポート41) 出雲国庁を求めて	安達 厚三 木下 正史 町田 章	日本建築学会論文報告集	181	草庵と露地—庭に現われた自然観— よみがえった瑞泉寺の庭園 竜安寺石庭の謎(真贋 93)	野村 尚吾 香取 忠彦 佐々木剛三	ス 日本美術 芸術新潮	25-11 78 261
多賀城外郭線の調査	進藤 秋輝 工藤 雅樹	考古学雑誌	56-4	古代の石の造形 庭園石造などの見聞記 <sup>1</sup> ~ <sup>11</sup>	香取 忠彦 佐々木利三	日本美術 林 泉	74 204~213
一乗谷朝倉館跡の調査	田中 哲雄 石松 好雄	考古学ジャーナル	59	手水鉢通説 <sup>11</sup> ~ <sup>13</sup> 初発期陽刻像板碑の紹介と検討	川勝政太郎 肥留間 博	茶道雑誌 史迹と美術	35-2, 5, 8 416
伏見城 <sup>1</sup> —武家地の建築 近世都市図屏風の建築的研究— 洛中洛外図 <sup>3</sup>	内藤 昌嗣 大野 耕宏 高橋 宏之	日本建築学会論文報告集	182	新発見の善光寺式銅像と板碑小考 三浦半島の庚申塔(続)	石村 喜英 服部 清道	ス 三浦古文化	418 9
近世都市図屏風の建築的研究— 洛中洛外図 <sup>4</sup> 伏見城 <sup>2</sup> — 武家地の建築	内藤 昌嗣 大野 耕宏 高橋 宏之	ス	180	稱名寺開山審海五輪塔について 近江石塔の新資料 <sup>1</sup> , <sup>2</sup>	前田 元重 佐野知三郎	ス 史迹と美術	10 412, 415
聚楽第一武家地の建築 近世都市図屏風の建築的研究— 洛中洛外図 <sup>2</sup>	内藤 昌嗣 大野 耕宏 高橋 宏之	ス	180	早期宝篋印塔 <sup>3</sup> —近江の早期塔— 石塔別所と阿育王塔 西陣舟橋の五輪塔地蔵	香取 忠彦 佐々木利三 藤井 学 佐野知三郎	日本美術 林 泉 茶道雑誌 史迹と美術	74 204~213 35-5 413
農村歌舞伎舞台	角田 一郎	月刊文化財	90				
浅草鳥越の天文屋敷	下沢 剛	史迹と美術	419				
石川県の民家調査		奈良研年報	1971				
木曾妻籠宿の保存	太田博太郎	月刊文化財	96				
京の町見たまま <sup>1</sup> ~ <sup>5</sup>	近藤 豊	史迹と美術	412~416				
奈良の民家	宮沢 智士	日本美術工芸	388				
大和今井町の町並み保存	伊藤 延男	月刊文化財	89				
今井町の調査 <sup>3</sup>		奈良研年報	1971				



益田岩船は墳墓ではない—益田岩船補考—	藪田嘉一郎	史迹と美術	414	和物水指彼是	満岡 忠成	陶 説	217
和泉市岡田氏蔵 正中三年石灯籠	田岡 香逸	シ	417	名鉢展によせて	小田 栄一	シ	224
奥院の板碑類一見(上)(下)—紀伊高野山金石遺記 9—	天岸 正男	シ	411, 412	名鉢展従覧 上、中	十和田湖月	茶道雑誌	35—11, 12
山口県下の石造美術(上)(下)	内田 伸	シ	419, 420	「とっくり」と「つぼ」	田中繁三郎	日本美術工芸	390
九州にも五輪・宝篋印混合式塔	多田隈豊秋	シ	411	同心草 1 魯山人と 修静堂 2 大日本陶 工久左 3 竜文堂安 平 4 王炳榮 5 唐 物 茶 碗 写 し 6 穎 川・木米と瀬戸窯 8 冬 7 古丹波花生 8 冬 木名物 9 柿右衛門 香象 10 越前一乗谷 11 餅フゴ盆	満岡 忠成	日本美術工芸	389~399
古建築模型の製作	工藤 圭章	ミュージアム	241	日本			
中国・その他				古代手工業の歴史地理学的考察—窯業を中心として—	高橋 誠一	史 林	54—5
ストゥーパーの起源について—インド美術史論に関する覚え書より—	柏瀬清一郎	名古屋大学文学部研究論集	54 (哲学18)	須恵器 1~12	田辺 昭三	日本美術工芸	388~399
ガンダーラの遺跡・都市と建築	西川 幸治	建築雑誌	1032	東北北部における須恵器の生産	坂詰 秀一	立正大学人文科学研究所年報	9
パーミアンの石窟寺院	伊藤三千雄 大野 耕嗣	シ	1032	須恵器坏の製作技法—倉田芳郎氏の論説を中心にして—	伊藤 博幸	考古学ジャーナル	63
パーミアンの石窟寺院に関する諸問題	小寺 武久	シ	1032	須恵器 大壺	小山富士夫	古美術	35
ネパール古建築	藤岡 通夫	シ	1032	浦和市採集の刻文・墨書土器	梅津 昇 中森 成行	考古学ジャーナル	59
工 芸				施釉古土器について	梅原 末治	史迹と美術	420
日本の工芸	吉田 光邦	茶道雑誌	35—5	平城京東三坊大路東側溝出土の施釉陶器	高島 忠平	考古学雑誌	57—1
近代化と伝統手工業の変遷	南 邦男	月刊文化財	93	日本における彩釉陶器の性格	檜崎 彰一	陶 説	219
日本伝統工芸の将来	今泉 篤男	シ	99	やきものの美 13, 14 壺屋, 上, 下 15 苗代川 16 小石原 17 小鹿川 18 肥前 19 布志名 20 牛戸 21 立杭 22 本郷 23 益子 24 砥部	水尾比呂志	日本美術工芸	388~399
陶 磁 工				伝統の陶芸			
土の生命	仁科宗一郎	陶 説	224	12. 染焼	平野 敏三		
やきものの科学的年代決定について	古賀 孝	シ	シ	13. 京焼	満岡 忠成		
三彩の道	三上 次男	シ	219	14. 美濃焼	加納 陽治	月刊文化財	88~94
陶器鑑賞における日本の特質	満岡 忠成	美 学	87	15. 東北のやきもの, 上, 下	吉田 耕三		
利休の茶陶	林屋 晴三	茶道雑誌	35—3	統々古窯巡礼 5 砥部・高取西皿山 6 仙台の古窯 7 北国のやきもの 8 古典への復帰—伊賀・丹波・越前の再興 9 九谷焼を求めて 10 大樋窯と普正寺遺跡 11 大和の古窯—赤膚焼— 12 兵庫県の北と南 13 薩摩焼	村上 正名	陶 説	215~220, 222, 224, 225
茶碗の美 1~12	佐藤 雅彦	淡 交	25—1~12	古窯巡礼こぼれ話	村上 正名	シ	221
茶壺の銘	井口 海仙	シ	25—6				
初期の茶会に使われた水指	磯野風船子	陶 説	217				
水指展望—名物記をとおして—	岡田 宗毅	シ	シ				
わたくしの水指の憶出	加藤恭太郎	シ	シ				
思い出の水指	高橋 城皓	シ	シ				
水指と私	谷口 健	シ	シ				
得手勝手	直木友次良	シ	シ				
水指のこと	坂東三津五郎	シ	シ				
水指について—鑑賞陶からの転用—	広田不孤斎	シ	シ				

定期刊行物所載文献

国焼のふるさと	黒田 宗光	淡 交	25—12	長与三郎	岡田 藻魚	シ	219
志戸呂焼	浜田 斎	陶 説	215	薩摩三彩	シ	シ	シ
尾林古窯狛犬の記年銘について	原 秀広	シ	225	司馬江漢作 陶製振袖西洋人形	徳川 義宣	古美術	35
古九谷磁器について	磯野風船子	シ	216	中国・その他			
九谷名陶展を顧る	伊東 祐淳	シ	シ	熊川金谷の古窯—韓国に古唐津の故郷を訪ねる—	三上 次男	出光美術館館報	9
九谷名陶展をめぐって	鮎藻 彦助	シ	シ	怨念を秘めた喜左衛門井戸(名品流転8)	三山 進	芸術新潮	260
丸文のある古九谷の二作品	中川 千咲	美術研究	275	蕎麦茶碗 銘曙	林屋 晴三	古美術	33
明治以降の九谷焼	里見 土亜	陶 説	220	李朝染付秋草文面取壺	小山富士夫	国 華	930
伊勢天目のこと	岡田 宗叡	シ	215	中国の風土と古陶磁1、2	沢登 佳人 吉村 尚子	陶 説	224, 225
幻の伊勢天目	穂山 泰次	シ	シ	中国陶磁のてびき1~12	佐藤 雅彦	茶道雑誌	35-1~12
古信楽の赤	杉本 拡次	シ	221	祭器と明器	見市 実	日本美術工芸	391
京焼水指考	保田 憲司	シ	217	唐三彩の窯跡とその出土地	小山富士夫	陶 説	219
一入管見	満岡 忠成	茶道雑誌	35—12	白磁博山炉を繞って	谷田 岡次	大和文華	54
山田宗編作 赤染茶碗 銘青苔	邑木 千以	シ	35—10	褐釉裝飾壺とその周辺	長谷部楽爾	シ	54
芳村観阿作 赤染茶碗 銘若草	シ	シ	35—11	台北故宮汝官哥について	斎藤 有道	陶 説	216
益田克徳作 茶碗 銘無為	シ	シ	35—12	中国の青磁と日本	長谷部楽爾	金沢文庫研究	188
丹波の壺	森 政三	陶 説	223	南宋の青磁—わが国の伝世品について—	安藤 孝一	月刊文化財	89
丹波の種壺	黒田陶々庵	シ	217	青磁貼花雲龍文四耳壺	藤岡 了一	大和文華	54
備前壺 1、2	桂 又三郎	シ	214, 215	経塚出土の青白磁合子—その蓋表面の文様とわが国への影響—	田中 已貴	ミュージアム	238
備前角德利	シ	シ	216	宋元の竜文様と元磁	矢部 良明	シ	242
備前水指	シ	シ	217	古染付と祥瑞	満岡 忠成	大和文華	54
備前茶入	シ	シ	218	古赤絵と金欄手展を顧る	伊藤 祐淳	陶 説	220
備前細工もの	シ	シ	219	古赤絵と金欄手展レポート	小田 栄一	シ	シ
備前鉢・手鉢・皿	シ	シ	220	陶冶通解	譚 旦 陳昌蔚 訳	シ	222
備前海揚り	シ	シ	222	イル汗国時代のベルシア陶器に現われた中国的裝飾と裝飾技法について	三上 次男	史 学	44—1
備前花生	シ	シ	223, 224	白地黒彩文字文の皿	杉村 棟	出光美術館館報	9
備前下手もの	シ	シ	225	金 工			
賀集珉平	大伴 公馬 エドワード トッテン	帝塚山短大紀要	8	中国青銅器の美	香取 忠彦	日本美術	73
能茶山焼	山本 貞彦	陶 説	215	バルティア期における青銅製小動物像について—ハツサニ・マハレ第四号墓出土のアカ鹿像の年代決定に関する訂正について	深井 晋司	東洋文化研究所記要	53
尾戸の水指	丸山 和雄	シ	217				
やきものと茶会—土佐の春秋 1~4	シ	シ	220, 222, 224, 225				
異説肥前陶磁の系譜	永竹 威	シ	223				
有田皿山の今昔と発掘破片の新発見	今泉 之佑	シ	225				
李參平のこと	井垣 春雄	シ	221				
再燃する古伊万里の謎(真贋96)		芸術新潮	264				
古伊万里花鳥模様の大鉢	三上 次男	古美術	33				
初期伊万里の水指	山下 朔郎	陶 説	217				
初期伊万里梅文湯のみ	藪崎 昭	シ	216				
平戸焼—資料と陶芸家紹介—	馬場 強	長崎県立美術博物館館報	45年度				
古高取窯址めぐり	岡田 宗叡	陶 説	225				



定期刊行物所載文献

伝統の漆芸

1.2. 輪島塗上、下	古今伸一郎	月刊文化財	96, 97
3. 津軽塗	城倉 可成	シ	98
4. 高松漆器	磯井 正美	シ	99
某氏蔵「龍虎文棗局」	木内 武男	ミュージアム	240

染織工

翻古為新一織物談義一1、2	龍村 平蔵	茶道雑誌	35—5, 8
西方絹織物史 2 ササン・ペルシア		カラーデザイン	17—5
花文縷羅羅幡	今永 清士	国 華	934
染織物と為替の史料	永島福太郎	日本歴史	283
江戸文様の型	近藤 信彦	カラーデザイン	17—12

玉工・ガラス工・その他

古代のガラス	相馬 隆	萌 春	204
夜光杯雑考	シ	ミュージアム	243
戦国～漢代ガラスと西アジアガラス技術の東方伝播	由水 常雄	東洋学術研究	9—3
文圃麻呂の緑ガラス骨壺と宮地岳神社境内出土の緑ガラス骨壺の問題	由水 常雄	考古学雑誌	57—2
ガラス器(群青亭散歩 2)	藪崎 明	陶 説	221
氷見市谷屋発見の子持勾玉	西井 竜儀	考古学ジャーナル	54
緑牙撥鏝尺	梅原 末治	国 華	933
紙の伝播と文化交流	長沢 和俊	東洋学術研究	9—3

考古学関係

日本の始源文化の世界性	樋口 清之	国際文化	210
埋蔵文化財による日本古代史編纂の実現を望む	原田 淑人	考古学ジャーナル	52
考古学講座			
1. 日本における考古学の動向と課題	斎藤 忠	日本歴史	275
2. 無土器文化の石器	佐藤 達夫	シ	276
3. 縄文式土器研究の課題—特に章創期前半の編年について	シ	シ	277
4. 土偶・土版・土面研究の課題	江坂 輝弥	シ	278
5. 弥生式土器研究の現状と課題	工楽 善通	シ	279
6. 青銅器研究の課題	三木 文雄	シ	280

7. 土壙墓研究の課題—とくに弥生時代と古墳出現期について	大塚 初重	日本歴史	281
8. 前方後円墳研究の課題	上田 宏範	シ	282
9. 装飾古墳・装飾横穴研究の課題	斎藤 忠	シ	283

遊史疑考

1 序にかえて 2～4 前方後円墳の謎 5 神奈備山の起源 6～9 三角縁神獸鏡への懷疑 10, 11 神籠石は山城か	松本 清張	芸術新潮	253～264
滋賀県における緊急発掘とその問題点	丸山 竜平	考古学ジャーナル	56
香川県における緊急発掘とその問題点	六車本 恵一 岩本 正二	シ	62
鹿児島県における緊急発掘とその問題点	河口 貞徳	シ	52
長崎県考古学の現状—昭和44・45年の先史文化研究の回顧と展望	下川 達弥	長崎県立美術館館報	45年度

加曾利貝塚の保存と博物館	後藤 和民	月刊文化財	94
富山県井波町穴田遺跡の調査	阿部 義平	日本歴史	279
石川県下野遺跡の研究	吉岡 康暢	考古学雑誌	56—4
大石原千居遺跡の第二次調査	小野 真一	考古学ジャーナル	61
史跡出雲玉作址の調査とわが国の玉作遺跡	寺村 光晴	日本歴史	278
初期農耕文化	乙益 重隆	月刊文化財	98
新潟県における弥生文化—特にその様相と問題点—	関 雅之	新潟史学	4
日本の古墳	斎藤 忠	月刊文化財	99
古墳時代屋内祭祀の一考察	金子 裕之	国史学	84
青森県八戸市鹿島沢古墳新発見の遺物	江坂 輝弥	考古学ジャーナル	53
桑五七号墳の発掘調査	大和久震平	月刊文化財	98
日野市発見の小規模横穴式石室様遺構	野村 幸喜	考古学ジャーナル	53
京都向日丘陵の前期古墳群の調査	京大文学部考古学研究室向日丘陵古墳群調査団	史 林	54—6
山城大枝の奈良時代の一古墳	梅原 末治	史迹と美術	418
妻島陵墓参考地東宮山古墳の遺物と遺構について	三木 文雄	書陵部紀要	23



地下式板石積石室墓の研究	乙益 重隆	国史学	83	百済武寧王陵の発見	西谷 正	シ	シ
別府原・堂前古墳の調査—地下式板石積石室について—	河口 貞徳 上村 俊雄	考古学雑誌	57—1	アフガニスタンのギリシヤ人都市—アイ・ハヌムの遺跡—	小谷 仲男	大手前女子大学論集	5
弘化谷古墳(文化財レポート37)		日本歴史	276	シスターン・バルチスタンの遺跡	藤川 繁彦	考古学ジャーナル	58
顔面把手出土地名表	中村日出男	考古学ジャーナル	63	東京国立博物館保管の楔形文字粘土版	丸田 正数	ミュージアム	242
鳥形把手のついた安行2式土器	江坂 輝弥	シ	59	ソヴィエト考古・美術見聞記	杉山 二郎	仏教芸術	82
縄文期の化粧掛土器	岡村吉右衛門	玉大文学部紀要・論集	11	歴史関係・その他			
青森県芦野遺跡の土器群について	名久井文明	考古学雑誌	57—2	日本文化の特質と日本歴史の時代区分	石田 一良	月刊文化財	97
群馬県大根遺跡出土の舟形注口土器	小保方紀久	考古学ジャーナル	54	「白鳳」年号考	田村 円澄	日本歴史	278
横浜市日吉中駒遺跡の中期縄文式土器	今村 啓爾 松村 恵司	考古学雑誌	57—1	猿石の周辺—明日香研究ノートから	小川 光暢	人文学	121
九重式土器について—山陰における弥生式土器から土師器への移行	東森 市良	シ	シ	勧進僧に関する考察	川勝政太郎	大手前女子大論集	5
猪(考古随想)	大場 磐雄	考古学ジャーナル	52	白山禪頂—その信仰の性格—	近藤 喜博	月刊文化財	96
縄文文化人の作った猪形土製品	江坂 輝弥	シ	シ	上醍醐—聖宝・重源を中心に—	永井 信一	古美術	33
イノシシと祭祀—特に大分地方における一、二例—	後藤 重巳	シ	シ	元興寺行信・薬師寺行信と法隆寺行信	たなかしげ ひさ	史迹と美術	416
猪と豚そして日本民族—日本における養猪の起源をめぐって	林田 重幸	シ	シ	山城国西岡寂照院関係文書について	仲村 研	古文書研究	5
古代人とイノシシ—その歴史をめぐって	直良 信夫	シ	シ	日本の説話と中国の説話—日本霊異記・今昔物語を中心に—	内田 道夫	東北大日本文化研究所研究報告	5,6(合)
縄文の蛇	藤森 栄一	月刊文化財	95	「本朝続文粹」逸文発見の意義	荻野三七彦	日本歴史	275
古代形代馬考	小田富士雄	史 淵	105,106	我が国物語ジャンルについての課題—コンラドの所説をめぐって	川口 久雄	文 学	39—6
太田市菅ノ沢製鉄遺構の補足調査と化学的検討	飯島 武次 穴沢 義切	考古学雑誌	56—3	創成期茶人の美意識と実践	森川 憲昭	美 学	87
銅鐸の発見された海老名町本郷遺跡	伊東 秀吉	月刊文化財	95	利久の美学	数江 教一	茶道雑誌	35—3
元明天皇陵碑	福山 敏男	史迹と美術	417	人間利休の虚実	堀口 捨巳	シ	シ
417号「元明天皇陵碑」正誤・補足	シ	シ	419	利休の茶の構造	谷川 徹三	シ	シ
元明天皇陵雍良岑の称呼	藤沢 一夫	シ	419	天下一の意識と天下一の号	米原 正義	国学院大学紀要	9
平城京東三坊大路東側溝出土の木簡	横田 拓実	考古学雑誌	57—1	滝本坊とその文化の源流	橋本 政宣	日本歴史	281
静岡県伊場遺跡の奈良時代遺物	向坂 鋼二	シ	56—3	親鸞の美意識	中村 敬三	日本美術工芸	395
豆満江流域の青銅器時代文化	黄 基 徳	朝鮮学術通報	8—5	シーボルトの墓	滝川政次郎	史迹と美術	412
百済武寧王陵の発掘調査	金 元 竜	考古学ジャーナル	61	張鸞の西使と東西交通	長沢 和俊	東洋学術研究	10—2
百済武寧王陵の発掘とその遺物	朴 春 錫	シ	シ	セイロンの仏教—略史と現状	金岡 秀友	仏教美術	82
				「焉支」について	相馬 隆	萌 春	196
				安息誓約考	シ	ミュージアム	240

単行図書

総説

美と芸術の理論<白風社名著選>	深田 康算	白 風 社
美の論理—虚と実のあいだ	寺尾 勇	創 元 社
美学への道	山本 正男	理 想 社
美術の主題物語・神話と聖書	三輪 福松	美 術 出 版 社
美の呪力	岡本 太郎	新 潮 社
第三の芸術<読売選書>	瀬木 慎一	読 売 新 聞 社
伝統と現代		
2. 伝統芸術の成立	伝統芸術の 会編	学 芸 書 林
12. 伝統と創造		
出合いを求めて—新しい芸術のはじまりに	李 禹煥	田 畑 書 店
芸苑雑稿他<東洋文庫>	岩村 透 宮川寅雄編	平 凡 社
美について<角川文庫>	高村光太郎	角 川 書 店
縄文的原型と弥生的原型	谷川 徹三	岩 波 書 店
星と東方美術	野尻 抱影	恒 星 社
シルクロード幻想—蓮文様の道	森 豊	新 人 物 往 来 社
美の東西	原 陸園	新 潮 社
同一性の自己塑性	今道 友信	東 京 大 学 出 版 会
美の位相と芸術		
芸術と狂気	加賀乙彦編 徳田良仁	造 形 社
生理空間—遠影者としての芸術論を	内田 栄一	田 畑 書 店
光・運動・空間—境界領域の美術	石崎浩一郎	商 店 建 築 社
ナンセンスの練習	草森 紳一	晶 文 社
キッチン—まがいのもの時代	石子順造 上杉義隆編 松岡正剛	ダイヤモンド 社
美 学	ヨーン(E) 橋本 剛訳	啓 隆 閣
絵画論	アルベルティ(L・B) 三輪福松訳	中央公論美術 出版
芸術心理学	ヴィゴツキー 柴田義松訳 根津真幸	明 治 図 書 出 版 K K
芸術心理学のために	アルンハイム(ルドルフ) 上 昭二訳 ヴォリンガー(ヴィルヘルム) 土肥美夫訳	ダヴィット社 法政大学出版 局

イコノロジー研究	パノフスキー(エルヴィン) 浅野徹他訳	美 術 出 版 社
視覚芸術の意味<美術名著選書>	パノフスキー(E) 中森義宗他訳	岩 崎 美 術 社
芸術における未完成<美術名著選書>	シュモル(J.A)編 浅井朋子他訳	シ
近代芸術と技術	フランカステル(P) 近藤 昭訳	平 凡 社
ザ・ヌード—裸体芸術論	クラーク(ケネス) 佐々木英也 高階秀爾訳	美 術 出 版 社
美術批評史(第二版)	ヴェントゥーリ(リオネロ) 辻 茂訳	みすず書房
Landscapes and Portraits	Keene (Donald)	Kodansha Internatio- nal
Zen and the Fine Arts	Hisamatsu (Shinichi) Tokiwa (Gishin) tr.	シ
徳川時代の芸術と社会<角川選書>	阿部 次郎	角 川 書 店
近代の美術		
3. 日本の前衛美術	本間正義編	至 文 堂
川勝コレクション特選集	平凡社編	平 凡 社
現代の美術		
1. 先駆者たち	高階秀爾編 中原佑介	講 談 社
2. 幻想と人間	岡田隆彦編	シ
3. 情念の人間	野村太郎編	シ
4. ポップス人間登場	東野芳明編	シ
5. つくられた自然	中原佑介編	シ
7. 集合の魔術	高階秀爾編	シ
9. 構成する抽象	藤枝晃雄編	シ
10. 記号とイメージ	富永惣一編	シ
西洋美術史	大沢 武雄	造 形 社
美術の歴史—絵画・彫刻・建築	ジャンソン(H・W) 村田潔訳 監修	美 術 出 版 社
西洋古代美術論	村田 潔	岩 波 書 店
美術の始源	木村 重信	新 潮 社
はじめにイメージありき—原始美術の諸相<岩波新書>		シ 岩 波 書 店

アジャンター石窟寺院と壁画	高田 修 田枝 幹宏	平凡社	21. 神社と霊廟	稲垣 栄三	小学館
ボロブドールージャワの仏教遺跡	並河 万里	シ	22. 浮世絵	菊地 貞夫	シ
ビザンティン美術の二潮流 〈創文社歴史学叢書〉	キッツィン ガー 辻佐保子訳	創文社	25. 南画と写生画	吉沢 忠 山川 武	シ
ルネッサンスの光と闇—芸術と精神風土	高階 秀爾	三彩社	27. 陶芸	田中作太郎 中川 千咲	シ
二十世紀美術におけるブリ ミティヴィズム〈美術名著 選書〉	ゴールドウ ォーター (ロバート) 日向あき子 訳	岩崎美術社	30. 書	堀江 知彦	シ
ダダの冒険〈美術選書〉	ユニエ (ジ オルジュ) 江原 順訳	美術出版社	原色日本の美術		
シュルレアリスムの20年 (1939—1959)〈りぶらりあ 選書〉	ベドゥアン (ジャン・ ルイ) 三好郁朗訳	法政大学出版 局	23. 面と肖像	亀田 孜 田辺三郎助 永井 信一 宮 次男	シ
シュルレアリスム資料と回 想	山中 散生	美術出版社	24. 風俗画と浮世絵師	山根 有三 鈴木 重 辻 惟雄 小林 忠 池上 忠治	シ
シュルレアリスム簡約辞典	ブルトン (アンドレ) エリュアール (ボール) 江原順編訳	現代思潮社	27. 近代の洋画	高階 秀爾	シ
ドイツ表現主義 4 表現主義の美術・音楽	土肥美夫訳	河出書房新社	29. 請来美術(絵画・書)	米沢 嘉圃 中田 勇次郎	シ
バウハウス	グローテ (ルートヴ ィヒ) ほか 編 宮島 久雄 ほか訳	講談社	五島美術館〈日本の美術 館〉	田中 一松 小山 富士夫 監修	毎日新聞社
バウハウス	利光 功	美術出版社	Art Treasures from Japan	Kodansha International Kodansha International	
若い画家への手紙	リード (ハ ーバート) 増野正衛訳 多田 稔	新潮社	画録印度仏蹟巡拝 世界の美術館	黒滝 俊雄 黒滝大休画	津軽書房
奈良六大寺大観			31. イスタンブール美術館	富永 惣一	講談社
4. 法隆寺 (4)	奈良六大寺 大観刊行会 編	岩波書店	35. フリーア美術館 1	フリーア美 術館編	シ
5. シ (5)	シ	シ	36. シ 2	シ	シ
日本美術館	田中一松他 監修	筑摩書房	大系世界の美術		
1. 原始・飛鳥時代	シ	シ	18. 近代美術—ロマンティ スムの時代	嘉門安雄編	学習研究社
2. 奈良時代	シ	シ	原色世界の美術		
3. 平安時代 (上)	シ	シ	1. ルーヴル美術館	座右宝刊行 会編	小学館
4. シ (下)	シ	シ	14. ボストン美術館	シ	シ
日本の美術〈ブック・オ ブ・ボックス〉			15. 中国	シ	シ
3. 法隆寺	久野 健 鈴木 嘉吉	小学館	16. メキシコ・ペルー	シ	シ
7. 貞観彫刻	倉田 文作	シ	スペイン美術	朝日新聞社 編	朝日新聞社
15. 禅寺と石庭	太田博太郎 松下 隆章 田中 正大	シ	現代世界美術全集	座右宝刊行 会編	集英社
16. 城と書院	藤岡 通夫	シ	5. ロダン・ブールデル	シ	シ
17. 障屏画	武田 恒夫	シ	6. ドガ	シ	シ
20. 桂離宮	川上 貢	シ	10. ルドン・ルソー	シ	シ
			13. クレー	シ	シ
			16. モディリアアーニ・ユト リロ	シ	シ
			18. エルンスト・ミロ	シ	シ
			現代世界美術全集〈愛蔵普 及版〉		
			1. マネ	シ	シ
			2. モネ	シ	シ
			3. セザンヌ	シ	シ
			5. ロダン・ブールデル	シ	シ





単行図書

異端画家・絵金の芸術 近森敏夫解説 光潮社  
 絵金の白描 広末保藤村欣市郎編 未来社  
 血の晩餐—大蘇芳年の芸術 番町書房編 番町書房  
 近代の美術 隈元謙次郎編 至文堂  
 6. 黒田清輝 竊木清方 毎日新聞社  
 竊木清方 石井柏亭 中央公論美術出版  
 柏亭自伝  
 現代日本美術全集  
 2. 横山大観 座右宝刊行会編 集英社  
 5. 小林古径 シ  
 9. 佐伯祐三 シ  
 12. 梅原竜三郎 シ  
 大正・昭和期の画家たち 土方定一 木耳社  
 北沢楽天画集—近代漫画の創始者 北沢楽天須山計一 番町書房  
 舞台姿 坂本繁二郎 加藤版画研究所  
 竹久夢二 青江舜二郎 東京美術  
 郷愁論—竹久夢二の世界 秋山清 青林堂  
 凝視 竹久夢二 竜星閣  
 岸田劉生 土方定一 日動出版部  
 林 俊衛 小崎軍司 三彩社  
 版画の魅力<新日本選書> 小野忠重 新日本出版社  
 Modern Japanese Prints Abe(Yuji) Charles E. Tuttle Co. 編  
 太平洋戦争期の漫画 清水勲編 美術同人社  
 マンガ・エロチズム考<ブレーン・ブックス> 草森 紳一 誠文堂新光社  
 イラスト歳時記—新聞イラスト百年史 長瀬 宝編 グラフィック社  
 もうひとつの旅—山下清画文集 山下 清 ニトリア書房  
 山下清—東海道五十三次 山下清絵式場俊三文 毎日新聞社  
 桜画報永久保存版 赤瀬川原平 青林堂  
 絵次元 あいまいな海 シ 大門出版美術出版部  
 七つのリトグラフ 池田満寿夫 筑摩書房  
 祖国に愛を 池田理代子 若木書房  
 伊藤清永作品集 伊藤 清水 伊藤清永画集刊行会  
 井上洋介画集 井上 洋介 学芸書林  
 岩田専太郎画集 おんな 岩田専太郎 毎日新聞社  
 美しき峰々の姿 梅原龍三郎 求龍堂  
 大野忠男画集 大野 忠男 アポロン社  
 土牛挿画 奥村 土牛 中央公論美術出版  
 シベリア画集 香月 泰男 新潮社

門脇俊一作品集 門脇 俊一 講談社  
 梶島勝一ペン画集 梶島 勝一 シ  
 随筆集わたしのどろ箱 木内 克 求龍堂  
 へたも絵のうち 熊谷 守一 日本経済新聞社  
 熊谷九寿画集・2 熊谷 九寿 三彩社  
 小磯良平画集 小磯 良平 求龍堂  
 小糸源太郎 小糸源太郎 三彩社  
 美醜を分ける 小林 裕作 新興出版社  
 墨絵のスポーツ—斎辰雄画集 斎 辰雄 講談社  
 絵次元 目沼 清水 晃 大門出版美術出版部  
 お水取修中絵日記 清水 公照 研光社  
 女かっぱ二十態 清水 崑 求龍堂  
 画家の肖像—高島華宵の伝記と作品 高島 華宵 「画家の肖像」高島華宵の伝記と作品刊行会  
 絵次元 展翅箱 谷川 晃一 大門出版美術出版部  
 版画大和路 佃 政道 徳間書店  
 寺田竹雄作品集 寺田 竹雄 三彩社  
 ガリガリ博士の犯罪画帖 寺山 修司 新書館  
 画集東郷青児 東郷 青児 毎日新聞社  
 画室随想 堂本 印象 光琳社出版  
 中川一政挿画 中川 一政 中央公論美術出版部  
 さしゑ人生劇場 シ 求龍堂  
 中村直人作品集 中村 直人 三彩社  
 絵次元 彷徨引力 野中 ユリ 大門出版美術出版部  
 「窓」 東山 魁夷 新潮社  
 雪わり草一引場進画集 引場 進  
 虹児の画集 落谷 虹児 大門出版美術出版部  
 考える画布 福田 新生 新時代社  
 詩画集「手」 木島 始詩藤田吉香画 晶文社  
 宮田三郎木版画集—日本の風景 信州・信濃路 宮田 三郎 農村漁村文化協会  
 自選安田靫彦画集 安田 靫彦 朝日新聞社  
 愛と美のノート 山本 蘭村 アポロン社  
 横尾忠則全集 横尾 忠則 講談社  
 未完への脱走 シ 筑摩書房  
 横尾忠則<現代版画> シ  
 憂魂 高倉健 横尾忠則編 都市出版社  
 日本絵画館 田中一松 亀田 孜編 濱田 隆 講談社  
 2. 奈良・平安 (1) 松下隆章編 シ  
 5. 室町 鈴木 進編 シ  
 10. 大正 土方定一編 シ  
 11. 現代 川上 涇編 シ  
 12. 渡来絵画

単行図書

版画事典	小野忠重編	ダヴィッド社	ダリ(サルヴァドール)	国文社
油彩画の科学	寺田 春次	三彩社	ナルシスの変貌—ダリ芸術論	小海永二・佐藤東洋磨訳
形の見方・考え方<絵画の造形ハンドブック>	野崎 英男	美術出版社	ファブリ世界名画集	
Sumi-E<Color Books>	Uchiyama (Ukai) Kenny (Don)訳	Hoikusha	2. ビエロ・デラ・フランチェスカ	新規矩男 平凡社
墨絵の技法	山田 玉雲	日貿出版社	4. レオナルド・ダ・ヴィンチ	下村寅太郎 シ
墨彩画入門	峯岸魏山人	実業之日本社	6. ティツィアーノ	辻 茂 シ
日本南画描法全集			12. カラヴァッジョ	若桑みどり シ
1. 四君子巻	南浦 平安	文進堂	15. ラトゥール	吉川 逸治 シ
柳史俳画教室			17. ヴェルメール	中村真一郎 シ
1. 入門と基礎	赤松 柳史	創元社	18. レンブラント	八代 修次 シ
俳画入門<カラーブックス>	山口 誓子 保 育 社		40. ルソー	岡 鹿之助 シ
日曜画家	直原 玉青		41. ボナール	富永 惣一 シ
続・名画を見る眼<岩波新書>	林 謙一	池田書店	47. キルヒナー	吉田 秀和 シ
西洋の名画	高階 秀爾	岩波書店	49. スーチン	木村 浩 シ
旧石器時代の洞窟美術<世界大学選書>	霜田 静志	造形社	52. モンドリアン	中山 公男 シ
	アッコー(P) ローゼンフェルト(A) 岡本重温訳		56. レジェ	宇佐見英治 シ
レオナルド・ダ・ヴィンチ解剖図集	松井喜三編	みすず書房	59. ミロ	滝口 修造 シ
北方ルネサンスの美術<美術名著選書>	ベネシユ(オットー) 前川誠郎他訳	岩崎美術社	60. ペーコン	中原 佑介 シ
評伝 レンブラント・ファン・レイン	土方 定一	新潮社	彫 刻	
ゴヤ銅版画集<双書美術の泉17>	西垣雄太郎 解説	岩崎美術社	定本 仏像一心とかたち	望月 信成 隆研 日本放送出版協会
ヴァン・ゴッホ	アルトー(アントナン) 粟津則雄訳	新潮社	仏像の流伝—インド・東南アジア篇	佐和 隆研 法蔵館
ムンク画集	ムンク 土方定一監修	筑摩書房	新羅・高麗の仏像	中吉 功 二玄社
ルオーの手紙 ルオー=シュアレス住復書簡	ルオー シュアレス 富永惣一他訳	河出書房新社	日本彫刻史基礎資料集成 平安時代 造像銘記篇8	丸尾彰三郎 中央公論美術出版
モンドリアン<美術選書>	赤根 和生	美術出版社	東北古代彫刻史の研究	久野 健 シ
Mondrian<世界の巨匠シリーズ>	Jaffé (H. L. C) 由明	シ	飛鳥奈良<仏像観シリーズ1>	太田 古朴 綜芸社
ピカソ—二十世紀美術の象徴	瀬木 慎一	読売新聞社	奈良百仏	久野 健 鹿島研究所出版会
ルネ・マグリット画集	マグリット(ルネ)	筑摩書房	国東半島の石仏	渡辺 信幸 八郎 木耳社
天才の日記	ダリ(サルバドル) 東野 芳明	二見書房	路傍の石仏	武田 久吉 第一法規出版KK
			太良兵衛の石仏—三千点の記録を探る	曾根原駿吉 講談社
			石仏柳生街道	太田 古朴 綜芸社
			魔寺石仏抄	井口 正夫 木耳社
			山口県下の木喰仏—江戸後期の苦行僧	新見 亮助 片山徳五郎
			名工左甚五郎の一生	左 光拳 左甚五郎顕彰会
			名工左甚五郎	シ 新人物往来社
			萩原守衛	萩原 守衛 土門拳写真 筑摩書房
			近代の美術	
			7. 高村光太郎	三木多聞編 至文堂

木彫り実作集	牧田 正雄	池田書店	古九谷新論	斎藤菊太郎	三彩社
新しいモビール・動く造形	品川 工	日貿出版社	中国・台湾やきもの旅	小山富士夫	芸艸堂
<b>工芸・デザイン</b>			古備前雑記帳	桂 又三郎	河出書房新社
デザインとは何か<角川選書>	川添 登	角川書店	やきものふる里	村山 武	求龍堂
デザインの全体像	大木 武男	三一書房	趣味の茶碗	邑木 千以	雄山閣出版KK
現代デザイン理論のエッセンス	勝見勝監修	ベリかん社	ちよく	野村 泰三	平安堂書店
基礎デザイン図説	木村 要雄	岩崎美術社	やきもの入門<カラー・ブックス>	田賀井秀夫	保育社
円+正方形	ムナーリ (ブルーノ) 上松正直訳	美術出版社	やきもの制作の実際	渡辺 輝人	理工学社
The Elements of Japanese Design	Dower (John W.)	Weather-hill	入門茶の湯の茶碗	杉浦 澄子 小森 彰子	光芸出版
現代デザイン講座			ぐい呑み楽し	光芸出版編	〃
1. デザインの思想	川添 登他 監修	風土社	現代陶芸の旅(作家名鑑)	〃	〃
5. デザインの方法	菊竹清訓他	〃	古今の名碗 続	黒田 領治	雄山閣出版KK
プロダクション・アート・テクニック	稲垣行一郎	誠文堂新光社	現代陶芸図鑑 1	〃	光芸出版
紙による構成・デザイン<デザインシリーズ>	朝倉 直巳	美術出版社	〃 2	〃	〃
環境とデザイン<SD選書>	エクボ(G) 久保 貞訳	鹿島研究所出版会	楠部弥弼	楠部弥弼編	毎日新聞社
色彩論	イッテン (ヨハネス) 大智 浩訳	美術出版社	やきもの随筆	加藤唐九郎	徳間書店
日本美の意匠<SD選書>	水尾比呂志	鹿島研究所出版会	耀盤一出口王仁三郎茶盤名品	加藤義一郎	講談社
信長と芸術	平木 清光	東京光悦刊行会	茶碗辞典	〃	浪速社
日本デザイン小史	日本デザイン小史編集同人編	ダヴィッド社	Decorated Stoneware Pottery of North America	Webster (Donald Blake)	Charles E. Tuttle Co.
陶器講座			インド・東南アジアの染織	西村 兵部	美術出版社
3. 日本・3 江戸前期	永竹 威	雄山閣出版KK	正倉院の羅	正倉院事務所編	日本経済新聞社
6. 中国・2 宋	小山富士夫	〃	佐賀錦	錦 繡 会 編	東京堂出版
7. 〃・3	佐藤 雅彦 中野 徹	〃	時代裂綺百撰	浦野 理一	文化出版局
8. 朝鮮・1	長谷部楽爾	〃	友禪<日本染織芸術叢書>	今永 清士	芸艸堂
種子島焼	山本秀雄編	八重岳書房	紋織 2<〃>	西村 兵部	〃
初期の伊万里	山本 朔郎	徳間書店	沖縄の伝統染織	富山 弘基 大野 力	徳間書店
日本の陶磁 3 志野・黄瀬戸・瀬戸黒	林屋晴三編	中央公論社	手織りの基本<新技法シリーズ>	土肥 悦子	美術出版社
古伊万里図鑑	秦 秀雄	大門出版美術出版部	万華譜 浦野理一染織抄	浦野 理一	文化出版局
中国古陶磁 上	長谷部楽爾 林屋晴三編	毎日新聞社	南蛮漆芸	荒川浩和編	美術出版社
〃 下	〃	〃	無形文化財記録・工芸技術編 3 平瀬和紙	文化庁編	第一法規出版KK
古陶磁の科学	内藤 匡	雄山閣出版KK	近代の美術		
古唐津百益	玉田 勝士	求龍堂	11. 民芸	水尾比呂志	至文堂
正倉院の陶器	正倉院事務所編	日本経済新聞社	十二支一郷土玩具から	斎藤 良輔 監修 松本 栄一 写真 牧野玩太郎 資料	朝日新聞社
東洋陶磁の世界	三彩社編	三彩社	Folk Art <Color Books>	Yoshida (Shoya) Murray (Patricia) 訳	Hoikusha
			京の手仕事	吉田 光邦	巽々堂出版KK

単行図書

見捨てがたきもの一周辺の 雑器	秦 秀雄	文化出版局	ヨーロッパのグラフィック デザイナー・4	美術出版社 編集部編	美術出版社
焼もの塗もの金もの一暮し のデザインを求めて	芳武 茂介	相模書房	現代グラフィックデザイン	現代美術社 編	教育出版KK
平安の文様一世々のみけし	江馬 務 宇都宮誠太郎編	三一書房	1. ポスター	シ	シ
原始文様図鑑	岡登貞治編	東京堂出版	2. アドバタイズメント	シ	シ
色と文様 江戸 上(3)	田畑喜八編	光村推古書院	3. イラストレーション	シ	シ
シ	シ	シ	Graphic Art of Japan	Hollo way (Owen E.)	Charles E. Tuttle Co.
シ	シ	シ	インテリアデザインと装飾	ヴァン・ド メリン(デ イヴィッ ド)武藤重 典訳	造形社
シ	シ	シ	インダストリアル・デザイ ン<NHKブックス>	栄久庵憲司	日本放送出版 協会
シ	シ	シ	亀倉雄策作品集	亀倉 雄策	美術出版社
シ	シ	シ	色彩デザイン入門	福田 邦夫 佐藤 邦夫	鳳山社
シ	シ	シ	年鑑広告美術	東京アート ディレクタ ーズクラブ 編	美術出版社
シ	桃山 慶長編	シ	建築		
日本の文様			空間へ	磯崎 新	美術出版社
4. 扇	源 豊宗他	光琳出版KK	地球をわれらに一生き残る ための提言	プログレッ シブ社編 清水幾太郎 松尾文夫訳	ダイヤモンド 社
7. 蝶	村上修一他	シ	建築と伝統	川添 登	彰国社
12. 千鳥・おしどり	田中 順二 小林 桂助 元井 能	シ	建築・行動と計画	クック(ピ ーター) 相田武文 木島安史 訳	美術出版社
14. 松	西村兵部他	シ	空間の生命<SD選書>	坂崎 乙郎	鹿島研究所出 版会
美術撰集 3-1	日本の文様 研究会編	フジアート出 版	現代建築の創造—C I A M 壊崩以後	黒川紀章編	彰国社
シ	シ	シ	怨恨のユートピア—宮内康 建築論集	宮内 康	井上書院
シ	シ	シ	建築馬鹿・3・イチャモロ ジ	矢田 洋	鳳山社
シ	シ	シ	現代建築と技術	山本 学治	彰国社
シ	シ	シ	番匠<ものと人間の文 化史>	大河 直躬	法政大学出版 局
シ	シ	シ	環境への挑戦 <エグゼク ティブ・ブックス>	フォーチュ ン編 ダイヤモンド 社訳	ダイヤモンド 社
東洋文様史	渡辺 素舟	富山 房	都市の構造	スミッソン (A)	美術出版社
日本の文様 色 3-5	日本の文様 研究会編	フジアート出 版	21世紀の日本—その国土と 国民生活の未来像	スミッソン (P) 藤井博己訳	21世紀の日 本研究会 新建築社
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
シ	シ	シ			
近代図案ものがたり—その 歴史と今後の課題	比沼 悟	京都書院			
グラフィック・デザイン講 座(全3巻)					
1. デザインの基本	帆足 実生 稲垣行一郎	講談社			
2. 広告制作技術	シ	シ			
3. 経営とデザイン	シ	シ			
新版イラストレーション グラフィックデザイン	河原 淳 田中 正明	ダヴィッド社 近藤出版社			



都市とオープンスペース	ホワイト(W・H) 華山 謙訳	鹿島研究所出版会	明治の西洋館—近岡善次郎スケッチ集	近岡善次郎	平凡社
都市の環境—日本の都市像<環境と人間の科学・2>	平井 泰夫	三省堂	ヒューマニズム建築の源流	ウィットコウワ(R.) 中森義宗訳	彰国社
ジオテクニクス—地域計画の哲学	マッケイ(ベントン) 波多江健郎訳	彰国社	可動建築論	真鍋 恒博	井上書院
都市形態の研究—インドにおける文化変化と都市のかたち	S D編集部編	鹿島研究所出版会	現代建築論<筑摩総合大学>	藤井正一郎	筑摩書房
地中海建築	シ	シ	建築入門<ブルーバックス>	綜建築研究所編	講談社
西洋建築入門	森田 慶一	東海大学出版会	塔と橋—技術美の美学	竹内 敏雄	弘文堂
日本建築史研究・続編	福山 敏男	墨水書房	塔のヨーロッパ<NHKボックス>	佐原 六郎	日本放送出版協会
中尊寺	藤島亥治郎 監修	河出書房新社	篠原一男・16の住宅と建築論	篠原 一男	美術出版社
日本の城	井上 宗和	東京インターナショナル出版	建築概論	建築概論編集委員会編	彰国社
日本の名城—その歴史と美を求めて	中村 宏孝 池上 浩之	大和書房	現代日本建築家全集		
名城—その歴史と構成	西ヶ谷恭弘	新人物往来社	1. アントニン・レーモンド	栗田勇監修	三一書房
日本の古城			4. 堀口捨己	シ	シ
2. 中国、四国、九州篇	藤崎 定久	シ	5. 今井兼次・武基雄	シ	シ
3. 北海道、東北、関東、甲信越篇	シ	シ	10. 菊竹清訓・横文彦	シ	シ
カラー版 日本の名城	日本城郭資料館編	秋田書店	11. 坂倉準三・山口文象とRIA	シ	シ
日本城郭辞典	鳥羽 正雄	東京堂出版	15. 吉阪隆正・芦原義信	シ	シ
豊臣秀吉の居城 聚楽第、伏見城編	桜井 成広	日本城郭資料館出版会	建築講座・6計画	建築講座編集委員会編	彰国社
日本建築史基礎資料集成 16. 書院・1	太田博太郎 他編	中央公論美術出版	建築学大系		
数寄屋建築史図聚 1. 東山・桃山時代	北尾 春道	叢文社	3. 建築経済	建築学大系編集委員会編	シ
数寄屋聚成 17. 数寄屋建築構造聚—外観構成	シ	シ	26. 建築計画	シ	シ
桂	丹下 健三 石元 泰博	中央公論社	27. 集団住宅	シ	シ
日本建築の意匠と技法	大岡 実	中央公論美術出版	その他		
近世の建築<芸術選書>	藤岡 通夫	シ	絵のある葉書	会津 八一	求龍堂
花の京都御所	長谷 章久	毎日新聞社	脇本楽之軒の小伝と追憶	丸尾彰三郎 藤岡 通夫 泉宏尚共編	風濤社
写真・明治建築	鈴木重吉 写真・文 麻田平草編	恵雅堂出版	関西古寺巡礼<Guide Series>	首藤 一	創元社
写真・明治の西洋館	増田 彰久	毎日新聞社	大和古寺風物誌	亀井勝一郎	大和書房
			心の寺々	藤島亥治郎	毎日新聞社
			家元ものがたり	西山松之助	秀英出版
			遊びと人間	R・カイヨワ	岩波書店
			民衆のための芸術教育<世界教育学選集 63>	清水幾太郎 霧生和夫訳	モリス 明治図書出版 KK

印刷 昭和48年3月25日  
発行 昭和48年3月30日

# 日本美術年鑑

— 昭和47年版 —

編集者 東京国立文化財研究所美術部  
(美術研究所)

発行所 東京国立文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-27  
電話 (823) 2241

印刷所 大蔵省印刷局  
東京都港区赤坂葵町2番地  
電話 (582) 4411

本年鑑は下記の販売所で1部2,200円で取扱っております。

## 政府刊行物普及販売所一覧

官報・政府刊行物のご相談、ご注文は下記普及販売所をご利用下さい。

### ◎政府刊行物サービス・センター (大蔵省印刷局直営)

(名称)	(所在地)	(郵便番号)	(電話)	(振替番号)
霞が関	東京都千代田区霞が関1の2(農林省別館前)	100	東京 531 1824-1825	東京 68492
大手	東京都千代田区大手町1の3の2(大平町合同庁舎第2号館内)	100	東京 211 5570-7055	東京 58643
大塚	大塚市東区大手前之町(大塚合同庁舎第1号館内)	540	東京 045 1881-1882	東京 13413
名古屋	名古屋市中区三の丸2の5の1(名古屋合同庁舎2号館内)	460	名古屋 051 9205-9341	名古屋 29778
福岡	福岡市博多区博多駅東2の11の1(福岡合同庁舎内)	812	福岡 410 6201-6204	福岡 17903
札幌	札幌市中央区北三条西4丁目(第1合同庁舎内)	060	札幌 011 7211-7213	札幌 9549
仙台	仙台市土土丁通6番30号(広島合同庁舎2号館内)	730	仙台 012-6313	仙台 30302
仙台	仙台市本町3丁目2の23(仙台第2合同庁舎内)	980	仙台 010 8320-8321	仙台 19063

### ◎政府刊行物サービス・ステーション(官報販売所)

(名称)	(所在地)	(郵便番号)	(電話)	(振替番号)
札幌	札幌市中央区北三条西7丁目1	060	札幌 231 0975	小樽 13095
仙台	青森市本町2丁目7番16号(今泉書店)	030	青森 09 3611	仙台 31390
仙台	盛岡市本町1丁目16の2号	020	盛岡 22 2984	仙台 255
仙台	仙台市青葉区3丁目11番6号	980	仙台 022 6486	仙台 1349
仙台	秋田市大町2の2の2(石川書店)	010	秋田 02 2129	秋田 300
仙台	山形市本町2丁目4の11号(八文字屋)	990	山形 022 2150	山形 150
仙台	福島市本町7の20(福島西沢書店)	960	福島 024 0161~2	山形 249
水戸	水戸市東町2の2の31(川又書店)	310	水戸 26 2047	水戸 544
水戸	宇都宮市鉄地町3234(東栄堂書店)	320	宇都宮 03 2782-3533	宇都宮 558
水戸	前橋市本町1丁目9の4号(栄平)	371	前橋 02 1211	東京 13430
水戸	浦和市長砂1の7の9(駅前岩瀬書店内)	336	浦和 04 4259	東京 56788
水戸	熊谷市本町1丁目169	360	熊谷 02 0400	東京 36201
水戸	千葉市安寿町1丁目4の4	280	千葉 04 7635	東京 19617
水戸	横浜市中区相模町4の74(横浜日経社)	221	横浜 03 2661~3	横浜 12403
水戸	横浜市中区本町1の2	221	横浜 03 0605	横浜 12403
東京	東京都千代田区神田錦町1の2	101	東京 03 1601(代)	東京 87035
東京	東京都港区西船場2の22の4(大盛堂書店内)	150	東京 46 7555	東京 144373
東京	東京都豊島区西船安1の17の7(芳林堂書店内)	171	東京 03 8840	東京 95618
東京	立川市栄町3の6の27(オリオン書房内)	190	立川 02 2213	東京 95618
新潟	新潟市東大通1の5の24(教科書ビル内)	950	新潟 44 5297	新潟 4570
新潟	富山中央通2丁目5の6(中田書店)	930	富山 02 1340	新潟 6001
新潟	金沢市片町2丁目1番7号(宇都宮書店)	920	金沢 07 6136	新潟 31
新潟	福井市順化1丁目1番19号(品川書店)	910	福井 07 0112	新潟 7848
新潟	田原市中央4丁目2の18(藤正堂)	400	田原 05 2201	新潟 333
新潟	長野市大門町66の1(長野西沢書店)	380	長野 02 3185	新潟 124
岐阜	岐阜市第七回町25	500	岐阜 05 2767	名古屋 25651
岐阜	静岡市清水町3丁目1番4号(廣野町通り)	420	静岡 05 2661	東京 96449
岐阜	名古屋市中区栄2丁目6番2号(川瀬書店)	460	名古屋 03 3703-4705	名古屋 563
岐阜	名古屋市中区稲内町2の33	450	名古屋 05 7451(代)	名古屋 1
岐阜	豊橋市丸根町(豊川市内)	440	豊橋 05 6688	名古屋 1766
岐阜	津市中央5番21号(別所書店内)	514	豊橋 05 8366	名古屋 13149
岐阜	大津市中央1丁目5番2号(京五車堂)	520	大津 04 2683	東京 18033
京都	京都市中京区河原町六角下ル東入	604	京都 07 4444	京都 20028
京都	大阪市西区土佐堀船町6(肥後橋前)	550	大阪 06 2171~3	大阪 57561
京都	大阪市北区信保町1の10(天満橋北詰)	530	大阪 06 3361~2	大阪 63148
京都	神戸市生田区北長狭通5丁目13の9	650	神戸 07 0637	大阪 9470
京都	奈良市本町4の1(奈良明新社)	630	奈良 07 8844	阪 91807
京都	和歌山市本町1の7(富井平安堂)	640	和歌山 07 1331	大阪 62
鳥取	鳥取市若桜町99(ロコス文化会館内)	680	鳥取 08 2158	大阪 9035
鳥取	松江市殿町63(今井書店)	690	松江 08 2230	松江 185
鳥取	岡山市駅前地下商店街(山田書房)	700	岡山 08 7048	岡山 286
鳥取	広島市輪町3番55号(女学院前側)	730	広島 08 2888-2965	広島 5854
鳥取	山口市中央5の15の6	753	山口 02 0582	岡山 1047
徳島	徳島市紙屋町3の18(小山助学館)	770	徳島 08 2135(代)	徳島 595
徳島	高松市番町1の9の16	760	高松 05 6056-6056	徳島 15399
徳島	松山三番町4丁目6の21	790	松山 07 2379	徳島 1578
徳島	高知市本町5丁目2の13	780	高知 02 5866	徳島 8791
福岡	福岡市中央区天神4丁目5番17号(市民会館電停前)	810	福岡 09 1151	福岡 1177
九州	北九州市小倉区城内1の1(北九州市役所内)	803	北九州 09 4124	福岡 25088
九州	佐賀市白山町1丁目2番18号	840	佐賀 09 3722	福岡 1619
九州	熊本市田島町5番15号	850	熊本 09 1413	熊本 1019
九州	熊本市上通町6番23号(長崎書店内)	860	熊本 09 633	熊本 08
九州	熊本市中春町1番22号	870	熊本 09 4308	熊本 9239
九州	宮崎市城通町東3丁目1番6号(田中書店)	880	宮崎 09 5511	鹿児島 10980
九州	鹿児島市市中町12番7号(西本願寺前)	892	鹿児島 09 1691	鹿児島 113
九州	那覇市泉崎1の4の6(琉球文教図書KK)	900	那覇 09 1201	鹿児島 113